

平成 30（2018）年度
**武蔵野市民意識調査
報告書**

平成 31（2019）年 3 月

武 蔵 野 市

はじめに

武蔵野市では、市の総合計画である「長期計画」を新たに策定するにあたり、毎回「市民意識調査」を実施しており、昭和59年（1984）年に第1回を実施して以来、今回で10回目の調査となります。

これまでの調査結果は、市民の皆様への市政に関する意向や地域への関心などを的確に把握するための基礎資料として、長期計画や個別計画の策定を始め、様々な施策の検討に活用してまいりました。

このたびまとまりました調査結果についても、市民の皆様からの貴重なご意見として、市の施策に役立て、誰もが安心して暮らし続けられるための市政を推進していきたいと思っております。

この調査にご協力をいただきました市民の皆様には心からお礼を申し上げますとともに、今後とも市政へのご理解とご協力をお願いいたします。

平成31年3月

武蔵野市長

松下 玲子

目 次

はじめに

武蔵野市民意識調査実施の沿革	1
I 調査の概要	3
II 調査回答者の属性	7
III 調査結果	15
1 お住まいの地域のことについて	17
1-1 定住のきっかけ	17
1-2 生活環境の評価	21
1-3 定住意向	26
1-4 定住意向の理由	31
1-5 転出意向の理由	38
1-6 地域への関心度	48
1-7 近隣との交際状況	57
1-8 近隣との交際のきっかけ	62
1-9 近隣との交際がない理由	64
1-10 地域における行動の状況・意向	68
1-11 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと	71
1-12 地域への誇り・愛着	73
1-13 困っていること・不安なこと	79
1-14 手伝ってもらおう相手	84
1-15 相談相手	87
2 市政に関する情報提供などについて	90
2-1 市の情報の入手状況	90
2-2 知りたい行政情報	93
2-3 広報媒体の認知状況	100
3 市の施策に対する満足度・重要度について	102
3-1 満足度	102
3-2 重要度	113
3-3 ニーズ得点	123
3-4 満足度と重要度の分析（居住地域別）	131
3-5 市政の現状や問題点	134
3-6 武蔵野市の将来像	135
4 自由回答	140
IV 調査票	153

武蔵野市民意識調査実施の沿革

武蔵野市では、昭和 59(1984)年に第 1 回市民意識調査を実施して以降、3～4 年に一度の間隔で「武蔵野市民意識調査」を継続して行っています。調査項目と実施の背景は以下の表のとおりです。

第 10 回である今回の調査は、郵送配布一郵送・WEB 回収併用法によって行いました。その中で、標本対象を前回調査と同様に満 18 歳以上とし、3,500 件の調査票を郵送したところ、1,504 件の市民の皆様の声いただきました。

また調査項目を一部変更・追加し、これまで継続して調査してきた「地域との関わり」や「市政に関する情報提供」、「市の施策に対する満足度・重要度」、「今後のあるべき姿」について、近年の社会状況等を勘案して一部を見直すとともに、「困っていること・不安なこと」などの設問を追加しました。

	実施年度	調査手法	標本数 /回収率	調査項目
第 1 回	昭和59(1984)年	訪問配布一 訪問回収法	1,000 82.0%	1 地域に関する関心 2 市政評価 3 学習活動と教育 4 『老後』観 5 市政と情報
第 2 回	昭和 62(1987)年	訪問配布一 訪問回収法	1,000 75.9%	1 地域生活とコミュニティ意識 2 市政評価と自治体意識 3 有償福祉に対する市民意識
第 3 回	平成 3 (1991)年	訪問配布一 訪問回収法	1,000 71.9%	1 地域に関する関心 2 市政の主要課題に対する考え 3 市政の現状、今後のあるべき姿について
第 4 回	平成 7 (1995)年	訪問配布一 訪問回収法	1,000 75.3%	1 地域に関する関心 2 市政の主要課題に対する考え 3 市政の現状、今後のあるべき姿について
第 5 回	平成 11(1999)年	訪問配布一 訪問回収法	1,000 75.2%	1 地域に関する関心 2 ボランティア活動とコミュニティ活動 3 市政の主要課題に対する考え 4 市の行政のあり方について 5 市政の現状、今後のあるべき姿について
第 6 回	平成 15(2003)年	訪問配布一 訪問回収法	1,000 72.1%	1 地域に関する関心 2 ボランティア活動 3 市民生活の安全 4 市政の主要課題に対する考え 5 市政の現状、今後のあるべき姿について
第 7 回	平成 19(2007)年	郵送配布一 郵送回収法	3,000 48.1%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第 8 回	平成 22(2010)年	郵送配布一 郵送回収法	3,500 47.8%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第 9 回	平成 26(2014)年	郵送配布一 郵送回収法	3,500 40.1%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第 10 回	平成 30(2018)年	郵送配布一 郵送・WEB 回 収併用法	3,500 43.0%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の経緯と目的

武蔵野市では、長期計画・調整計画の策定に先立ち、市民の皆様の市政に対する考えを伺うことを目的に、市民意識調査を実施してきました。今回の調査においても、第六期長期計画の策定を含めた今後の市政運営の基礎調査とすべく、市民の皆様の行政ニーズや課題の把握、現在行っている事務や事業の評価等を行いました。

2 調査項目

今回の調査では、以下のテーマについて調査しました。

<調査テーマ>	<問番号>
(1) お住まいの地域のことについて 〔定住のきっかけ、生活環境の評価、定住意向、地域への関心度、近隣との交際状況、地域における行動の状況・意向、地域の活動の参加者を増やすために必要なこと、地域への誇り・愛着、困っていること・不安なこと、手伝ってもらおう相手、相談相手〕	(問1～問11)
(2) 市政に関する情報提供などについて 〔市の情報の入手状況、知りたい市政情報、広報媒体の認知状況〕	(問12～問14)
(3) 市の施策に対する満足度・重要度について 〔市の施策に対する満足度・重要度、市政の現状や問題点、市の将来像〕	(問15～問17)
(4) 自由意見欄	

3 調査設計

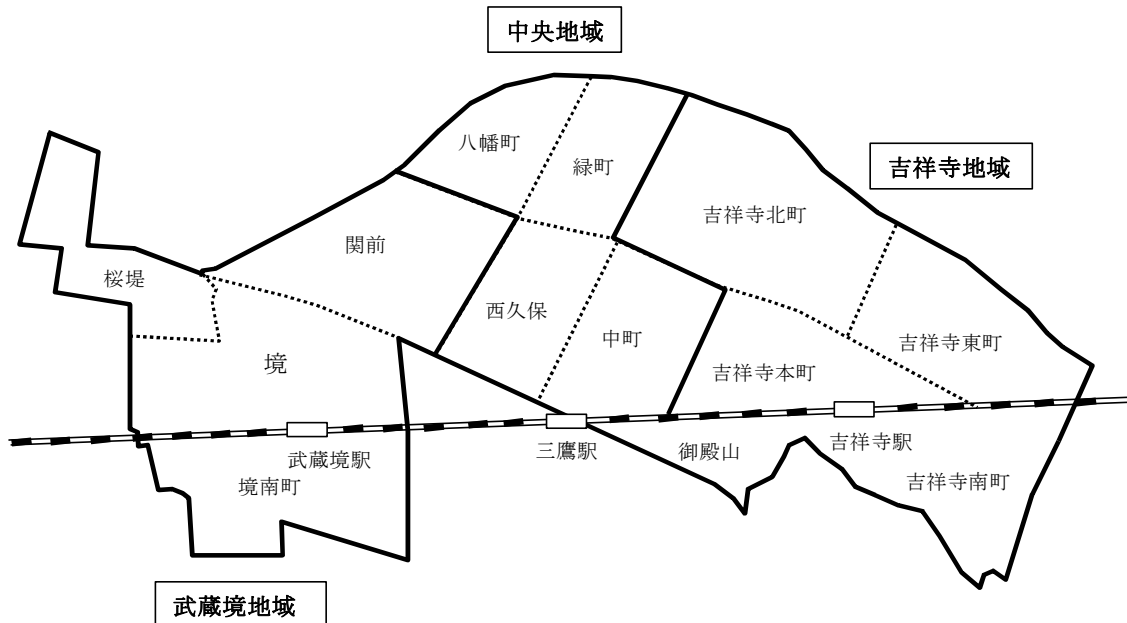
- | | |
|----------|-----------------------------|
| (1) 調査地域 | 武蔵野市全域 |
| (2) 調査対象 | 武蔵野市に居住する満18歳以上の方 |
| (3) 標本抽出 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布一郵送・WEB回収併用・はがきによる督促を1回 |
| (5) 調査時期 | 平成30年7月19日(木)～8月13日(月) |

4 回収結果

	標本数	回収率	
今回	3,500 標本	43.0% (1,504 件)	郵送回収：1,180 件 WEB回収：324 件
平成26年	3,500 標本	40.1% (1,403 件)	
平成22年	3,500 標本	47.8% (1,672 件)	

5 居住地域区分

◆ 居住地域区分図



◆ 居住地域該当町表

<地域名>	<地域該当町>
1 吉祥寺地域	吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町
2 中央地域	中町、西久保、緑町、八幡町
3 武蔵境地域	関前、境、境南町、桜堤

6 報告書の見方

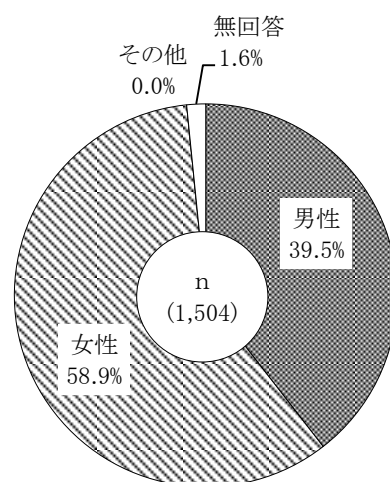
- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数です。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (4) 18～19歳については、回答数が少ないため、数値の見方に注意が必要です。
- (5) 前回の調査（平成26年実施）から調査方法が変更となり、郵送配布一郵送・WEB回収併用法で実施しています。それ以前の調査法とは調査方法が異なるため、比較には注意が必要です。
- (6) 各設問の回答者の属性別の表では、無回答数を省略しているため、合計が全体の数値と合わない場合があります。

Ⅱ 調査回答者の属性

Ⅱ 調査回答者の属性

1 性別

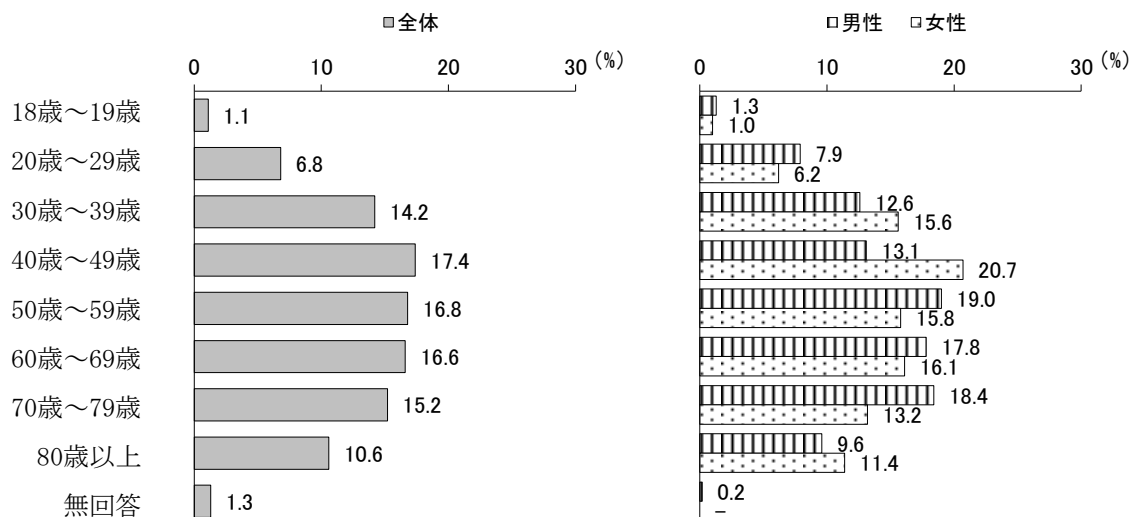
	基 数	構成比 (%)
1 男性	594	39.5
2 女性	886	58.9
3 その他	0	-
(無回答)	24	1.6
合 計	1,504	100.0



2 年齢／性・年齢

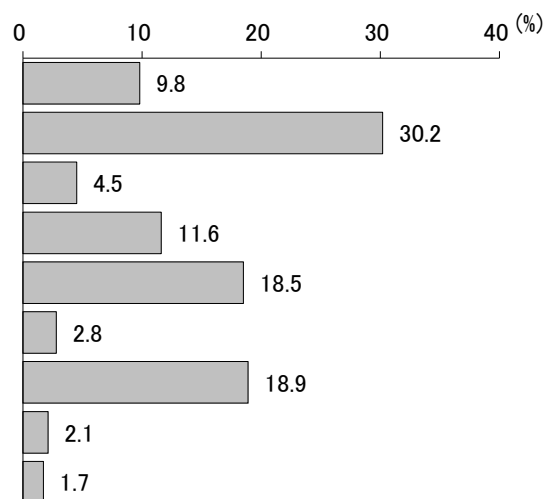
	全体		男性		女性	
	基 数	構成比 (%)	基 数	構成比 (%)	基 数	構成比 (%)
1 18歳～19歳	17	1.1	8	1.3	9	1.0
2 20歳～29歳	102	6.8	47	7.9	55	6.2
3 30歳～39歳	214	14.2	75	12.6	138	15.6
4 40歳～49歳	261	17.4	78	13.1	183	20.7
5 50歳～59歳	253	16.8	113	19.0	140	15.8
6 60歳～69歳	250	16.6	106	17.8	143	16.1
7 70歳～79歳	228	15.2	109	18.4	117	13.2
8 80歳以上	160	10.6	57	9.6	101	11.4
(無回答)	19	1.3	1	0.2	0	-
合 計	1,504	100.0	594	100.0	886	100.0

(注) 性別で無回答が24人いるため、男女を足し合わせても全体の人数にはならない。



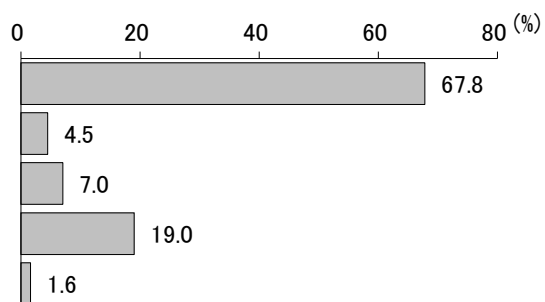
3 職業

	基 数	構成比 (%)
1 自営業・自由業	148	9.8
2 正社員、正職員	454	30.2
3 契約社員、派遣社員	67	4.5
4 アルバイト、パート	174	11.6
5 家事専業	278	18.5
6 学生	42	2.8
7 無職	285	18.9
8 その他	31	2.1
(無回答)	25	1.7
合 計	1,504	100.0



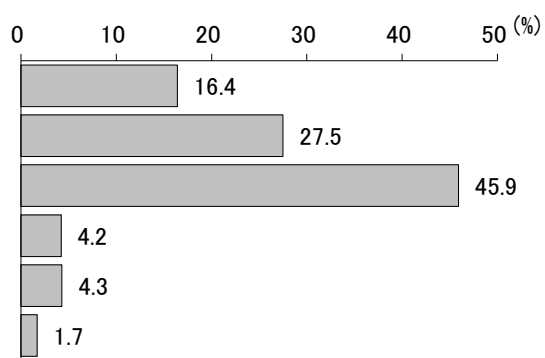
4 婚姻状況

	基 数	構成比 (%)
1 現在、結婚している	1,020	67.8
2 過去に結婚し、離別した	68	4.5
3 過去に結婚し、死別した	106	7.0
4 一度も結婚したことはない	286	19.0
(無回答)	24	1.6
合 計	1,504	100.0



5 家族構成

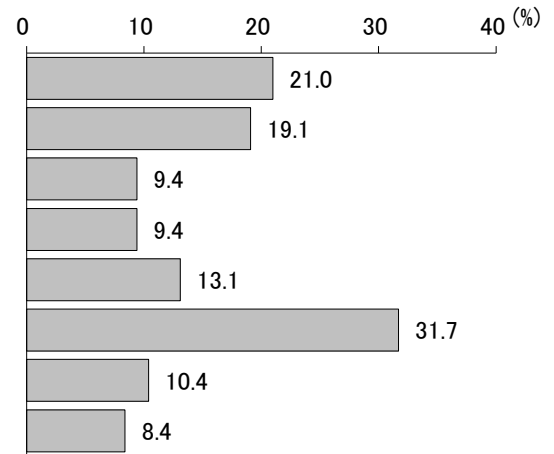
	基 数	構成比 (%)
1 ひとり暮らし	247	16.4
2 夫婦のみ	414	27.5
3 親と子 (2世代世帯)	690	45.9
4 親と子と孫 (3世代世帯)	63	4.2
5 その他	64	4.3
(無回答)	26	1.7
合 計	1,504	100.0



5-1 お子さんの就学状況

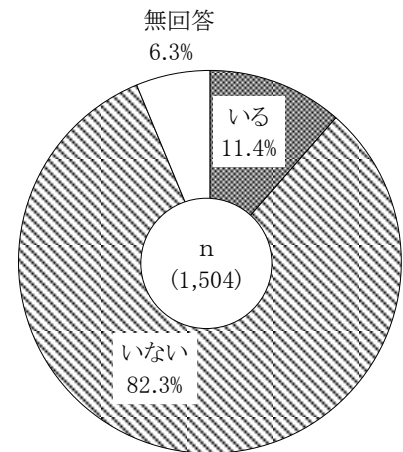
	基 数	比率(%)
1 小学校入学前	158	21.0
2 小学生	144	19.1
3 中学生	71	9.4
4 高校生	71	9.4
5 専門学校、短期大学、大学生等	99	13.1
6 社会人	239	31.7
7 その他	78	10.4
(無回答)	63	8.4
合 計	923	

※回答者数は753です。



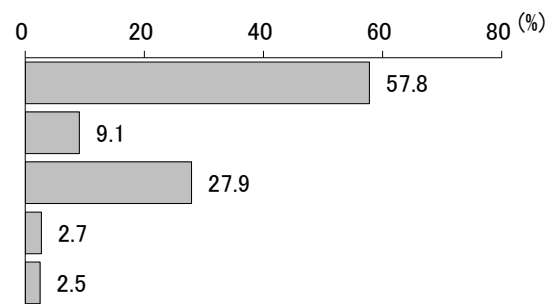
6 介護が必要な高齢者や障がい者の同居の有無

	基 数	構成比(%)
1 いる	172	11.4
2 いない	1,238	82.3
(無回答)	94	6.3
合 計	1,504	100.0



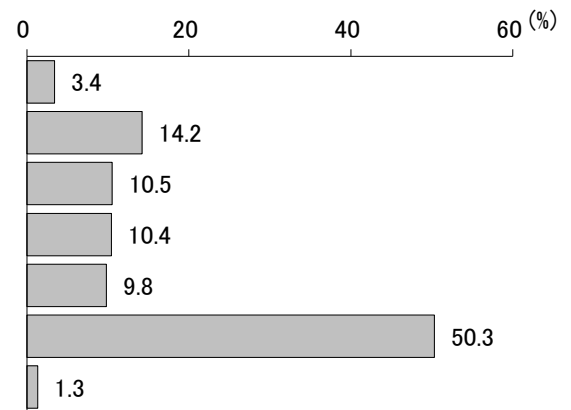
7 日中最も多くの時間を過ごす場所

	基 数	構成比(%)
1 武蔵野市内	870	57.8
2 武蔵野市以外の東京都の市町村	137	9.1
3 東京都23区内	420	27.9
4 東京都外	40	2.7
(無回答)	37	2.5
合 計	1,504	100.0



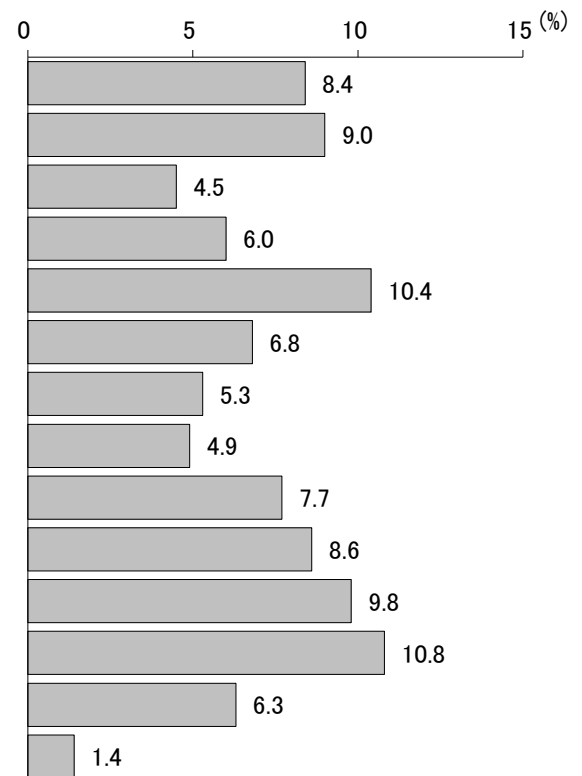
8 居住年数

	基 数	構 成 比 (%)
1 1年未満	51	3.4
2 1年～5年未満	213	14.2
3 5年～10年未満	158	10.5
4 10年～15年未満	157	10.4
5 15年～20年未満	148	9.8
6 20年以上	757	50.3
(無回答)	20	1.3
合 計	1,504	100.0



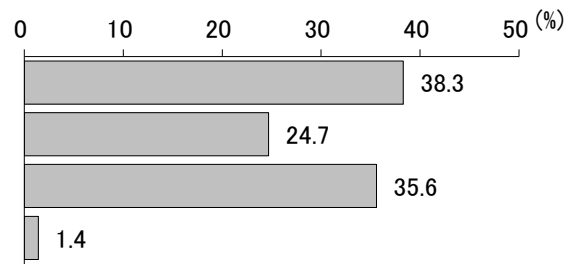
9 居住町名

	基 数	構 成 比 (%)
1 吉祥寺東町	126	8.4
2 吉祥寺南町	135	9.0
3 御殿山	68	4.5
4 吉祥寺本町	90	6.0
5 吉祥寺北町	157	10.4
6 中町	102	6.8
7 西久保	80	5.3
8 緑町	73	4.9
9 八幡町	116	7.7
10 関前	130	8.6
11 境	148	9.8
12 境南町	163	10.8
13 桜堤	95	6.3
(無回答)	21	1.4
合 計	1,504	100.0



9-1 居住地域※

	基 数	構成比(%)
1 吉祥寺地域	576	38.3
2 中央地域	371	24.7
3 武蔵境地域	536	35.6
(無回答)	21	1.4
合 計	1,504	100.0



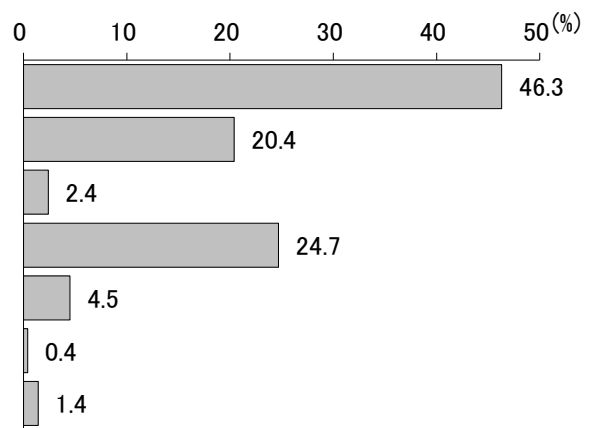
※吉祥寺地域 … (吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)

中央地域 … (中町、西久保、緑町、八幡町)

武蔵境地域 … (関前、境、境南町、桜堤)

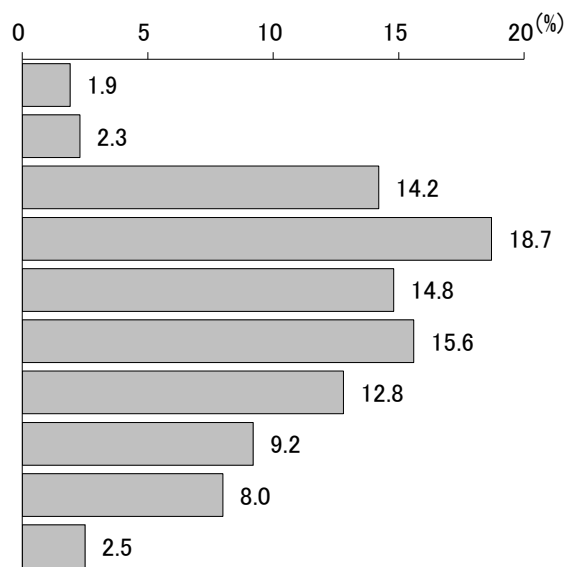
10 住宅の種類

	基 数	構成比(%)
1 持ち家 (戸建て)	696	46.3
2 持ち家 (マンション等の集合住宅)	307	20.4
3 借家 (戸建て)	36	2.4
4 借家 (マンション・アパート等の集合住宅)	371	24.7
5 社宅・寮	67	4.5
6 その他 (福祉施設など)	6	0.4
(無回答)	21	1.4
合 計	1,504	100.0



11 世帯収入

	基 数	構成比(%)
1 収入なし	29	1.9
2 100万円未満	35	2.3
3 100～300万円未満	213	14.2
4 300～500万円未満	281	18.7
5 500～700万円未満	223	14.8
6 700～1,000万円未満	235	15.6
7 1,000～1,500万円未満	193	12.8
8 1,500万円以上	138	9.2
9 わからない	120	8.0
(無回答)	37	2.5
合 計	1,504	100.0



Ⅲ 調査結果

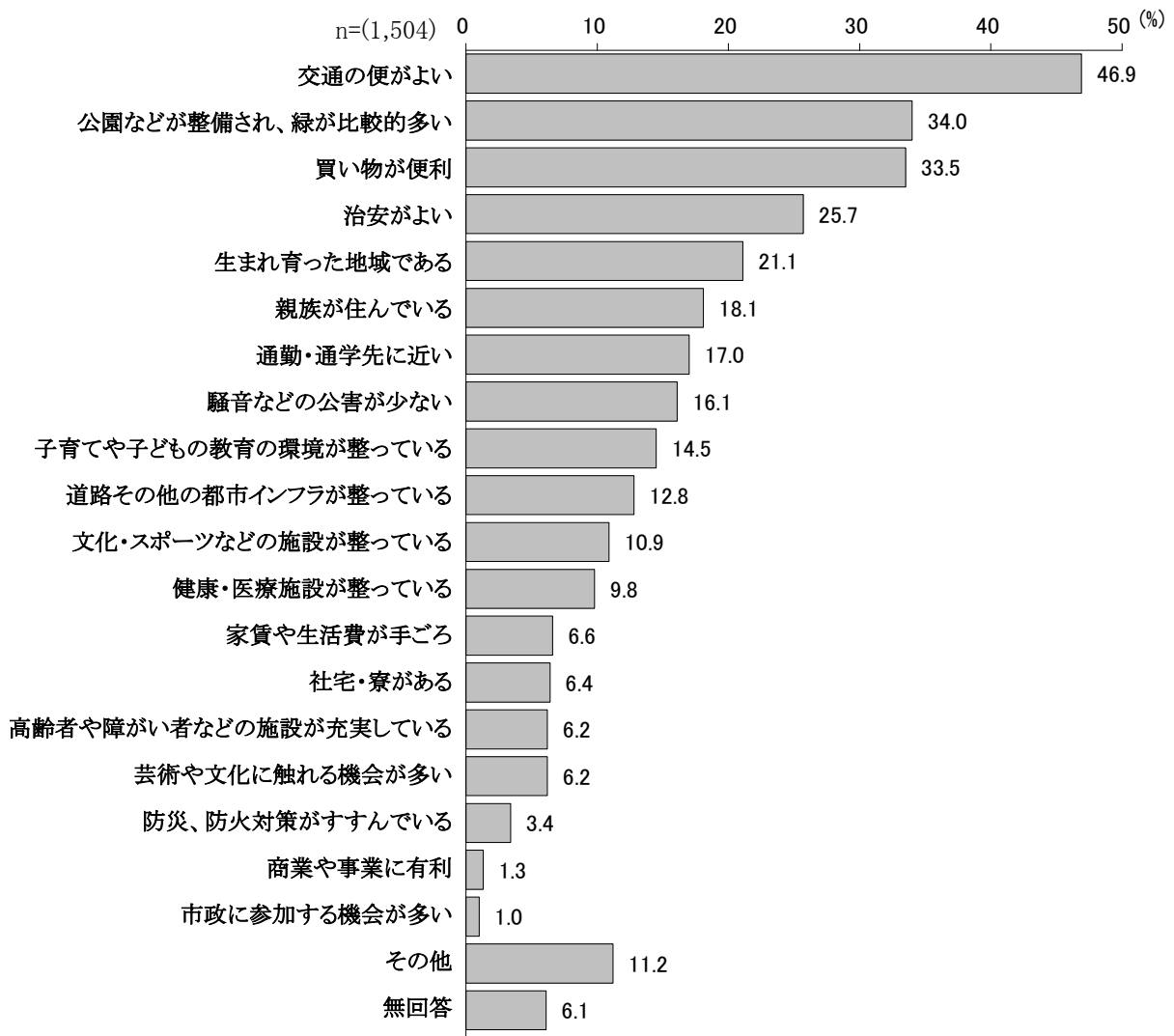
1 お住まいの地域のことについて

1-1 定住のきっかけ

- ◎ 「交通の便がよい」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」、「買い物が便利」が上位3項目。

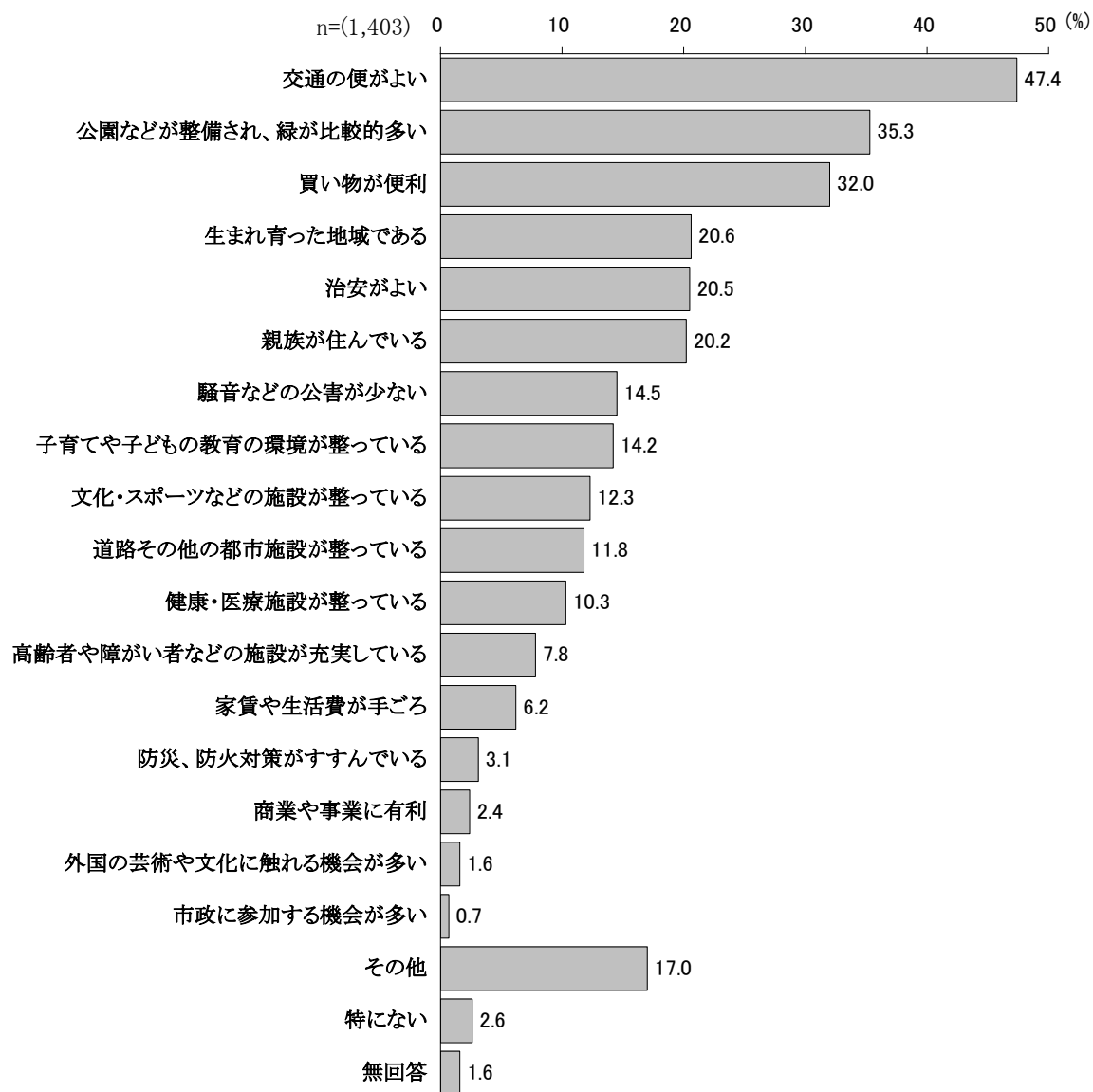
問1 あなたが現在住んでいるところに住みはじめた理由は何ですか。（〇はいくつでも）

図表1-1 定住のきっかけ（複数回答）



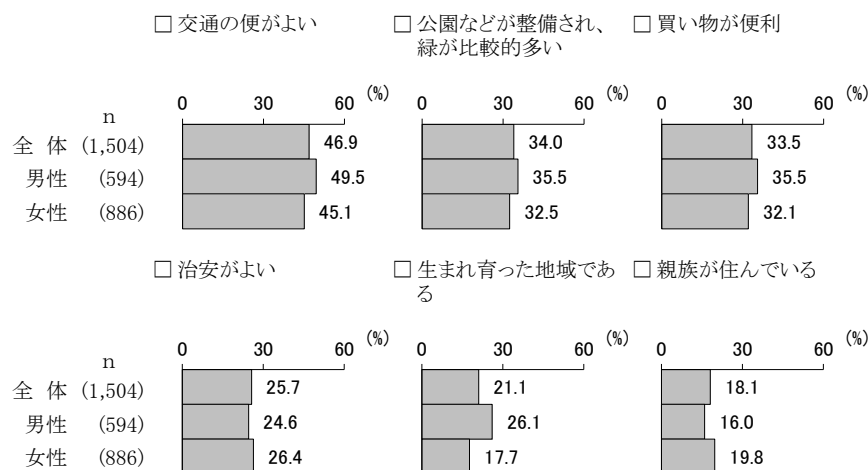
定住のきっかけとしては、「交通の便がよい」（46.9%）が4割台半ばを超えて最も高い。次いで、「公園などが整備され、緑が比較的多い」（34.0%）、「買い物が便利」（33.5%）が3割台、「治安がよい」（25.7%）、「生まれ育った地域である」（21.1%）がそれぞれ2割台で続く。（図表1-1）

参考：平成 26 年度調査の結果



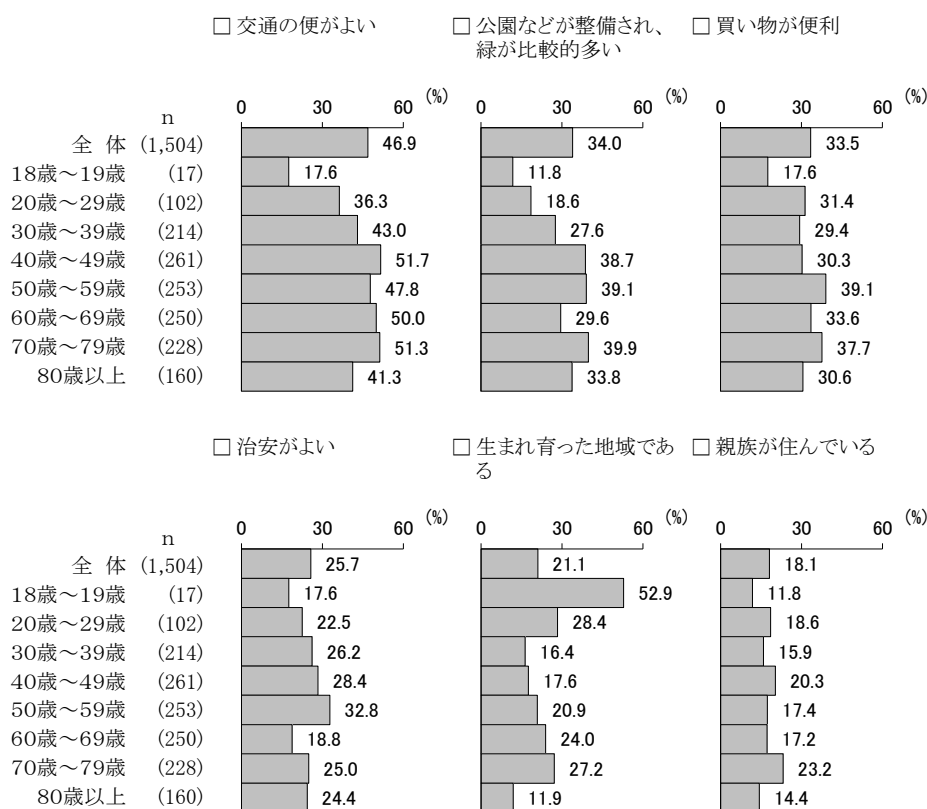
前回調査と比較すると、一部選択肢の変更があったものの上位 3 項目の順位は変わっておらず、上位 3 項目の割合が高い点も同様である。

図表 1-2 定住のきっかけ (性別) 上位 6 項目



上位 6 項目について、性別で見ると、「生まれ育った地域である」では、男性の方が女性よりも 8.4 ポイント高くなっている。他の項目では性別による大きな違いは見られない。(図表 1-2)

図表 1-3 定住のきっかけ (年代別) 上位 6 項目



年代別で見ると、「交通の便がよい」は、40歳~49歳、70歳~79歳で5割台前半、60歳~69歳で5割となっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、70歳~79歳で約4割と最も高く、次いで50歳~59歳でも約4割、40歳~49歳で3割台後半となっている。「買い物が便利」は、50歳~59歳で約4割と最も高く、次いで70歳~79歳で3割台後半となっている。「治安がよい」は、50歳~59歳で3割台前半と最も高く、次いで40歳~49歳で2割台後半となっている。「生まれ育った地域である」は、18歳~19歳が5割台前半で最も高く、20歳~29歳、70歳~79歳で2割台後半となっている。「親族が住んでいる」は、70歳~79歳、40歳~49歳で2割台となっている。(図表 1-3)

図表 1 - 4 定住のきっかけ（居住地域別） 上位 5 項目

(%)

順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性						
全体		交通の便がよい 46.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 34.0	買い物が便利 33.5	治安がよい 25.7	生まれ育った地域 である 21.1
居住地域	吉祥寺地域	交通の便がよい 46.9	買い物が便利 41.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 33.7	治安がよい 22.4	親族が住んでいる 22.0
	吉祥寺東町	交通の便がよい 45.2	買い物が便利 39.7	親族が住んでいる 25.4	生まれ育った地域 である 23.0	治安がよい 21.4
	吉祥寺南町	交通の便がよい 52.6	買い物が便利 48.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 45.2	親族が住んでいる 24.4	治安がよい 23.0
	御殿山	交通の便がよい 60.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 48.5	買い物が便利 44.1	治安がよい 32.4	親族が住んでいる 20.6
	吉祥寺本町	買い物が便利 48.9	交通の便がよい 42.2	生まれ育った地域 である 25.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 23.3	治安がよい 21.1
	吉祥寺北町	交通の便がよい 40.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 35.0	買い物が便利 29.9	生まれ育った地域 である 19.7	治安がよい 19.1
	中央地域	交通の便がよい 50.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 34.2	買い物が便利 27.0	治安がよい 24.5	生まれ育った地域 である 18.6
	中町	交通の便がよい 68.6	買い物が便利 34.3	通勤・通学先に近い 31.4	治安がよい 30.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 29.4
	西久保	交通の便がよい 51.3	買い物が便利 30.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 26.3	生まれ育った地域 である 25.0	通勤・通学先に近い 22.5
	緑町	交通の便がよい 56.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 52.1	買い物が便利 32.9	治安がよい 30.1	文化・スポーツなどの 施設が整っている 30.1
	八幡町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 32.8	交通の便がよい 30.2	社宅・寮がある 22.4	生まれ育った地域 である 19.8	治安がよい 17.2
	武蔵境地域	交通の便がよい 44.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 33.6	治安がよい 30.6	買い物が便利 29.7	生まれ育った地域 である 23.5
	関前	交通の便がよい 36.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 35.4	治安がよい 29.2	生まれ育った地域 である 24.6	親族が住んでいる 20.8
	境	交通の便がよい 50.7	買い物が便利 39.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 33.8	治安がよい 30.4	生まれ育った地域 である 23.0
	境南町	交通の便がよい 53.4	買い物が便利 40.5	治安がよい 32.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 22.7	通勤・通学先に近い 22.1
	桜堤	公園などが整備され、 緑が比較的多い 49.5	騒音などの公害が 少ない 31.6	交通の便がよい 29.5	治安がよい 29.5	生まれ育った地域 である 27.4

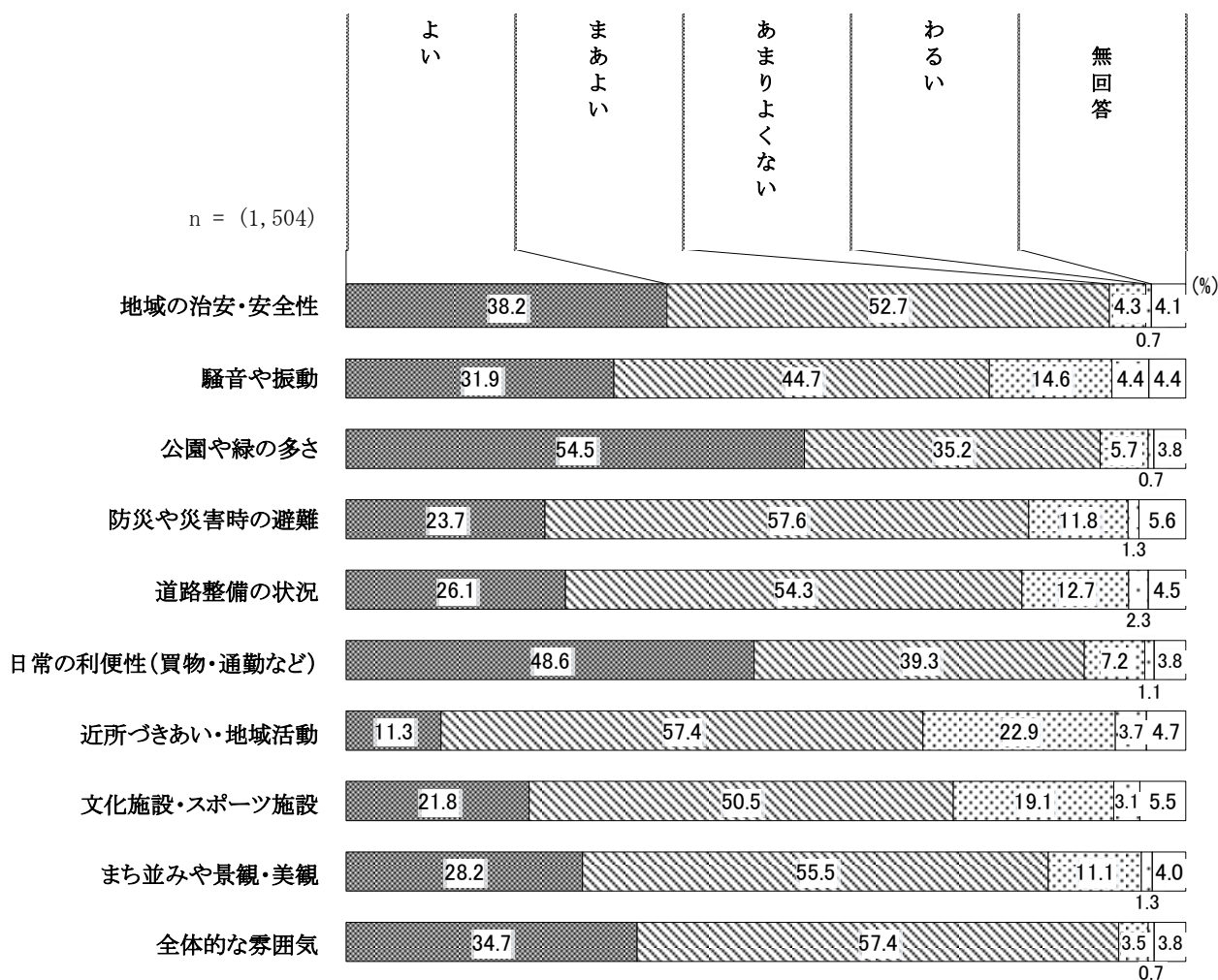
居住地域別で見ると、「交通の便がよい」は、吉祥寺本町、八幡町、桜堤以外で第1位となっており、中町で6割台後半と最も高くなっている。「買い物が便利」は、吉祥寺本町で第1位となっており、「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、八幡町、桜堤で第1位となっている。（図表1-4）

1-2 生活環境の評価

- ◎ 「よい」が〔公園や緑の多さ〕で5割台半ば、〔日常の利便性（買物・通勤など）〕で4割台後半。〔全体的な雰囲気〕では「まあよい」が5割台後半である。

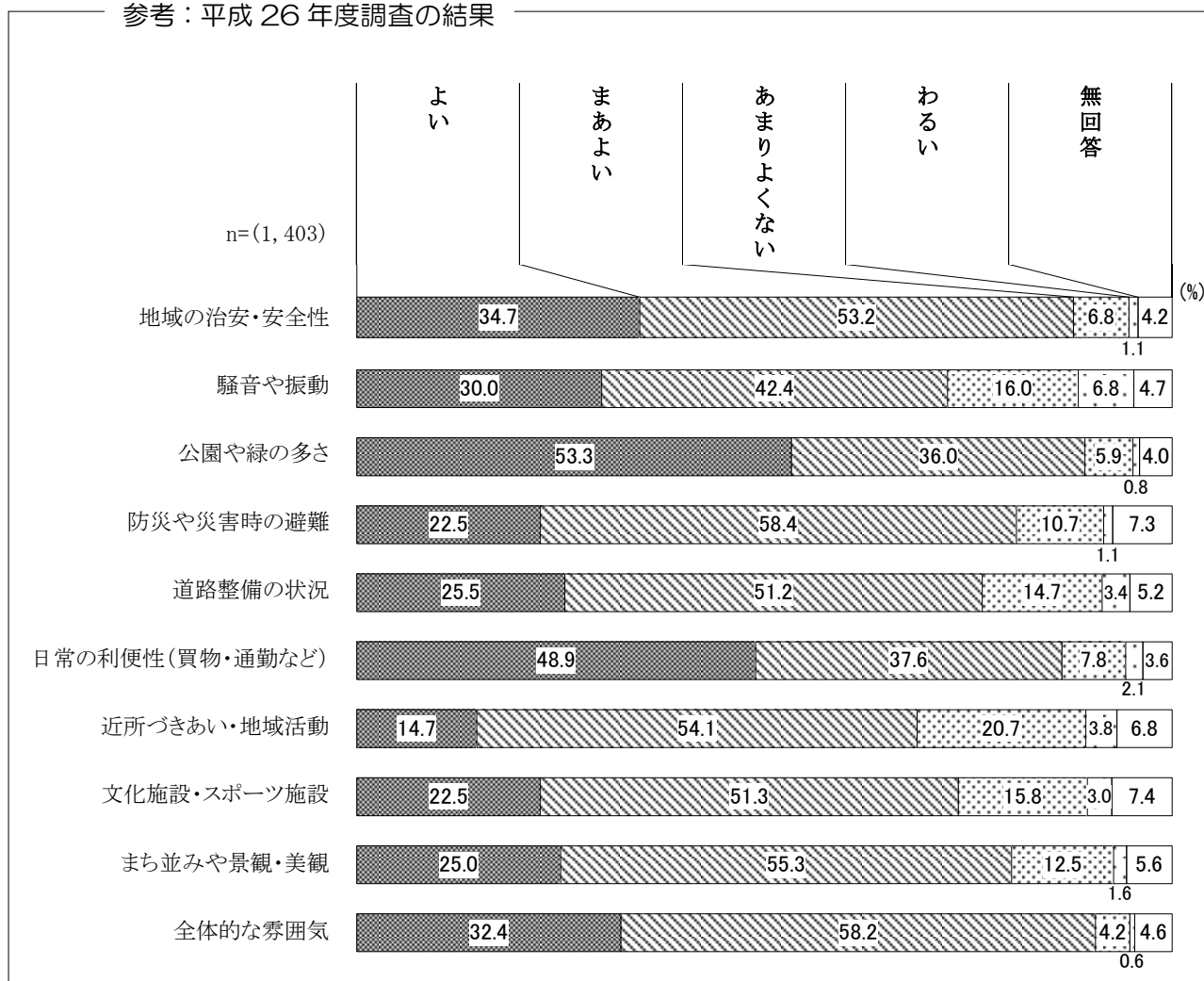
問2 あなたは、お住まいの周りの環境についてどう思いますか。（○はそれぞれ1つ）

図表1-5 生活環境の評価



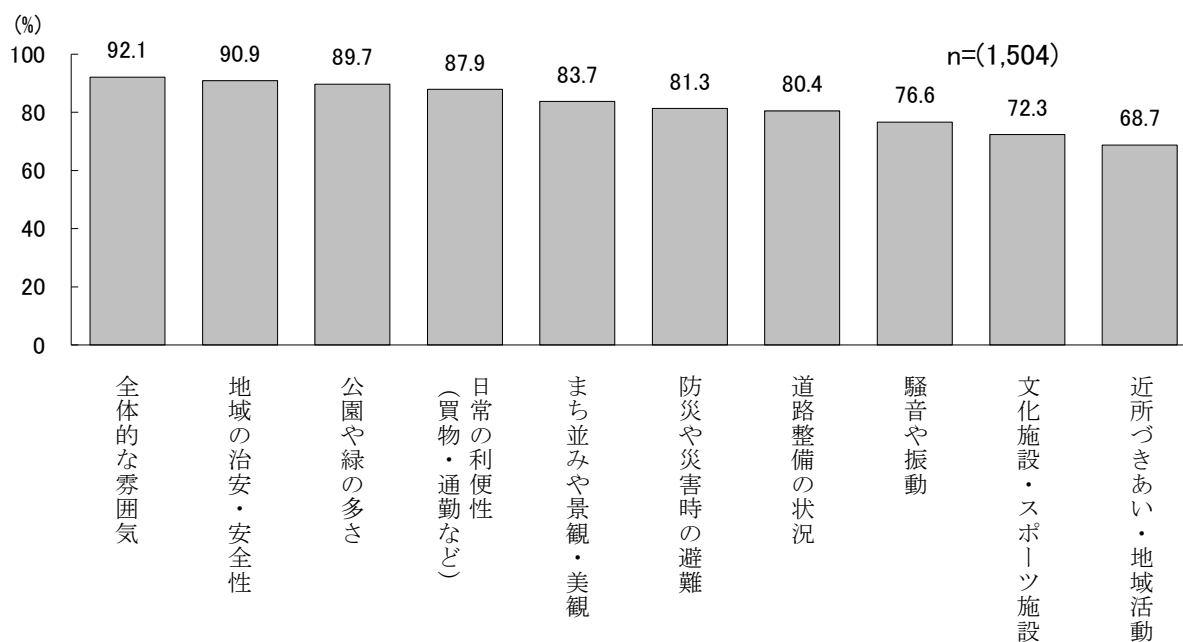
〔全体的な雰囲気〕では、「よい」（34.7%）が3割台半ば、「まあよい」（57.4%）が5割台後半で合わせて9割以上の方から評価を得ている。その他に「よい」が多い項目は、〔公園や緑の多さ〕（54.5%）が5割台半ば、〔日常の利便性（買物・通勤など）〕（48.6%）が4割台後半となっている。その他の項目では「まあよい」がそれぞれ最も高い。（図表1-5）

参考：平成 26 年度調査の結果



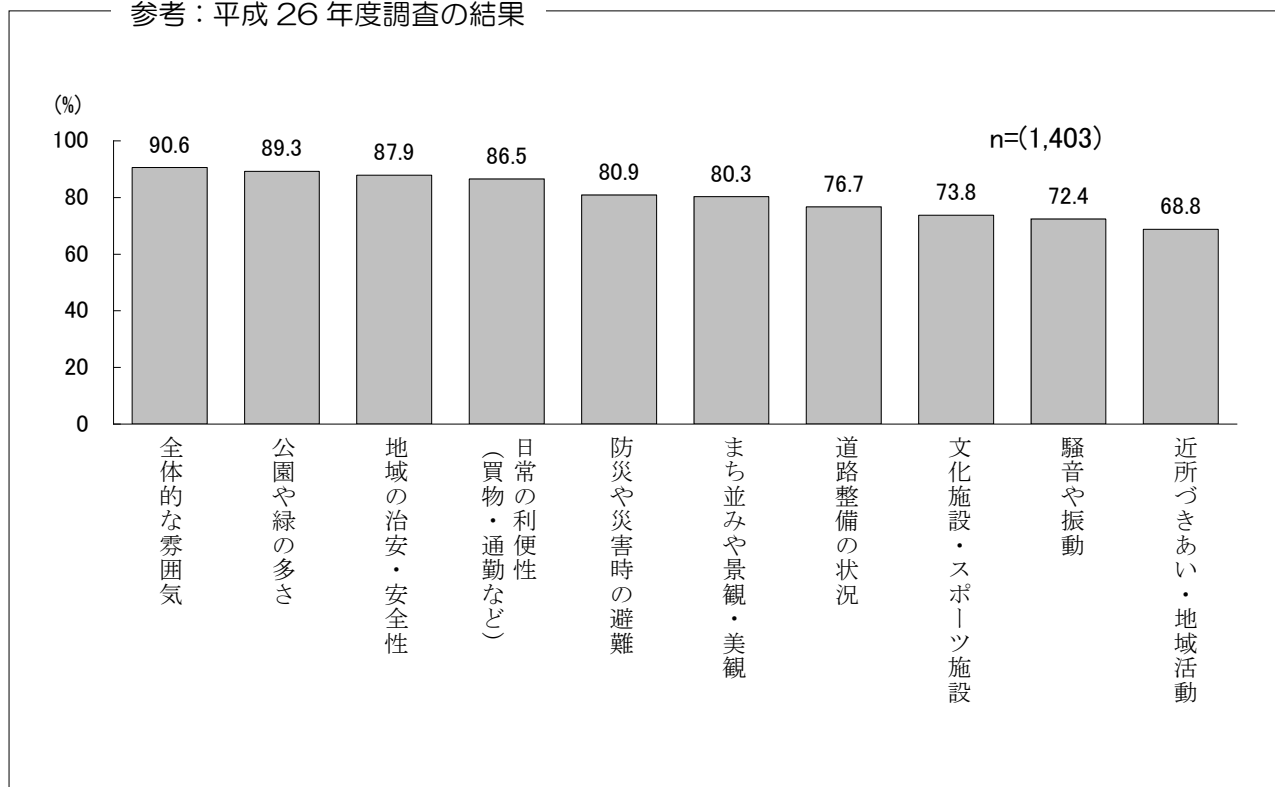
前回調査と比較すると、「全体的な雰囲気」は「よい」が2.3ポイント増加し、「まあよい」は、ほとんど変化が見られない。個別にみると、「地域の治安・安全性」について「よい」の割合が3.5ポイント増加しており、「近所づきあい・地域活動」について「よい」が3.4ポイント減少している。

図表 1-6 生活環境の評価（『よい』の多い順）



『よい』（「よい」＋「まあよい」）の多さでみると、〔全体的な雰囲気〕、〔地域の治安・安全性〕、〔公園や緑の多さ〕が約9割となっている。次いで、〔日常の利便性（買物・通勤など）〕が、8割台後半となっている。（図表 1-6）

参考：平成 26 年度調査の結果



図表 1-7 生活環境の評価（『よい』の多い順、性別・居住地域別）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		全体的な雰囲気 92.1	地域の治安・安全性 90.9	公園や緑の多さ 89.7	日常の利便性 (買物・通勤など) 87.9	まち並みや景観・美観 83.7
性別	男性	全体的な雰囲気 92.6	地域の治安・安全性 91.4	日常の利便性 (買物・通勤など) 89.7	公園や緑の多さ 88.7	防災や災害時の避難 84.4
	女性	全体的な雰囲気 92.0	地域の治安・安全性 90.8	公園や緑の多さ 90.7	日常の利便性 (買物・通勤など) 86.8	まち並みや景観・美観 85.1
居住地域	吉祥寺地域	全体的な雰囲気 93.4	日常の利便性 (買物・通勤など) 91.5	公園や緑の多さ 91.0	地域の治安・安全性 89.9	まち並みや景観・美観 82.8
	中央地域	地域の治安・安全性 91.7	全体的な雰囲気 90.6	公園や緑の多さ 88.7	日常の利便性 (買物・通勤など) 85.5	まち並みや景観・美観 84.6
	武蔵境地域	全体的な雰囲気 91.8	地域の治安・安全性 91.6	公園や緑の多さ 89.3	日常の利便性 (買物・通勤など) 85.5	まち並みや景観・美観 84.1

『よい』（「よい」＋「まあよい」）の上位5項目を属性別に分析した。

性別で見ると、1位から2位は変わらず、3位は男性では「日常の利便性（買物・通勤など）」、女性では「公園や緑の多さ」となっている。

居住地域別で見ると、吉祥寺地域、武蔵境地域で「全体的な雰囲気」が1位となっている。中央地域では「地域の治安・安全性」が1位となっている。2位は吉祥寺地域で「日常の利便性（買物・通勤など）」、中央地域で「全体的な雰囲気」、武蔵境地域で「地域の治安・安全性」となっている。（図表1-7）

図表 1-8 生活環境の評価
 (『よい』の多い順、子どもの就学状況別・介護が必要な同居家族の有無別)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
子どもの就学状況	小学校入学前	全体的な雰囲気 95.6	防災や災害時の避難 92.4	地域の治安・安全性 91.2	公園や緑の多さ 90.5	まち並みや景観・美観 89.9
	小学生	全体的な雰囲気 94.4	地域の治安・安全性 91.7	公園や緑の多さ 90.3	近所づきあい・地域活動 89.6	まち並みや景観・美観 88.9
	中学生	全体的な雰囲気 94.4	地域の治安・安全性 93.0	公園や緑の多さ 90.1	-	-
	高校生および高校生相当年齢	地域の治安・安全性 94.3	全体的な雰囲気 93.0	公園や緑の多さ 92.9	日常の利便性(買物・通勤など) 91.5	まち並みや景観・美観 87.3
	専門学校、短期大学、大学生等	日常の利便性(買物・通勤など) 97.0	全体的な雰囲気 94.9	地域の治安・安全性 93.9	公園や緑の多さ 92.9	まち並みや景観・美観 89.9
	社会人	全体的な雰囲気 91.2	地域の治安・安全性 90.4	公園や緑の多さ 89.6	日常の利便性(買物・通勤など) 87.8	まち並みや景観・美観 81.1
	その他	全体的な雰囲気 92.3	公園や緑の多さ 89.7	地域の治安・安全性 87.2	道路整備の状況 84.7	日常の利便性(買物・通勤など) 84.6
	介護が必要な同居家族の有無別	いる	全体的な雰囲気 91.3	地域の治安・安全性 90.7	公園や緑の多さ 89.0	日常の利便性(買物・通勤など) 83.1
いない	全体的な雰囲気 92.9	地域の治安・安全性 91.1	公園や緑の多さ 90.3	日常の利便性(買物・通勤など) 88.5	まち並みや景観・美観 84.5	

『よい』(「よい」+「まあよい」)の多い5項目を子どもの就学状況別で見ると、小学校入学前、小学生、中学生、社会人、その他で「全体的な雰囲気」が1位となっている。高校生及び高校生相当年齢では「地域の治安・安全性」、専門学校、短期大学、大学生等では「日常の利便性(買物・通勤など)」がそれぞれ1位となっている。

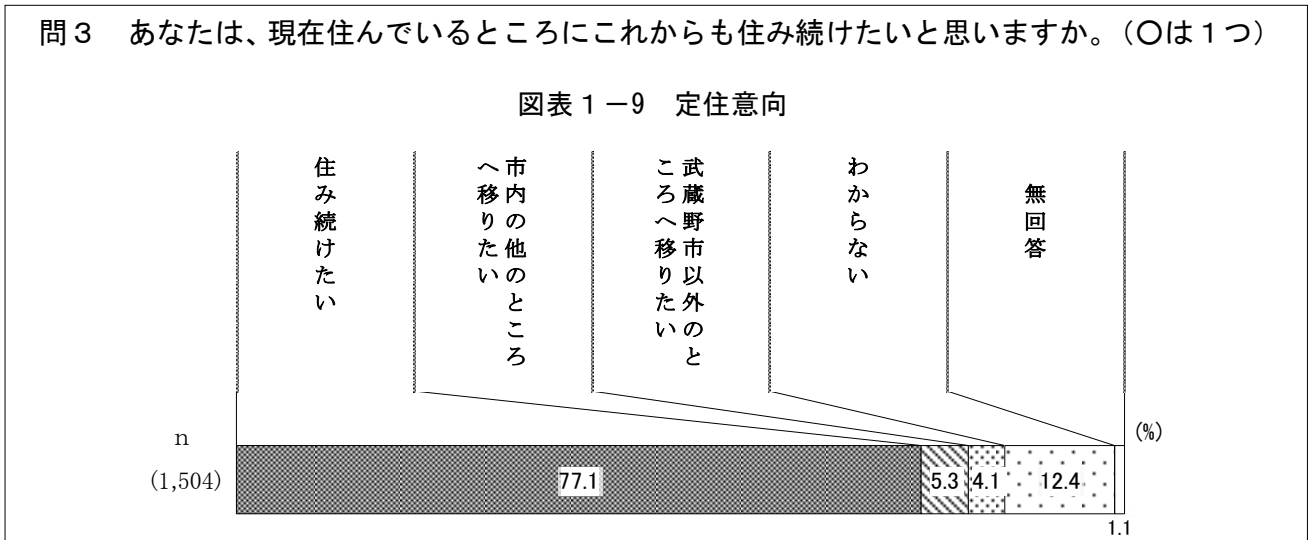
介護が必要な同居家族の有無別で見ると、1位から4位までは変わらず、5位が介護が必要な同居家族がいる場合は「道路整備の状況」で、介護が必要な同居家族がいない場合は「まち並みや景観・美観」となっている。(図表1-8)

1-3 定住意向

◎ 「住み続けたい」が7割台後半と最も高い。

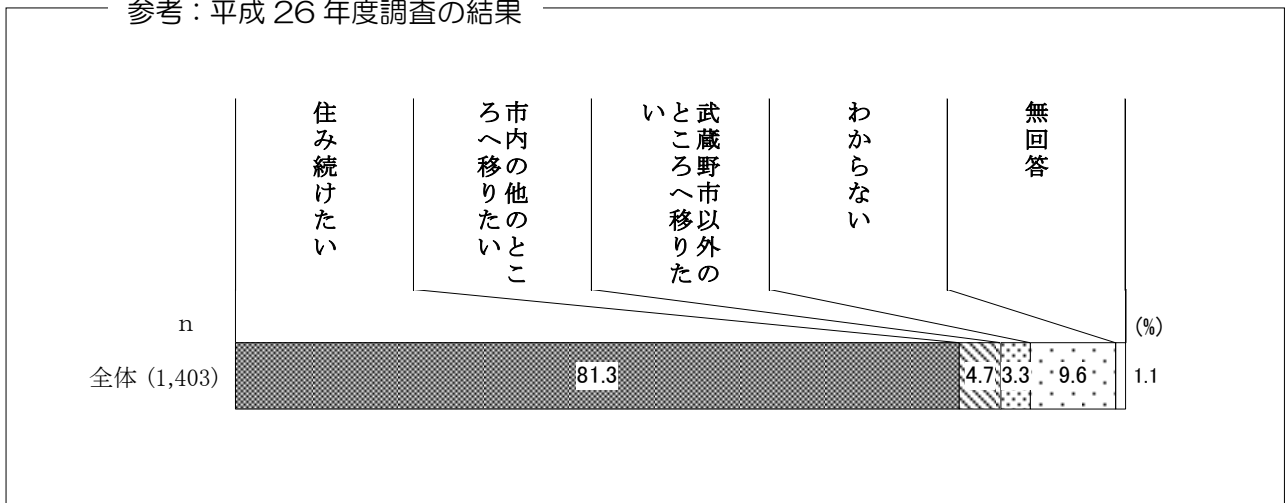
問3 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

図表1-9 定住意向



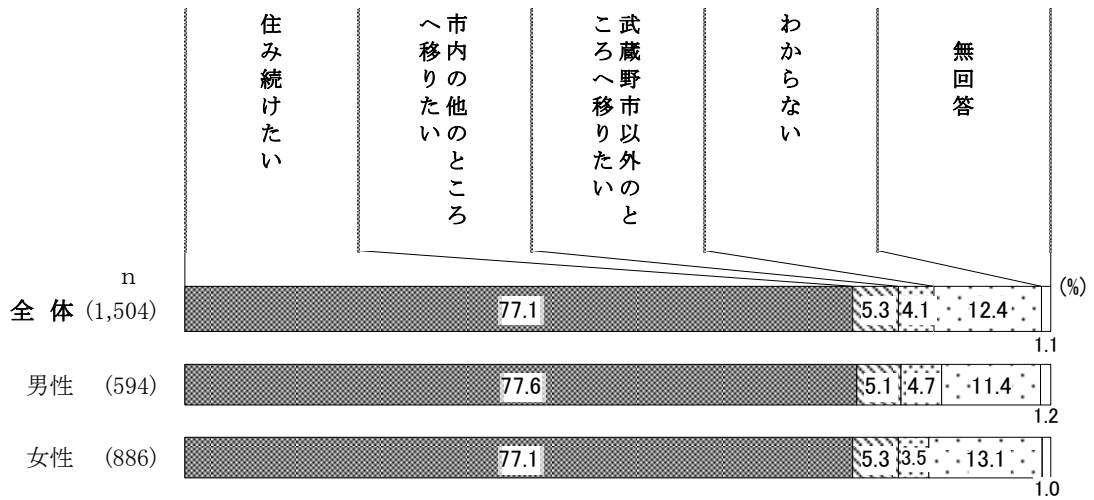
定住意向としては、「住み続けたい」(77.1%)が7割台後半と最も高くなっている。(図表1-9)

参考：平成26年度調査の結果



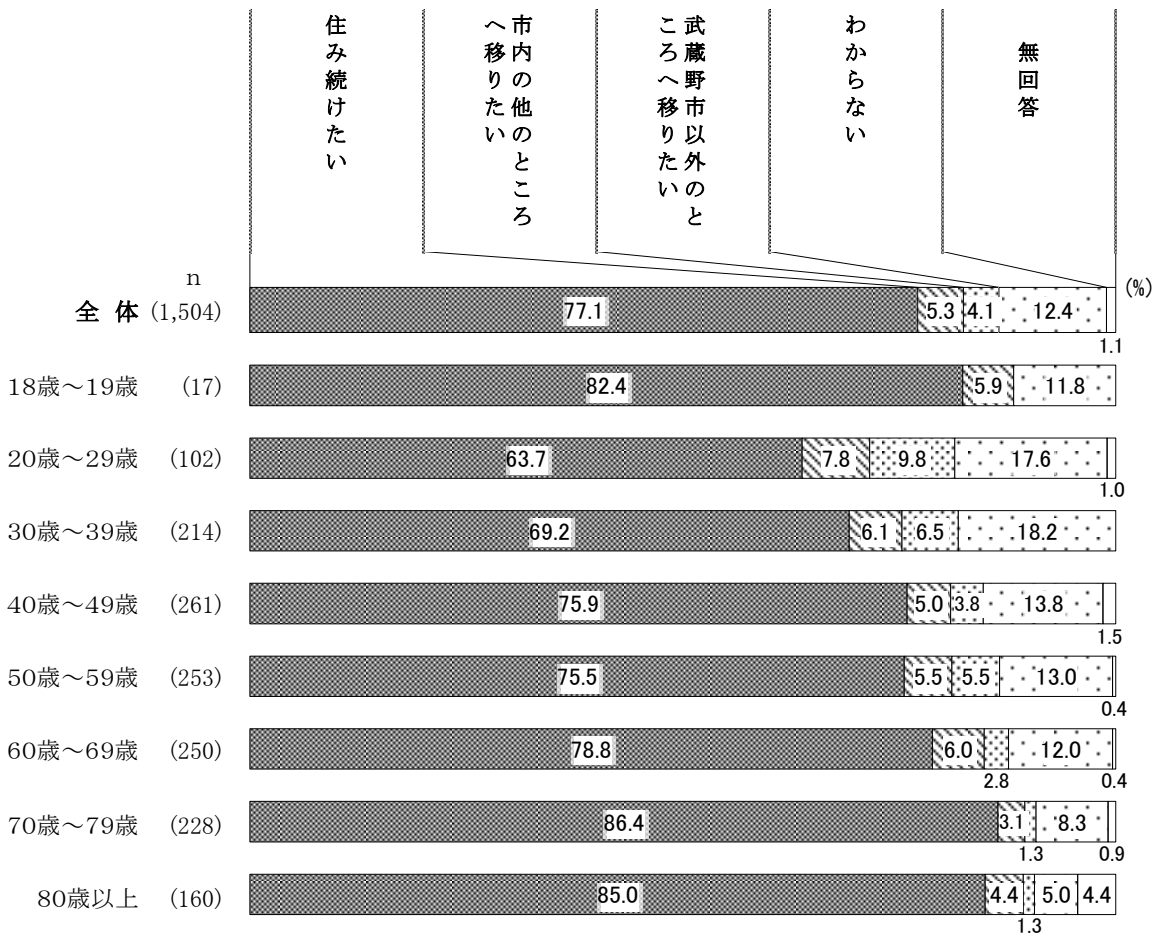
前回調査と比較すると、「住み続けたい」が4.2ポイント減少している。

図表 1-10 定住意向 (性別)



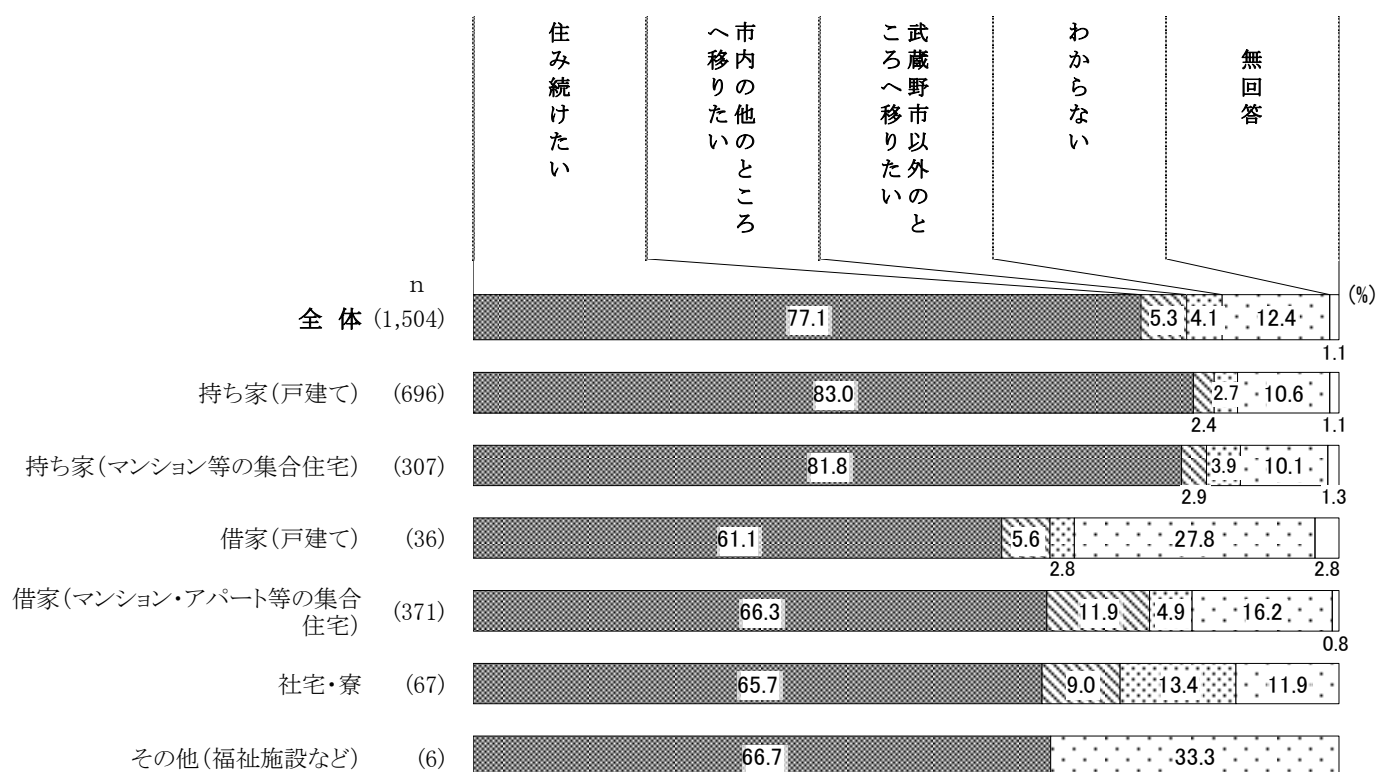
性別で見ると、特に大きな違いは見られない。(図表 1-10)

図表 1-11 定住意向 (年代別)



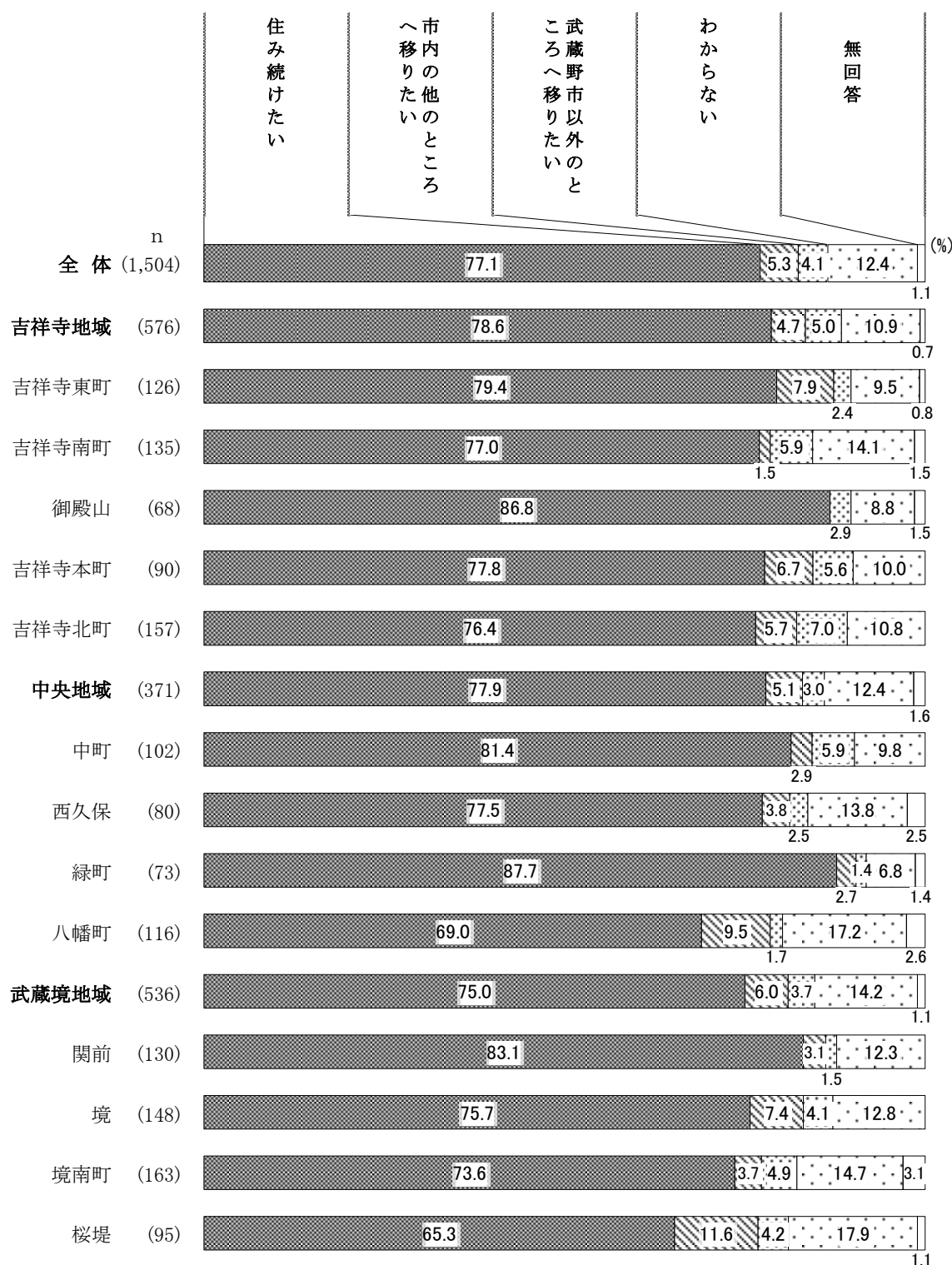
年代別で見ると、「住み続けたい」は、20歳以上では年代が上がるほど増加する傾向にあり、70歳以上の年代で8割を超えている。一方、「わからない」は、年代が低くなるほど増加する傾向にあり、20歳～29歳、30歳～39歳では1割台後半と他の年代に比べて高くなっている。(図表 1-11)

図表 1-12 定住意向 (住宅の種類別)



住宅の種類別で見ると、「住み続けたい」は、持ち家（戸建て）、持ち家（マンション等の集合住宅）で8割を超え、それ以外では6割台となっている。（図表 1-12）

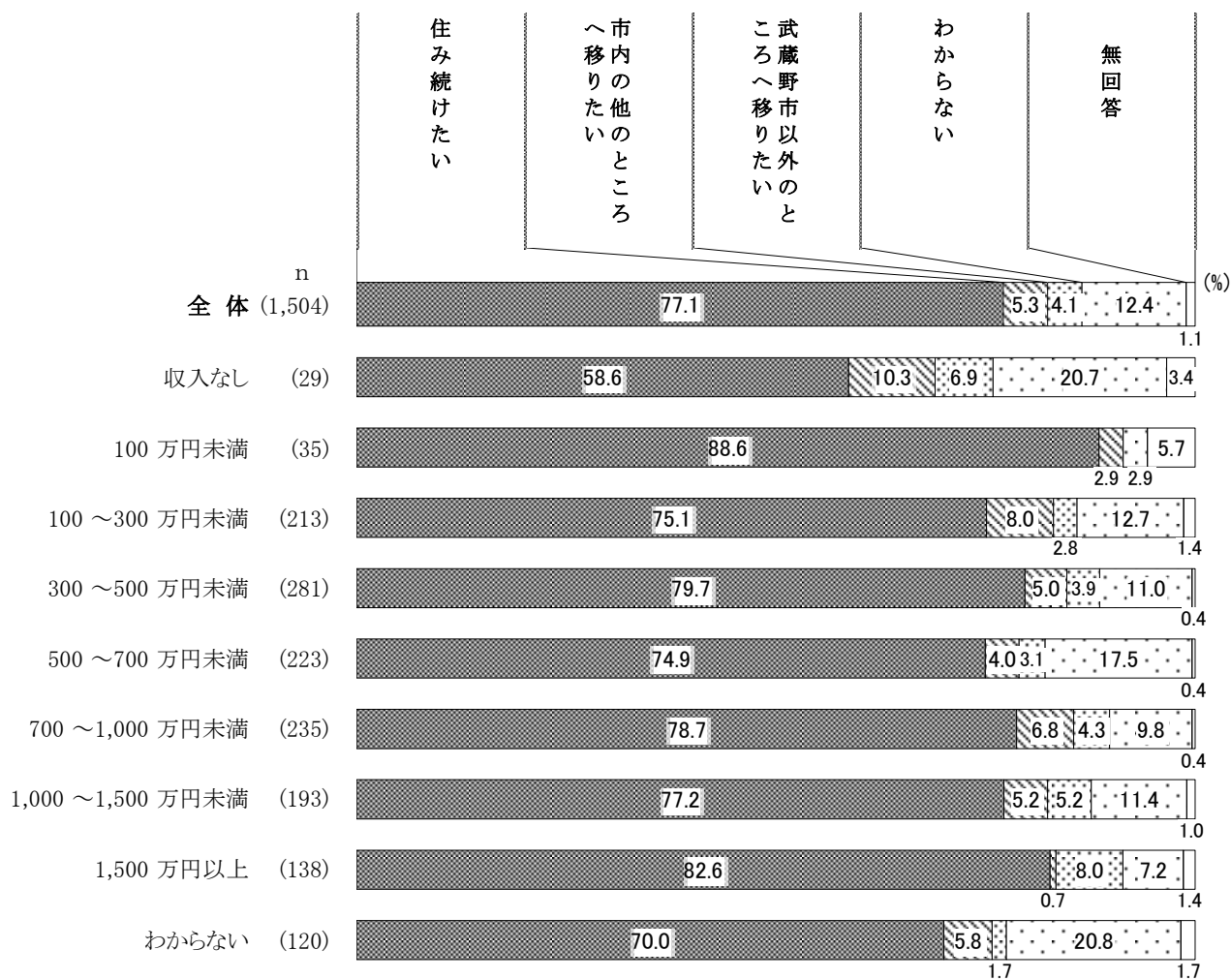
図表 1-13 定住意向 (居住地域別)



居住地域別で見ると、「住み続けたい」は、吉祥寺地域で8割弱と最も高くなっており、中央地域で7割台後半、武蔵境地域では7割台半ばとなっている。

居住町名別で見ると、「住み続けたい」は、緑町で8割台後半と最も高く、次いで御殿山でも8割台後半、関前で8割台前半となっている。(図表 1-13)

図表 1-14 定住意向 (世帯収入別)



世帯収入別で見ると、「住み続けたい」は、100万円未満で8割台後半と最も高く、次いで1,500万円以上で8割台前半、300～500万円未満で約8割、700～1,000万円未満で7割台後半となっている。(図表 1-14)

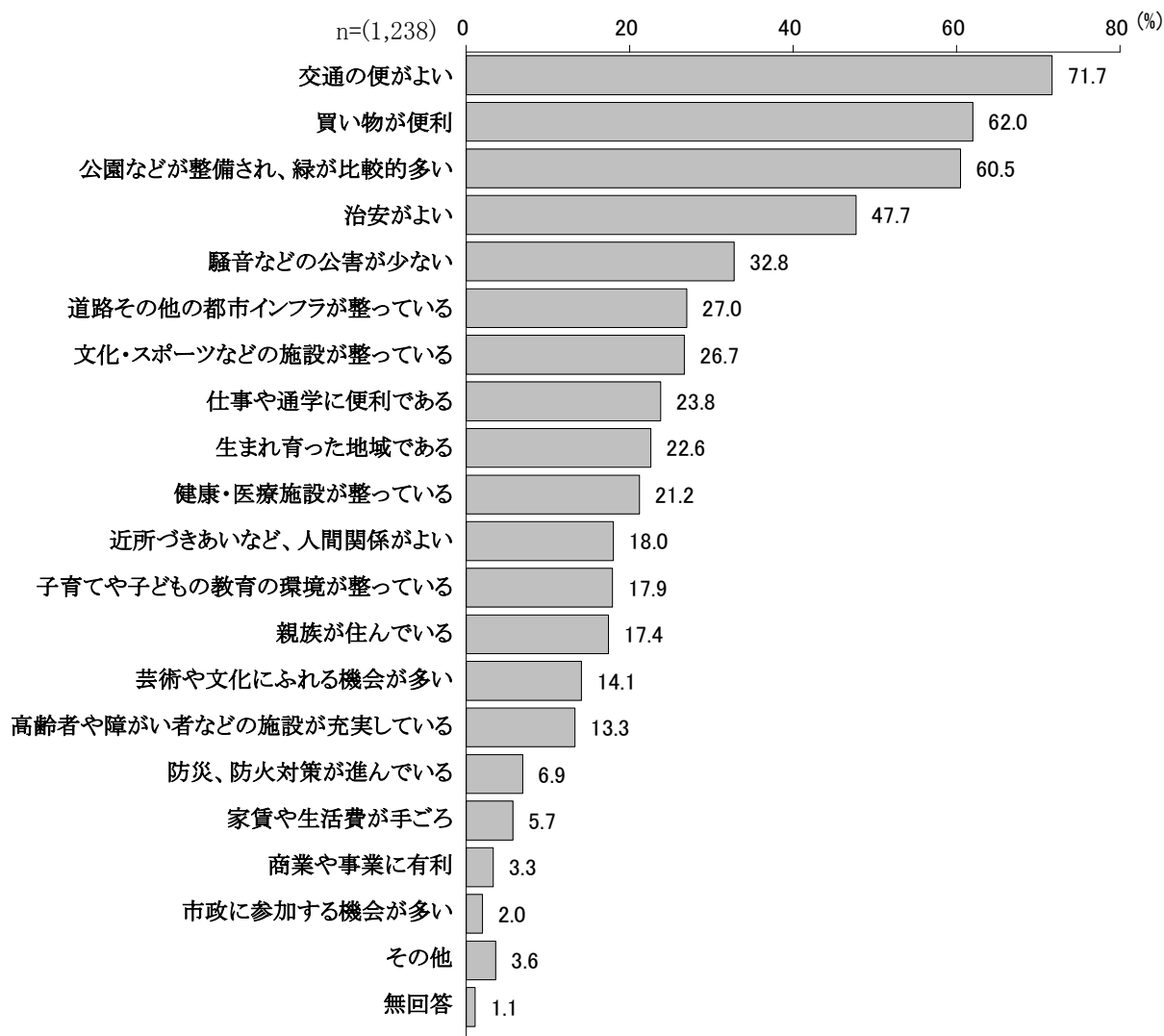
1-4 定住意向の理由

- ◎ 「交通の便がよい」、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が上位3項目を占める。

(問3で「住み続けたい」か「市内の他のところへ移りたい」とお答えの方に)

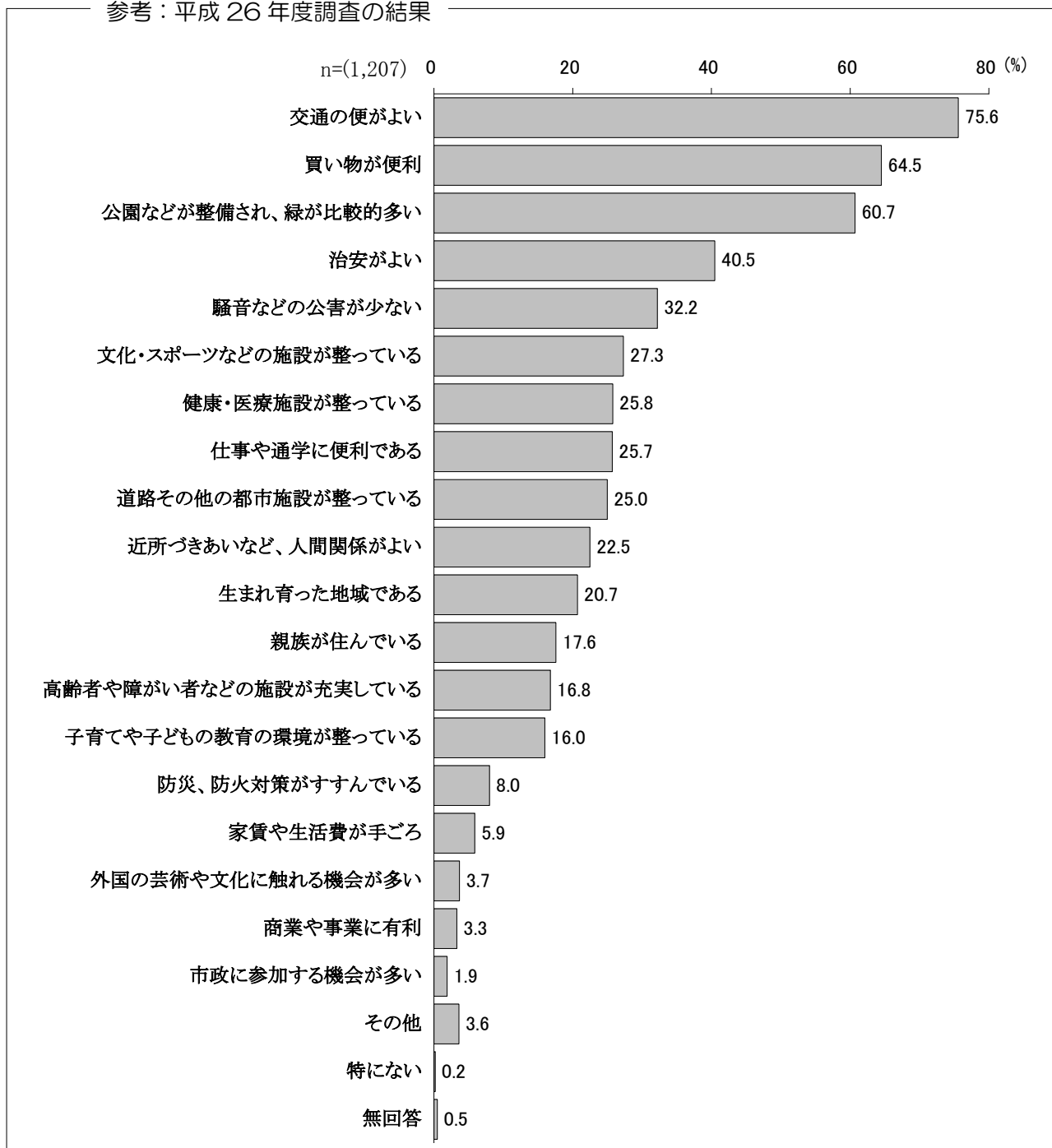
問3-1 武蔵野市内に住み続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-15 定住意向の理由(複数回答)



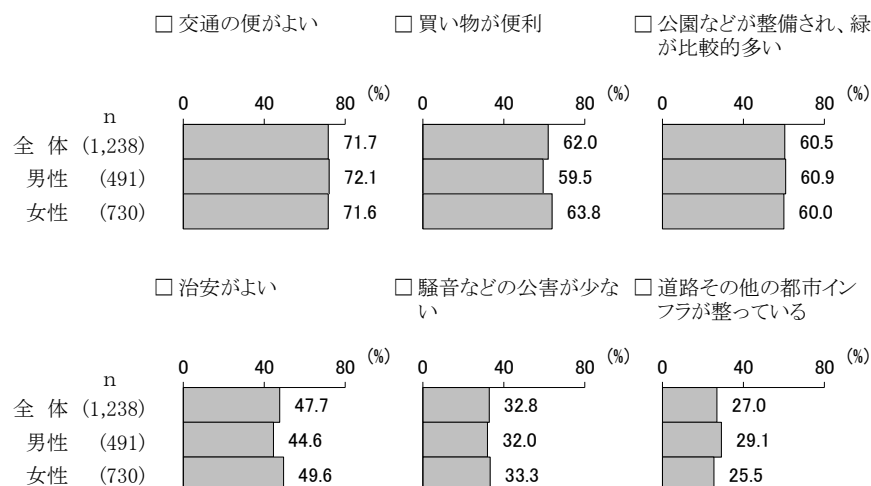
定住意向の理由としては、「交通の便がよい」(71.7%)が7割台前半と最も高い。次いで、「買い物が便利」(62.0%)が6割台前半、「公園などが整備され、緑が比較的多い」(60.5%)が約6割である。「治安がよい」(47.7%)が4割台後半と続く。(図表1-15)

参考：平成 26 年度調査の結果



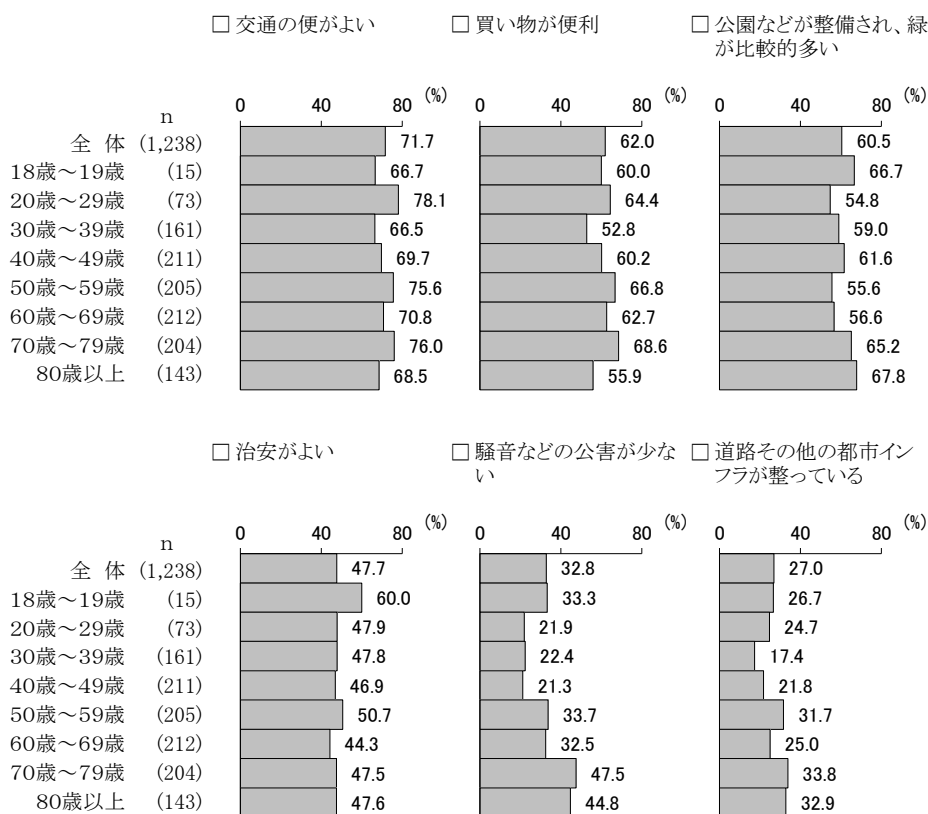
前回調査と比較すると、一部選択肢の変更があったものの大きく順位は変わっておらず、上位3項目の割合が高い点も同様である。なお、割合を見ると、「治安がよい」は、前回調査から7.2ポイント増加している。

図表 1-16 定住意向の理由 (性別) 上位 6 項目



上位 6 項目について性別で見ると、「治安がよい」は、女性の方が男性よりも 5.0 ポイント高く、「買い物が便利」は、女性の方が男性よりも 4.3 ポイント高くなっている。一方、「道路その他の都市インフラが整っている」は、男性の方が女性よりも 3.6 ポイント高くなっている。(図表 1-16)

図表 1-17 定住意向の理由 (年代別) 上位 6 項目



年代別で見ると、「交通の便がよい」は、20 歳～29 歳が 7 割台後半と最も高く、次いで 70 歳～79 歳、50 歳～59 歳で 7 割台半ばとなっている。「買い物が便利」は、50 歳～59 歳、70 歳～79 歳で 6 割台後半となっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、18 歳～19 歳、40 歳～49 歳、70 歳～79 歳、80 歳以上で 6 割台となっている。「治安がよい」は、18 歳～19 歳で 6 割、50 歳～59 歳で約 5 割となっている。「騒音などの公害が少ない」は、70 歳～79 歳、80 歳以上で 4 割を超えている。(図表 1-17)

図表 1-18 定住意向の理由 (居住地域別) 上位 5 項目

(%)

順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性						
全体		交通の便がよい 71.7	買い物が便利 62.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.5	治安がよい 47.7	騒音などの公害が 少ない 32.8
居住地域	吉祥寺地域	交通の便がよい 75.8	買い物が便利 70.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.4	治安がよい 41.3	騒音などの公害が 少ない 29.2
	吉祥寺東町	交通の便がよい 70.9	買い物が便利 69.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 50.0	治安がよい 39.1	騒音などの公害が 少ない 29.1
	吉祥寺南町	交通の便がよい 84.0	買い物が便利 71.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 65.1	治安がよい 40.6	騒音などの公害が 少ない 29.2
	御殿山	公園などが整備され、 緑が比較的多い 79.7	交通の便がよい 76.3	買い物が便利 74.6	治安がよい 40.7	騒音などの公害が 少ない 30.5
	吉祥寺本町	交通の便がよい 82.9	買い物が便利 81.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 47.4	道路その他の都市イン フラが整っている 34.2	治安がよい 32.9
	吉祥寺北町	交通の便がよい 69.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.3	買い物が便利 61.2	治安がよい 48.8	文化・スポーツなどの 施設が整っている 41.9
	中央地域	交通の便がよい 75.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.3	買い物が便利 59.4	治安がよい 53.2	騒音などの公害が 少ない 34.4
	中町	交通の便がよい 86.0	買い物が便利 73.3	治安がよい 54.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 47.7	仕事や通学に 便利である 36.0
	西久保	交通の便がよい 78.5	買い物が便利 64.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 49.2	治安がよい 46.2	仕事や通学に 便利である 36.9
	緑町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 72.7	交通の便がよい 71.2	買い物が便利 57.6	治安がよい 56.1	文化・スポーツなどの 施設が整っている 50.0
	八幡町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 81.3	交通の便がよい 67.0	治安がよい 54.9	買い物が便利 44.0	文化・スポーツなどの 施設が整っている 39.6
	武蔵境地域	交通の便がよい 64.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 58.3	買い物が便利 54.4	治安がよい 51.2	騒音などの公害が 少ない 35.7
	関前	公園などが整備され、 緑が比較的多い 72.3	交通の便がよい 64.3	治安がよい 55.4	買い物が便利 42.0	騒音などの公害が 少ない 35.7
	境	交通の便がよい 68.3	買い物が便利 58.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 52.0	治安がよい 47.2	騒音などの公害が 少ない 34.1
	境南町	交通の便がよい 75.4	買い物が便利 71.4	治安がよい 48.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 41.3	健康・医療施設が整っ ている 38.1
	桜堤	公園などが整備され、 緑が比較的多い 76.7	治安がよい 56.2	騒音などの公害が 少ない 47.9	交通の便がよい 41.1	買い物が便利 37.0

居住地域別で見ると、「交通の便がよい」は吉祥寺南町、吉祥寺本町、中町で8割台と高くなっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、御殿山、緑町、八幡町、関前、桜堤で第1位となっており、それぞれ7割を超えて高くなっている。(図表 1-18)

図表 1-19 定住意向の理由 (職業別) 上位 5 項目

(%)

属性		順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体			交通の便がよい 71.7	買い物が便利 62.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.5	治安がよい 47.7	騒音などの公害が少 ない 32.8
職業別	自営業・自由業		交通の便がよい 67.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 59.6	買い物が便利 54.4	治安がよい 41.2	生まれ育った地域で ある 29.8
	正社員、正職員		交通の便がよい 74.7	買い物が便利 61.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 57.7	治安がよい 47.3	仕事や通学に便利で ある 32.1
	契約社員、 派遣社員		交通の便がよい 73.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.2	買い物が便利 62.3	治安がよい 49.1	文化・スポーツなどの 施設が整っている 39.6
	アルバイト、パート		交通の便がよい 72.7	買い物が便利 63.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 53.1	治安がよい 48.3	文化・スポーツなどの 施設が整っている 32.2
	家事専業		交通の便がよい 71.0	買い物が便利 66.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.9	治安がよい 47.1	騒音などの公害が少 ない 37.4
	学生		交通の便がよい 68.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い -	買い物が便利 62.5	治安がよい -	生まれ育った地域で ある 50.0
	無職		交通の便がよい 68.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 66.3	買い物が便利 59.9	治安がよい 49.2	騒音などの公害が少 ない 42.9
	その他		交通の便がよい 76.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.0	買い物が便利 -	治安がよい 48.0	騒音などの公害が少 ない 36.0

職業別で見ると、「交通の便がよい」は、すべての職業で第1位となっており、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が2位、もしくは3位で、「治安がよい」が第4位となっている。(図表1-19)

図表 1-20 定住意向の理由 (居住年数別・住宅の種類別) 上位5項目

(%)

順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性						
全体		交通の便がよい 71.7	買い物が便利 62.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.5	治安がよい 47.7	騒音などの公害が少ない 32.8
居住年数	1年未満	交通の便がよい 75.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 54.5	買い物が便利 51.5	仕事や通学に便利である 48.5	治安がよい 42.4
	1年～5年未満	交通の便がよい 69.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.0	買い物が便利 50.9	治安がよい 45.6	子育てや子どもの教育の 環境が整っている 32.2
	5年～10年未満	交通の便がよい 72.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 68.4	買い物が便利 56.4	治安がよい 49.6	子育てや子どもの教育の 環境が整っている 37.6
	10年～15年未満	交通の便がよい 74.6	買い物が便利 68.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.8	治安がよい 53.1	騒音などの公害が少ない 33.1
	15年～20年未満	交通の便がよい 80.5	買い物が便利 69.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.6	治安がよい 52.5	騒音などの公害が少ない 33.9
	20年以上	交通の便がよい 69.9	買い物が便利 63.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 58.2	治安がよい 46.3	騒音などの公害が少ない 36.6
住宅の種類	持ち家(戸建て)	交通の便がよい 70.6	買い物が便利 61.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 58.5	治安がよい 45.7	騒音などの公害が少ない 35.5
	持ち家(マンション等の集合住宅)	交通の便がよい 77.7	買い物が便利 66.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.2	治安がよい 50.4	道路その他の都市インフラが整っている 30.4
	借家(戸建て)	交通の便がよい 62.5	買い物が便利 -	公園などが整備され、 緑が比較的多い 54.2	治安がよい 37.5	仕事や通学に便利である 37.5
	借家(マンション・アパート等の集合住宅)	交通の便がよい 71.4	買い物が便利 63.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.0	治安がよい 50.0	騒音などの公害が少ない 32.1
	社宅・寮	交通の便がよい 66.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.0	子育てや子どもの教育の 環境が整っている 50.0	治安がよい 48.0	仕事や通学に便利である 44.0
	その他(福祉施設など)	健康・医療施設が整っている 高齢者や障がい者などの施設が充実している 75.0	-	交通の便がよい 公園などが整備され、 緑が比較的多い 治安がよい 50.0	-	-

居住年数別で見ると、「交通の便がよい」は、すべての年数で第1位となっており、10年以上では「買い物が便利」が第2位、10年未満では「公園などが整備され、緑が比較的多い」が第2位となっている。

住宅の種類別で見ると、「交通の便がよい」は、その他(福祉施設など)以外で第1位となっている。(図表1-20)

図表 1-21 定住意向の理由 (世帯収入別) 上位 5 項目

(%)

順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性						
全体		交通の便がよい 71.7	買い物が便利 62.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.5	治安がよい 47.7	騒音などの公害が少ない 32.8
世帯収入別	収入なし	交通の便がよい 75.0	治安がよい 65.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 買い物が便利 60.0	-	健康・医療施設が整っている 30.0
	100万円未満	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.5	買い物が便利 59.4	交通の便がよい 56.3	治安がよい 43.8	騒音などの公害が少ない 34.4
	100～300万円未満	交通の便がよい 72.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.0	買い物が便利 60.5	治安がよい 47.5	騒音などの公害が少ない 42.4
	300～500万円未満	交通の便がよい 72.7	買い物が便利 65.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.8	治安がよい 47.9	騒音などの公害が少ない 37.0
	500～700万円未満	交通の便がよい 72.7	買い物が便利 63.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.2	治安がよい 47.2	文化・スポーツなどの施設が整っている 33.0
	700～1,000万円未満	交通の便がよい 71.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 57.7	買い物が便利 56.7	治安がよい 48.8	騒音などの公害が少ない 30.8
	1,000～1,500万円未満	交通の便がよい 72.3	買い物が便利 61.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 57.2	治安がよい 50.3	子育てや子どもの教育の環境が整っている 30.8
	1,500万円以上	交通の便がよい 71.3	買い物が便利 65.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.6	治安がよい 45.2	騒音などの公害が少ない 35.7

世帯収入別で見ると、「交通の便がよい」は、100万円未満以外で第1位となっており、「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、100万円未満で第1位となっている。(図表 1-21)

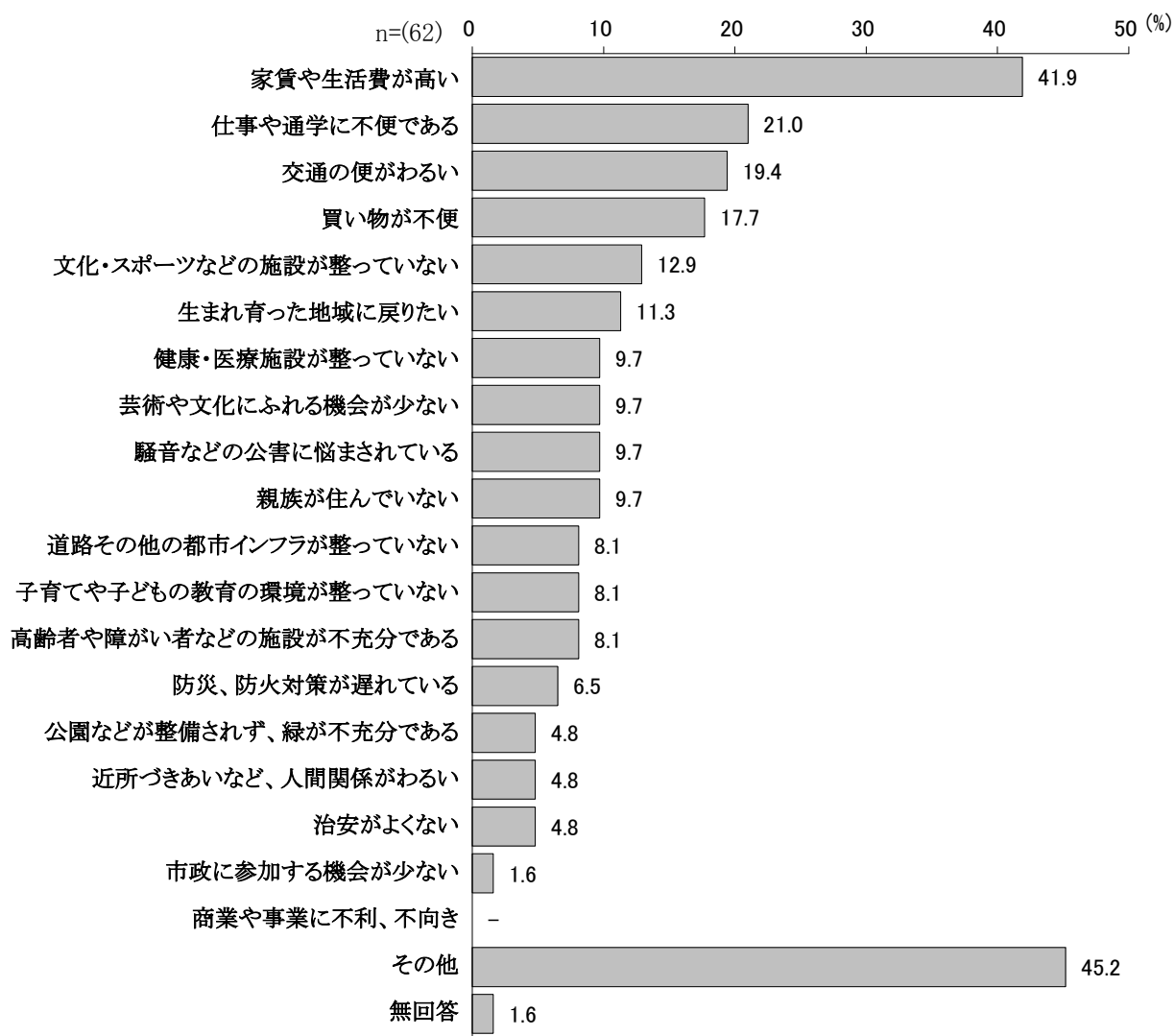
1-5 転出意向の理由

◎ 「家賃や生活費が高い」が4割台前半と最も高い。

(問3で「武蔵野市以外のところへ移りたい」とお答えの方に)

問3-2 武蔵野市外に移りたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-22 転出意向の理由(複数回答)

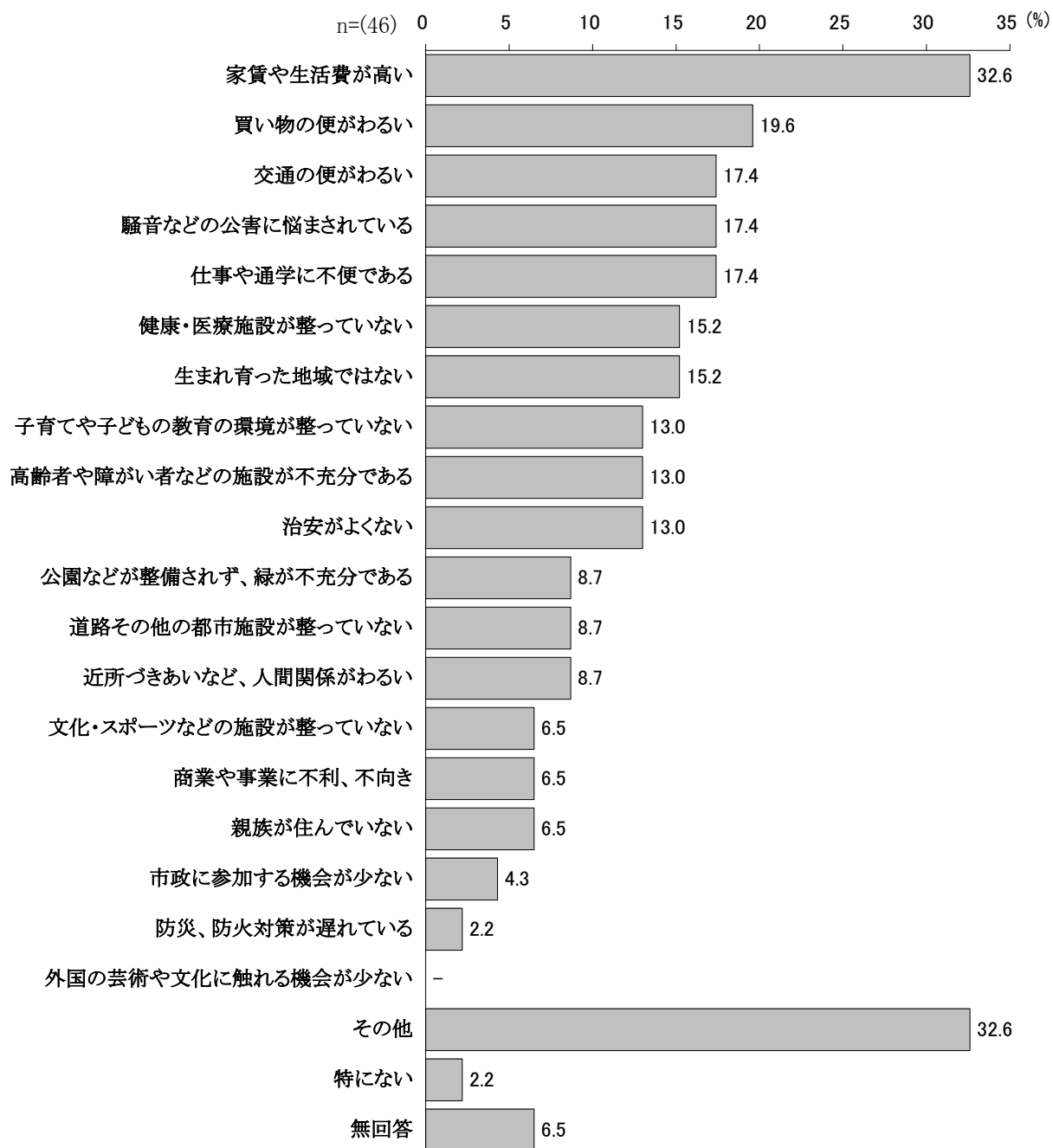


※回答者数は、他の設問の回答と比べて少ない

転出意向の理由としては、「家賃や生活費が高い」(41.9%)が、4割台前半と最も高い。次いで、「仕事や通学に不便である」(21.0%)、「交通の便がわるい」(19.4%)が約2割、「買い物が不便」(17.7%)が1割台後半と続く。(図表1-22)

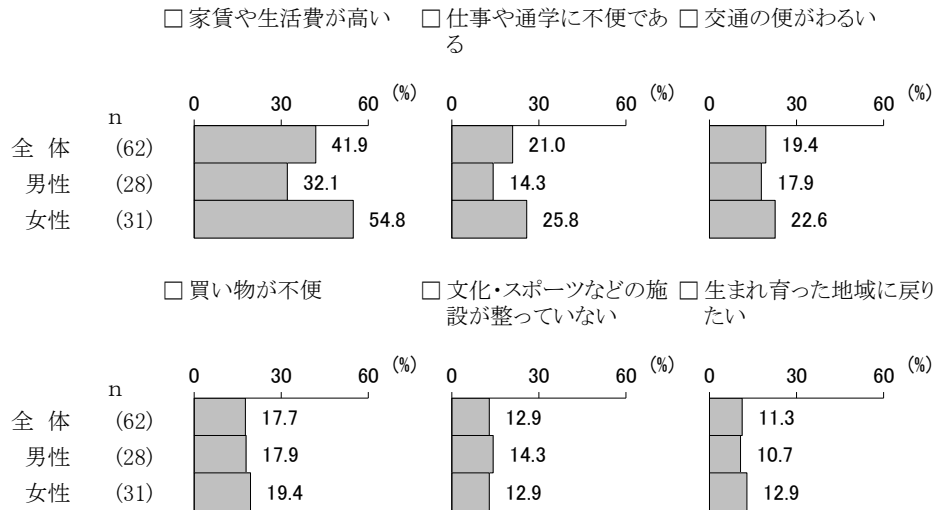
「その他」の主な内容としては、「別のところに住みたい」、「人が多すぎる」などが挙げられている。

参考：平成 26 年度調査の結果



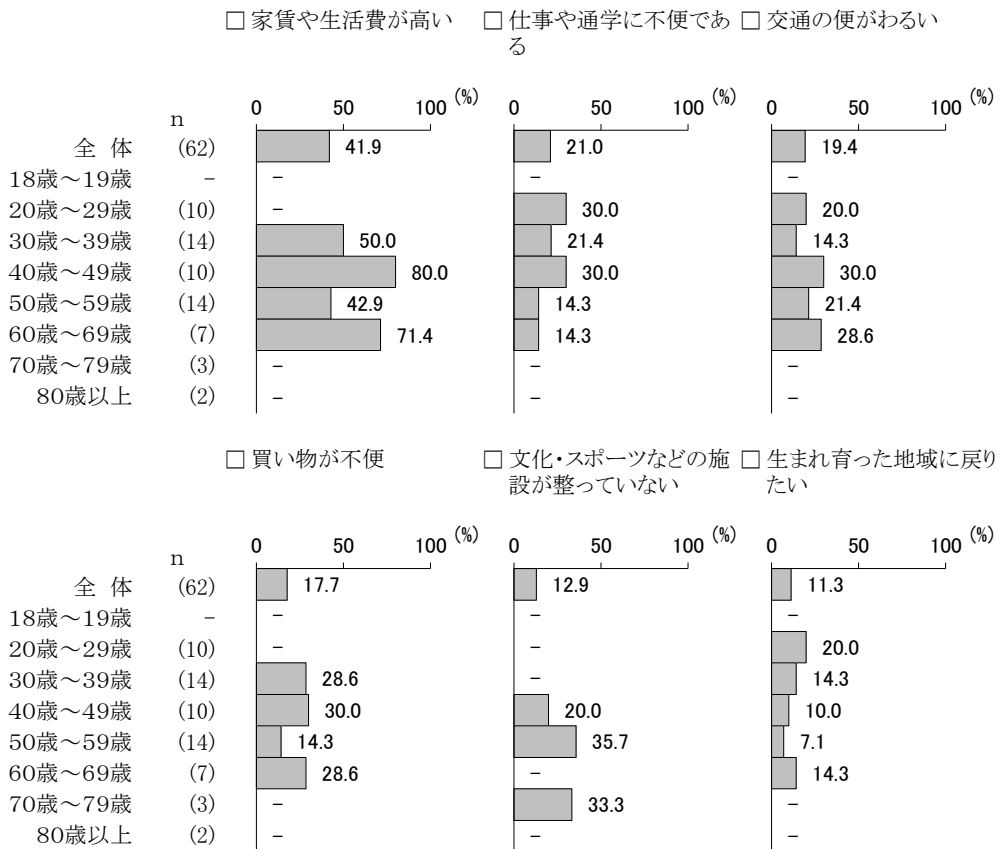
前回調査と比較すると、1位、3位は前回調査と同様で、それぞれ「家賃や生活費が高い」、「交通の便がわるい」となっている。前回調査では5位であった「仕事や通学に不便である」が2位となっている。割合を見ると、「家賃や生活費が高い」は、9.3ポイント増加している。

図表 1-23 転出意向の理由 (性別) 上位 6 項目



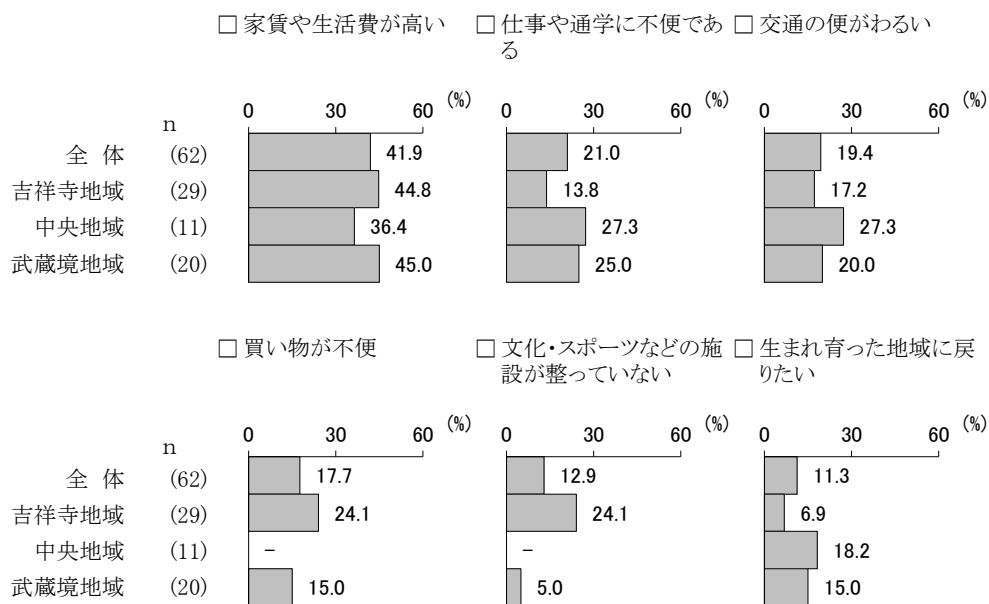
上位 6 項目について性別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、女性の方が男性より 22.7 ポイント高く、「仕事や通学に不便である」は、女性の方が男性より 11.5 ポイント高く、「交通の便がわるい」は、女性の方が男性より 4.7 ポイント高くなっている。(図表 1-23)

図表 1-24 転出意向の理由 (年代別) 上位 6 項目



年代別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、40歳~49歳で8割、60~69歳で7割台前半となっている一方、20歳~29歳では回答者がいない。(図表 1-24)

図表 1-25 転出意向の理由 (居住地域別) 上位 6 項目



居住地域別で見ると、「交通の便がわるい」は、中央地域で高く、「買い物が不便」、「文化・スポーツなどの施設が整っていない」は、吉祥寺地域で高くなっている。(図表 1-25)

図表 1-26 転出意向の理由 (居住地域別) 上位 5 項目

		(%)				
順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性						
全体		家賃や生活費が高い 41.9	仕事や通学に不便である 21.0	交通の便がわるい 19.4	買い物が不便 17.7	文化・スポーツなどの施設が整っていない 12.9
居住地域	吉祥寺地域	家賃や生活費が高い 44.8	文化・スポーツなどの施設が整っていない 買い物が不便 24.1	-	交通の便がわるい 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 17.2	-
	吉祥寺東町	文化・スポーツなどの施設が整っていない 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 家賃や生活費が高い 66.7	-	-	交通の便がわるい 買い物が不便 33.3	-
	吉祥寺南町	家賃や生活費が高い 健康・医療施設が整っていない 50.0	-	文化・スポーツなどの施設が整っていない 買い物が不便 仕事や通学に不便である 25.0	-	-
	御殿山	-	-	-	-	-
	吉祥寺本町	家賃や生活費が高い 60.0	文化・スポーツなどの施設が整っていない 40.0	買い物が不便 高齢者や障がい者などの施設が不十分である 防災、防火対策が遅れている 20.0	-	-
	吉祥寺北町	家賃や生活費が高い 36.4	買い物が不便 親族が住んでいない 27.3	-	交通の便がわるい 公園などが整備されず、緑が不十分である 18.2	-
	中央地域	家賃や生活費が高い 36.4	交通の便がわるい 仕事や通学に不便である 27.3	-	騒音などの公害に悩まされている 親族が住んでいない 18.2	-
	中町	交通の便がわるい 50.0	家賃や生活費が高い 仕事や通学に不便である 33.3	-	親族が住んでいない 生まれ育った地域に戻りたい 16.7	-
	西久保	家賃や生活費が高い 仕事や通学に不便である 50.0	-	-	-	-
	緑町	-	-	-	-	-
	八幡町	家賃や生活費が高い 親族が住んでいない 生まれ育った地域に戻りたい 騒音などの公害に悩まされている 道路その他の都市インフラが整っていない 50.0	-	-	-	-

(%)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
居住地	武蔵境地域	家賃や生活費が高い	仕事や通学に不便である	交通の便がわるい	生まれ育った地域に戻りたい	-
		45.0	25.0	20.0	15.0	-
	関前	家賃や生活費が高い	-	-	-	-
		仕事や通学に不便である	-	-	-	-
		50.0	-	-	-	-
境	家賃や生活費が高い	仕事や通学に不便である	-	-	-	
	50.0	16.7	-	-	-	
境南町	仕事や通学に不便である	-	家賃や生活費が高い	-	-	
	25.0	-	12.5	-	-	
桜堤	家賃や生活費が高い	交通の便がわるい	-	仕事や通学に不便である	-	
	100.0	50.0	-	25.0	-	

居住地別（町別）で見ると、回答者のいるすべての地域において、「家賃や生活費が高い」が上位3位以内に入っている。「買い物が不便」は、吉祥寺北町、関前、桜堤で高く、「交通の便がわるい」は、中町、境南町、桜堤で高くなっている。（図表1-26）

図表 1-27 転出意向の理由 (職業別) 上位 5 項目

(%)

順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性						
全体		家賃や生活費が高い 41.9	仕事や通学に不便である 21.0	交通の便がわるい 19.4	買い物が不便 17.7	文化・スポーツなどの施設が整っていない 12.9
職業別	自営業・自由業	仕事や通学に不便である 33.3	家賃や生活費が高い 騒音などの公害に悩まされている 22.2	-	交通の便がわるい 買い物が不便 11.1	-
	正社員、正職員	家賃や生活費が高い 44.8	買い物が不便 20.7	仕事や通学に不便である 13.8	交通の便がわるい 文化・スポーツなどの施設が整っていない 10.3	-
	契約社員、派遣社員	家賃や生活費が高い 交通の便がわるい 生まれ育った地域に戻りたい 親族が住んでいない 高齢者や障がい者などの施設が不十分である 50.0	-	-	-	-
	アルバイト、パート	家賃や生活費が高い 66.7	交通の便がわるい 文化・スポーツなどの施設が整っていない 33.3	-	高齢者や障がい者などの施設が不十分である 芸術や文化にふれる機会が少ない 22.2	-
	家事専業	家賃や生活費が高い 50.0	健康・医療施設が整っていない 買い物が不便 仕事や通学に不便である 33.3	-	-	交通の便がわるい 16.7
	学生	仕事や通学に不便である 交通の便がわるい 生まれ育った地域に戻りたい 50.0	-	-	-	-
	無職	交通の便がわるい 家賃や生活費が高い 買い物が不便 芸術や文化にふれる機会が少ない 50.0	-	-	-	-
	その他	交通の便がわるい 仕事や通学に不便である 100.0	-	-	-	-

職業別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、自営業・自由業、学生、その他を除くすべての職業で第1位となっている。自営業・自由業、学生では「仕事や通学に不便である」が第1位となっている。(図表 1-27)

図表 1-28 転出意向の理由 (居住年数別) 上位 5 項目

		(%)				
順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性						
全体		家賃や生活費が高い 41.9	仕事や通学に不便である 21.0	交通の便がわるい 19.4	買い物が不便 17.7	文化・スポーツなどの施設が整っていない 12.9
居住年数	1年未満	交通の便がわるい 家賃や生活費が高い 生まれ育った地域に戻りたい 50.0	-	-	道路その他の都市インフラが整っていない 25.0	-
	1年～5年未満	家賃や生活費が高い 46.2	買い物が不便 30.8	交通の便がわるい 生まれ育った地域に戻りたい 騒音などの公害に悩まされている 23.1	-	-
	5年～10年未満	家賃や生活費が高い 80.0	仕事や通学に不便である 健康・医療施設が整っていない 40.0	-	買い物が不便 交通の便がわるい 30.0	-
	10年～15年未満	家賃や生活費が高い 文化・スポーツなどの施設が整っていない 40.0	-	仕事や通学に不便である 親族が住んでいない 防災、防火対策が遅れている 20.0	-	-
	15年～20年未満	家賃や生活費が高い 芸術や文化にふれる機会が少ない 公園などが整備されず、緑が不十分である 25.0	-	-	文化・スポーツなどの施設が整っていない 親族が住んでいない 12.5	-
	20年以上	家賃や生活費が高い 31.6	仕事や通学に不便である 26.3	交通の便がわるい 買い物が不便 15.8	-	芸術や文化にふれる機会が少ない 10.5

居住年数別で見ると、すべての年数で「家賃や生活費が高い」が最も高くなっている。(図表 1-28)

図表 1-29 転出意向の理由 (住宅の種類別) 上位 5 項目

		(%)				
順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性	住宅の種類					
	持ち家(戸建て)	交通の便がわるい 仕事や通学に不便である 31.6	-	文化・スポーツなどの施設が整っていない 家賃や生活費が高い 26.3	-	芸術や文化にふれる機会が少ない 21.1
	持ち家(マンション等の集合住宅)	家賃や生活費が高い 41.7	交通の便がわるい 仕事や通学に不便である 25.0	-	買い物が不便 健康・医療施設が整っていない 16.7	-
	借家(戸建て)	家賃や生活費が高い 100.0	-	-	-	-
	借家(マンション・アパート等の集合住宅)	家賃や生活費が高い 55.6	交通の便がわるい 仕事や通学に不便である 買い物が不便 道路その他の都市インフラが整っていない 11.1	-	-	-
	社宅・寮	家賃や生活費が高い 55.6	生まれ育った地域に戻りたい 親族が住んでいない 44.4	-	買い物が不便 33.3	子育てや子どもの教育の環境が整っていない 22.2
	その他(福祉施設など)	-	-	-	-	-

住宅の種類別で見ると、持ち家（戸建て）では「交通の便がわるい」、「仕事や通学に不便である」が第1位となっている。それ以外では「家賃や生活費が高い」が第1位となっている。（図表 1-29）

図表 1-30 転出意向の理由 (世帯収入別) 上位 5 項目

		(%)				
順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性						
全体		家賃や生活費が高い 41.9	仕事や通学に不便である 21.0	交通の便がわるい 19.4	買い物が不便 17.7	文化・スポーツなどの施設が整っていない 12.9
世帯収入別	収入なし	-	-	-	-	-
	100万円未満	-	-	-	-	-
	100～300万円未満	家賃や生活費が高い 50.0	交通の便がわるい 買い物が不便 近所つきあいなど、人間関係がわるい 高齢者や障がい者などの施設が不十分である 16.7	-	-	-
	300～500万円未満	家賃や生活費が高い 45.5	交通の便がわるい 生まれ育った地域に戻りたい 文化・スポーツなどの施設が整っていない 騒音などの公害に悩まされている 18.2	-	-	-
	500～700万円未満	家賃や生活費が高い 85.7	買い物が不便 仕事や通学に不便である 42.9	-	交通の便がわるい 生まれ育った地域に戻りたい 28.6	-
	700～1,000万円未満	仕事や通学に不便である 40.0	家賃や生活費が高い 30.0	買い物が不便 交通の便がわるい 20.0	-	親族が住んでいない 10.0
	1,000～1,500万円未満	家賃や生活費が高い 40.0	仕事や通学に不便である 買い物が不便 交通の便がわるい 20.0	-	-	公園などが整備されず、緑が不十分である 10.0
	1,500万円以上	家賃や生活費が高い 45.5	文化・スポーツなどの施設が整っていない 健康・医療施設が整っていない 36.4	-	防災、防火対策が遅れている 27.3	仕事や通学に不便である 18.2

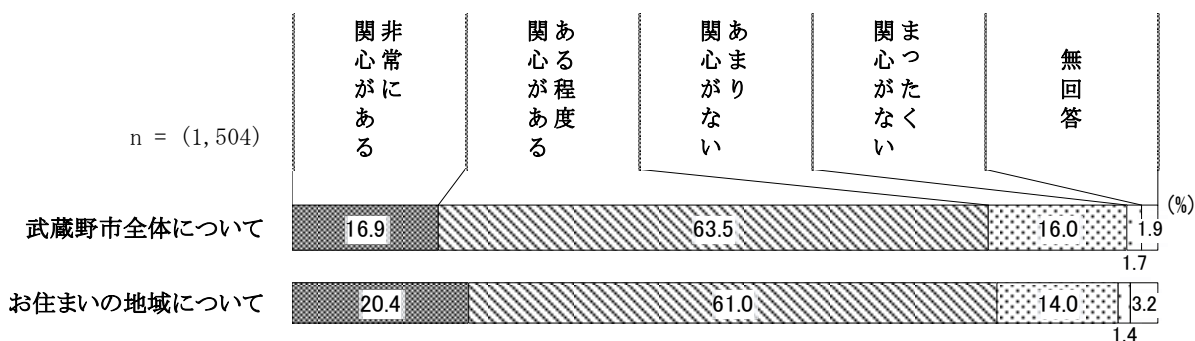
世帯収入別で見ると、700～1,000万円では「仕事や通学に不便である」が第1位となっている。それ以外では「家賃や生活費が高い」が第1位となっている。(図表 1-30)

1-6 地域への関心度

◎ 「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」で『関心がある』がともに8割台である。

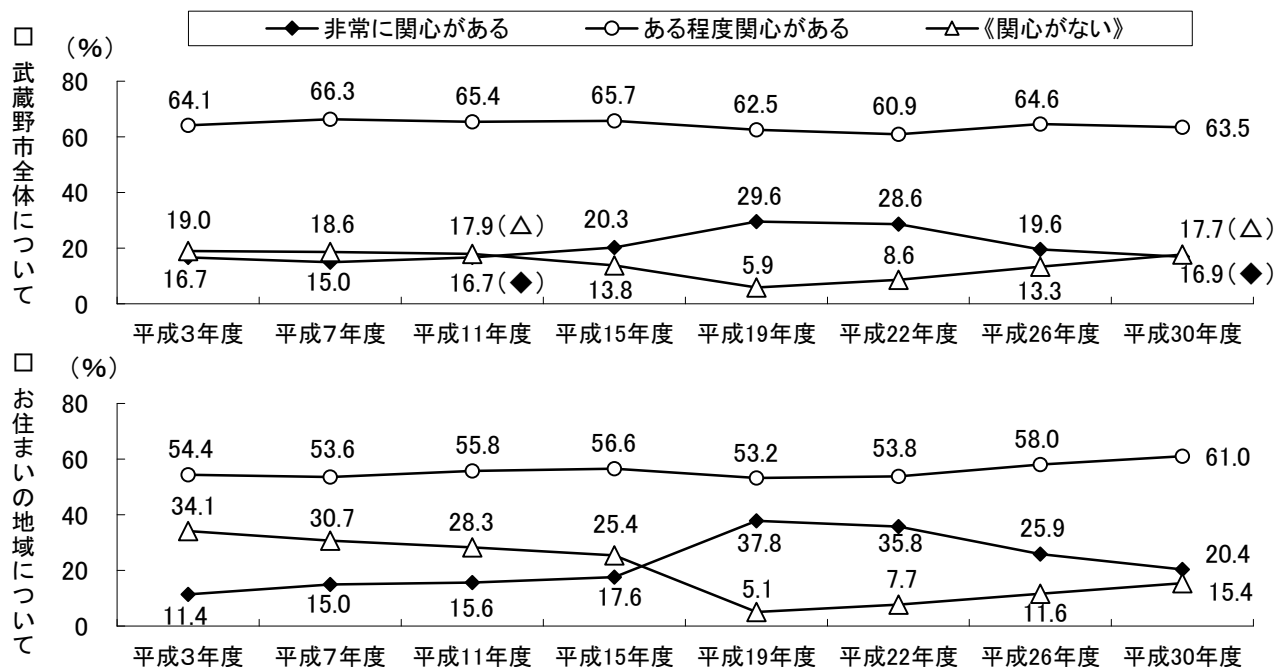
問4 あなたは、武蔵野市全体のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。
また、お住まいの地域のできごとや動きについてはいかがですか。(〇はそれぞれ1つ)

図表1-31 地域への関心度



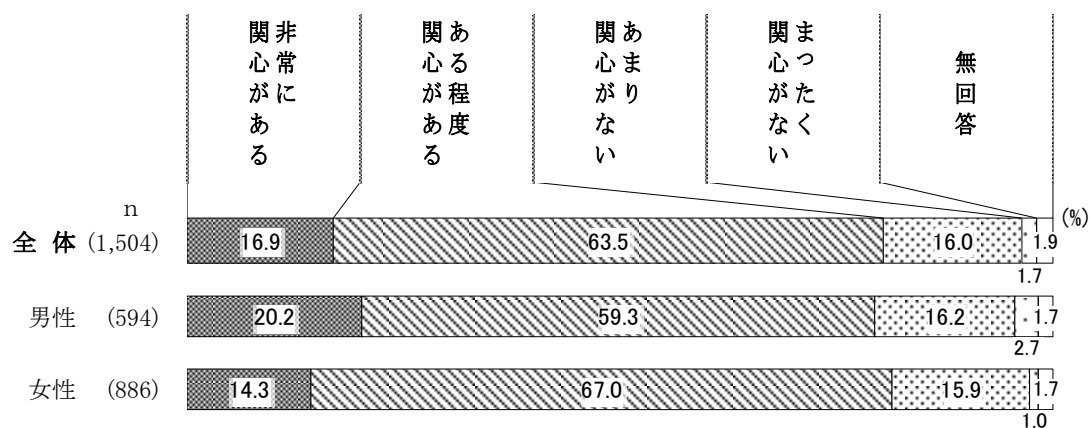
地域への関心度について見てみると、「非常に興味がある」+「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』の割合は、「武蔵野市全体について」(80.4%)、「お住まいの地域について」(81.4%)双方で8割台となっている。(図表1-31)

図表1-32 地域への関心度(経年比較)

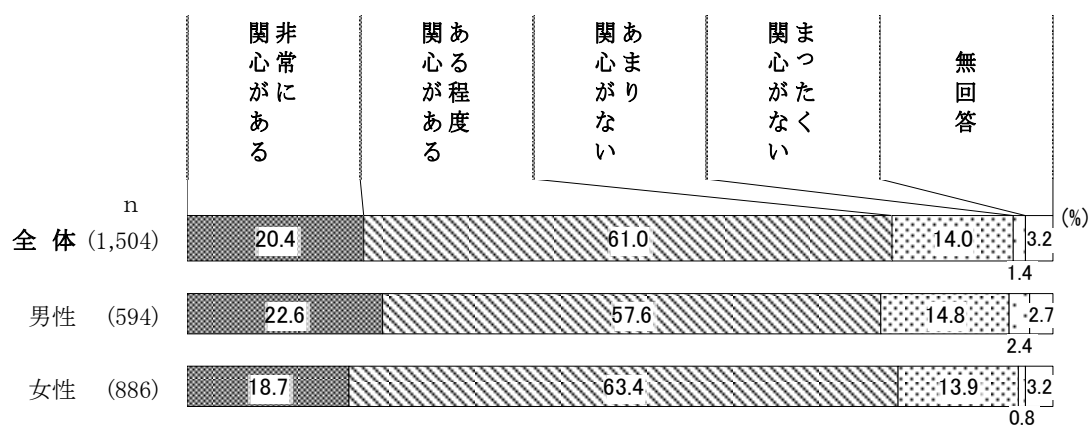


過去の調査と比較すると、「武蔵野市全体について」では、「非常に興味がある」は、平成26年度と比べ2.7ポイント減少している。一方、『関心がない』(「あまり関心がない」+「まったく関心がない」)は、4.4ポイント増加している。「お住まいの地域について」では、「非常に興味がある」は平成26年度と比べ5.5ポイント減少、『関心がない』は3.8ポイント増加している。(図表1-32)

図表 1-33 地域への関心度・武蔵野市全体について (性別)



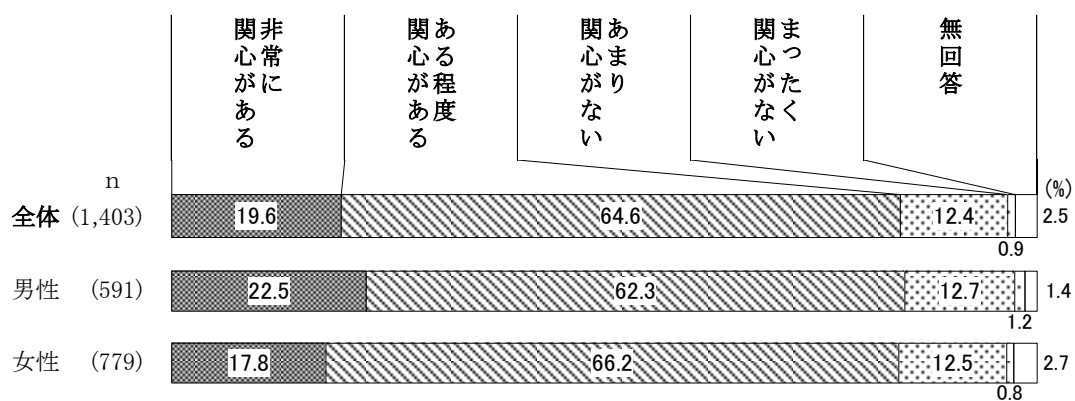
図表 1-34 地域への関心度・お住まいの地域について (性別)



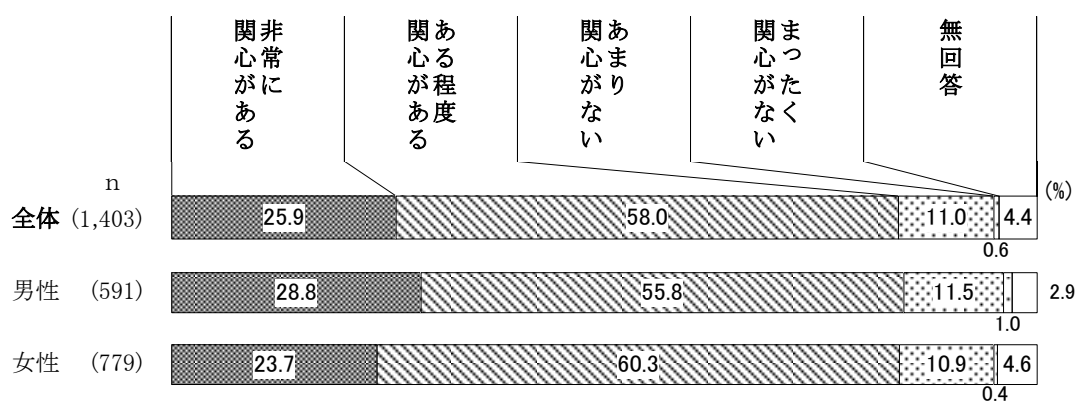
性別で見ると、『関心がある』は、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」とともに、性別による大きな違いは見られない。「非常に関心がある」は、「武蔵野市全体について」で男性の方が女性より 5.9 ポイント高く、「お住まいの地域について」で男性の方が女性より 3.9 ポイント高くなっている。(図表 1-33、図表 1-34)

参考：平成 26 年度調査の結果

武蔵野市全体について (性別)

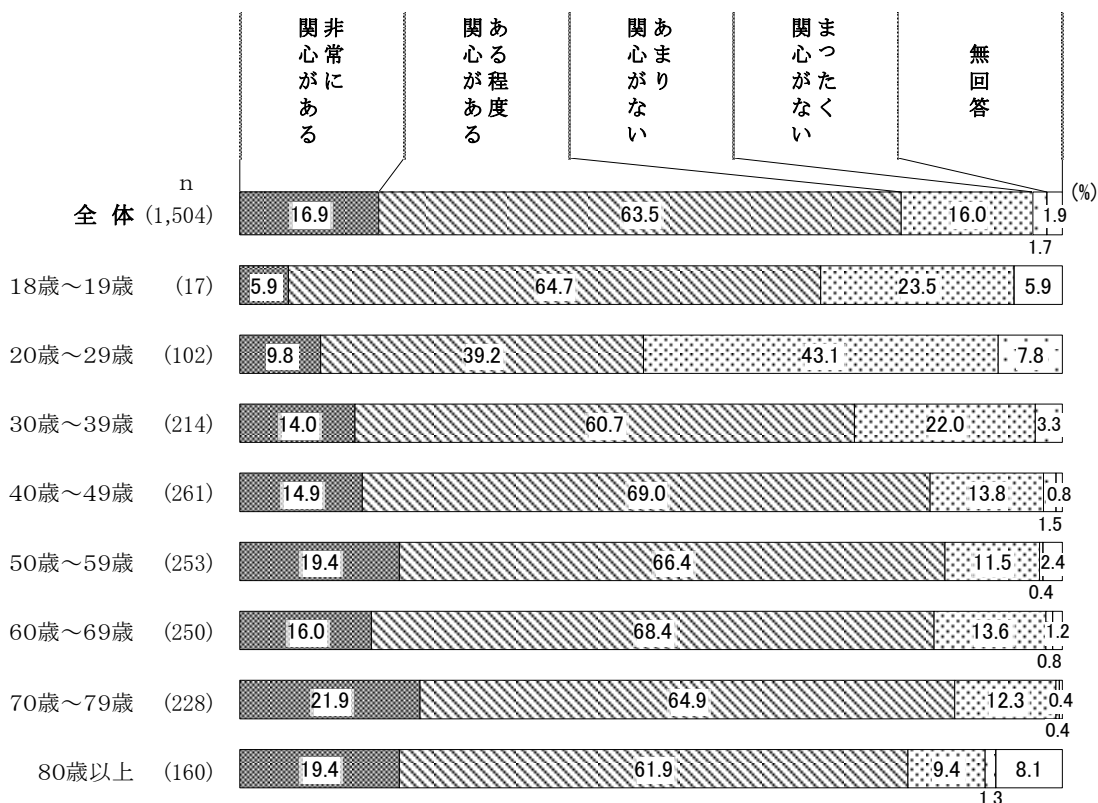


お住まいの地域について (性別)

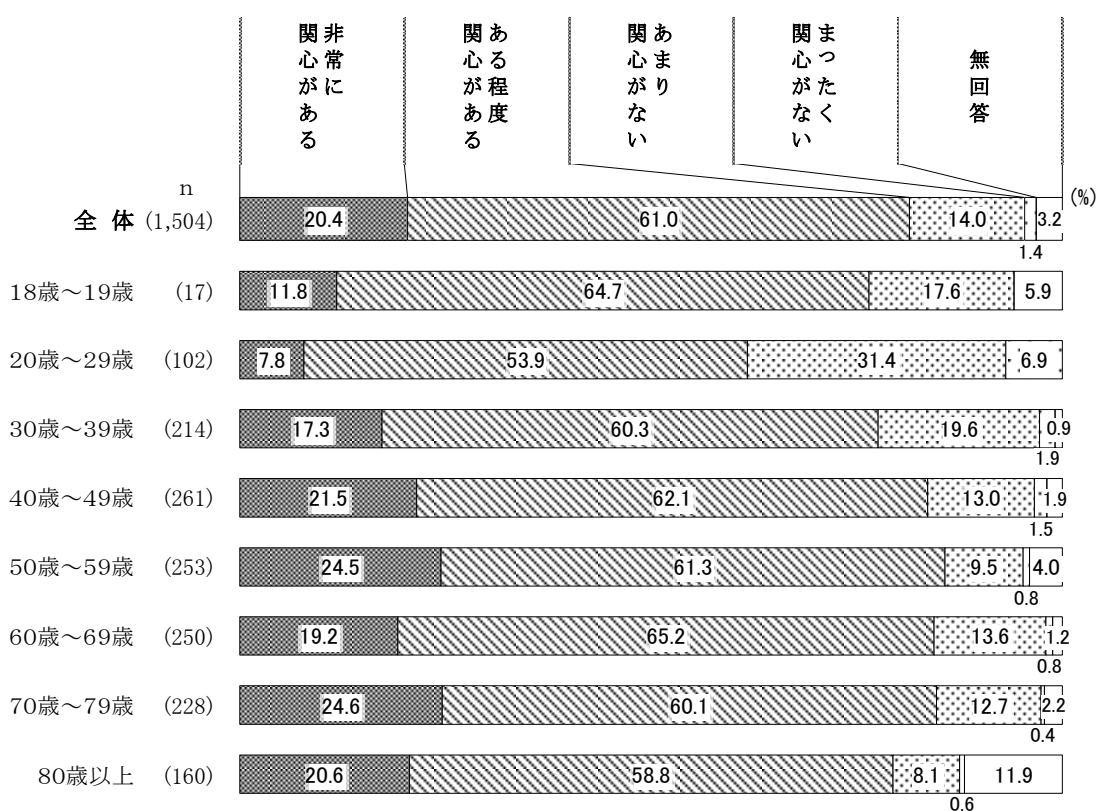


前回調査と比較すると、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」ともに、男女とも「非常に興味がある」の割合が減少している。

図表 1-35 地域への関心度・武蔵野市全体について (年代別)

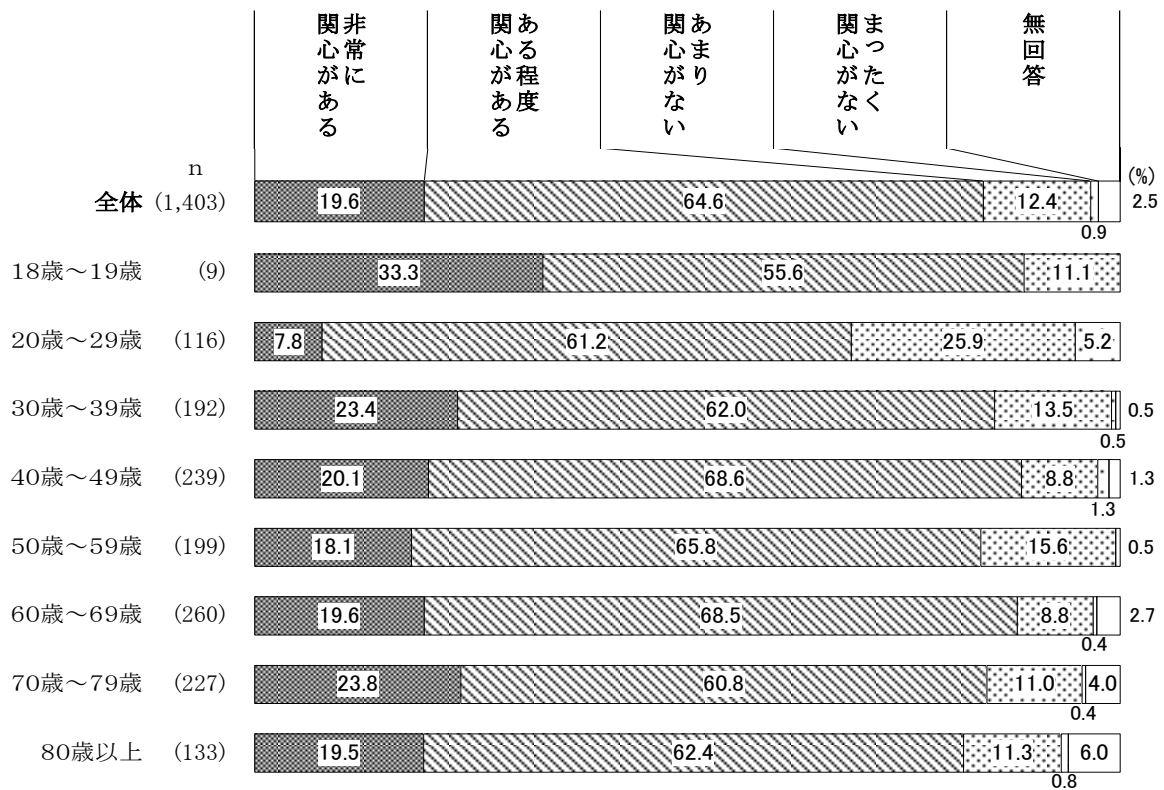


図表 1-36 地域への関心度・お住まいの地域について (年代別)

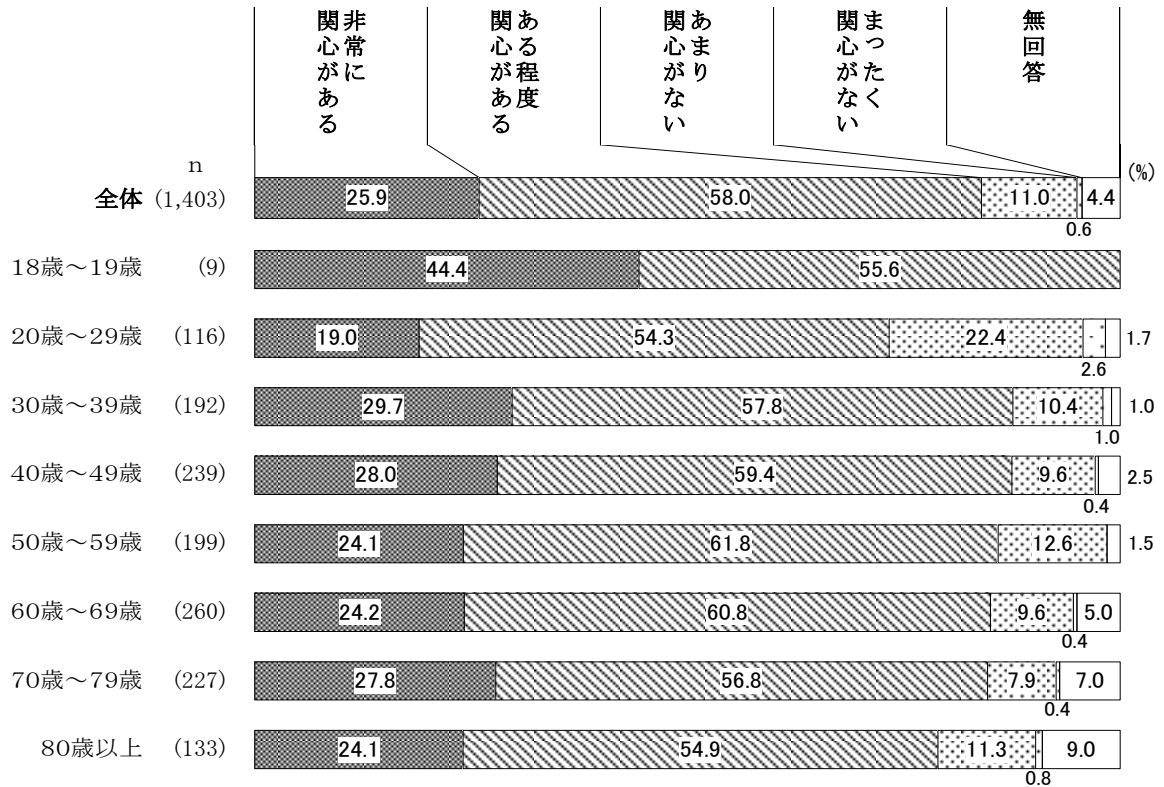


年代別で見ると、「武蔵野市全体について」では、『関心がある』は、40歳以上では8割以上となっており、30歳～39歳、18～19歳で7割台、20歳～29歳で約5割となっている。〔お住まいの地域について〕では、『関心がある』は40歳～79歳で8割以上となっており、80歳以上、30歳～39歳、18歳～19歳で7割台、20歳～29歳で6割台となっている。(図表1-35、図表1-36)

武蔵野市全体について（年代別）

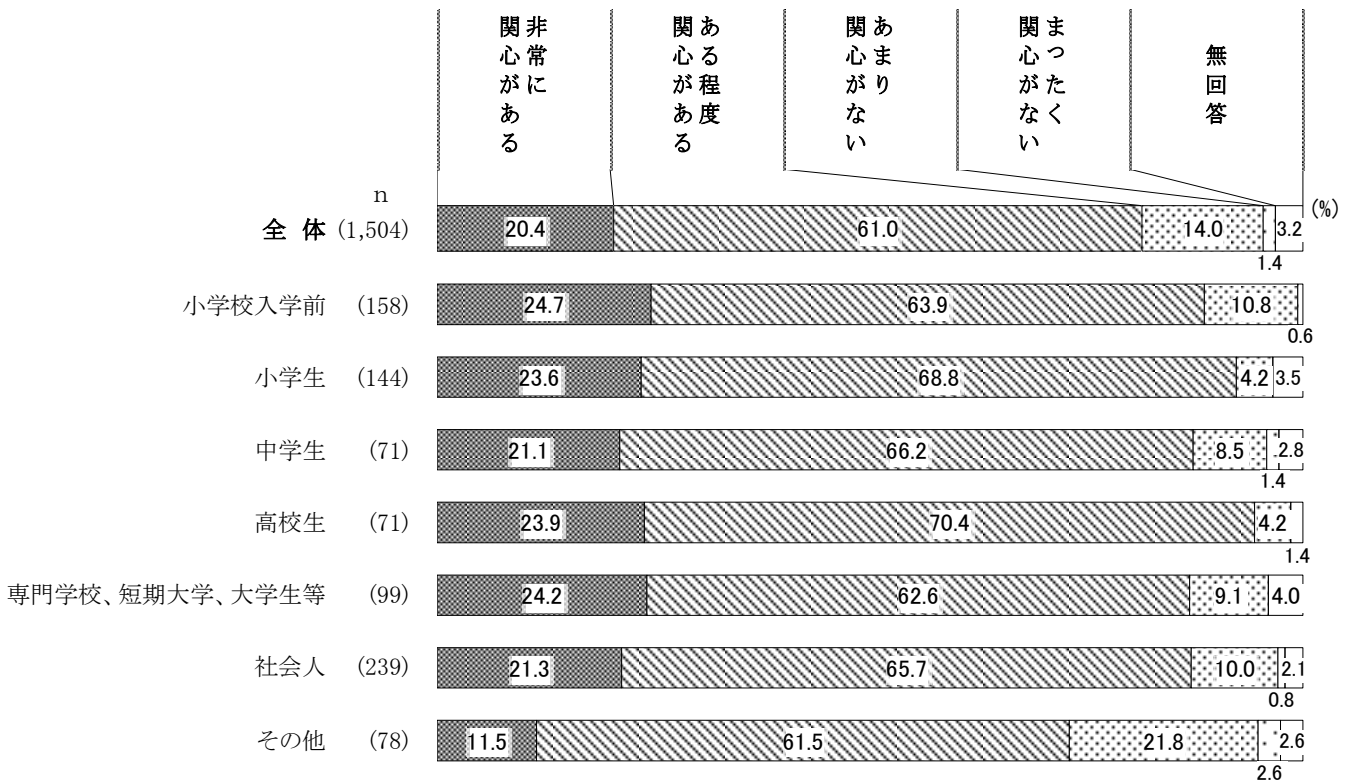


お住まいの地域について（年代別）



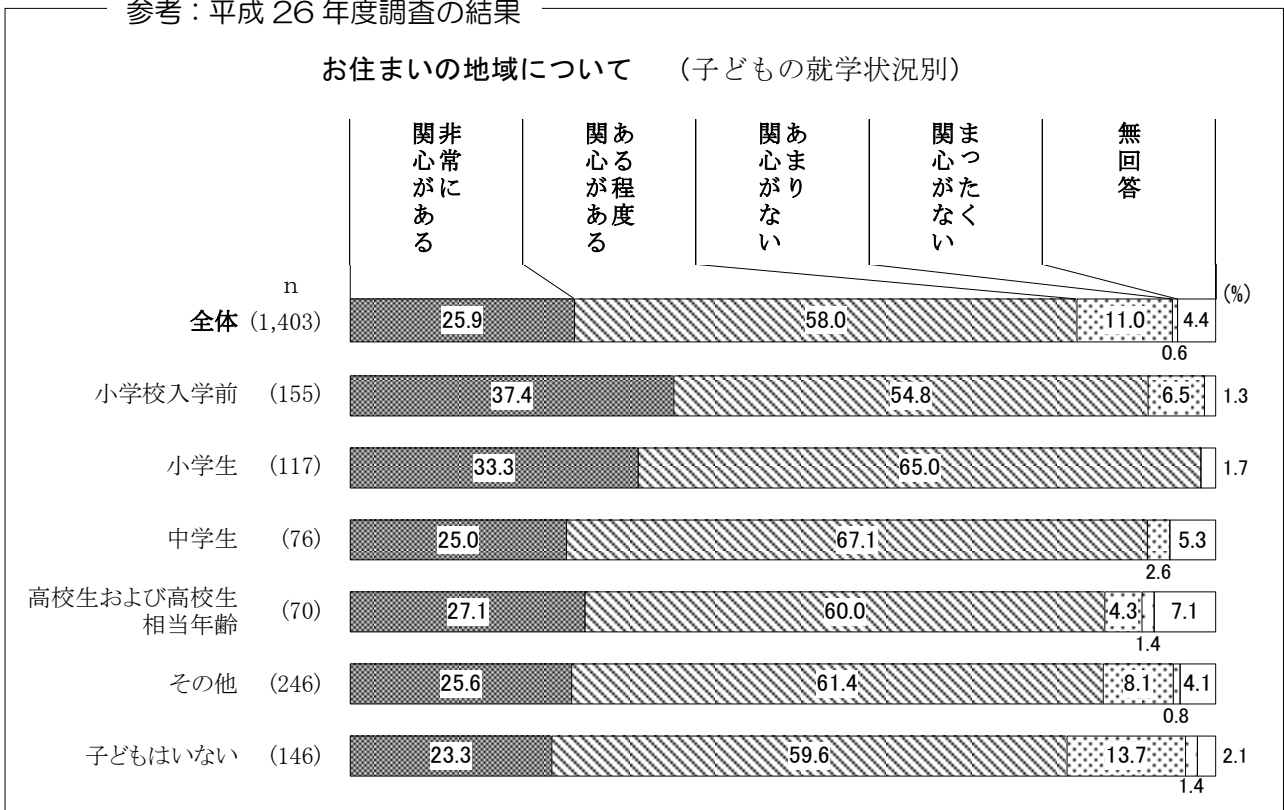
前回調査と比較すると、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」とともに、「非常に興味がある」は、すべての年代で減少もしくは同程度となっている。

図表 1-37 地域への関心度・お住まいの地域について (子どもの就学状況別)



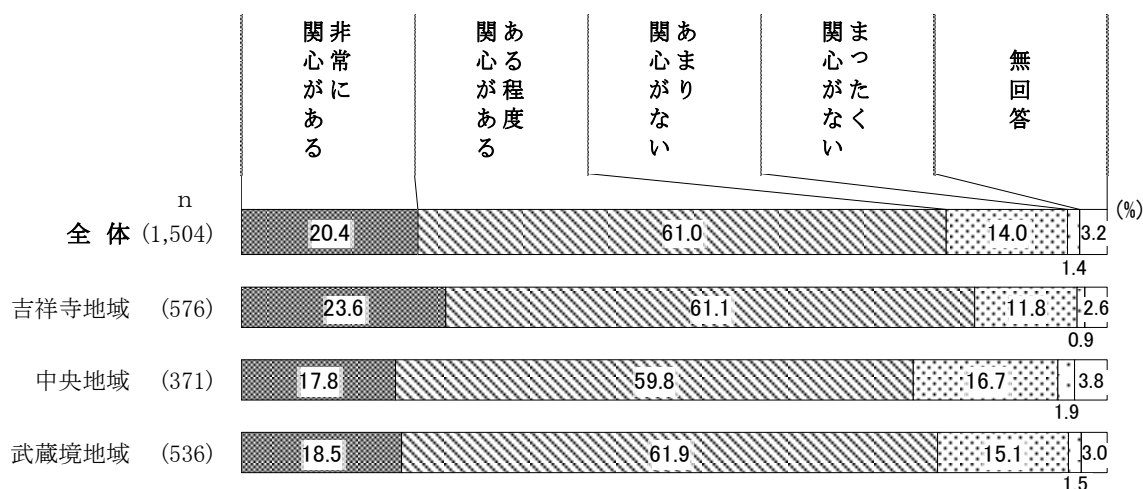
〔お住まいの地域について〕子どもの就学状況別で見ると、『興味がある』は、高校生を持つ方及び小学生を持つ方で9割前半となっている。(図表 1-37)

参考：平成 26 年度調査の結果



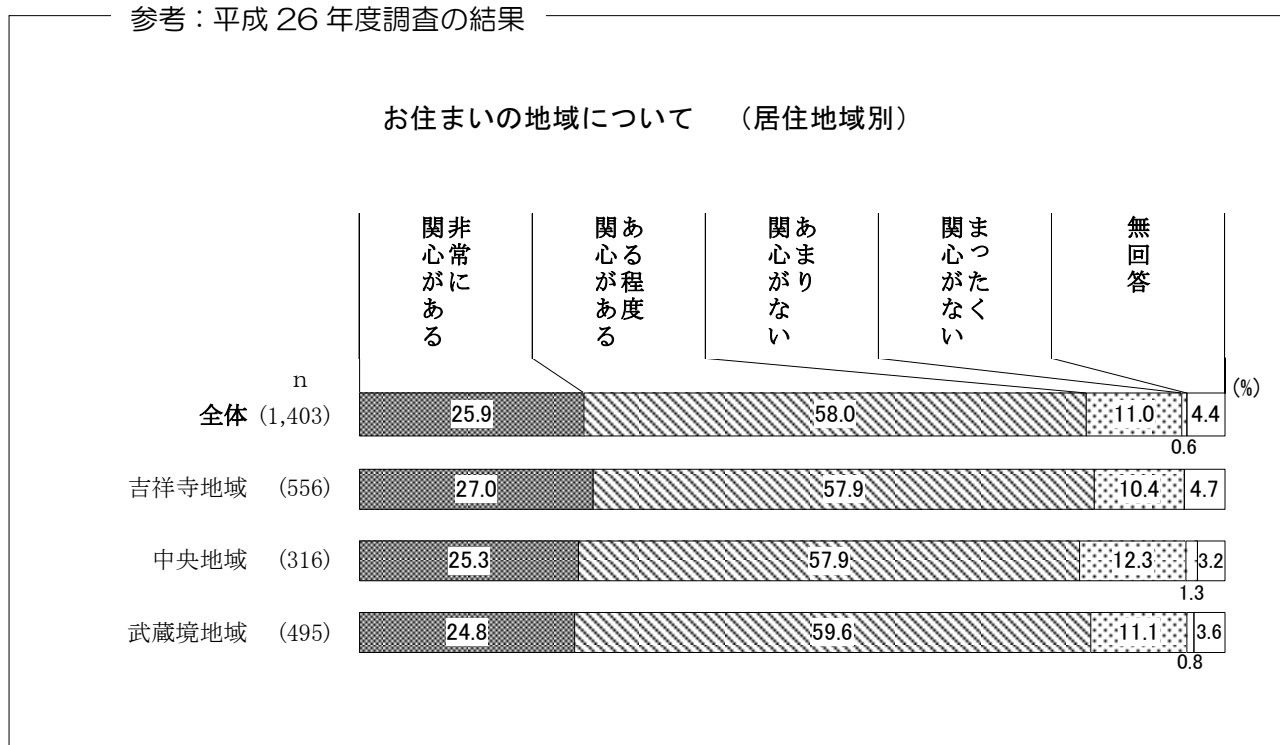
〔お住まいの地域について〕前回調査と比較すると、「非常に興味がある」は、小学校入学前で 12.7 ポイント、小学生で 9.7 ポイント減少している。

図表 1-38 地域への関心度・お住まいの地域について (居住地域別)



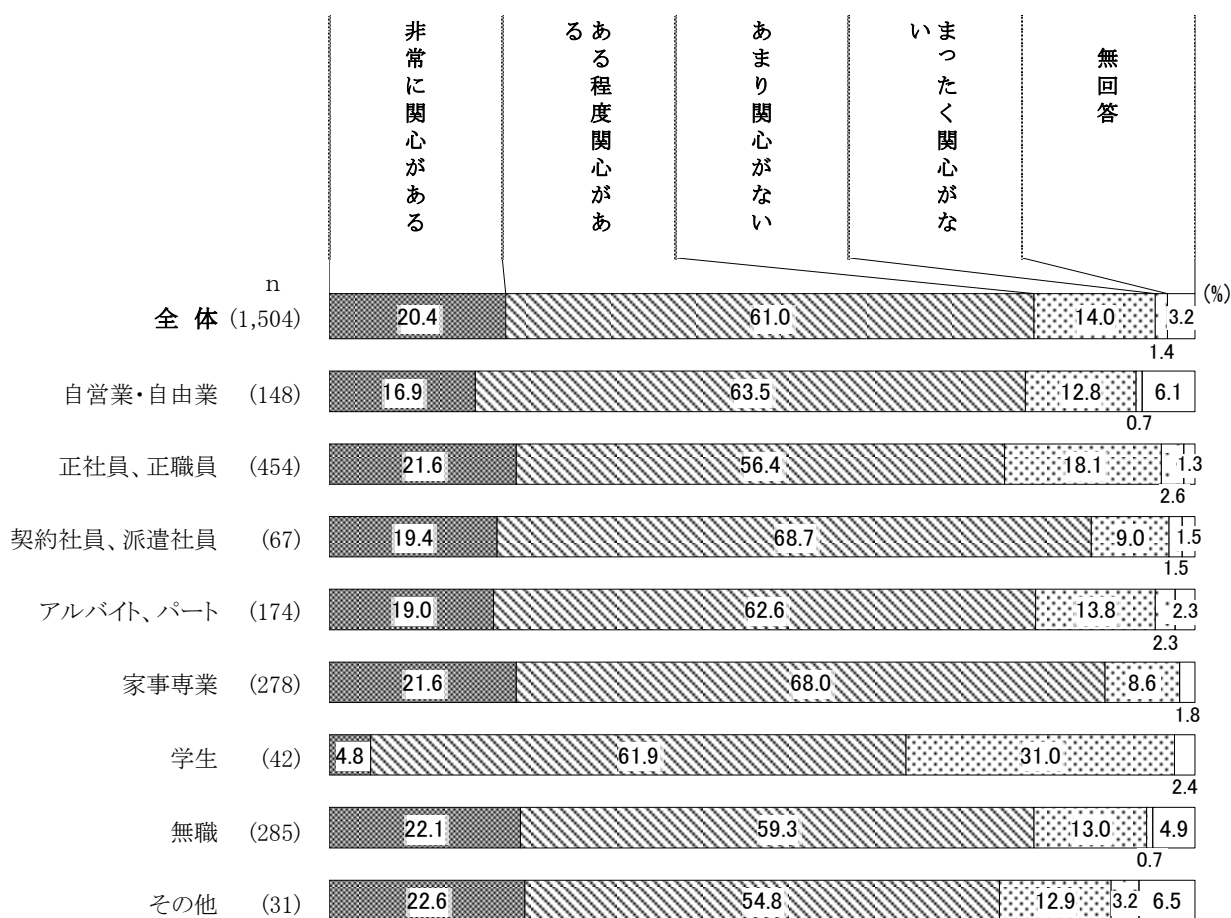
〔お住まいの地域について〕居住地域別で見ると、『関心がある』は、吉祥寺地域で8割台半ば、武蔵境地域で約8割、中央地域で7割台後半となっている。(図表 1-38)

参考：平成 26 年度調査の結果



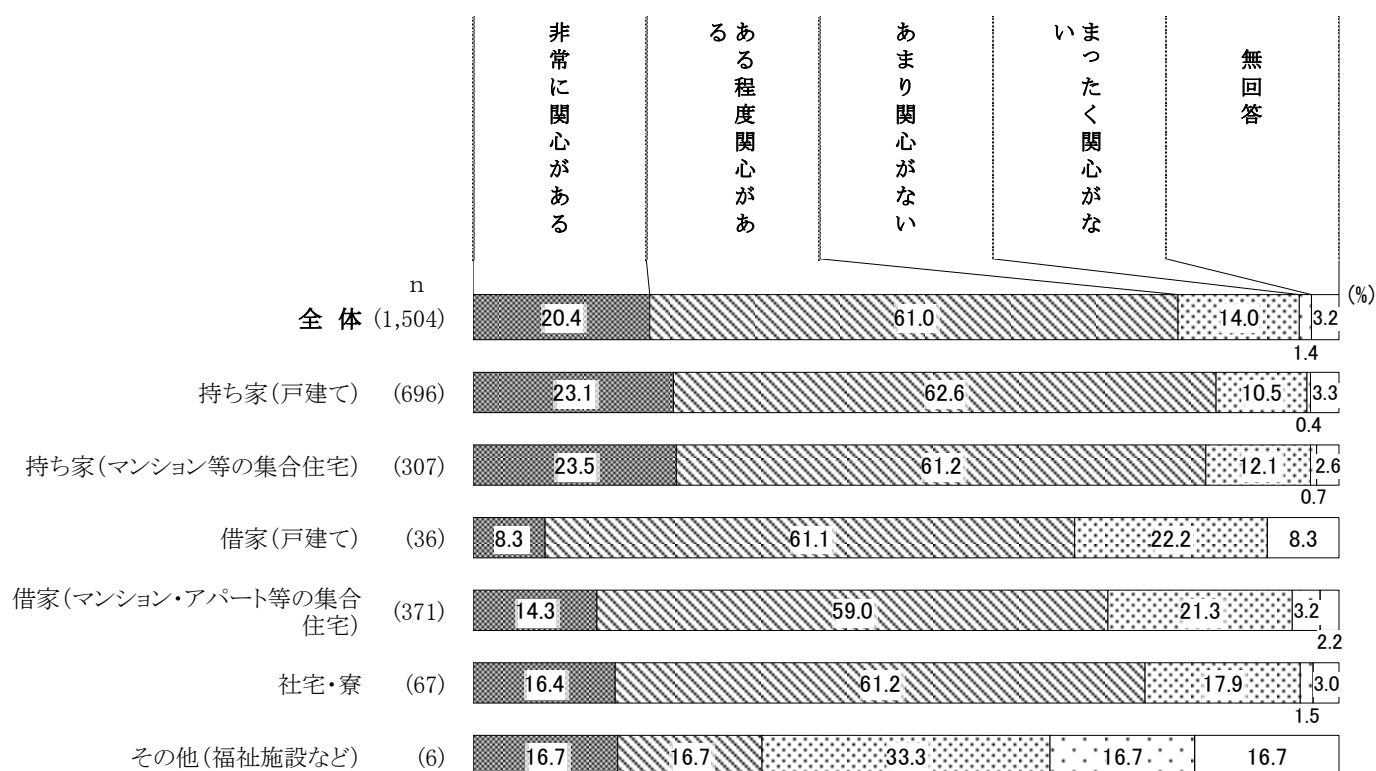
〔お住まいの地域について〕前回調査と比較すると、「非常に関心がある」は、すべての地域で割合が減少している。

図表 1-39 地域への関心度・お住まいの地域について (職業別)



〔お住まいの地域について〕職業別で見ると、『関心がある』は、家事専業で約9割と最も高く、契約社員、派遣社員で8割台後半、自営業・自由業、アルバイト、パート、無職で8割台前半となっている。一方、学生では6割台と他に比べて低くなっている。(図表1-39)

図表 1-40 地域への関心度・お住まいの地域について (住宅の種類別)



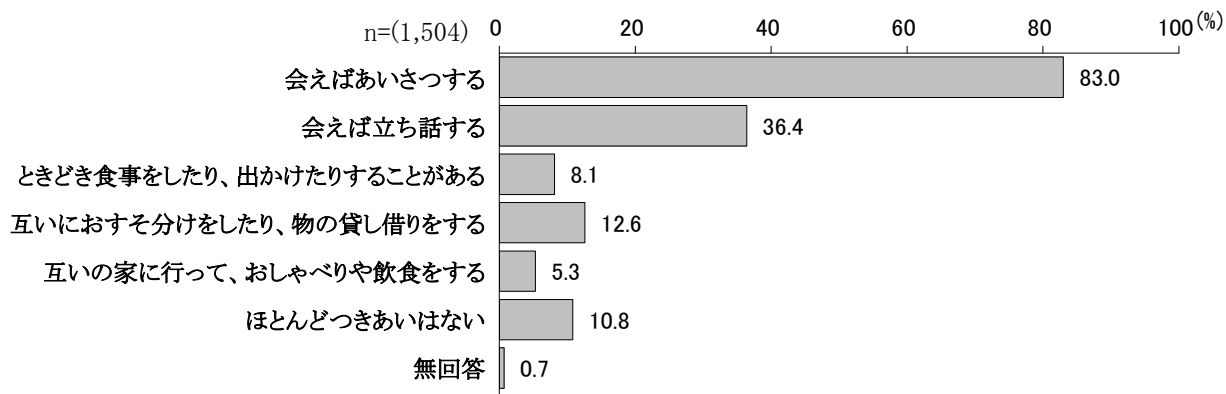
〔お住まいの地域について〕住宅の種類別で見ると、『関心がある』は、持ち家（戸建て）、持ち家（マンション等の集合住宅）で8割台半ば、社宅・寮で7割台後半、借家（マンション・アパート等の集合住宅）で7割台前半、借家（戸建て）で約7割となっている。（図表1-40）

1-7 近隣との交際状況

◎ 「会えばあいさつする」が8割台前半、「会えば立ち話する」が3割台半ばである。

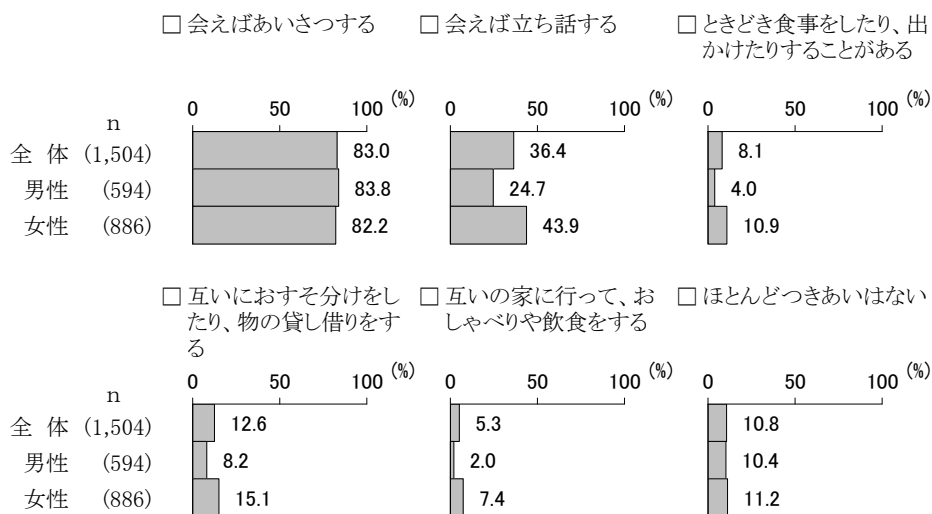
問5 あなたは日頃、近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(〇はいくつでも)

図表 1-41 近隣との交際状況 (複数回答)



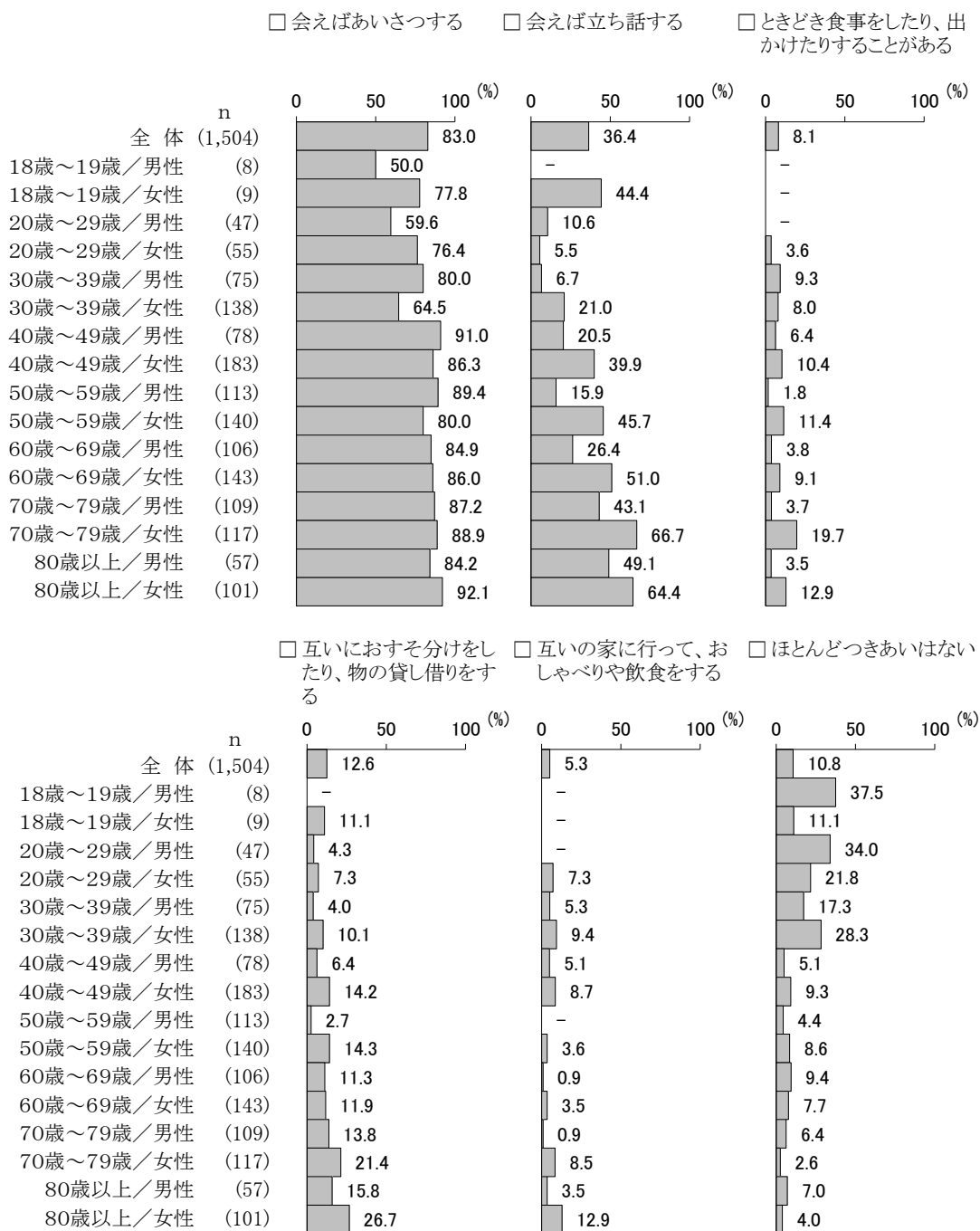
近隣との交際は、「会えばあいさつする」(83.0%)が8割台前半と最も高く、次いで、「会えば立ち話する」(36.4%)が3割台半ばとなっている。(図表 1-41)

図表 1-42 近隣との交際状況 (性別)



性別で見ると、「会えば立ち話する」は、女性の方が男性より19.2ポイント高く、「ときどき食事をしたり、出かけたりすることがある」は、女性の方が男性より6.9ポイント高く、「互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする」は、女性の方が男性より6.9ポイント高くなっている。(図表 1-42)

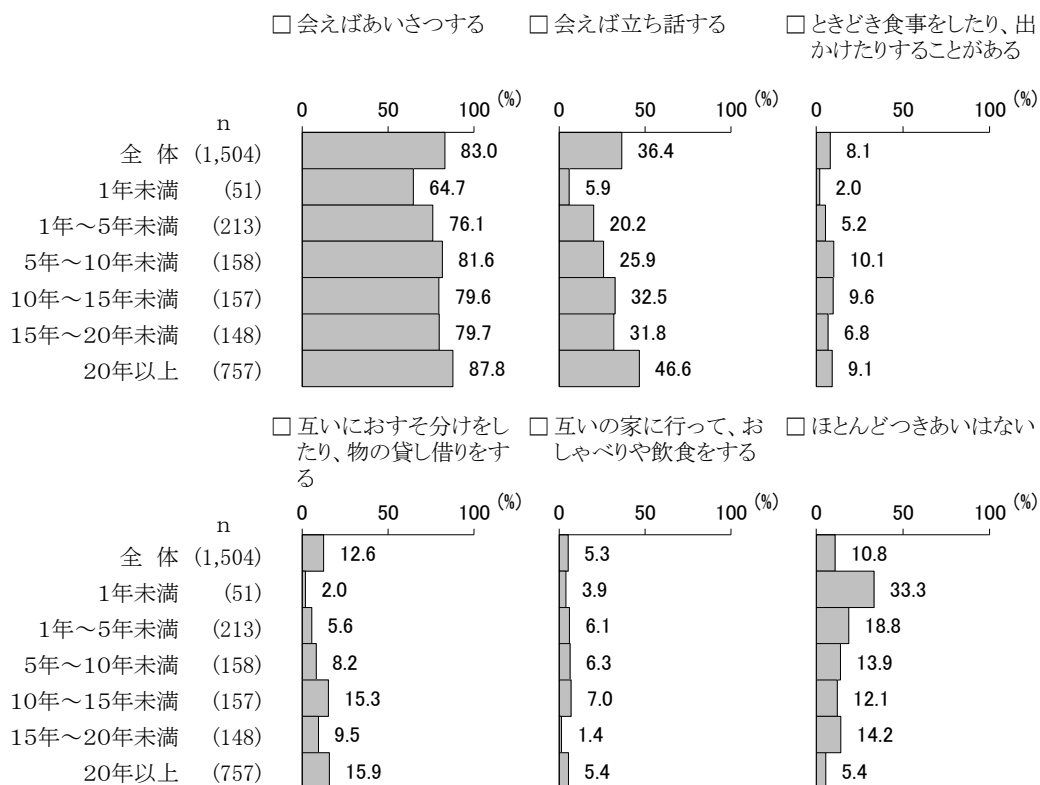
図表 1-43 近隣との交際状況 (性/年代別)



性/年代別で見ると、「会えばあいさつする」は、男女とも40歳以上で8割以上となっている。一方、男性の18歳～19歳、20歳～29歳で5割台、女性の30歳～39歳で6割台半ばとなっている。「会えば立ち話する」は、男女ともに年代が上がるほど増加する傾向があり、特に女性の70歳以上で6割台となっている。「ほとんどつきあいはない」は、男性の18歳～19歳、20歳～29歳で3割台、女性の20歳～29歳、30～39歳で2割台と高くなっている。

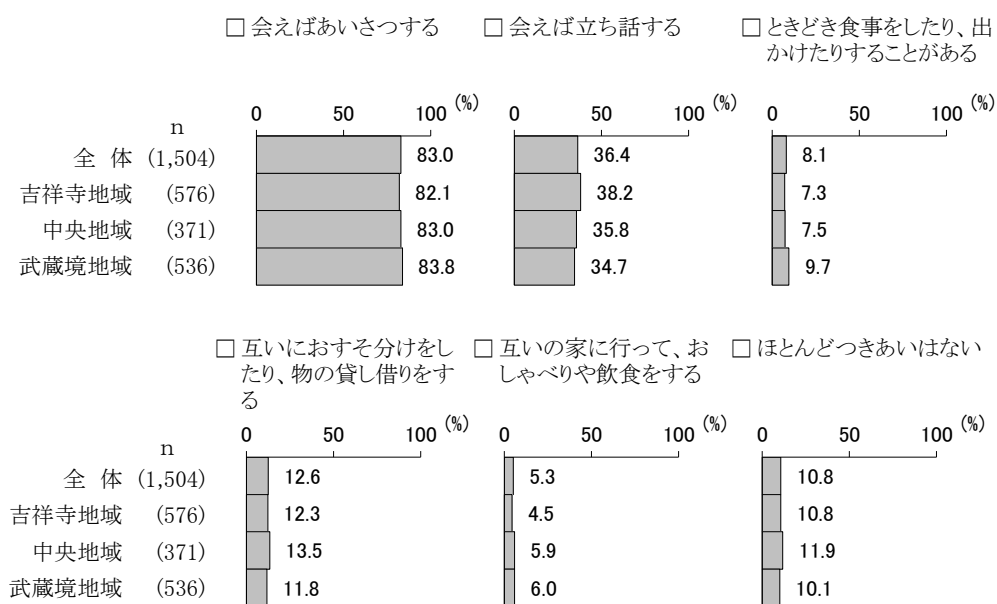
近隣との交際の程度は、男性よりも女性の方が深く、年代が高くなるほど交際の程度が深くなる傾向がある。(図表1-43)

図表 1-44 近隣との交際状況 (居住年数別)



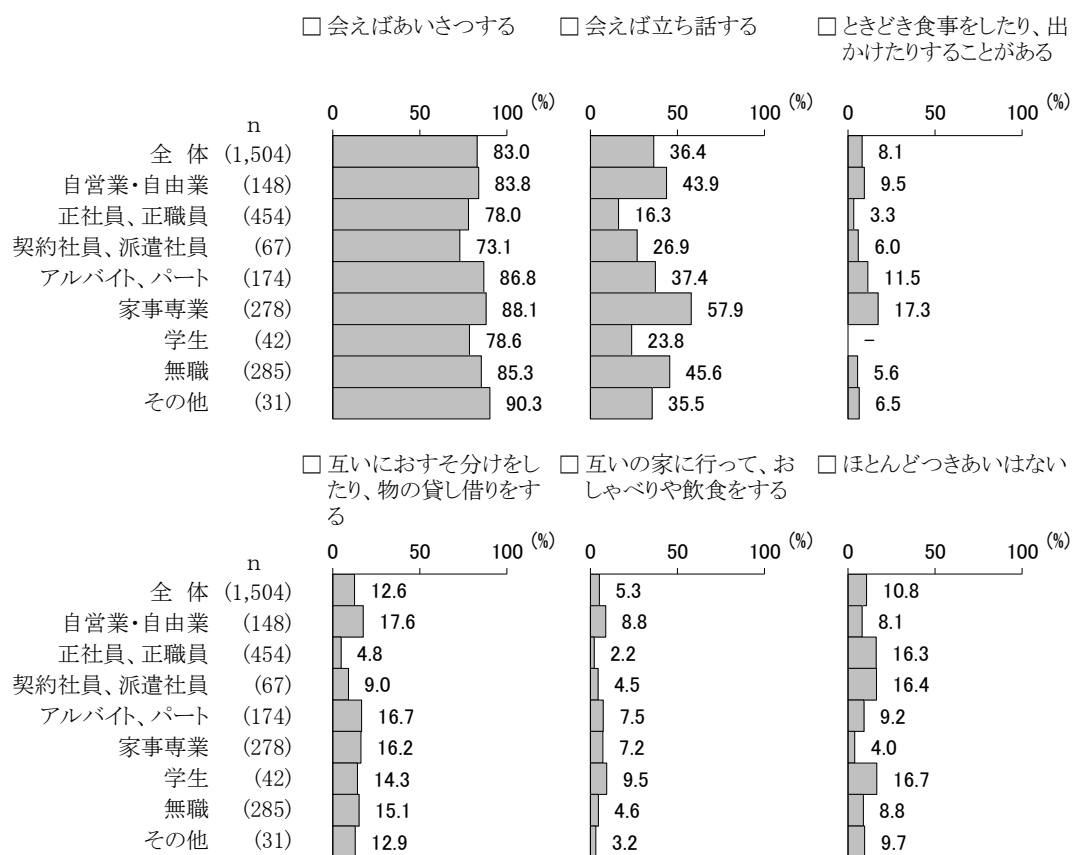
居住年数別に見ると、「会えばあいさつする」は1年未満で6割台半ば、1年以上では7割を超えている。「会えば立ち話する」は、居住年数が長いほど高くなる傾向にあり、20年以上で46.6%と最も高くなっている。一方、「ほとんどつきあいはない」は居住年数が短いほど高くなる傾向にあり、1年未満で3割台前半となっている。(図表 1-44)

図表 1-45 近隣との交際状況 (居住地域別)



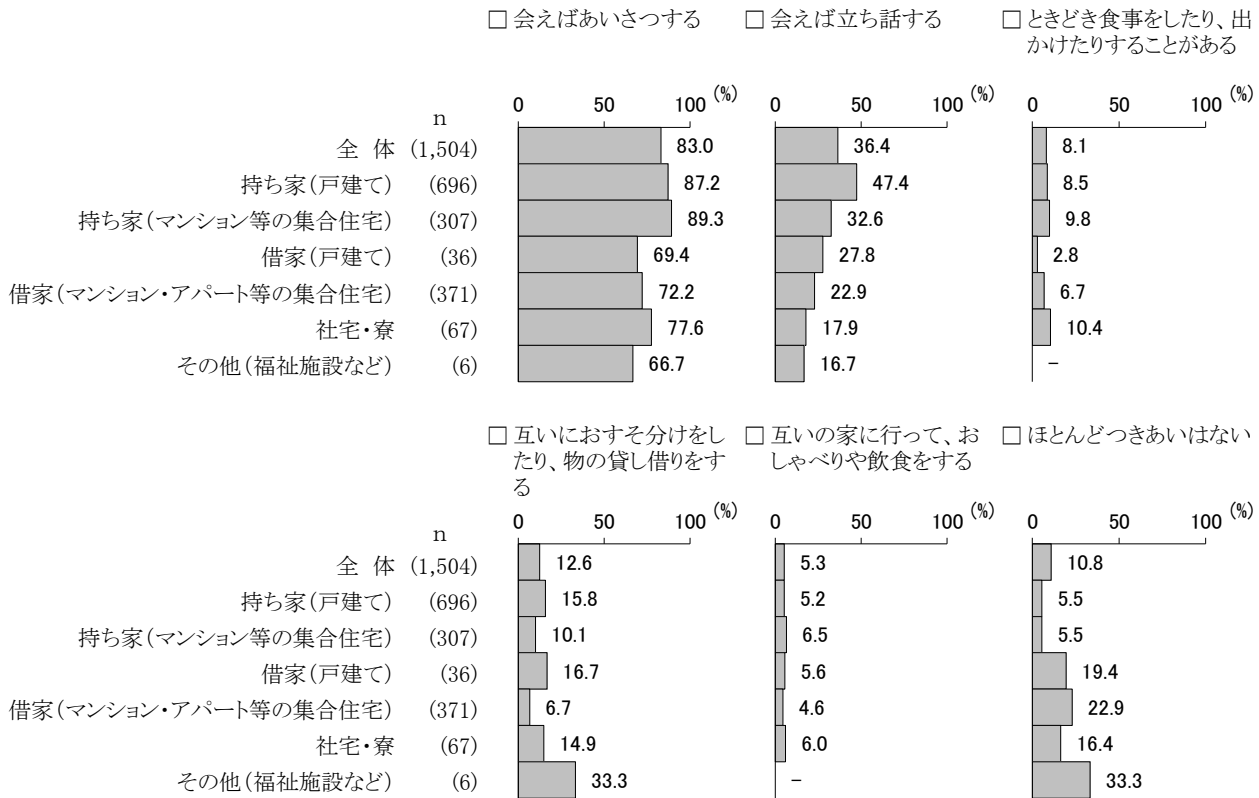
居住地域別で見ると、地域による大きな違いは見られない。(図表 1-45)

図表 1-46 近隣との交際状況 (職業別)



職業別で見ると、「会えば立ち話する」は、家事専業で5割台後半と最も高くなっている。一方、正社員、正職員で1割台半ば、学生で2割台前半と低くなっている。(図表 1-46)

図表 1-47 近隣との交際状況 (住宅の種類別)



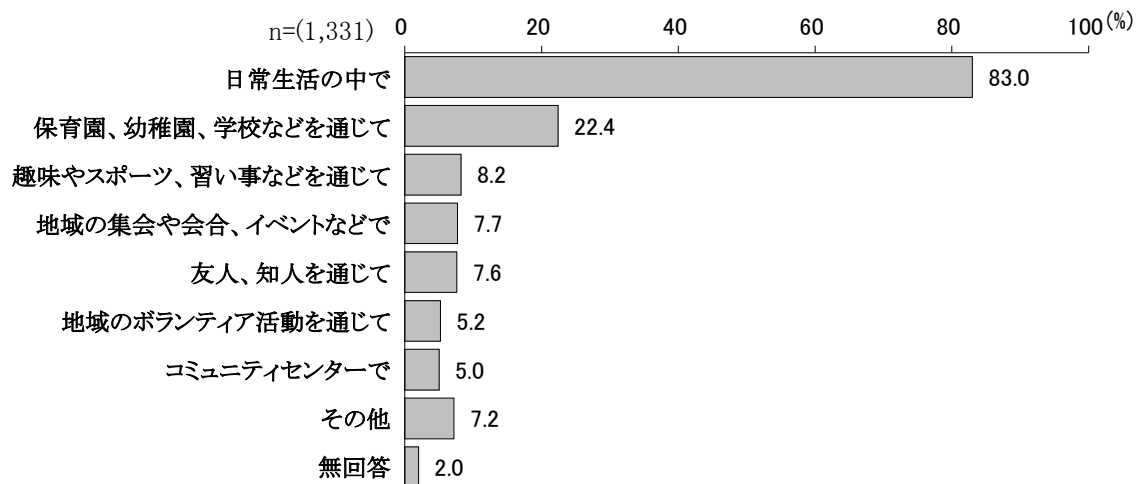
住宅の種類別で見ると、「会えば立ち話する」は、持ち家(戸建て)で4割台後半と最も高くなっている。一方、「ほとんどつきあいはない」は、借家(マンション・アパート等の集合住宅)で2割台前半、借家(戸建て)で約2割と他に比べて高くなっている。(図表1-47)

1-8 近隣との交際のきっかけ

◎ 「日常生活の中で」が8割台前半と最も高い。

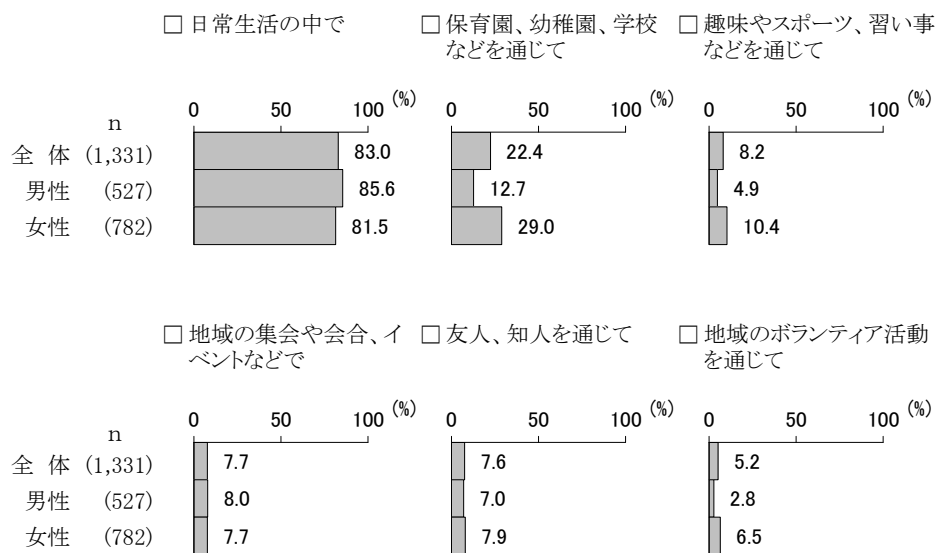
問5-1 どのようなきっかけで、近所の方とのつながりができましたか。(〇はいくつでも)

図表1-48 近隣との交際のきっかけ(複数回答)



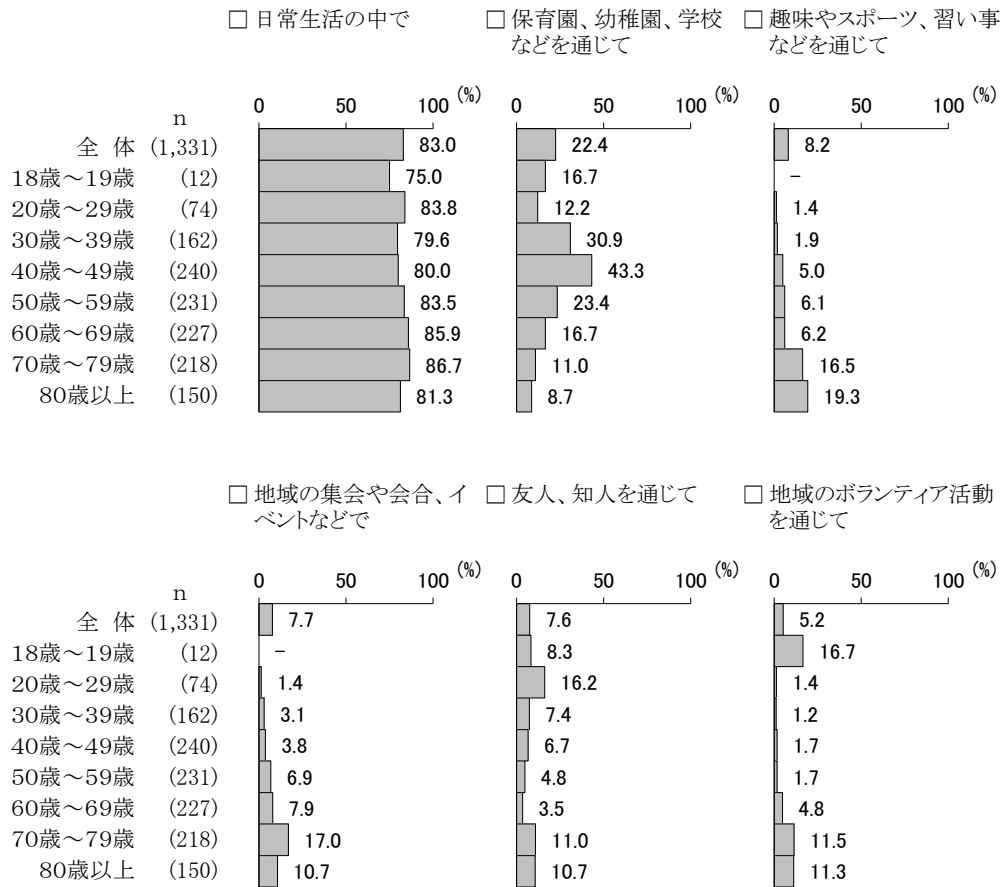
近隣との交際のきっかけは、「日常生活の中で」(83.0%)が8割台前半で最も高く、次いで、「保育園、幼稚園、学校などを通じて」(22.4%)が2割台前半となっている。(図表1-48)

図表1-49 近隣との交際のきっかけ(性別) 上位6項目



性別で見ると、「日常生活の中で」は、男性の方が女性より4.1ポイント高く、「保育園、幼稚園、学校などを通じて」は、女性の方が男性より16.3ポイント高く、「趣味やスポーツ、習い事などを通じて」は、女性の方が男性より5.5ポイント高くなっている。(図表1-49)

図表 1-50 近隣との交際のきっかけ (年代別)



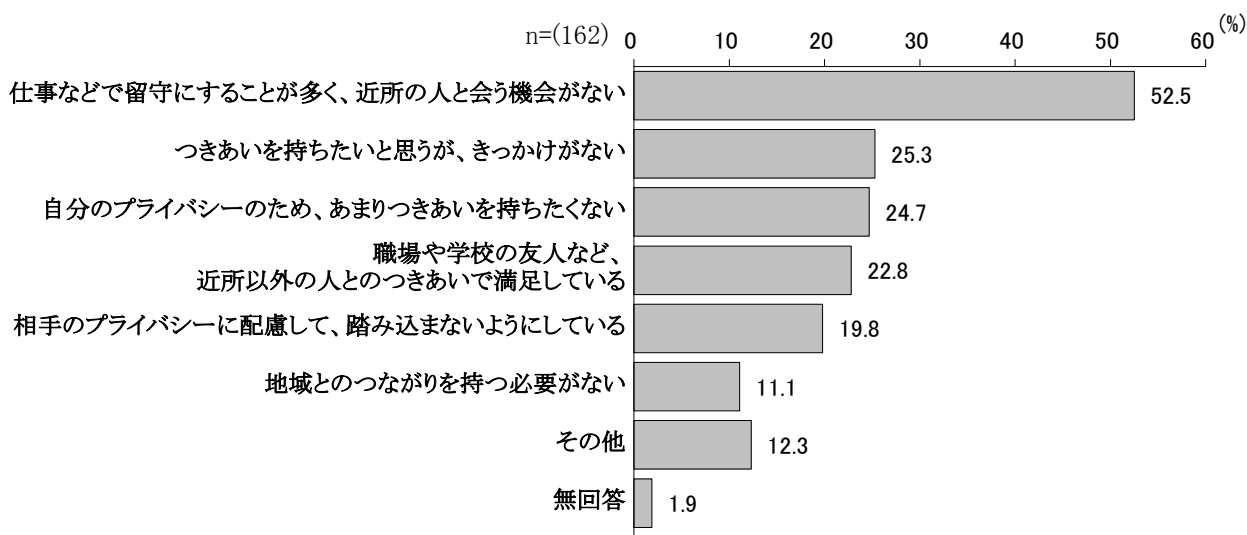
年代別で見ると、「保育園、幼稚園、学校などを通じて」は、40歳～49歳で4割前半と最も高く、次いで30歳～39歳が3割強となっている。「趣味やスポーツ、習い事などを通じて」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、80歳以上では2割弱となっている。「地域の集会や会合、イベントなどで」は、70歳～79歳で1割台後半と最も高くなっている。「友人、知人を通じて」は、20歳～29歳で1割台半ばと最も高くなっている。「地域のボランティア活動を通じて」は、18歳～19歳で1割台半ばと最も高くなっている。(図表1-50)

1-9 近隣との交際がない理由

◎ 「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」が5割前半と最も高い。

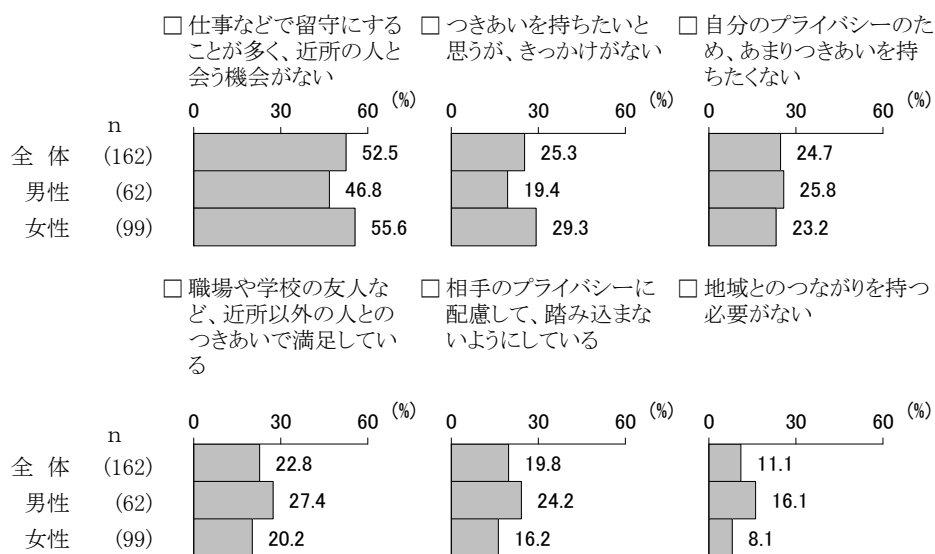
問5-2 近所の方とのつきあいがない理由は何でしょうか。(〇はいくつでも)

図表1-51 近隣との交際がない理由(複数回答)



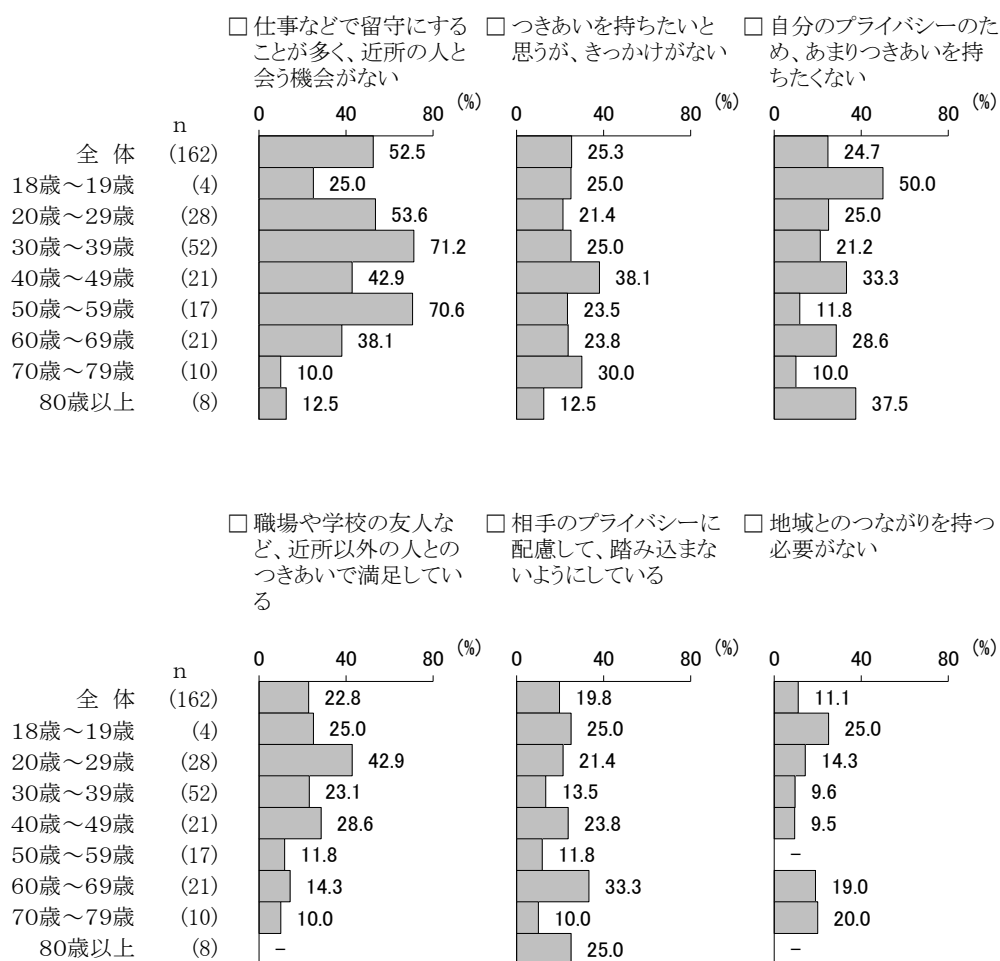
近隣との交際がない理由は、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」(52.5%)が5割前半で最も高く、次いで、「つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない」(25.3%)、「自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない」(24.7%)が2割台半ば、「職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している」(22.8%)が2割台前半となっている。(図表1-51)

図表1-52 近隣との交際がない理由(性別)



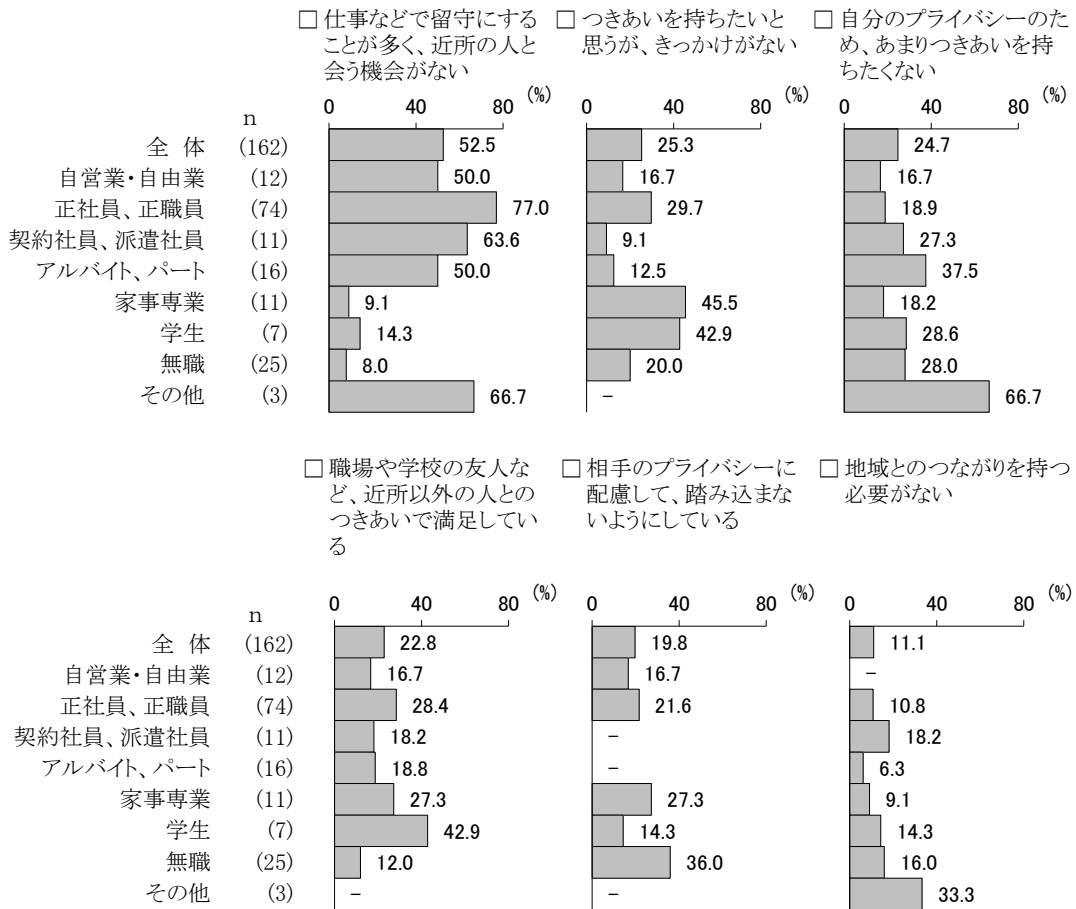
性別に見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」、「つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない」は女性の方が男性より高くなっており、「自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない」、「職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している」、「相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」、「地域とのつながりを持つ必要がない」は男性の方が女性より高くなっている。（図表1-52）

図表1-53 近隣との交際がない理由（年代別）



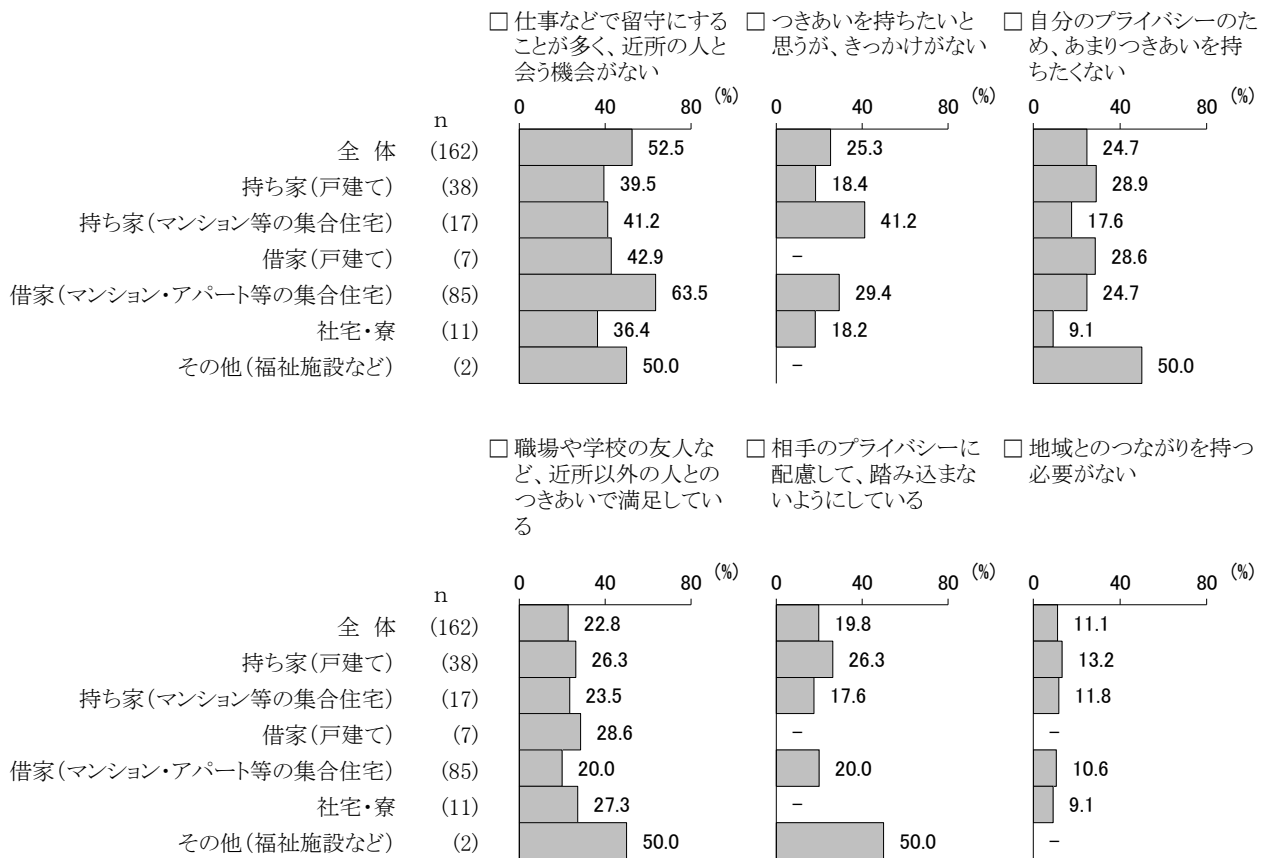
年代別に見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、30歳～39歳、50歳～59歳で7割台と高くなっている。「つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない」は、40歳～49歳で3割台後半と最も高くなっている。「職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している」は、20歳～29歳で4割台前半と最も高くなっている。（図表1-53）

図表 1-54 近隣との交際がない理由 (職業別)



職業別に見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、正社員、正職員で7割台後半と最も高くなっている。「つきあいを持ちたいと思うが、きっかけがない」は、家事専業、学生で4割台と高くなっている。(図表 1-54)

図表 1-55 近隣との交際がない理由 (住宅の種類別)



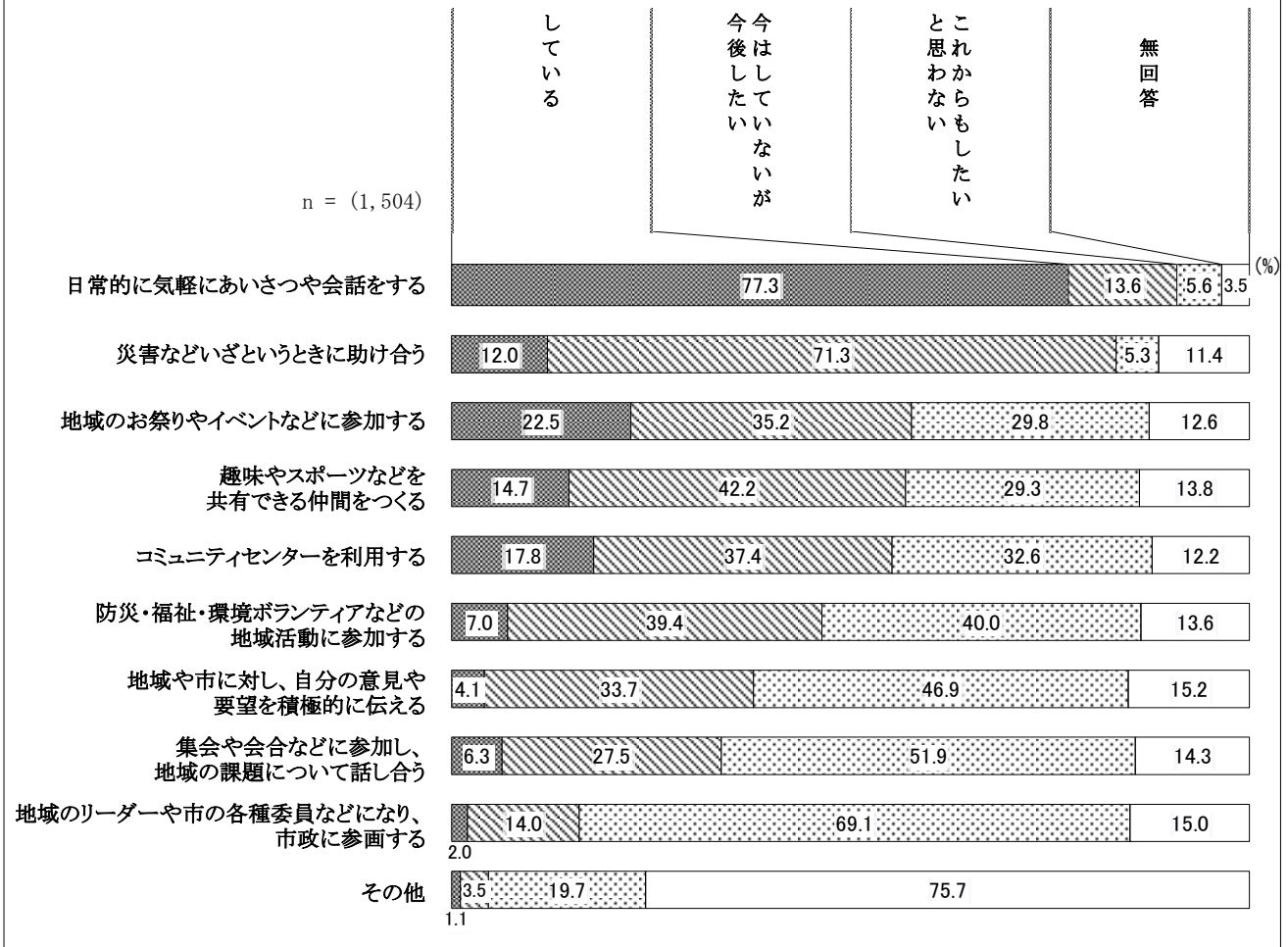
住宅の種類別に見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、借家(マンション・アパート等の集合住宅)で6割台前半と最も高くなっている。「つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない」は、持ち家(マンション等の集合住宅)で4割台前半と最も高くなっている。(図表1-55)

1-10 地域における行動の状況・意向

◎ 『日常的に気軽にあいさつや会話をする』の『意向あり』が9割強。

問6 あなたは、お住まいの地域とのつながりやコミュニケーションのために何かしていることがありますか。していることがない場合、今後したいと思っていますか。
(○はそれぞれ1つ)

図表 1-56 地域における行動の状況・意向



地域における行動の状況・意向について見てみると、『意向あり』（「している」＋「今はしていないが今後したい」）は『日常的に気軽にあいさつや会話をする』（90.9%）、『災害などいざというときに助け合う』（83.3%）、『地域のお祭りやイベントなどに参加する』（57.7%）、『趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる』（56.9%）、『コミュニティセンターを利用する』（55.2%）で過半数を超えている。（図表 1-56）

図表 1-57 地域における行動の状況・意向『意向あり』（性別・年代別・居住地域別）

			(%)									
		調査数 (n)	日常的に気軽にあいさつや会話をする	災害などいざというときに助け合う	地域のお祭りやイベントなどに参加する	趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる	コミュニティセンターを利用する	防災・福祉・活動に参加する	地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える	集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う	地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する	その他
全体		1,504	90.9	83.3	57.7	56.9	55.2	46.4	37.8	33.8	16.0	4.6
性別	男性	594	88.3	81.3	54.5	54.4	51.3	45.3	42.6	37.2	19.7	5.6
	女性	886	93.0	84.9	59.8	58.8	58.0	46.9	34.4	31.5	13.4	3.9
年代別	18歳～19歳	17	82.3	88.2	70.5	52.9	58.8	53.0	47.1	29.4	29.4	5.9
	20歳～29歳	102	84.3	81.4	60.8	51.0	47.1	33.4	38.3	26.5	17.6	5.9
	30歳～39歳	214	88.3	89.3	72.5	58.4	59.4	41.1	34.6	28.5	13.5	2.8
	40歳～49歳	261	96.9	90.4	72.8	67.1	59.8	52.9	41.0	38.7	17.2	6.2
	50歳～59歳	253	94.5	88.9	59.3	61.2	57.4	58.9	43.5	36.4	17.4	7.1
	60歳～69歳	250	91.6	86.4	52.0	57.6	57.6	48.8	35.2	34.8	18.4	5.2
	70歳～79歳	228	90.8	79.3	49.1	54.4	54.3	50.0	42.9	40.8	15.4	2.2
	80歳以上	160	83.7	56.3	27.6	38.1	40.7	21.3	22.6	21.9	9.4	1.9
居住地域別	吉祥寺地域	576	91.5	82.6	55.9	53.8	57.5	43.9	38.7	31.9	13.0	4.5
	中央地域	371	90.3	83.6	58.8	59.3	55.3	48.2	37.0	35.8	18.0	3.5
	武蔵境地域	536	91.0	83.8	58.6	58.4	52.3	47.9	37.5	34.5	17.7	5.4

地域における行動の状況・意向について、『意向あり』の割合を性別で見ると、『地域のお祭りやイベントなどに参加する』、『コミュニティセンターを利用する』では、女性の方が男性より5ポイント以上高くなっている。一方、『地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える』、『集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う』、『地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する』では、男性の方が女性より5ポイント以上高くなっている。

年代別に見ると、『地域のお祭りやイベントなどに参加する』では、18歳～19歳、30歳～39歳、40歳～49歳で7割台となっている。『趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる』では、40歳～49歳、50歳～59歳で6割台となっている。『地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する』では、18歳～19歳で約3割と最も高くなっている。

地域別に見ると、『日常的に気軽にあいさつや会話をする』、『コミュニティセンターを利用する』、『地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える』では、吉祥寺地域が最も高くなっているが、それ以外の項目では、吉祥寺地域は最も低くなっている。(図表1-57)

図表 1-58 地域における行動の状況・意向『意向あり』（住宅の種類別・家族構成別）

		(%)										
		調査数 (n)	日常的に気軽にあいさつや会話をする	災害などいざというときに助け合う	地域のお祭りやイベントなどに参加する	趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる	コミュニティセンターを利用する	防災・福祉・環境ボランティアなどの地域活動に参加する	地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える	集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う	地域のリーダーや市の各種委員などに参画する	その他
全体		1,504	90.9	83.3	57.7	56.9	55.2	46.4	37.8	33.8	16.0	4.6
住宅の種類別	持ち家(戸建て)	696	92.5	80.9	53.7	54.4	55.1	45.2	37.2	34.5	16.1	4.2
	持ち家(マンション等の集合住宅)	307	92.9	85.6	59.0	60.9	55.4	50.8	42.0	40.4	17.3	5.6
	借家(戸建て)	36	86.1	66.7	50.0	44.5	58.4	47.3	41.7	36.2	22.2	5.6
	借家(マンション・アパート等の集合住宅)	371	87.9	87.3	60.7	56.9	53.4	43.4	33.5	26.2	13.2	4.6
	社宅・寮	67	91.1	88.1	80.6	71.7	64.2	55.2	46.3	38.8	17.9	4.5
	その他(福祉施設など)	6	50.0	33.4	16.7	50.0	33.4	16.7	16.7	16.7	33.3	-
家族構成別	ひとり暮らし	247	83.4	81.0	44.1	53.1	45.8	41.7	31.5	23.1	11.3	4.4
	夫婦のみ	414	90.1	79.5	53.4	54.1	52.2	43.5	36.4	34.3	15.3	4.3
	親と子(2世代世帯)	690	94.4	87.3	65.7	60.8	61.6	50.3	39.9	37.4	17.6	5.2
	親と子と孫(3世代世帯)	63	93.6	87.3	63.5	54.0	53.9	47.6	46.0	39.7	22.2	3.2
	その他	64	90.6	71.9	45.3	53.1	46.9	40.6	39.0	29.7	15.6	1.6

地域における行動の状況・意向について、『意向あり』の割合を住宅の種類別で見ると、『地域のお祭りやイベントなどに参加する』では、社宅・寮で8割強と高くなっている。また、『趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる』でも社宅・寮で7割前半と高く、『コミュニティセンターを利用する』でも社宅・寮で6割台半ばと高くなっている。

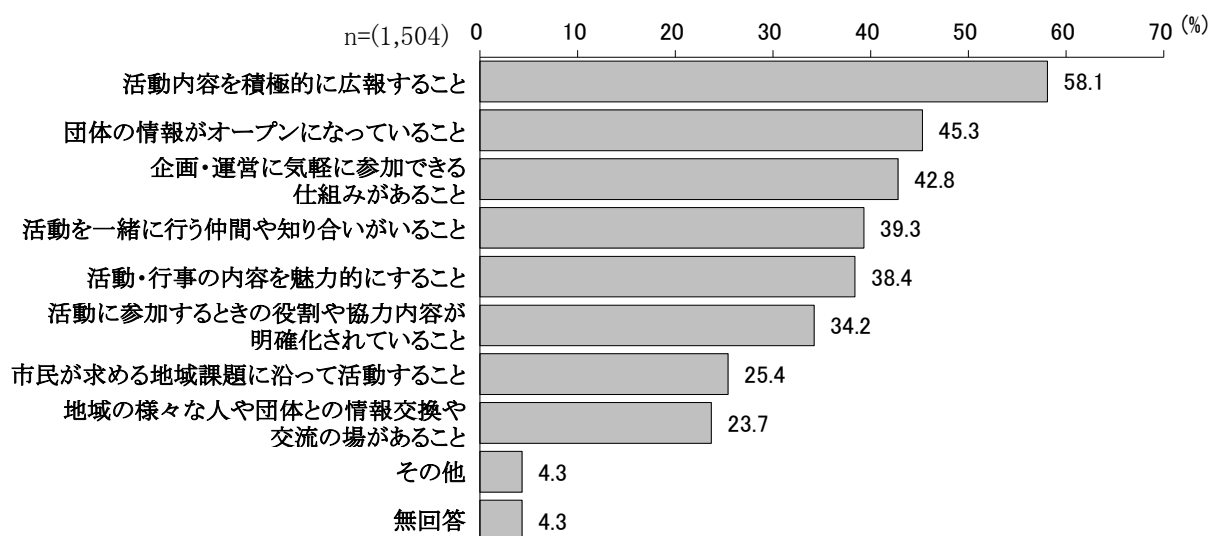
家族構成別に見ると、『地域のお祭りやイベントなどに参加する』では、親と子（2世代世帯）、親と子と孫（3世代世帯）で6割台半ばと高くなっている。『地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える』では、親と子と孫（3世代世帯）で4割台半ばと高くなっている。（図表 1-58）

1-1-1 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと

◎ 「活動内容を積極的に広報すること」が5割台後半で最も高い。

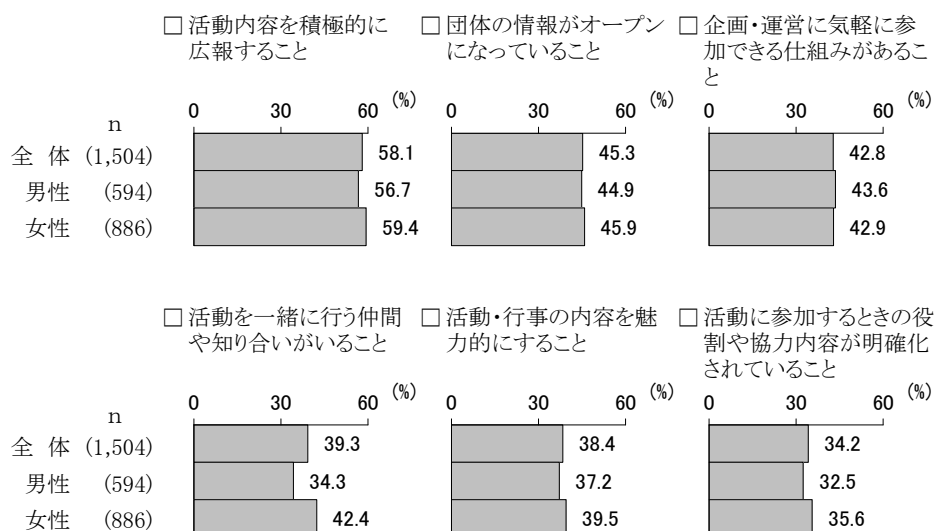
問7 防災・福祉・環境ボランティアなど、地域の活動に、より多くの人に参加するために必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

図表1-59 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと(複数回答)



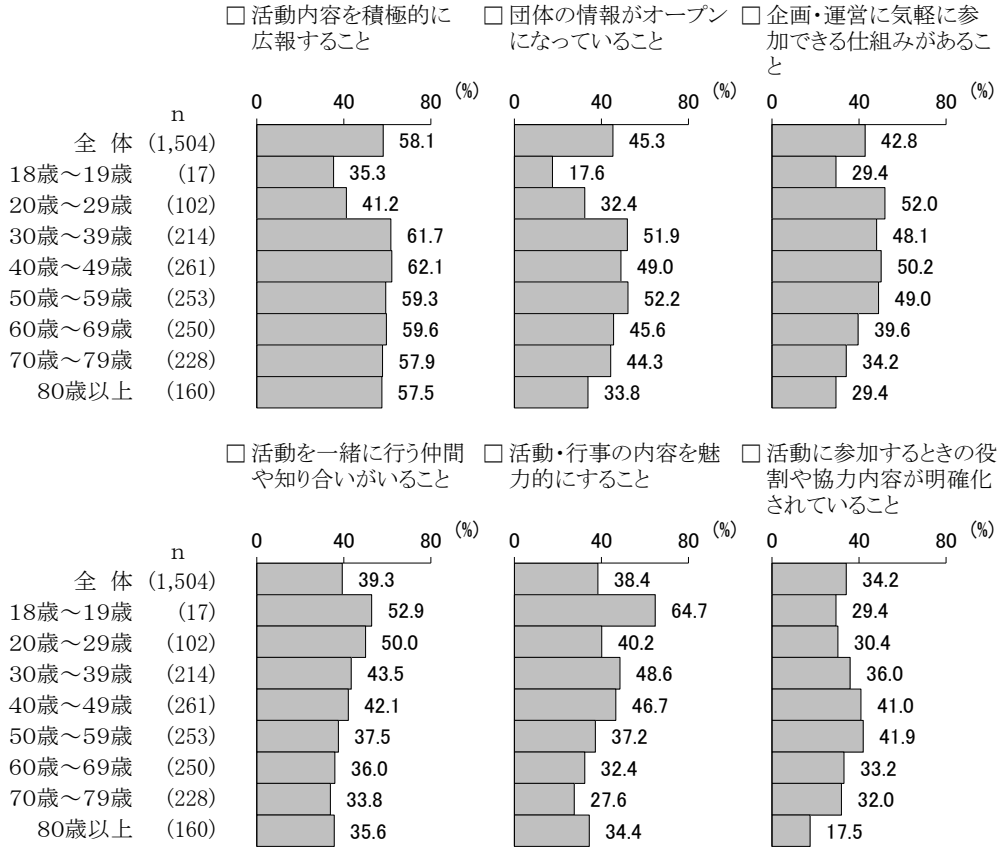
地域の活動の参加者を増やすために必要なことは、「活動内容を積極的に広報すること」(58.1%)が5割台後半と最も高く、次いで「団体の情報がオープンになっていること」(45.3%)が4割台半ば、「企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること」(42.8%)が4割台前半と続く。(図表1-59)

図表1-60 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと(性別) 上位6項目



上位6項目について、性別に見ると、「活動と一緒にいる仲間や知り合いがいること」は、女性の方が男性より8.1ポイント高くなっている。(図表1-60)

図表 1-61 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと (年代別) 上位 6 項目



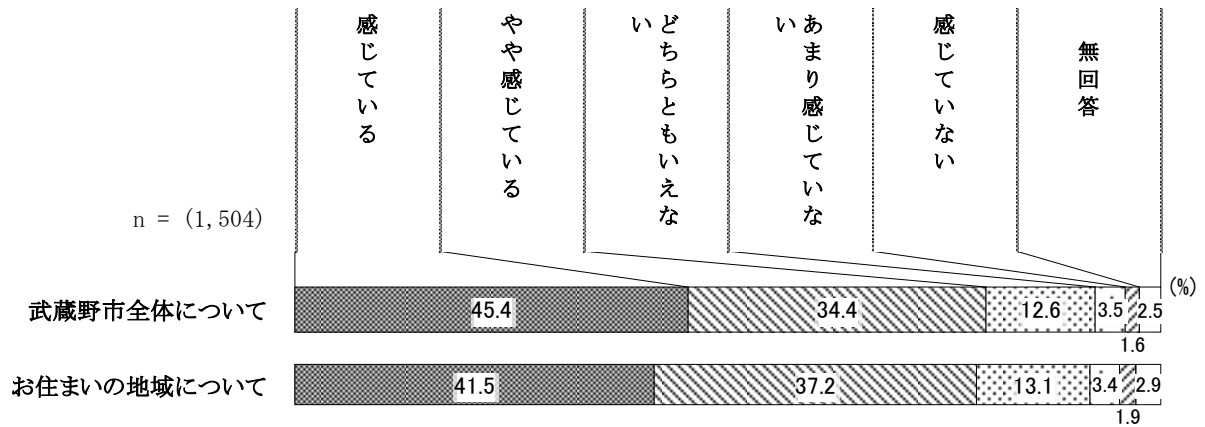
年代別に見ると、「活動内容を積極的に広報すること」は、18歳～19歳、20歳～29歳を除いた年代で過半数を超えて高くなっている。「団体の情報がオープンになっていること」は、30歳～59歳で5割前後と高くなっている。「企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること」は、20歳～59歳で5割前後と高くなっている。「活動と一緒にやる仲間や知り合いがいること」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向があり、18歳～19歳で52.9%と最も高くなっている。「活動・行事の内容を魅力的にすること」は、18歳～19歳で6割台半ばと最も高くなっている。(図表 1-61)

1-12 地域への誇り・愛着

◎ 「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」で「誇りや愛着を感じている」がともに6割を超えている。

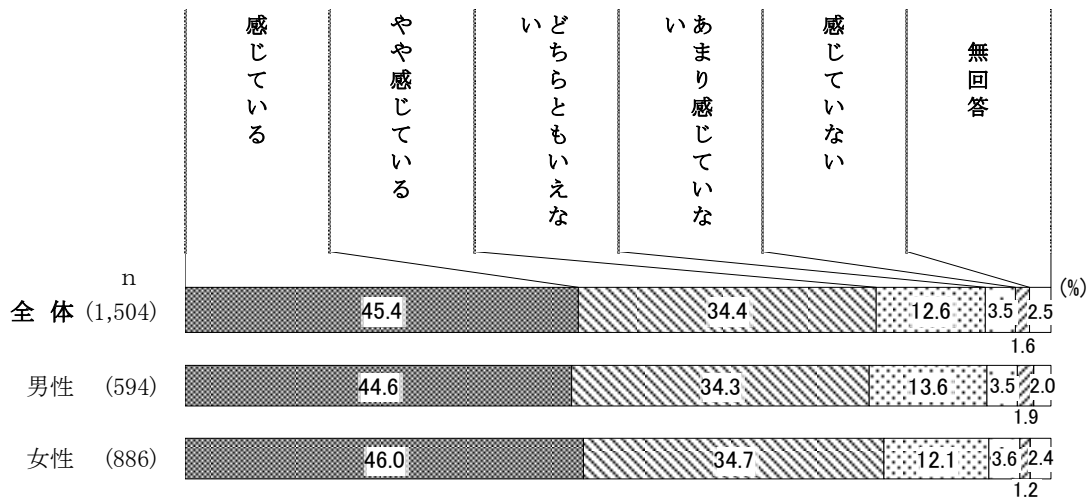
問8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか。（○は1つ）

図表1-62 地域への誇り・愛着

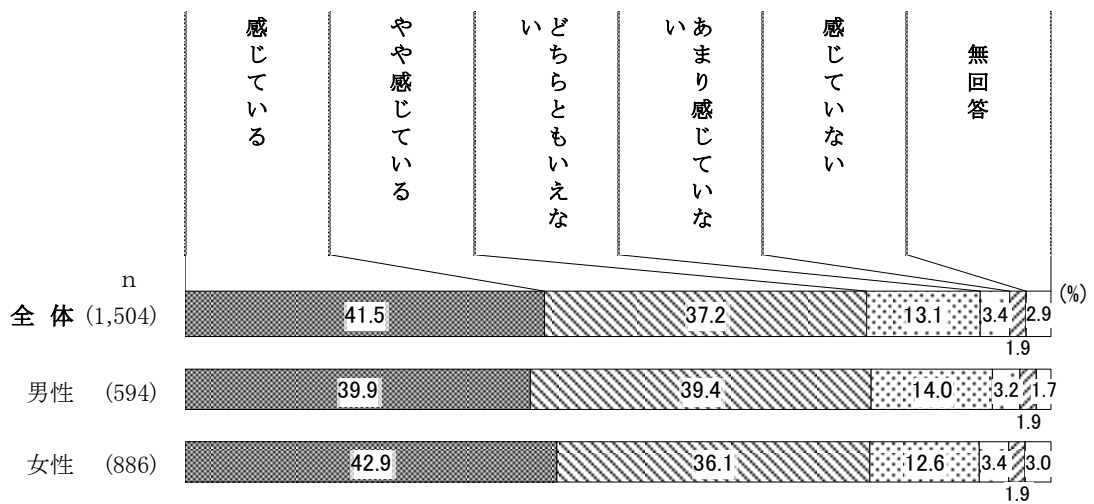


「武蔵野市全体について」の誇り・愛着は、『感じている』（「感じている」＋「やや感じている」）（79.8%）が約8割、「お住まいの地域について」は、『感じている』（78.7%）が7割台後半となっている。（図表1-62）

図表 1-63 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について（性別）

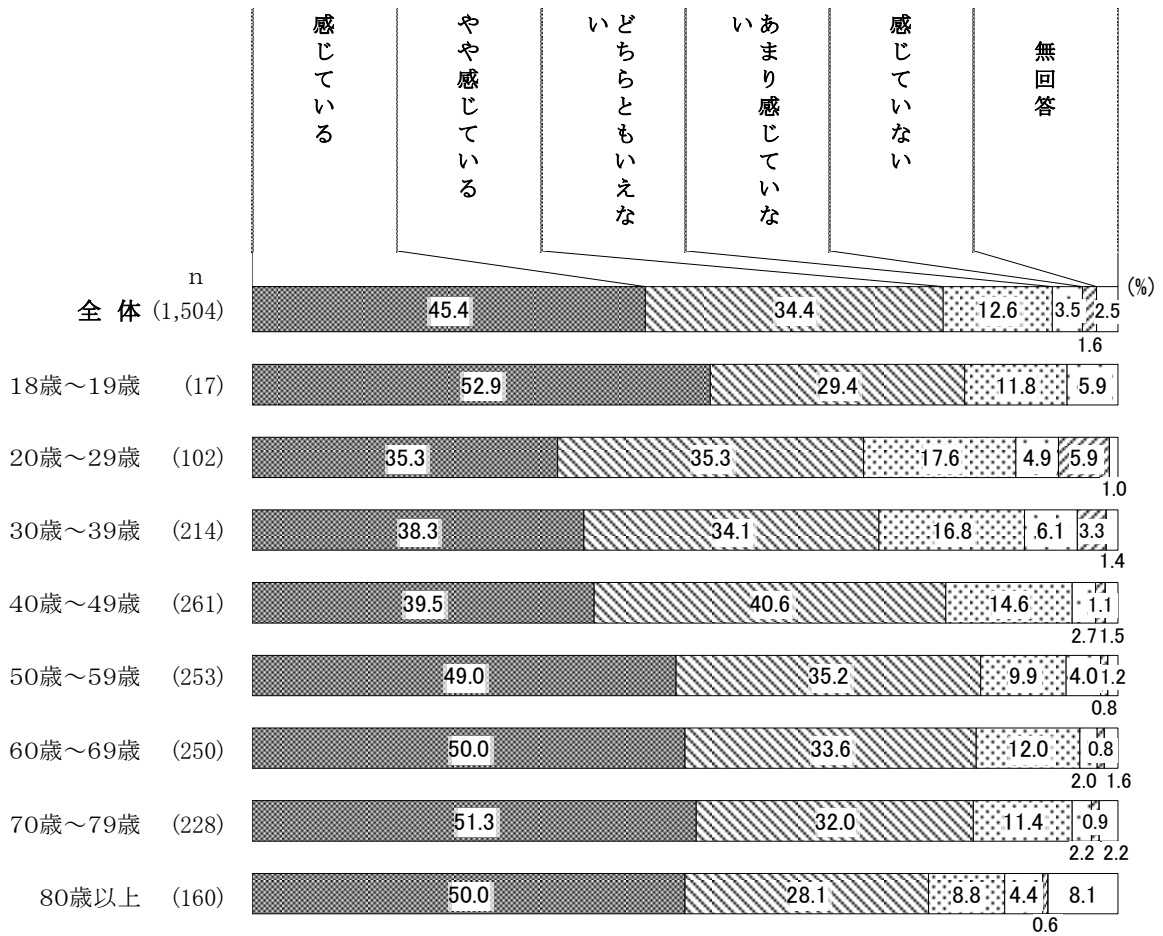


図表 1-64 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について（性別）

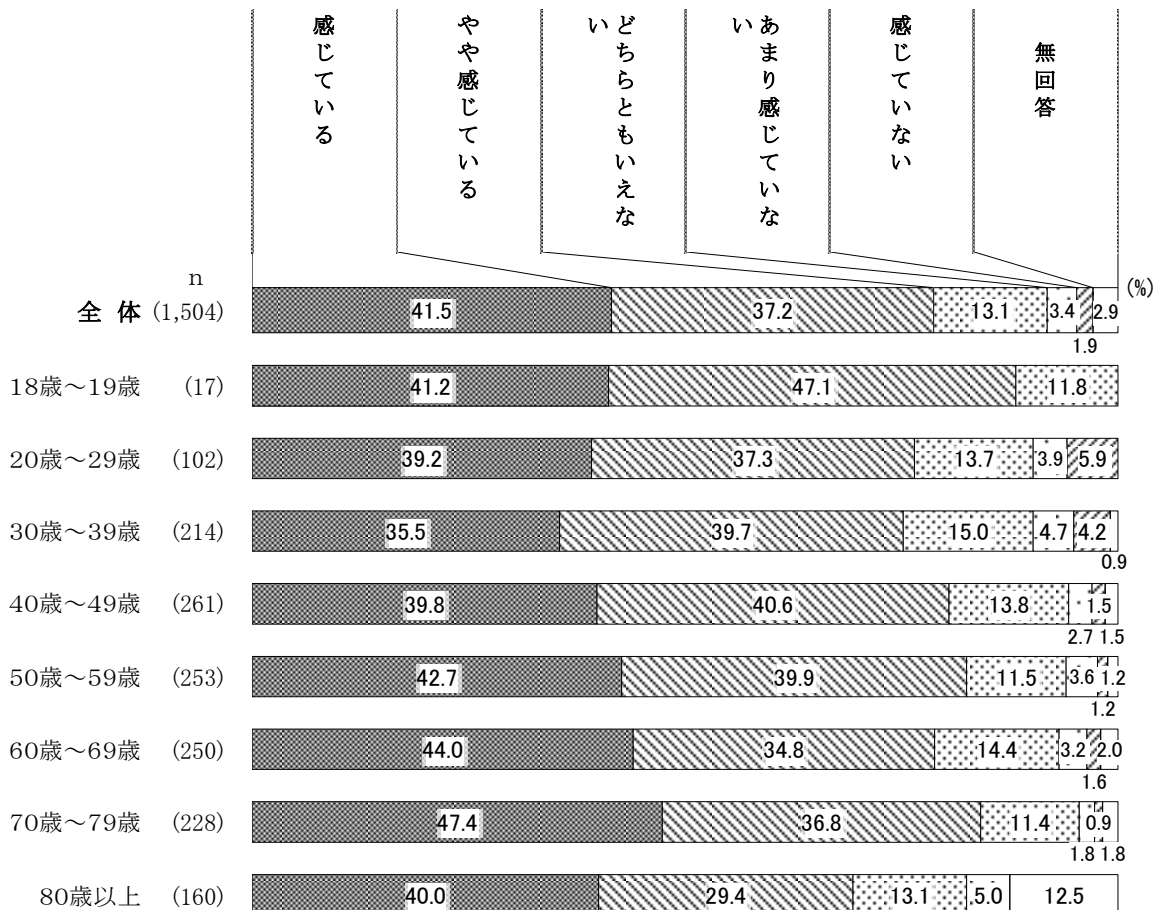


性別で見ると、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」ともに『感じている』は、性別による大きな違いは見られない。（図表 1-63、図表 1-64）

図表 1-65 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について（年代別）

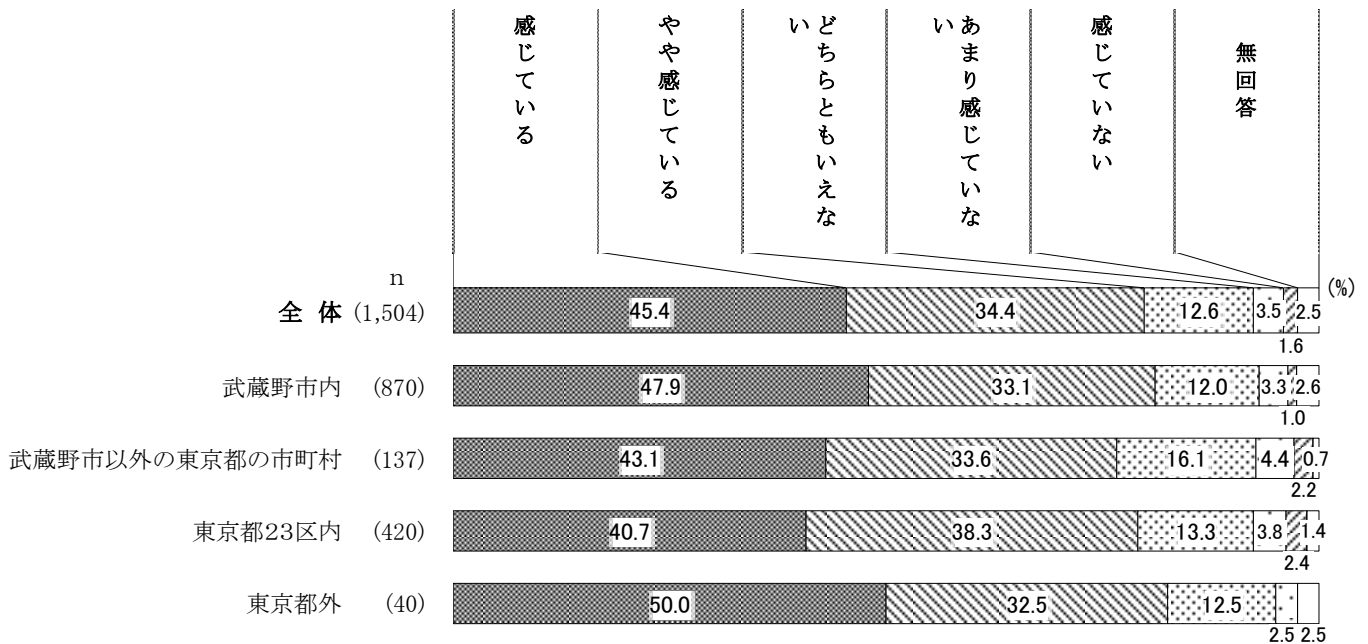


図表 1-66 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について（年代別）

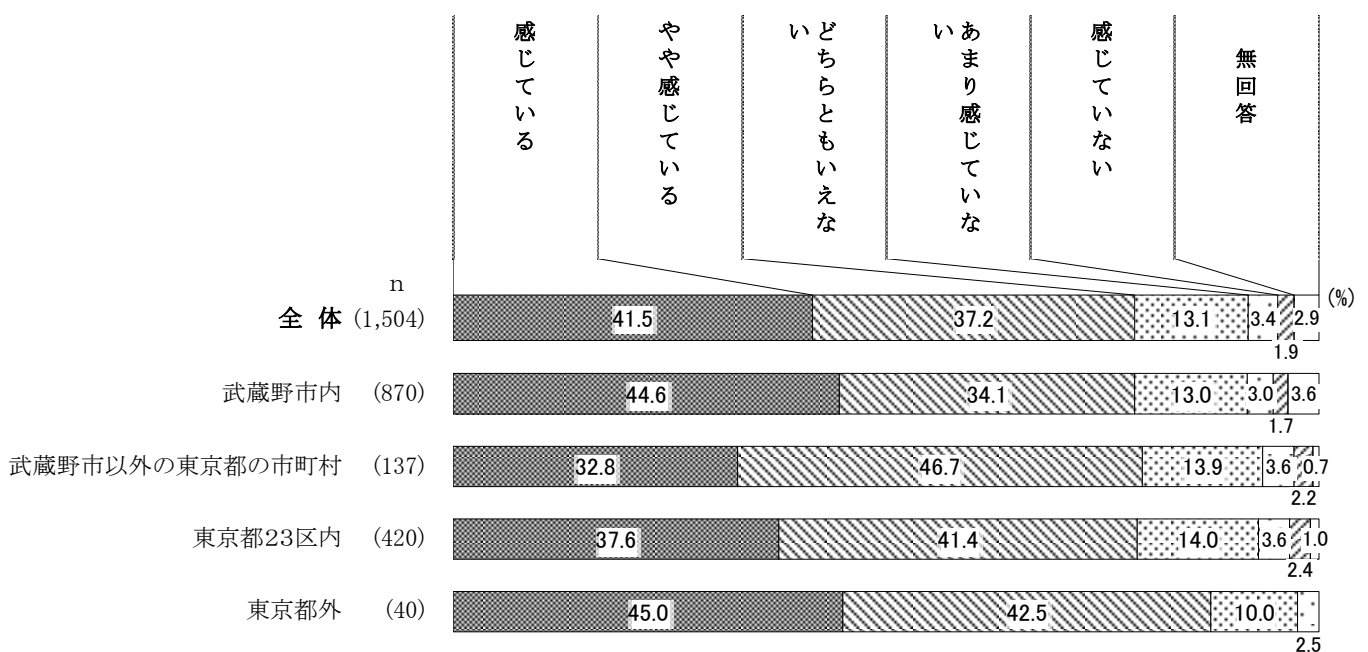


年代別で見ると、「武蔵野市全体について」は、『感じている』が18歳～19歳、40歳～79歳で8割を超えている。一方、『感じていない』は、20歳～29歳が1割強と他の年代に比べて高くなっている。「お住まいの地域について」は、『感じている』が80歳以上を除く年代で7割以上となっており、「誇りや愛着を感じていない」は、20歳～29歳が約1割で他の年代に比べて高くなっている。（図表1-65、図表1-66）

図表1-67 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について
（日中最も多くの時間を過ごす場所別）

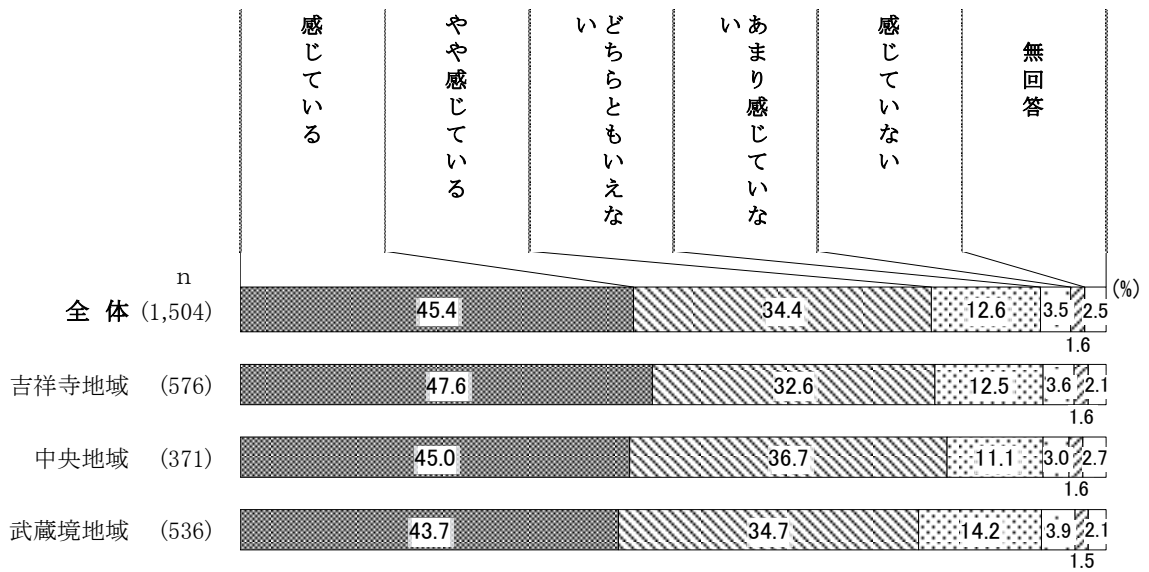


図表1-68 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について
（日中最も多くの時間を過ごす場所別）

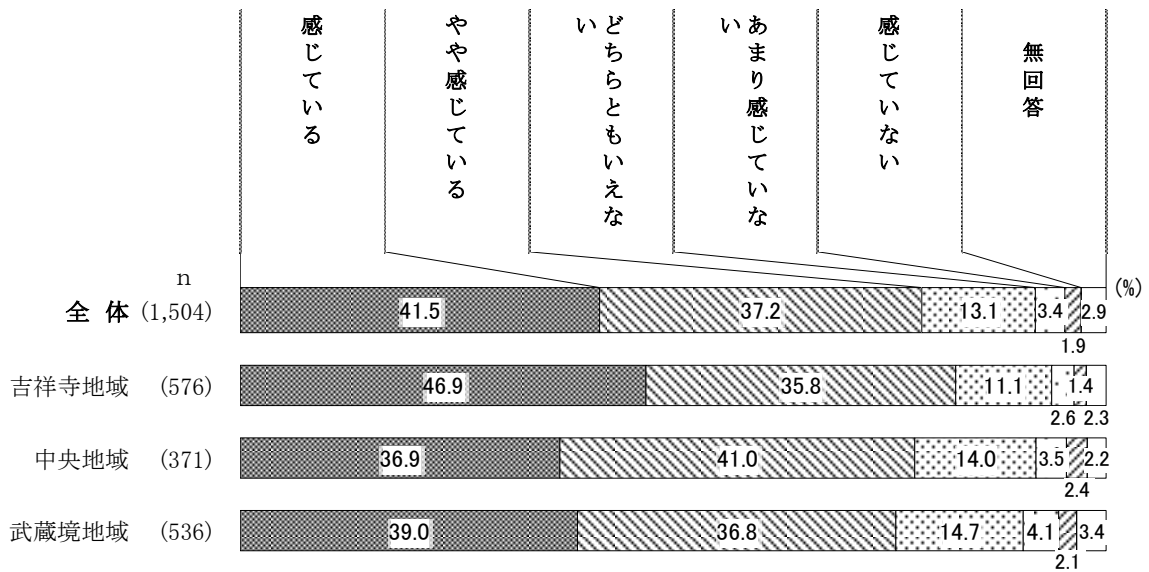


日中最も多くの時間を過ごす場所別で見ると、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」は、『感じている』が、すべての場所で7割を超えている。（図表1-67、図表1-68）

図表 1-69 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について（居住地域別）

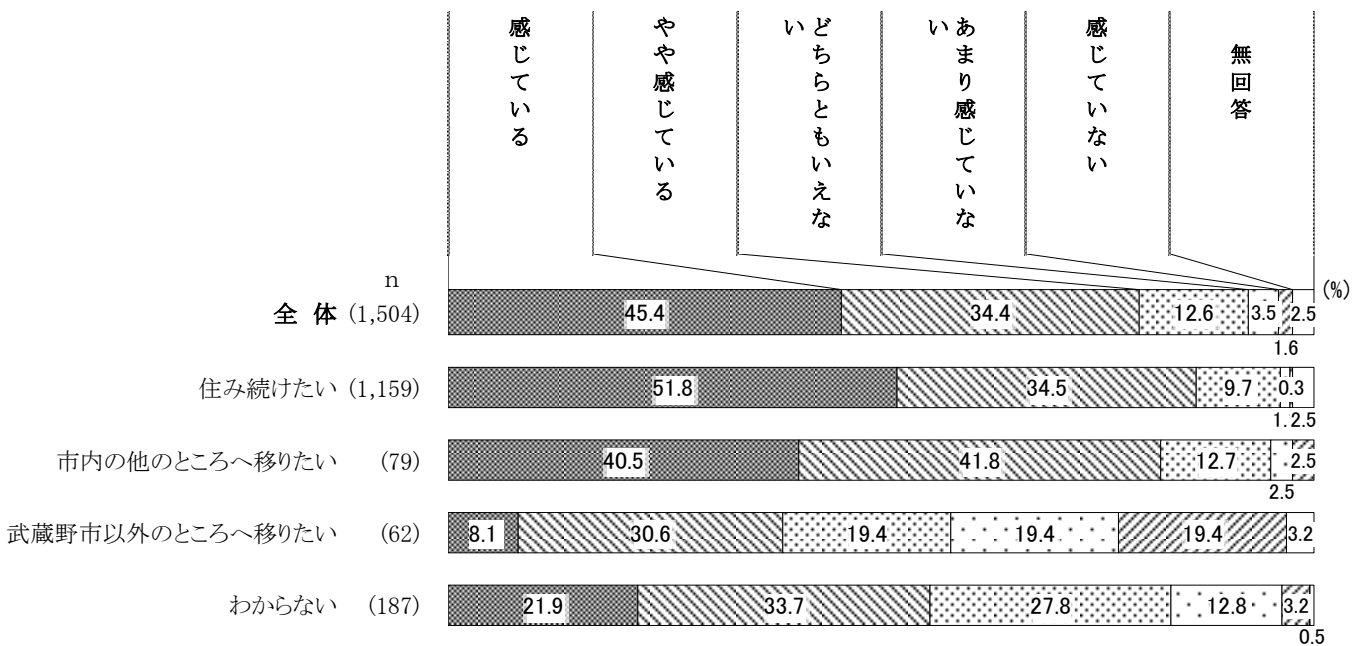


図表 1-70 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について（居住地域別）

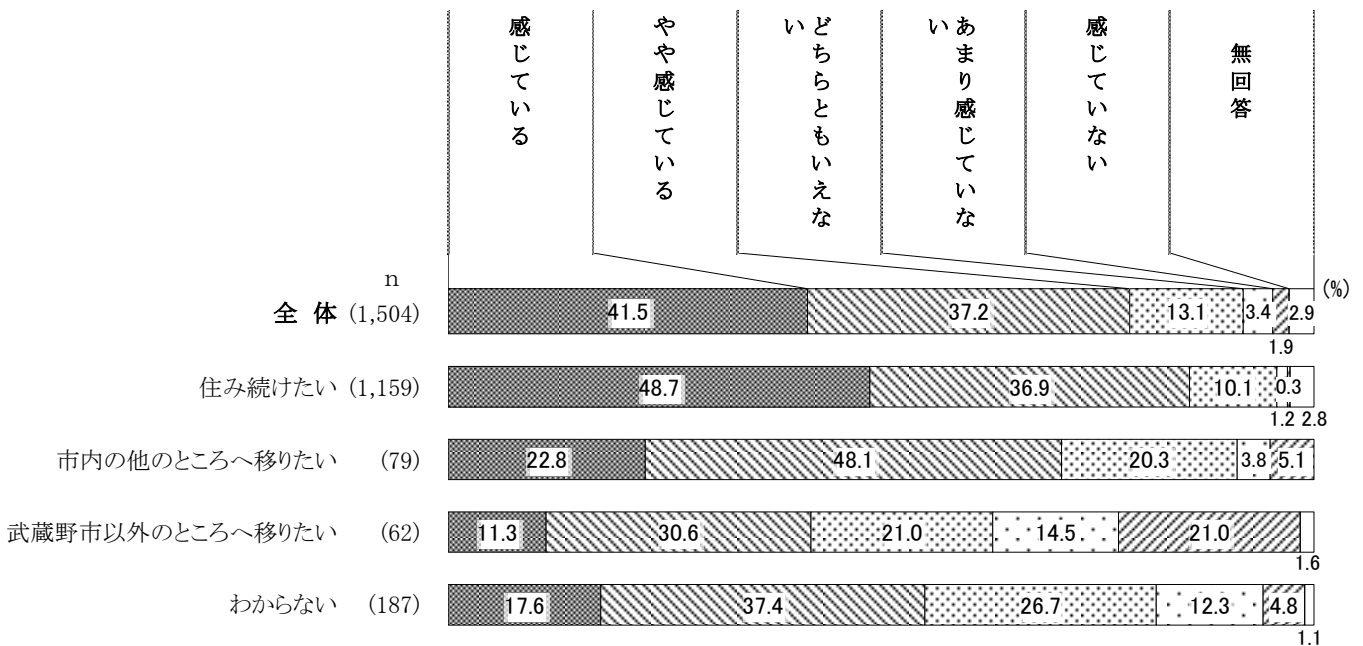


居住地域別で見ると、「武蔵野市全体について」は、『感じている』は、吉祥寺地域と中央地域で8割台、武蔵境地域で7割台後半となっている。「お住まいの地域について」は、『感じている』は、吉祥寺地域で8割台前半と最も高くなっている。（図表 1-69、図表 1-70）

図表 1-71 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について（定住意向別）



図表 1-72 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について（定住意向別）



定住意向別で見ると、〔武蔵野市全体について〕は、『感じている』は、住み続けたい、市内の他のところへ移りたいで8割台となっている。一方、武蔵野市以外のところへ移りたいでは3割台後半となっている。〔お住まいの地域について〕は、『感じている』は、住み続けたいで8割台半ばと最も高くなっている。一方、武蔵野市以外のところへ移りたいでは4割台前半となっている。（図表1-71、図表1-72）

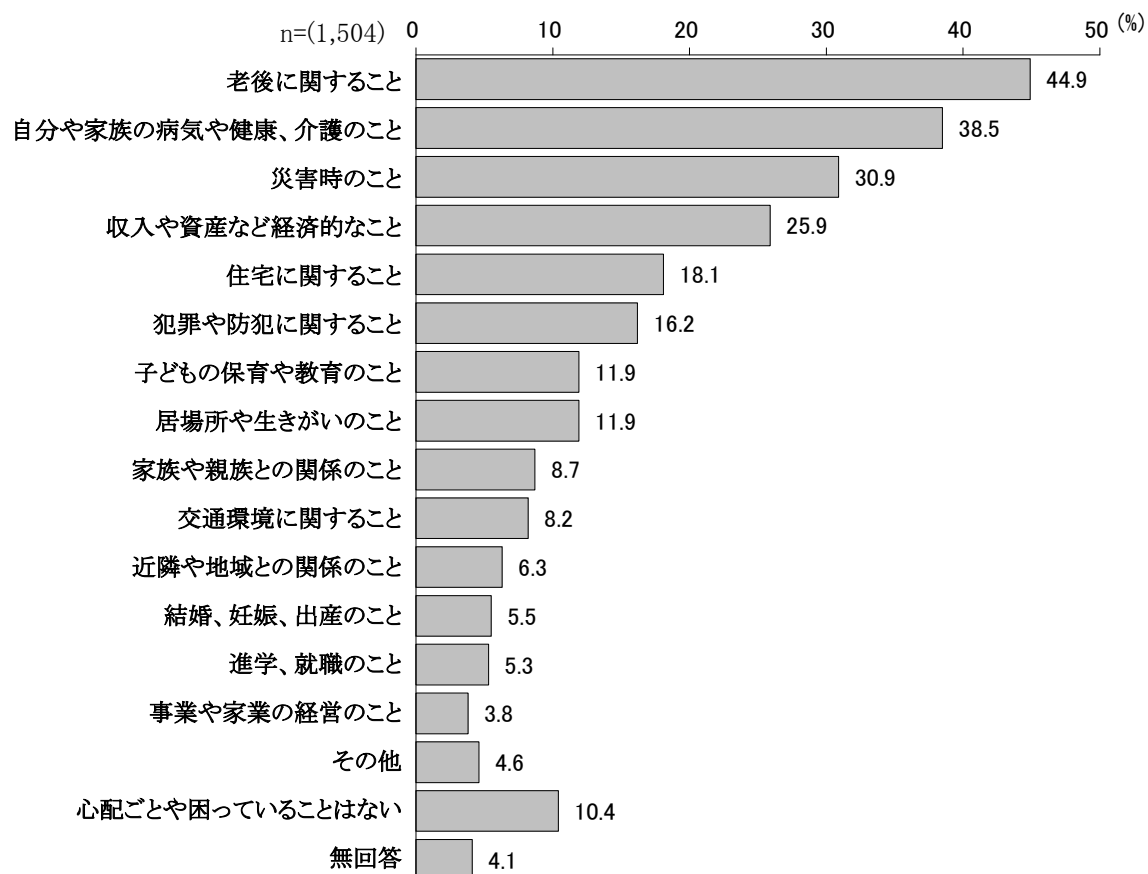
1-13 困っていること・不安なこと

◎ 「老後に関すること」が4割台半ばで最も高い。

問9 日頃、生活や身近な環境で困っていることや不安なことはありますか。

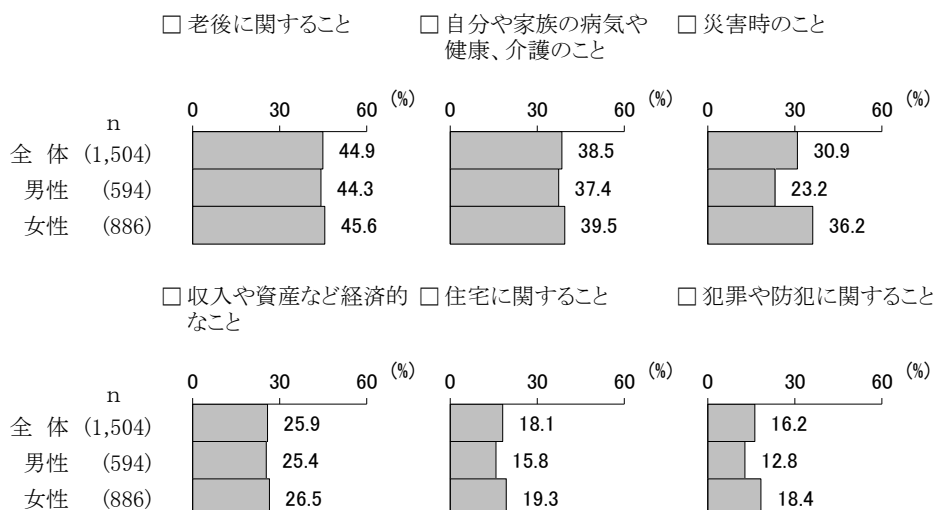
(○はいくつでも)

図表 1-73 困っていること・不安なこと (複数回答)



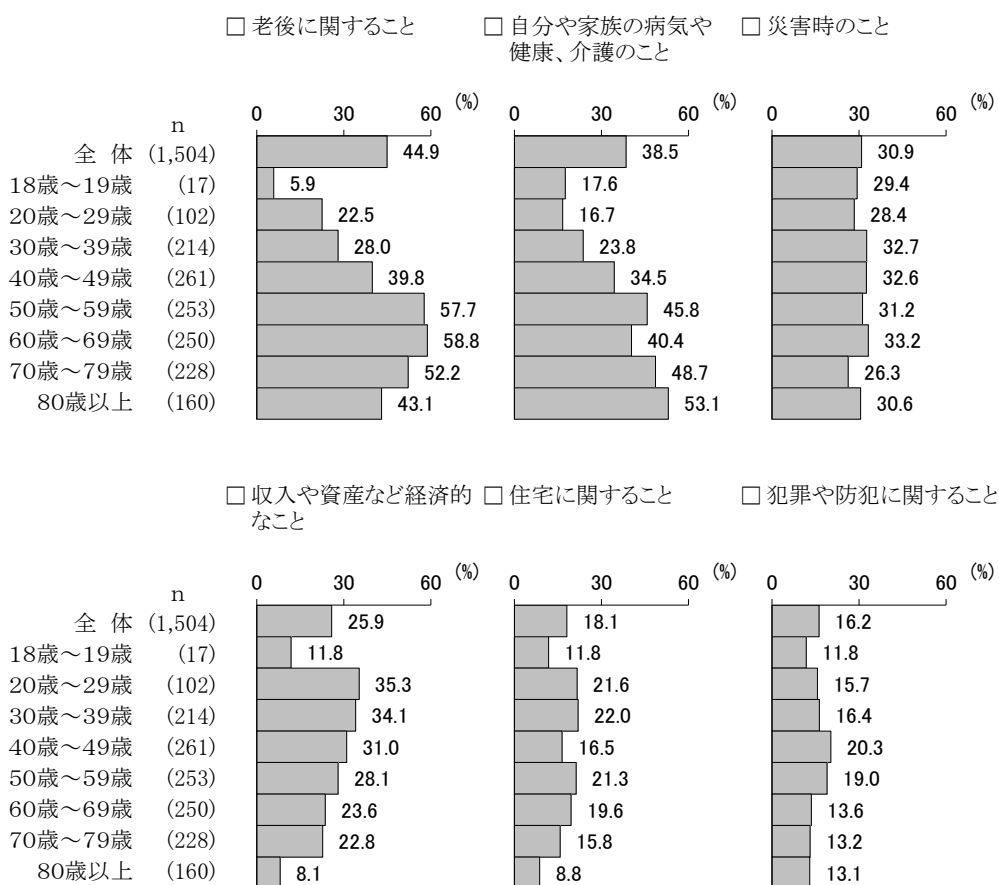
困っていること・不安なことは、「老後に関すること」(44.9%)が4割台半ばで最も高い。次いで、「自分や家族の病気や健康、介護のこと」(38.5%)が3割台後半、「災害時のこと」(30.9%)が3割強、「収入や資産など経済的なこと」(25.9%)が2割台半ばと続いている。(図表 1-73)

図表 1-74 困っていること・不安なこと (性別) 上位 6 項目



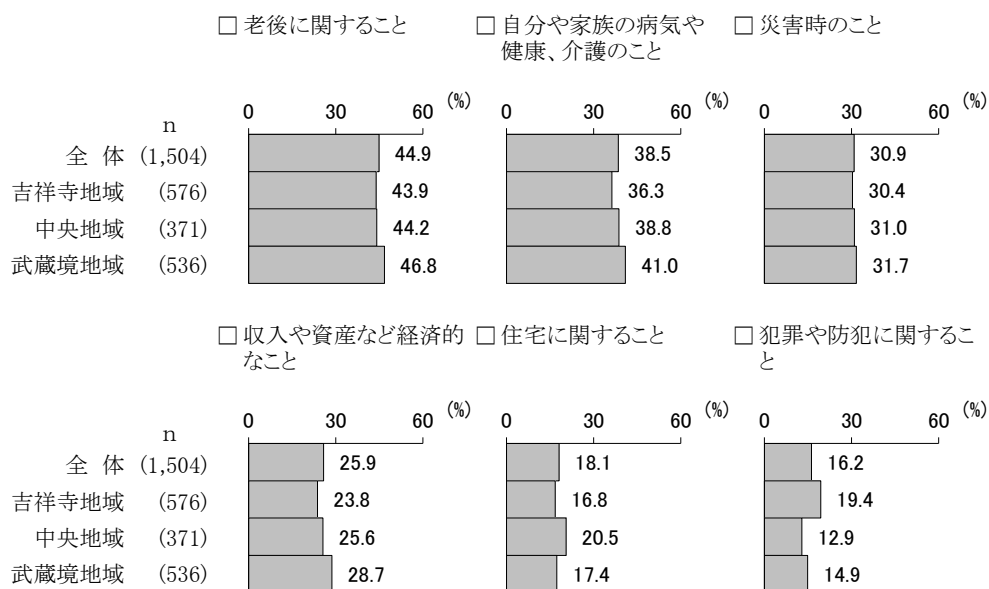
上位 6 項目について、性別で見ると、「災害時のこと」は 13.0 ポイント、「犯罪や防犯に関すること」は 5.6 ポイント、「住宅に関すること」は 3.5 ポイント、それぞれ女性の方が男性より高くなっている。(図表 1-74)

図表 1-75 困っていること・不安なこと (年代別) 上位 6 項目



年代別で見ると、「老後に関すること」は、60歳～69歳までは年代が上がるにつれて高くなっており、60歳～69歳で58.8%と最も高くなっている。「自分や家族の病気や健康、介護のこと」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、80歳以上で53.1%と最も高くなっている。「収入や資産など経済的なこと」は、18歳～19歳を除き、年代が下がるにつれて高くなっており、20歳～29歳で35.3%と最も高くなっている。（図表1-75）

図表1-76 困っていること・不安なこと（居住地域別） 上位6項目



居住地域別で見ると、「自分や家族の病気や健康、介護のこと」は、武蔵境地域で4割強と他の地域に比べて高くなっている。「住宅に関すること」は、中央地域で2割強と他の地域に比べて高くなっている。「犯罪や防犯に関すること」は、吉祥寺地域で約2割と他の地域に比べて高くなっている。（図表1-76）

図表 1-77 困っていること・不安なこと (職業別・家族構成別) 上位 5 項目

(%)

順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性						
全体		老後に関すること 44.9	自分や家族の病気や健康、介護のこと 38.5	災害時のこと 30.9	収入や資産など経済的なこと 25.9	住宅に関すること 18.1
職業別	自営業・自由業	老後に関すること 41.9	自分や家族の病気や健康、介護のこと 38.5	災害時のこと 28.4	-	事業や家業の経営のこと 18.9
	正社員、正職員	老後に関すること 44.7	自分や家族の病気や健康、介護のこと 32.2	収入や資産など経済的なこと 30.8	災害時のこと 29.5	住宅に関すること 20.7
	契約社員、派遣社員	老後に関すること 53.7	災害時のこと 38.8	収入や資産など経済的なこと 35.8	自分や家族の病気や健康、介護のこと 32.8	住宅に関すること 29.9
	アルバイト、パート	老後に関すること 47.1	災害時のこと 33.9	自分や家族の病気や健康、介護のこと 31.6	収入や資産など経済的なこと 29.9	住宅に関すること 21.3
	家事専業	老後に関すること 47.1	自分や家族の病気や健康、介護のこと 43.9	災害時のこと 35.6	犯罪や防犯に関すること 20.1	収入や資産など経済的なこと 19.8
	学生	進学、就職のこと 47.6	自分や家族の病気や健康、介護のこと 21.4	-	-	老後に関すること 11.9
	無職	自分や家族の病気や健康、介護のこと 51.9	老後に関すること 47.0	災害時のこと 26.7	収入や資産など経済的なこと 21.4	住宅に関すること 14.7
	その他	災害時のこと 45.2	自分や家族の病気や健康、介護のこと 41.9	-	犯罪や防犯に関すること 22.6	住宅に関すること 19.4
家族構成別	ひとり暮らし	老後に関すること 47.4	自分や家族の病気や健康、介護のこと 37.2	収入や資産など経済的なこと 31.6	災害時のこと 28.7	住宅に関すること 21.9
	夫婦のみ	老後に関すること 50.7	自分や家族の病気や健康、介護のこと 40.6	災害時のこと 32.1	収入や資産など経済的なこと 20.8	犯罪や防犯に関すること 18.6
	親と子(2世代世帯)	老後に関すること 41.9	自分や家族の病気や健康、介護のこと 37.4	災害時のこと 30.9	収入や資産など経済的なこと 26.2	子どもの保育や教育のこと 20.7
	親と子と孫(3世代世帯)	自分や家族の病気や健康、介護のこと 38.1	老後に関すること 33.3	-	収入や資産など経済的なこと 31.7	住宅に関すること 17.5
	その他	自分や家族の病気や健康、介護のこと 45.3	老後に関すること 42.2	収入や資産など経済的なこと 34.4	災害時のこと 31.3	犯罪や防犯に関すること 17.2

職業別で見ると、自営業・自由業、正社員、正職員、契約社員、派遣社員、アルバイト、パート、家事専業では「老後に関すること」が第1位となっている。学生では「進学、就職のこと」が第1位となっており、無職では「自分や家族の病気や健康、介護のこと」が第1位となっている。

家族構成別で見ると、ひとり暮らし、夫婦のみ、親と子(2世代世帯)では「老後に関すること」が第1位となっており、親と子と孫(3世代世帯)では「自分や家族の病気や健康、介護のこと」が第1位となっている。(図表1-77)

図表 1-78 困っていること・不安なこと (世帯収入別)

(%)

		調査数 n	老後に関する こと	自分や家族の病 気や健康、介護 のこと	災害時のこと	収入や資産など 経済的なこと	住宅に関する こと	犯罪や防犯に関 すること	子どもの保育や 教育のこと	居場所や生きが いのこと	家族や親族との 関係のこと
全体		1504	44.9	38.5	30.9	25.9	18.1	16.2	11.9	11.9	8.7
世帯収入別	収入なし	29	55.2	58.6	20.7	37.9	34.5	10.3	-	17.2	13.8
	100万円未満	35	37.1	40.0	25.7	20.0	14.3	14.3	-	17.1	8.6
	100～300万円 未満	213	54.5	46.0	31.9	37.1	22.1	15.5	3.8	12.7	8.0
	300～500万円 未満	281	45.2	40.6	33.1	28.5	18.5	15.3	9.3	14.6	8.2
	500～700万円 未満	223	50.7	41.3	30.5	30.0	17.9	15.7	18.4	12.1	7.6
	700～1,000万円 未満	235	46.0	35.7	31.1	26.0	21.3	16.2	16.6	9.4	11.9
	1,000～1,500万円 未満	193	35.8	33.7	30.6	19.2	16.1	15.5	18.7	10.9	8.8
	1,500万円以上	138	39.9	29.0	28.3	11.6	10.1	19.6	14.5	10.1	5.8

		調査数 n	交通環境に関 すること	近隣や地域との 関係のこと	結婚、妊娠、 出産のこと	進学、就職の こと	事業や家業の 経営のこと	その他	心配ごとや困 っていること はない	無回答
全体		1504	8.2	6.3	5.5	5.3	3.8	4.6	10.4	4.1
世帯収入別	収入なし	29	6.9	6.9	3.4	10.3	-	-	13.8	10.3
	100万円未満	35	2.9	2.9	2.9	5.7	-	-	11.4	8.6
	100～300万円 未満	213	5.6	7.5	3.8	4.7	2.8	4.7	6.6	4.2
	300～500万円 未満	281	7.8	7.1	6.8	2.8	3.2	5.0	9.6	2.8
	500～700万円 未満	223	9.9	7.6	6.3	4.0	5.4	4.9	8.5	5.4
	700～1,000万円 未満	235	4.7	3.8	8.1	8.5	5.1	4.7	11.5	2.1
	1,000～1,500万円 未満	193	9.8	7.3	3.6	5.2	4.1	3.6	12.4	3.1
	1,500万円以上	138	13.0	6.5	1.4	0.7	3.6	4.3	15.9	2.9

世帯収入別で見ると、収入なしでは「自分や家族の病気や健康、介護のこと」が5割台後半、「収入や資産など経済的なこと」が3割台後半と他に比べて高くなっている。

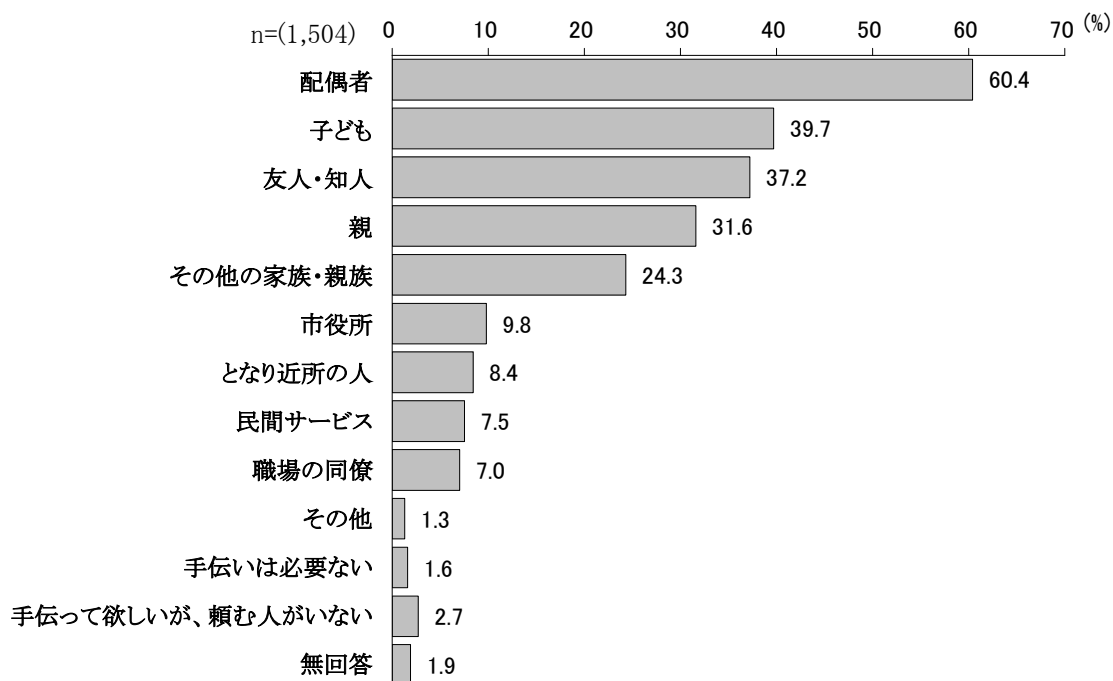
一方、「心配ごとや困っていることはない」は、700万円以上では収入が上がるにつれて割合が高くなっており、1,500万円以上では1割台半ばとなっている。(図表1-78)

1-14 手伝ってもらう相手

◎ 「配偶者」が6割強で最も高い。

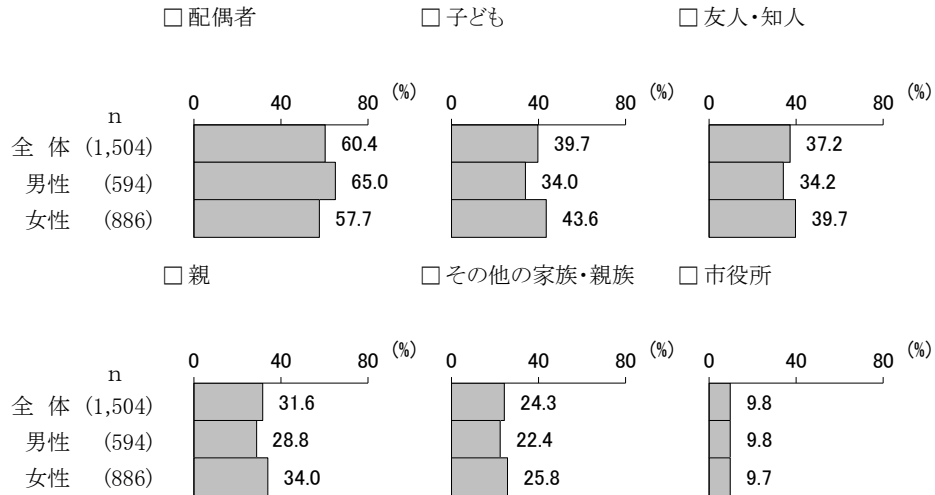
問10 あなたは、困りごとがあるときに、だれに手伝ってもらいますか。（〇はいくつでも）

図表1-79 手伝ってもらう相手（複数回答）



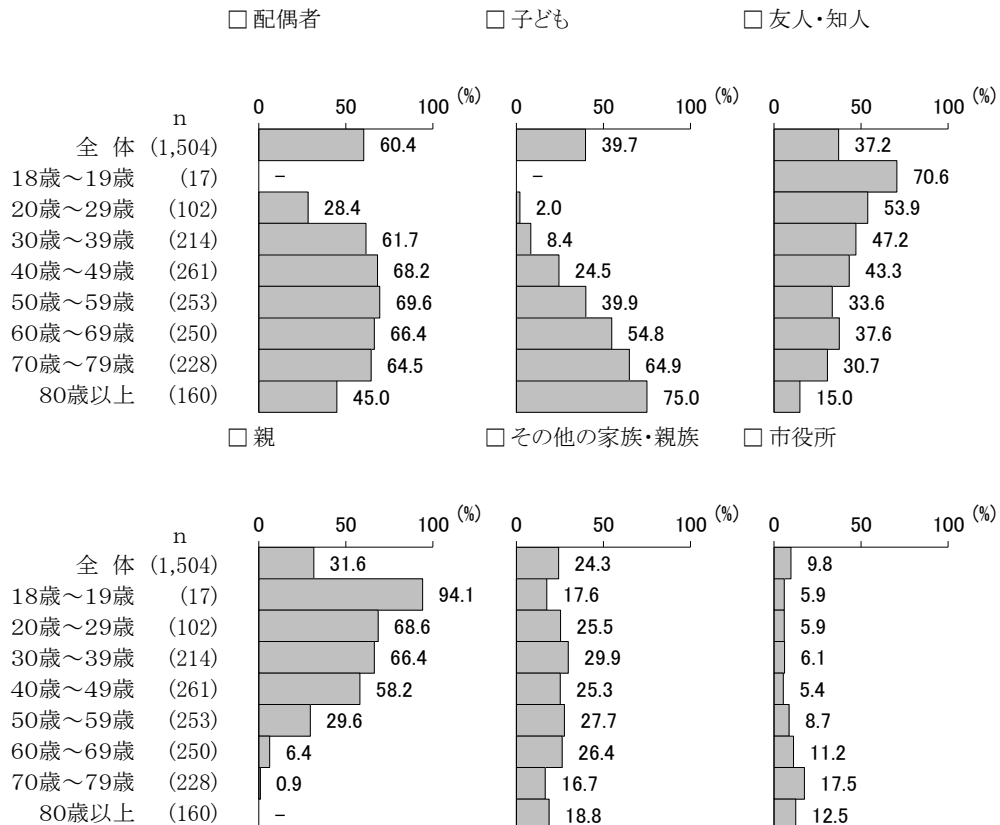
困りごとがあるときに、手伝ってもらう相手は、「配偶者」（60.4%）が6割強で最も高く、次いで「子ども」（39.7%）が約4割、「友人・知人」（37.2%）が3割台後半、「親」（31.6%）が3割台前半と続く。（図表1-79）

図表 1-80 手伝ってもらう相手 (性別) 上位 6 項目



上位 6 項目について、性別で見ると、「配偶者」は、男性の方が女性より 7.3 ポイント高くなっている。一方、「子ども」は 9.6 ポイント、「友人・知人」は 5.5 ポイント、「親」は 5.2 ポイント、女性の方が男性より高くなっている。(図表 1-80)

図表 1-81 手伝ってもらう相手 (年代別) 上位 6 項目



年代別で見ると、「子ども」は、年代が上がるにつれて高くなっており、80歳以上で 75.0%と最も高くなっている。一方、「友人・知人」、「親」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、18歳~19歳でそれぞれ 70.6%、94.1%と最も高くなっている。(図表 1-81)

図表 1-82 手伝ってもらう相手 (婚姻状況別・家族構成別) 上位 5 項目

(%)

順位		1位	2位	3位	4位	5位
属性						
全体		配偶者 60.4	子ども 39.7	友人・知人 37.2	親 31.6	その他の家族・親族 24.3
婚姻状況別	現在、結婚している	配偶者 86.9	子ども 47.4	友人・知人 32.3	親 29.0	その他の家族・親族 19.0
	過去に結婚し、離別した	友人・知人 44.1	その他の家族・親族 38.2	子ども 36.8	親 23.5	市役所 19.1
	過去に結婚し、死別した	子ども 75.5	友人・知人 32.1	その他の家族・親族 24.5	民間サービス 15.1	市役所 14.2
	一度も結婚したことはない	友人・知人 56.3	親 55.2	その他の家族・親族 39.9	職場の同僚 17.8	市役所 9.1
家族構成別	ひとり暮らし	友人・知人 49.4	その他の家族・親族 35.6	親 24.3	子ども 22.7	職場の同僚 15.0
	夫婦のみ	配偶者 89.9	子ども 43.0	友人・知人 28.5	親 17.9	その他の家族・親族 15.7
	親と子 (2世代世帯)	配偶者 67.4	子ども 43.9	親 41.3	友人・知人 37.0	その他の家族・親族 24.1
	親と子と孫 (3世代世帯)	配偶者 65.1	子ども 60.3	友人・知人 42.9	親 36.5	その他の家族・親族 28.6
	その他	友人・知人 46.9	親 43.8	その他の家族・親族 37.5	子ども 20.3	配偶者 17.2

婚姻状況別で見ると、現在結婚しているでは「配偶者」が第1位となっており、過去に結婚し、離別した、一度も結婚したことはないでは「友人・知人」が第1位、過去に結婚し、死別したでは「子ども」が第1位となっている

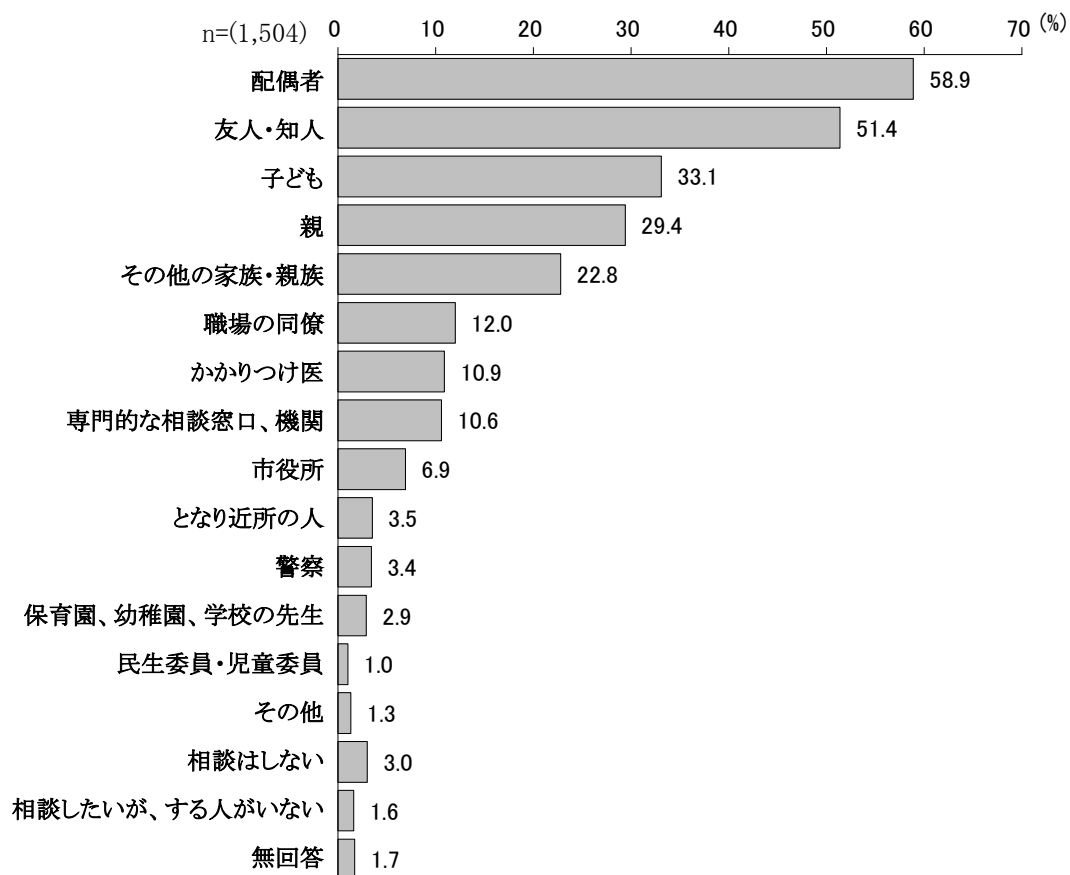
家族構成別で見ると、夫婦のみ、親と子(2世代世帯)、親と子と孫(3世代世帯)では「配偶者」が第1位となっており、ひとり暮らしでは「友人・知人」が第1位となっている。(図表1-82)

1-15 相談相手

◎ 「配偶者」が5割台後半で最も高い。

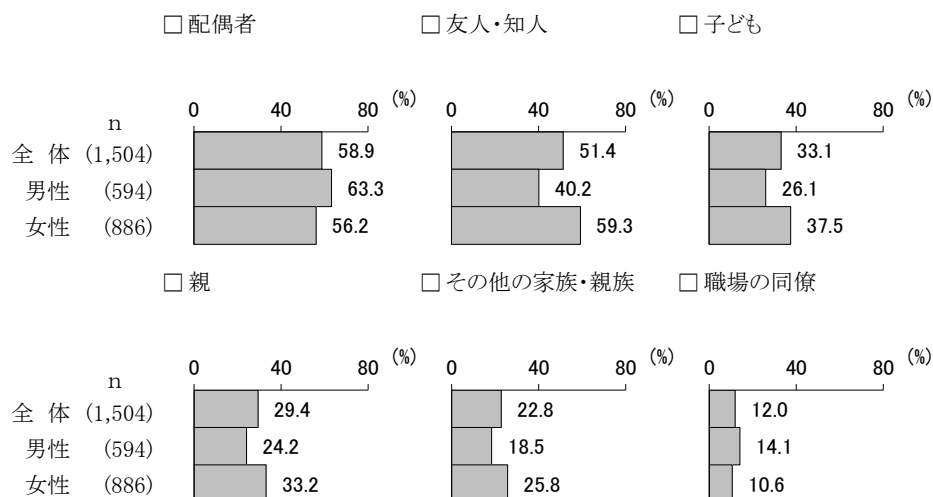
問11 あなたは、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。（〇はいくつでも）

図表1-83 相談相手（複数回答）



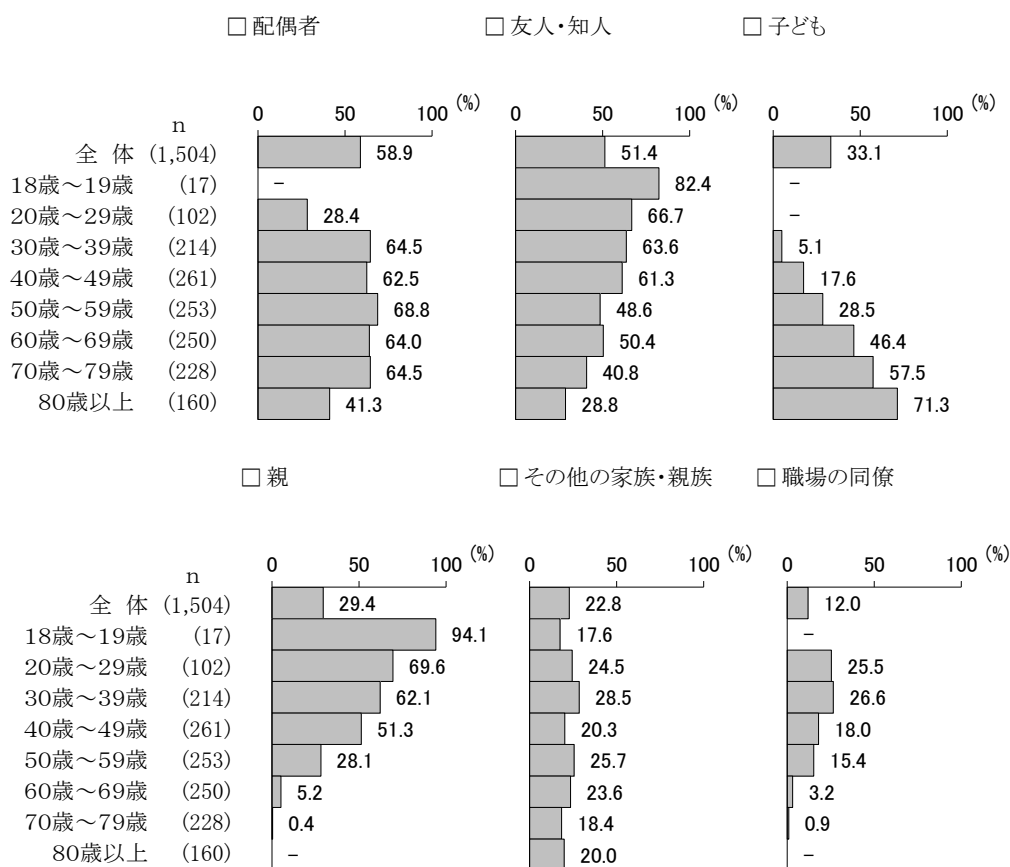
心配ごとや悩みごとができた場合の相談相手は、「配偶者」（58.9%）が5割台後半で最も高い。次いで、「友人・知人」（51.4%）が5割台前半、「子ども」（33.1%）が3割台前半となっている。（図表1-83）

図表 1-84 相談相手 (性別) 上位 6 項目



上位 6 項目について、性別で見ると、「配偶者」が 7.1 ポイント、「職場の同僚」が 3.5 ポイント、男性の方が女性より高くなっている。一方、「友人・知人」が 19.1 ポイント、「子ども」が 11.4 ポイント、「親」が 9.0 ポイント、「その他の家族・親族」が 7.3 ポイント、女性の方が男性より高くなっている。(図表 1-84)

図表 1-85 相談相手 (年代別) 上位 6 項目



年代別で見ると、「友人・知人」、「親」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、18歳~19歳でそれぞれ 82.4%、94.1%と最も高くなっている。一方、「子ども」は、年代が上がるにつれて高くなっており、80歳以上で 71.3%と最も高くなっている。(図表 1-85)

図表 1-86 相談相手 (婚姻状況別・家族構成別) 上位 6 項目

(%)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		配偶者 58.9	友人・知人 51.4	子ども 33.1	親 29.4	その他の家族・親族 22.8
婚姻状況別	現在、結婚している	配偶者 84.6	友人・知人 47.9	子ども 38.4	親 28.4	その他の家族・親族 18.3
	過去に結婚し、離別した	友人・知人 55.9	子ども 35.3	その他の家族・親族 29.4	職場の同僚 17.6	親 16.2
	過去に結婚し、死別した	子ども 68.9	友人・知人 45.3	その他の家族・親族 27.4	かかりつけ医 17.9	専門的な相談窓口、機関 17.0
	一度も結婚したことはない	友人・知人 66.1	親 47.2	その他の家族・親族 35.3	職場の同僚 22.0	専門的な相談窓口、機関 8.4
家族構成別	ひとり暮らし	友人・知人 61.1	その他の家族・親族 33.2	親 22.3	子ども 21.9	職場の同僚 19.0
	夫婦のみ	配偶者 88.9	友人・知人 42.8	子ども 37.7	親 17.4	その他の家族・親族 13.8
	親と子(2世代世帯)	配偶者 64.5	友人・知人 53.5	親 39.4	子ども 33.5	その他の家族・親族 22.9
	親と子と孫(3世代世帯)	配偶者 63.5	子ども 55.6	友人・知人 52.4	親 25.4	その他の家族・親族 23.8
	その他	友人・知人 53.1	その他の家族・親族 40.6	親 32.8	配偶者 18.8	子ども 17.2

婚姻状況別で見ると、現在結婚しているでは「配偶者」が第1位となっており、過去に結婚し、離別した、一度も結婚したことはないでは「友人・知人」が第1位、過去に結婚し、死別したでは「子ども」が第1位となっている

家族構成別で見ると、夫婦のみ、親と子(2世代世帯)、親と子と孫(3世代世帯)では「配偶者」が第1位となっており、ひとり暮らしでは「友人・知人」が第1位となっている。(図表 1-86)

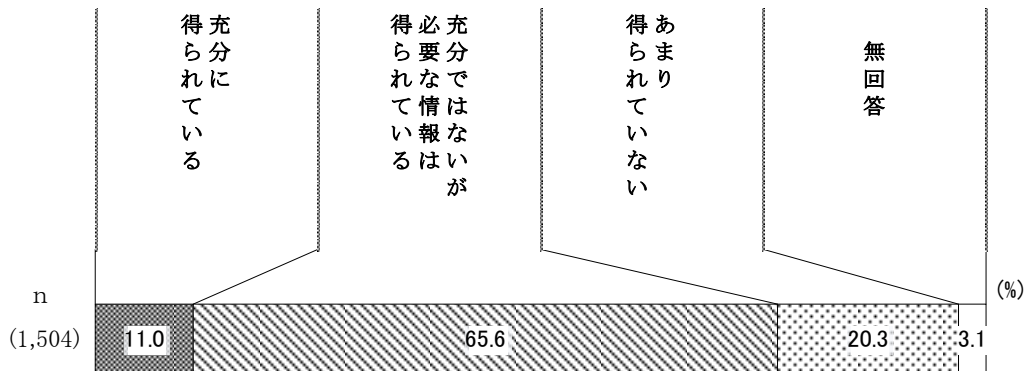
2 市政に関する情報提供などについて

2-1 市の情報の入手状況

- ◎ 「充分ではないが必要な情報は得られている」が6割台半ば、「あまり得られていない」が約2割である。

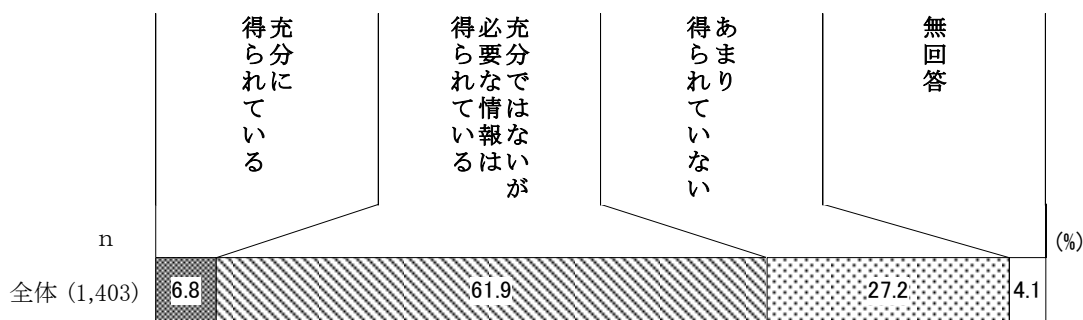
問12 あなたは現在、武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか。（○は1つ）

図表2-1 市の情報の入手状況



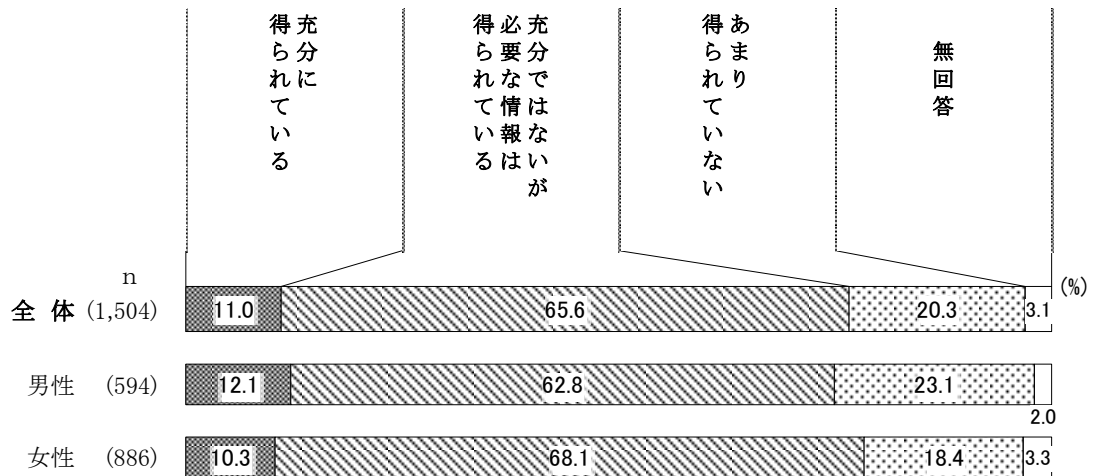
市の情報の入手状況は、「十分に得られている」（11.0%）と「充分ではないが必要な情報は得られている」（65.6%）を合わせると7割を超えている。「あまり得られていない」（20.3%）が約2割となっている。（図表2-1）

参考：平成26年度調査の結果



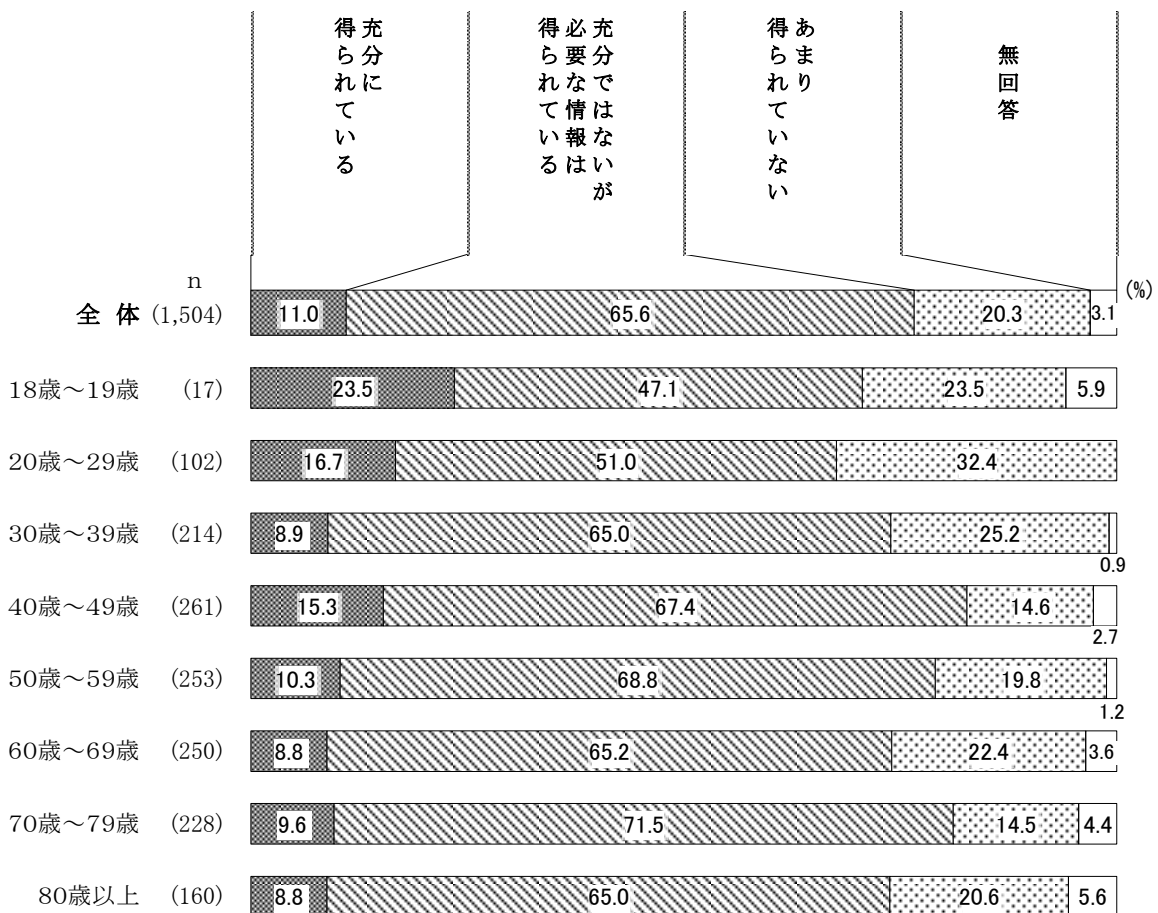
前回調査と比較すると、「十分に得られている」が4.2ポイント、「充分ではないが必要な情報は得られている」が3.7ポイント増加している。

図表 2-2 市の情報の入手状況 (性別)



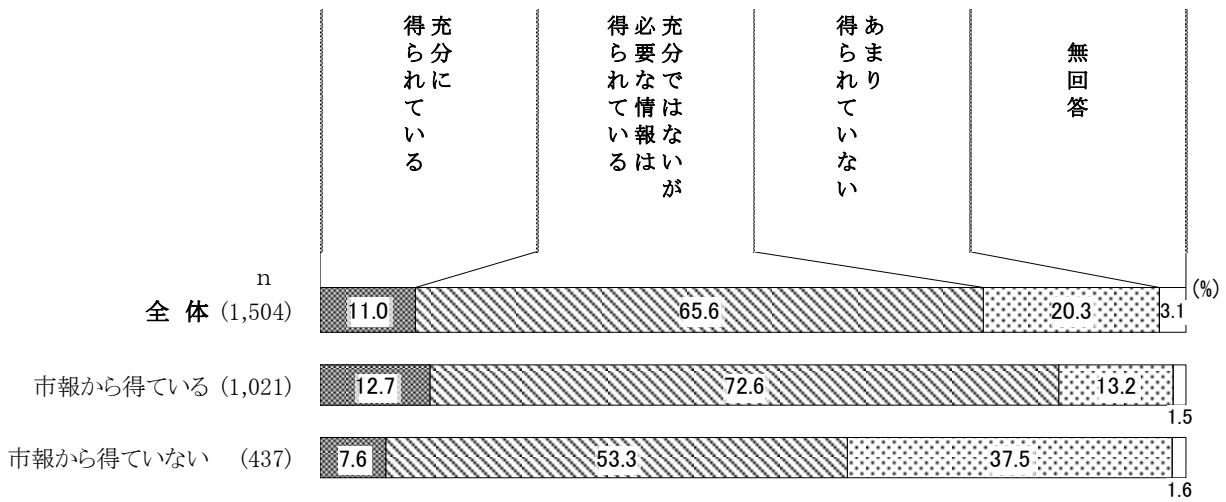
性別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、女性の方が男性よりも3.5ポイント高くなっている。一方、「あまり得られていない」は、男性の方が女性よりも4.7ポイント高くなっている。(図表2-2)

図表 2-3 市の情報の入手状況 (年代別)



年代別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、20歳~29歳を除いた年代で7割以上となっている一方、「あまり得られていない」は、20歳~29歳で3割前半となっている。(図表2-3)

図表 2-4 市の情報の入手状況 (市報からの市政情報入手別)



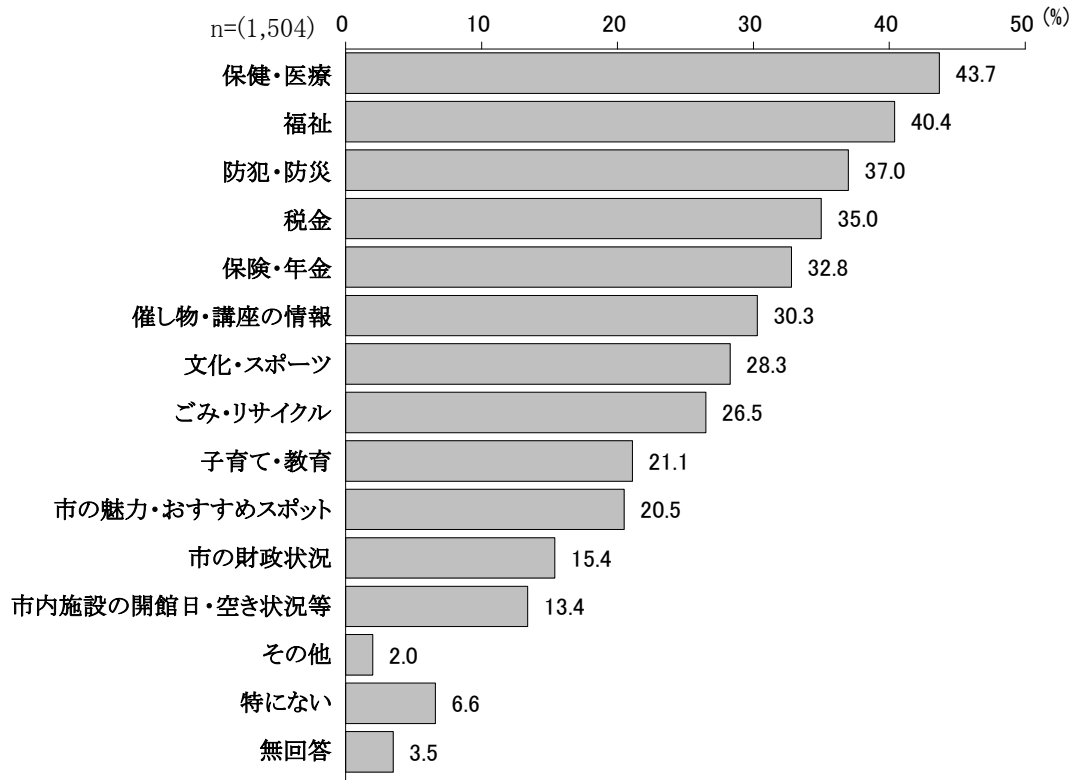
市報からの市政情報入手別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、市報から得ている人で8割台半ばとなっているのに対して、市報から得ていない人で6割強と差が出ている。また、「あまり得られていない」では、市報から得ていない人で3割台後半と高くなっている。(図表2-4)

2-2 知りたい行政情報

◎ 「保健・医療」が4割台前半で最も高い。

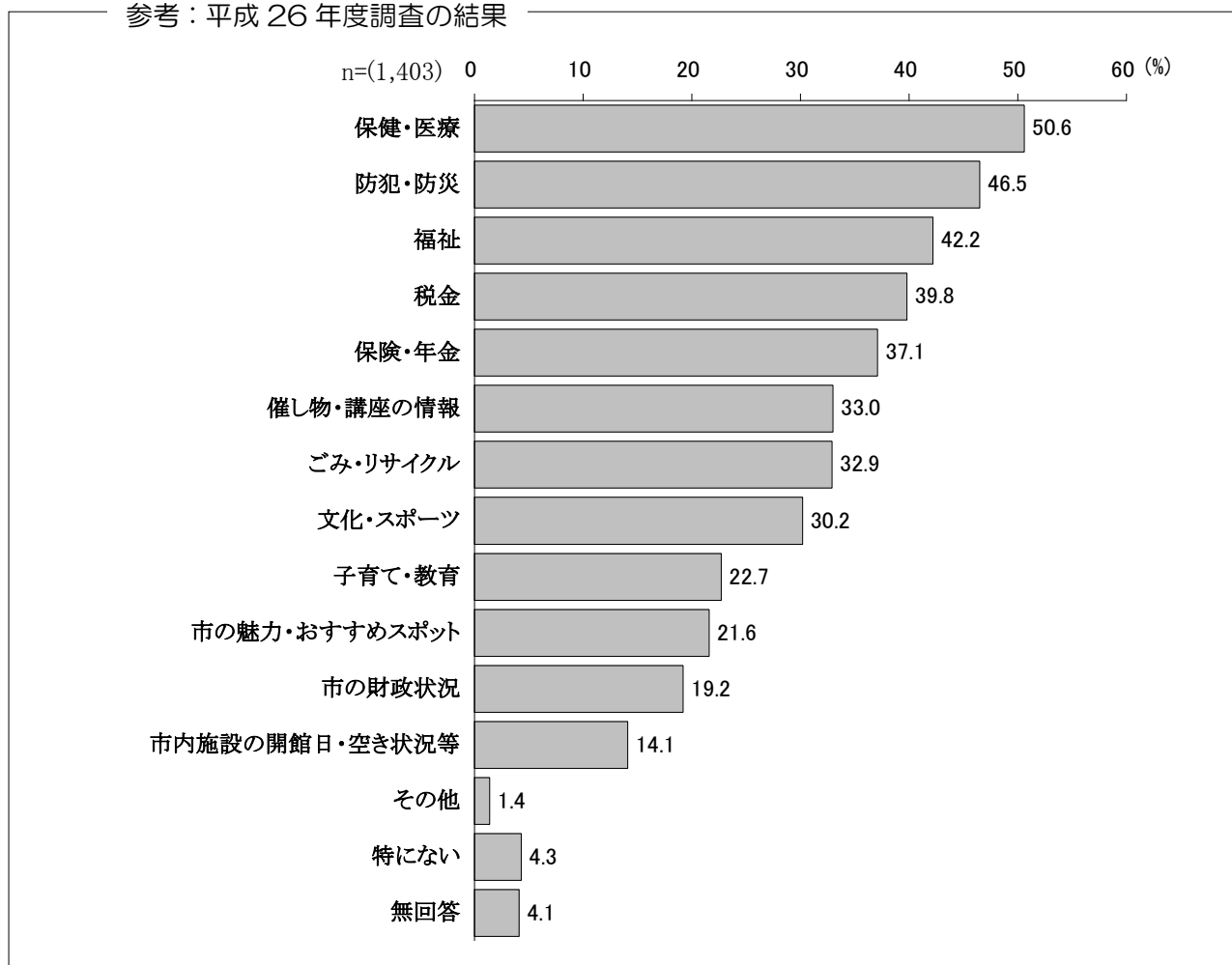
問13 あなたは、市政に関するどのような情報を知りたいと思いますか。（〇はいくつでも）

図表2-5 知りたい行政情報（複数回答）



知りたい行政情報は、「保健・医療」（43.7%）が4割台前半で最も高い。次いで、「福祉」（40.4%）が4割強、「防犯・防災」（37.0%）が3割台後半、「税金」（35.0%）が3割台半ば、「保険・年金」（32.8%）が3割台前半で続く。（図表2-5）

参考：平成 26 年度調査の結果



前回調査と比較すると、「保健・医療」は1位で変わらず、前回3位の「福祉」が2位、前回2位の「防犯・防災」が3位となっている。割合を見ると、「防犯・防災」は前回調査と比べて9.5ポイント、「保健・医療」は6.9ポイントそれぞれ減少している。

図表 2-6 知りたい行政情報 (性別・介護が必要な同居家族の有無別順位)

(%)

属性 順位	全体	男性	女性	介護が必要な同居家族が	
				いる	いない
1位	保健・医療 43.7	保健・医療 40.9	保健・医療 45.6	福祉 58.7	保健・医療 43.9
2位	福祉 40.4	税金 40.1	福祉 41.2	保健・医療 45.3	福祉 37.6
3位	防犯・防災 37.0	福祉 39.4	防犯・防災 39.7	保険・年金 37.2	防犯・防災 36.9
4位	税金 35.0	防犯・防災 32.3	催し物・講座の 情報 35.3	防犯・防災 35.5	税金 36.0
5位	保険・年金 32.8	保険・年金 32.0	保険・年金 33.4	税金 33.7	保険・年金 32.7
6位	催し物・講座の 情報 30.3	文化・スポーツ 29.0	税金 31.5	ごみ・リサイクル 29.7	催し物・講座の 情報 32.1
7位	文化・スポーツ 28.3	ごみ・リサイクル 24.2	文化・スポーツ 28.1	催し物・講座の 情報 22.7	文化・スポーツ 30.8
8位	ごみ・リサイクル 26.5	催し物・講座の 情報 23.4	ごみ・リサイクル 27.7	市の財政状況 18.0	ごみ・リサイクル 26.3
9位	子育て・教育 21.1	市の財政状況 18.7	子育て・教育 25.2	文化・スポーツ 16.3	子育て・教育 23.7
10位	市の魅力・おす すめスポット 20.5	市の魅力・おす すめスポット 17.2	市の魅力・おす すめスポット 22.7	市の魅力・おす すめスポット 13.4	市の魅力・おす すめスポット 21.3

性別で見ると、「保健・医療」が男女ともに1位、男性の2位は「税金」、3位は「福祉」、女性の2位は「福祉」、3位は「防犯・防災」となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「福祉」は21.1ポイント、「保険・年金」は4.5ポイント、介護が必要な同居家族がいる場合の方が高くなっている。一方、「催し物・講座の情報」は、介護が必要な同居家族がいない場合の方が9.4ポイント高くなっている。(図表2-6)

図表 2-7 知りたい行政情報 (年代別) 上位 6 項目

(%)

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	税金	税金	子育て・教育	保健・医療	福祉	福祉	福祉	福祉
	防犯・防災							
	市の魅力・おすすめスポット							
	市内施設の 開館日・空き 状況等							
	29.4	43.1	54.2	49.4	45.5	49.6	47.4	48.8
2位	-	保険・年金	保健・医療	子育て・教育	防犯・防災	保健・医療	保健・医療	保健・医療
	-	34.3	44.4	46.7	44.7	47.6	44.3	43.1
3位	-	子育て・教育	催し物・講座 の情報	催し物・講座 の情報	保健・医療	保険・年金	防犯・防災	防犯・防災
	-	30.4	40.7	40.6	43.5	39.6	37.3	32.5
4位	-	市の魅力・おすすめスポット	防犯・防災	福祉	税金	防犯・防災	保険・年金	税金
	-	文化・スポーツ			保険・年金			
	-	27.5	40.2	39.1	41.1	33.6	32.5	24.4
5位	保険・年金	-	税金	防犯・防災	-	税金	税金	保険・年金
	文化・スポーツ	-		文化・スポーツ		ごみ・リサイクル		
	23.5	-	37.9	38.3	-	31.2	30.7	20.0
6位	-	催し物・講座 の情報	市の魅力・おすすめスポット	-	文化・スポーツ	-	催し物・講座 の情報	ごみ・リサイクル
	-	25.5	36.9	-	37.5	-	22.4	19.4
7位	保健・医療	防犯・防災	文化・スポーツ	税金	催し物・講座 の情報	催し物・講座 の情報	ごみ・リサイクル	催し物・講座 の情報
	催し物・講座 の情報	保健・医療						
	17.6	23.5	32.2	37.9	32.8	29.6	21.5	14.4
8位	-	-	保険・年金	ごみ・リサイクル	ごみ・リサイクル	文化・スポーツ	文化・スポーツ	市の魅力・おすすめスポット
	-	-	28.5	33.0	31.6	26.4	21.1	12.5
9位	福祉	福祉	福祉	保険・年金	市の財政状況	市の財政状況	市の財政状況	市の財政状況
	子育て・教育	市の財政状況						
	11.8	16.7	25.2	31.0	17.8	22.4	14.9	11.9
10位	-	-	ごみ・リサイクル	市の魅力・おすすめスポット	市の魅力・おすすめスポット	市の魅力・おすすめスポット	市の魅力・おすすめスポット	文化・スポーツ
	-	-	23.4	22.2	16.6	16.8	13.2	7.5

年代別で見ると、50歳以上では「福祉」が第1位となっている。40歳～49歳では「保健・医療」が第1位、30歳～39歳では「子育て・教育」が第1位、20歳～29歳では「税金」が第1位となっている。(図表 2-7)

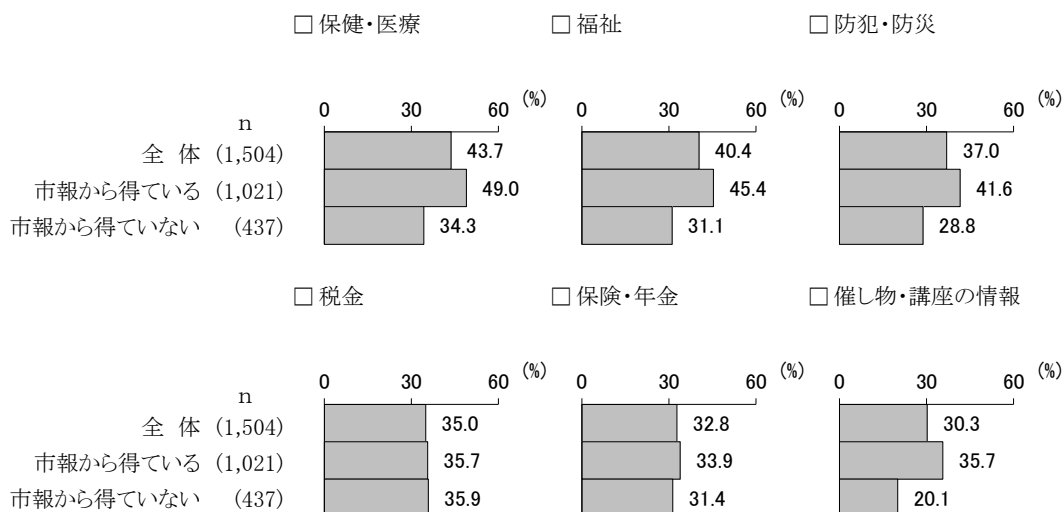
図表 2-8 知りたい行政情報 (子どもの就学状況別順位)

(%)

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	子育て・教育 89.2	子育て・教育 74.3	子育て・教育 52.1	保健・医療 47.9	保健・医療 44.4	福祉 50.2	福祉
							保健・医療 32.1
2位	催し物・講座 の 情報 48.1	催し物・講座 の 情報 50.0	保健・医療 46.5	福祉 42.3	税金 43.4	保健・医療 47.7	-
							-
3位	保健・医療 47.5	保健・医療 47.2	文化・スポー ツ 43.7	文化・スポー ツ 40.8	防犯・防災 42.4	防犯・防災 38.9	税金 30.8
				防犯・防災			
4位	文化・スポー ツ 38.0	文化・スポー ツ 40.3	防犯・防災 42.3	-	文化・スポー ツ 40.4	保険・年金 38.1	保険・年金 26.9
				-			
5位	市の魅力・お すすめスポッ ト 32.9	防犯・防災 36.8	福祉 39.4	催し物・講座 の 情報 38.0	福祉 38.4	税金 36.4	市の魅力・お すすめスポッ ト 25.6
			税金				
6位	税金 31.6	福祉 36.1	-	税金 35.2	催し物・講座 の 情報 37.4	催し物・講座 の 情報 28.9	催し物・講座 の 情報 24.4
			文化・スポー ツ				
7位	福祉 31.0	税金 31.9	催し物・講座 の 情報 35.2	ごみ・リサイク ル 28.2	保険・年金 35.4	ごみ・リサイク ル 28.5	-
			保険・年金				
8位	防犯・防災 29.7	市の魅力・お すすめスポッ ト 26.4	保険・年金 33.8	子育て・教育 26.8	ごみ・リサイク ル 28.3	文化・スポー ツ 24.3	防犯・防災 23.1
			保険・年金				
9位	保険・年金 24.7	保険・年金 26.4	ごみ・リサイク ル 28.2	-	市の財政状 況 20.2	市の財政状 況 18.4	市の財政状 況 14.1
			市内施設の 開館日・空き 状況等				
10位	ごみ・リサイク ル 20.9	ごみ・リサイク ル 21.5	市の魅力・お すすめスポッ ト 25.4	市内施設の 開館日・空き 状況等 23.9	市内施設の 開館日・空き 状況等 17.2	市の魅力・お すすめスポッ ト 15.5	-
			-				

子どもの就学状況別で見ると、「福祉」は、社会人を持つ方で第1位となっている。「子育て・教育」は、小学校入学前、小学生、中学生で第1位となっている。「保健・医療」は、高校生、短期大学、大学生等で第1位となっている。(図表2-8)

図表 2-9 知りたい行政情報（市報からの市政情報入手別） 上位 6 項目



市報からの市政情報入手別で見ると、「税金」を除く項目すべてで市報から得ていない人よりも得ている人の方が高く、「催し物・講座の情報」は 15.6 ポイント、「保健・医療」は 14.7 ポイント、「福祉」は 14.3 ポイント、「防犯・防災」は 12.8 ポイントと 10 ポイント以上の差となっている。(図表 2-9)

図表 2-10 知りたい行政情報（職業別・家族構成別） 上位 5 項目

(%)

順位		1位	2位	3位	4位	5位	
属性	全体	保健・医療 43.7	福祉 40.4	防犯・防災 37.0	税金 35.0	保険・年金 32.8	
	職業別	自営業・自由業	保健・医療 43.9	福祉 40.5	防犯・防災 39.2	-	税金 36.5
正社員、正職員		保健・医療 42.3	税金 39.9	防犯・防災 39.4	文化・スポーツ 36.3	福祉 33.3	
契約社員、派遣社員		税金 47.8	保険・年金 44.8	防犯・防災 41.8	保健・医療 40.3	福祉 37.3	
アルバイト、パート		保健・医療 49.4	福祉 44.3	催し物・講座の情報 42.5	防犯・防災 38.5	税金 35.1	
家事専業		保健・医療 46.0	福祉 43.9	催し物・講座の情報 38.8	防犯・防災 35.6	保険・年金 28.1	
学生		文化・スポーツ 47.6	税金 33.3	福祉 26.2	-	-	
無職		福祉 48.8	保健・医療 45.6	保険・年金 33.0	税金 32.6	-	
その他		福祉 45.2	-	保健・医療 35.5	市の財政状況 32.3	保険・年金 22.6	
家族構成別		ひとり暮らし	防犯・防災 38.1	福祉 34.8	保健・医療 33.2	保険・年金 32.4	税金 31.2
		夫婦のみ	保健・医療 45.9	福祉 43.5	防犯・防災 39.4	税金 35.7	保険・年金 35.3
	親と子 (2世代世帯)	保健・医療 47.0	福祉 41.3	防犯・防災 35.7	催し物・講座の情報 35.5	子育て・教育 35.2	
	親と子と孫 (3世代世帯)	保健・医療 39.7	-	福祉 38.1	保険・年金 36.5	税金 34.9	
	その他	税金 42.2	保険・年金 39.1	保健・医療 37.5	福祉 35.9	文化・スポーツ 28.1	

職業別で見ると、自営業・自由業、正社員、正職員、アルバイト、パート、家事専業では「保健・医療」が第1位、契約社員、派遣社員では「税金」が第1位、学生では「文化・スポーツ」が第1位、無職では「福祉」が第1位となっている。

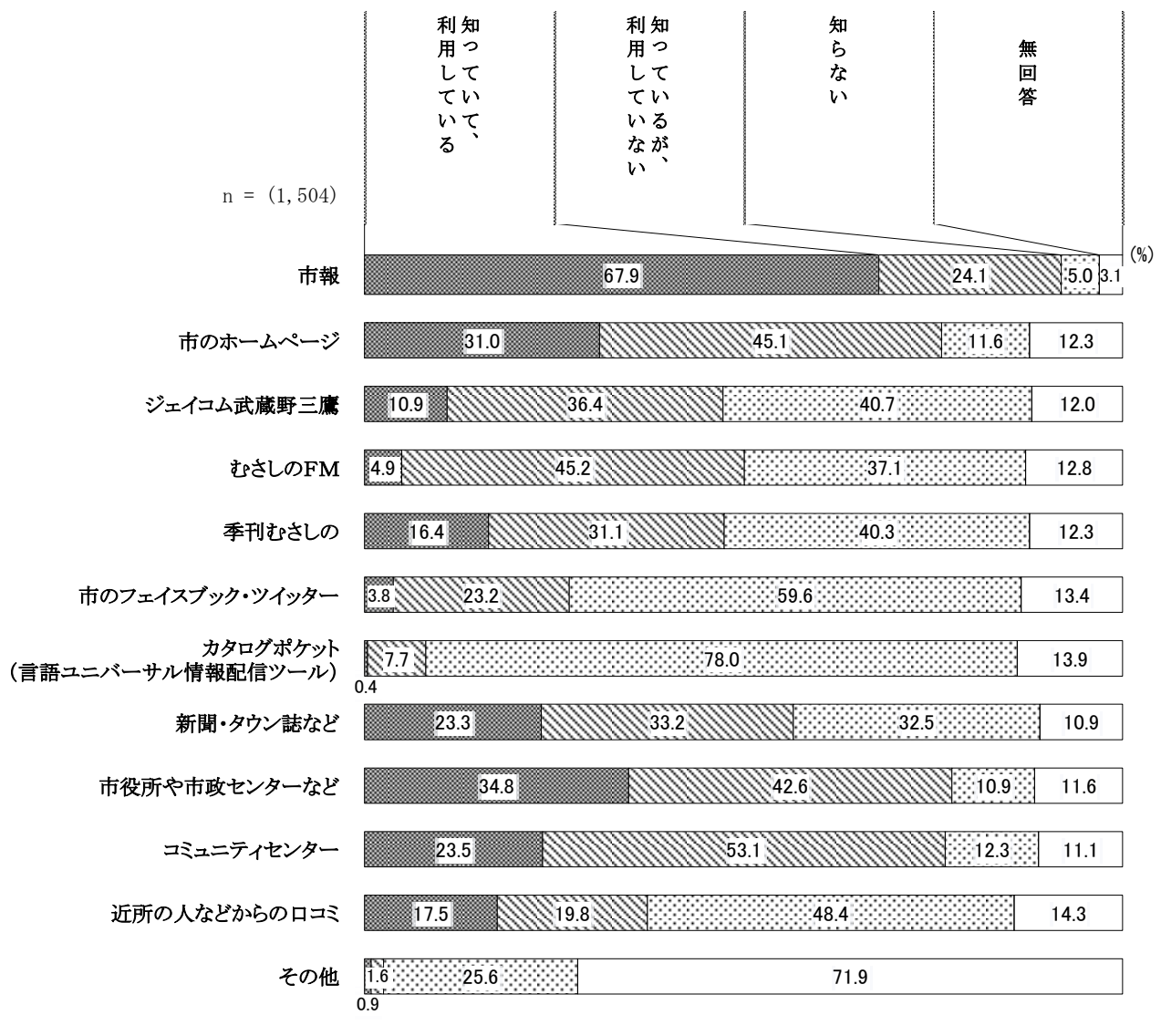
家族構成別で見ると、夫婦のみ、親と子（2世代世帯）、親と子と孫（3世代世帯）では「保健・医療」が第1位、ひとり暮らしでは「防犯・防災」が第1位となっている。（図表2-10）

2-3 広報媒体の認知状況

◎ 「知っていて、利用している」は、「市報」が6割台後半で最も高い。

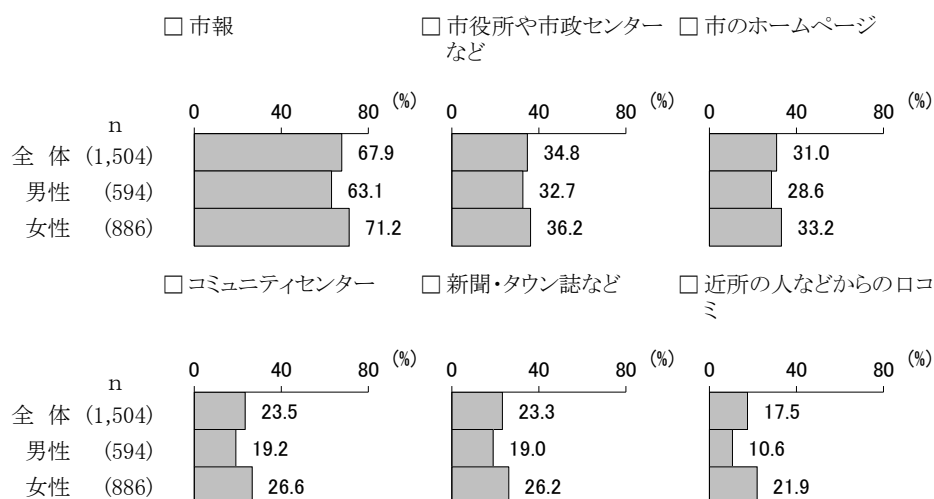
問 14 市では、さまざまな手段（場所）で、武蔵野市の情報を発信しています。あなたは、次の手段（場所）を知っていますか。また、利用していますか。それぞれの欄に○をご記入ください。（○はそれぞれ1つずつ）

図表 2-11 広報媒体の認知状況



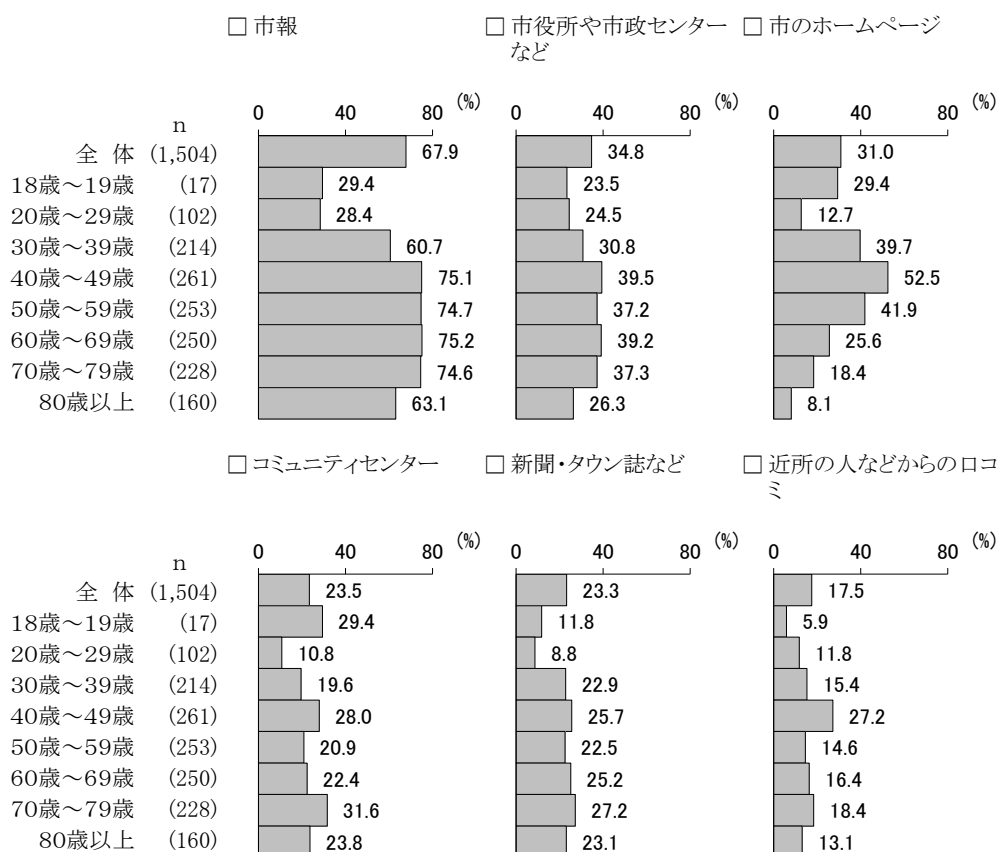
広報媒体の認知状況は、「知っていて、利用している」は「市報」（67.9%）が6割台後半で最も高い。次いで「市役所や市政センターなど」（34.8%）が3割台半ば、「市のホームページ」（31.0%）が3割台前半と続く。一方「知らない」は、「カタログポケット（言語ユニバーサル情報配信ツール）」（78.0%）、「市のフェイスブック・ツイッター」（59.6%）で過半数を超えて高い。（図表 2-11）

図表 2-12 広報媒体の認知状況
 (「知っている、利用している」の割合、性別) 上位 6 項目



「知っている、利用している」の割合の上位 6 項目について、性別で見ると、「市報」は 8.1 ポイント、「コミュニティセンター」は 7.4 ポイント、「新聞・タウン誌など」は 7.2 ポイント、「近所の人などからの口コミ」は 11.3 ポイント、女性の方が男性よりも高くなっている。(図表 2-12)

図表 2-13 広報媒体の認知状況
 (「知っている、利用している」の割合、年代別) 上位 6 項目



年代別で見ると、「市報」は、40歳～79歳の各年代で7割台半ばとなっており、「市のホームページ」は、40歳～49歳で5割台前半と他の年代に比べて高くなっており、「近所の人などからの口コミ」は、40歳～49歳で2割台後半と他の年代に比べて高くなっている。(図表 2-13)

3 市の施策に対する満足度・重要度について

3-1 満足度

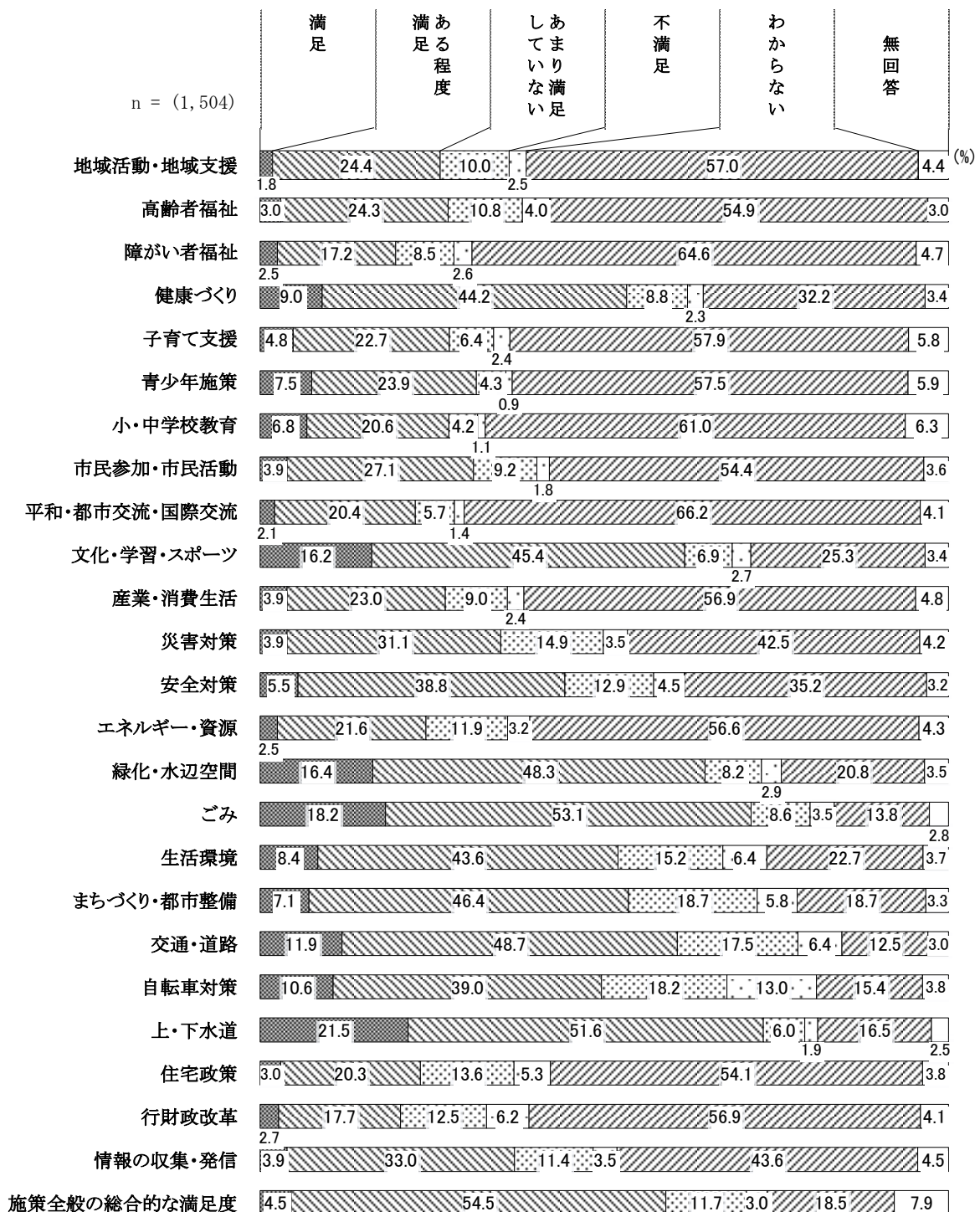
◎ 「施策全般の総合的な満足度」は「ある程度満足」が5割台半ばである。

問 15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、【2】今後の重要度については可能な限りご回答ください。

【1】現在の市の施策・事業の実施状況、または今後実施予定の施策・事業に対し、どの程度満足していますか。満足度を判断できない場合は「わからない」に○をしてください。

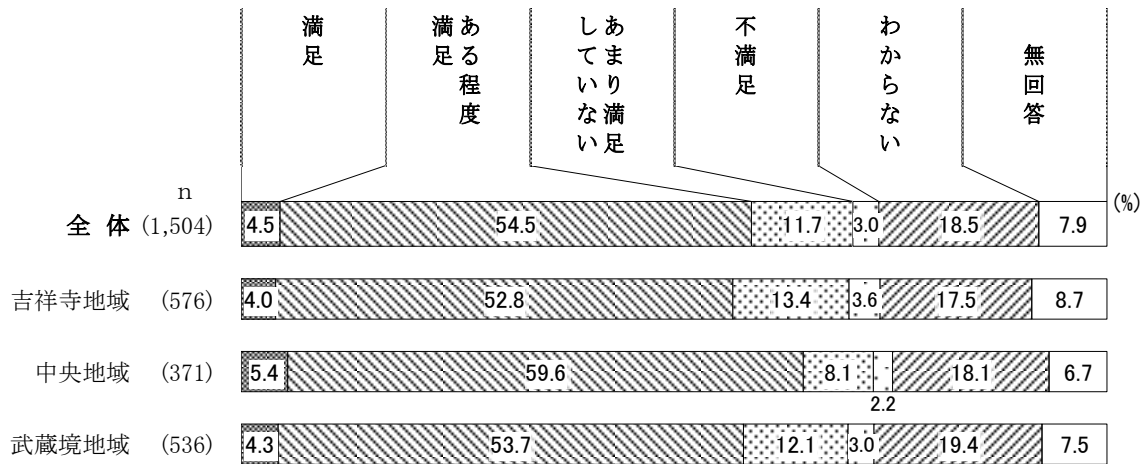
(○は項目ごとにそれぞれ1つ)

図表 3-1 満足度



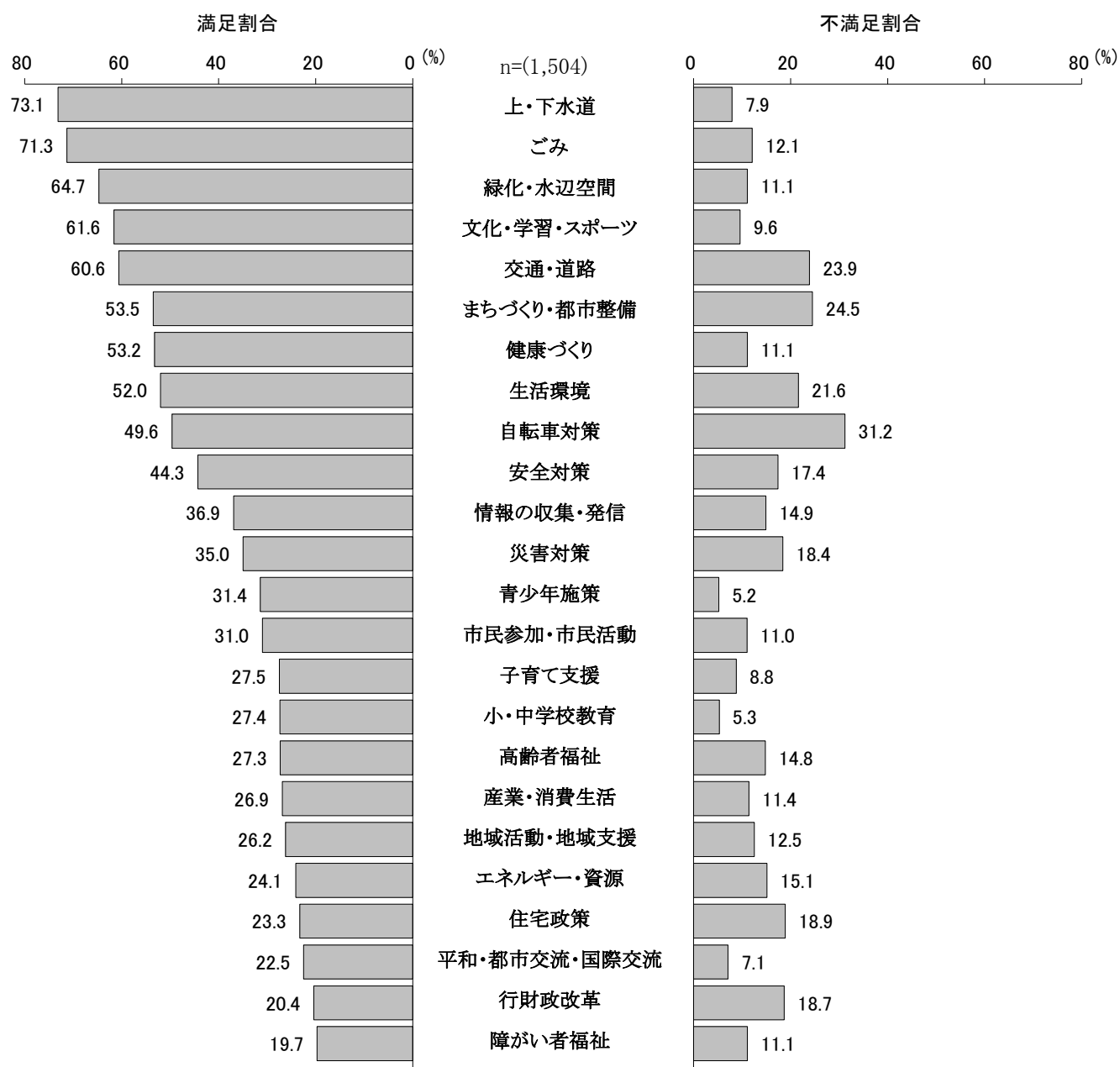
施策全般の総合的な満足度をみると、「満足」（4.5%）と「ある程度満足」（54.5%）を合わせた『満足』（59.0%）は、約6割である。一方、「あまり満足していない」（11.7%）と「不満足」（3.0%）を合わせた『不満足』（14.7%）は、1割台半ばとなっている。（図表3-1）

図表3-2 施策全般の総合的な満足度（居住地域別）



施策全般の総合的な満足度について、居住地域別で見ると、『満足』は中央地域で6割台半ばとほかの地域に比べて高くなっている。（図表3-2）

図表 3-3 満足割合・不満割合（満足順）



『満足』

（「満足」＋「ある程度満足」）を合わせた『満足』の割合が高い順に見てみると、〔上・下水道〕（73.1%）、〔ごみ〕（71.3%）が7割台前半、〔緑化・水辺空間〕（64.7%）が6割台半ば、〔文化・学習・スポーツ〕（61.6%）、〔交通・道路〕（60.6%）が6割台で続いている。

『不満足』

（「不満」＋「あまり満足していない」）を合わせた『不満足』の割合は、〔自転車対策〕（31.2%）が3割台前半で最も高い。次いで、〔まちづくり・都市整備〕（24.5%）、〔交通・道路〕（23.9%）が2割台、〔住宅政策〕（18.9%）、〔行財政改革〕（18.7%）、〔災害対策〕（18.4%）が1割台後半で続いている。（図表3-3）

図表 3 - 4 満足割合（満足度順、前回比較）

(満足度順)		(%)		
順位	項目	満足度	前回	前回順位
1	上・下水道	73.1	67.3	1
2	ごみ ※	71.3	64.4	3
3	緑化・水辺空間	64.7	67.1	2
4	文化・学習・スポーツ	61.6	63.4	5
5	交通・道路	60.6	56.4	6
6	まちづくり・都市整備	53.5	45.3	9
7	健康づくり	53.2	63.6	4
8	生活環境 ※	52.0	49.3	8
9	自転車対策 ※	49.6	53.0	7
10	安全対策	44.3	43.0	10
11	情報の収集・発信	36.9	34.7	13
12	災害対策	35.0	37.9	12
13	青少年施策	31.4	28.1	19
14	市民参加・市民活動	31.0	30.3	15
15	子育て支援	27.5	23.8	22
16	小・中学校教育	27.4	26.0	21
17	高齢者福祉	27.3	29.4	18
18	産業・消費生活	26.9	27.4	20
19	地域活動・地域支援	26.2	29.5	17
20	エネルギー・資源 ※	24.1	40.7	11
21	住宅政策	23.3	33.5	14
22	平和・都市交流・国際交流	22.5	21.4	24
23	行財政改革	20.4	30.1	16
24	障がい者福祉	19.7	23.6	23

※「ごみ」は、前は「ごみ対策」であった。

※「生活環境」は、前は「生活環境対策」であった。

※「自転車対策」は、前は「放置自転車対策」であった。

※「エネルギー・資源」は、前は「環境対策」であった。

図表 3-5 満足度（項目別件数表および満足度）（件数）

番号	項目	4	3	2	1	合計	わからない	無回答	満足度
		満足	満足ある程度	まあまあ満足	不満足				
1	地域活動・地域支援	27	367	150	37	581	857	66	2.661
2	高齢者福祉	45	366	162	60	633	826	45	2.626
3	障がい者福祉	37	258	128	39	462	971	71	2.634
4	健康づくり	135	665	133	35	968	485	51	2.930
5	子育て支援	72	342	96	36	546	871	87	2.824
6	青少年施策	113	359	64	14	550	865	89	3.038
7	小・中学校教育	102	310	63	16	491	918	95	3.014
8	市民参加・市民活動	59	407	139	27	632	818	54	2.788
9	平和・都市交流・国際交流	32	307	86	21	446	996	62	2.785
10	文化・学習・スポーツ	244	683	104	41	1072	381	51	3.054
11	産業・消費生活	59	346	135	36	576	856	72	2.743
12	災害対策	58	467	224	53	802	639	63	2.661
13	安全対策	82	583	194	68	927	529	48	2.732
14	エネルギー・資源	37	325	179	48	589	851	64	2.596
15	緑化・水辺空間	246	726	124	43	1139	313	52	3.032
16	ごみ	273	799	130	52	1254	208	42	3.031
17	生活環境	126	656	229	96	1107	342	55	2.734
18	まちづくり・都市整備	107	698	281	87	1173	281	50	2.703
19	交通・道路	179	733	263	96	1271	188	45	2.783
20	自転車対策	159	587	274	196	1216	231	57	2.583
21	上・下水道	324	776	90	28	1218	248	38	3.146
22	住宅政策	45	306	204	79	634	813	57	2.500
23	行財政改革	40	266	188	93	587	856	61	2.431
24	情報の収集・発信	59	497	172	53	781	656	67	2.720
25	施策全般の総合的な満足度	67	819	176	45	1107	278	119	2.820

【満足度】

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」、無回答を除いた回答の平均値を【満足度】とした。（図表 3-5）

例：「地域活動・地域支援」について見てみると、満足度は2.661となる。

【満足度（加重平均）】

$(4 \text{点} \times 27 \text{件} + 3 \text{点} \times 367 \text{件} + 2 \text{点} \times 150 \text{件} + 1 \text{点} \times 37 \text{件}) \div 581 \text{（合計件数）} = 2.661$

図表 3 - 6 満足度（点数順）

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.146	13	生活環境	2.734
2	文化・学習・スポーツ	3.054	14	安全対策	2.732
3	青少年施策	3.038	15	情報の収集・発信	2.720
4	緑化・水辺空間	3.032	16	まちづくり・都市整備	2.703
5	ごみ	3.031	17	地域活動・地域支援	2.661
6	小・中学校教育	3.014	17	災害対策	2.661
7	健康づくり	2.930	19	障がい者福祉	2.634
8	子育て支援	2.824	20	高齢者福祉	2.626
9	市民参加・市民活動	2.788	21	エネルギー・資源	2.596
10	平和・都市交流・国際交流	2.785	22	自転車対策	2.583
11	交通・道路	2.783	23	住宅政策	2.500
12	産業・消費生活	2.743	24	行財政改革	2.431

最も【満足度】が高いのは〔上・下水道〕（3.146）である。次いで、〔文化・学習・スポーツ〕（3.054）、〔青少年施策〕（3.038）、〔緑化・水辺空間〕（3.032）、〔ごみ〕（3.031）、〔小・中学校教育〕（3.014）が高くなっている。以下、〔健康づくり〕（2.930）、〔子育て支援〕（2.824）の順となっている。

一方、最も【満足度】が低いのは〔行財政改革〕（2.431）である。次いで、〔住宅政策〕（2.500）が低くなっている。以下、〔自転車対策〕（2.583）、〔エネルギー・資源〕（2.596）、〔高齢者福祉〕（2.626）の順となっている。（図表 3 - 6）

図表 3-7 満足度（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	上・下水道 3.146	上・下水道 3.175	上・下水道 3.131	上・下水道 3.117	上・下水道 3.141	上・下水道 3.188	上・下水道 3.207	上・下水道 3.136
2位	文化・学習・スポーツ 3.054	文化・学習・スポーツ 3.007	青少年施策 3.088	ごみ 3.021	緑化・水辺空間 3.114	小・中学校教育 3.109	ごみ 3.112	文化・学習・スポーツ 3.072
3位	青少年施策 3.038	小・中学校教育 2.994	文化・学習・スポーツ 3.086	文化・学習・スポーツ 3.012	文化・学習・スポーツ 3.058	文化・学習・スポーツ 3.098	緑化・水辺空間 3.014	青少年施策 3.071
4位	緑化・水辺空間 3.032	ごみ 2.994	緑化・水辺空間 3.061	緑化・水辺空間 3.009	ごみ 3.038	青少年施策 3.079	文化・学習・スポーツ 2.894	小・中学校教育 3.047
5位	ごみ 3.031	緑化・水辺空間 2.991	ごみ 3.058	青少年施策 3.005	青少年施策 3.035	ごみ 3.045	健康づくり 2.869	緑化・水辺空間 3.034
6位	小・中学校教育 3.014	青少年施策 2.958	小・中学校教育 3.032	小・中学校教育 2.960	健康づくり 2.992	緑化・水辺空間 3.010	青少年施策 2.855	ごみ 3.017
7位	健康づくり 2.930	健康づくり 2.868	健康づくり 2.969	健康づくり 2.865	小・中学校教育 2.960	健康づくり 2.961	小・中学校教育 2.843	健康づくり 2.944
8位	子育て支援 2.824	交通・道路 2.780	子育て支援 2.887	市民参加・市民活動 2.772	交通・道路 2.918	子育て支援 2.887	交通・道路 2.830	子育て支援 2.850
9位	市民参加・市民活動 2.788	市民参加・市民活動 2.756	平和・都市交流・国際交流 2.866	産業・消費生活 2.754	子育て支援 2.901	平和・都市交流・国際交流 2.836	生活環境 2.759	平和・都市交流・国際交流 2.808
10位	平和・都市交流・国際交流 2.785	子育て支援 2.718	市民参加・市民活動 2.807	平和・都市交流・国際交流 2.738	生活環境 2.880	交通・道路 2.819	子育て支援 2.737	市民参加・市民活動 2.804

性別で見ると、男性の1位は〔上・下水道〕、2位は〔文化・学習・スポーツ〕、3位は〔小・中学校教育〕となっている。女性の1位は〔上・下水道〕、2位は〔青少年施策〕、3位は〔文化・学習・スポーツ〕となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も1位は〔上・下水道〕、3位は〔文化・学習・スポーツ〕となっている。吉祥寺地域の2位は〔ごみ〕、中央地域の2位は〔緑化・水辺空間〕、武蔵境地域の2位は〔小・中学校教育〕となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、1位はともに〔上・下水道〕となっている。介護が必要な同居家族がいる場合の2位は〔ごみ〕、3位は〔緑化・水辺空間〕、介護が必要な同居家族がいない場合の2位は〔文化・学習・スポーツ〕、3位は〔青少年施策〕となっている。（図表 3-7）

図表 3-8 満足度（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	青少年施策 3.556	青少年施策 3.368	緑化・水辺空間 3.171	小・中学校教育 3.178	上・下水道 3.117	上・下水道 3.088	上・下水道 3.185	上・下水道 3.224
2位	市民参加・市民活動 3.556	小・中学校教育 3.359	上・下水道 3.119	上・下水道 3.167	小・中学校教育 3.059	ごみ 3.009	ごみ 3.122	ごみ 3.154
3位	障がい者福祉 3.500	緑化・水辺空間 3.194	文化・学習・スポーツ 3.112	青少年施策 3.136	緑化・水辺空間 3.040	文化・学習・スポーツ 2.961	文化・学習・スポーツ 3.069	文化・学習・スポーツ 3.034
4位	ごみ 3.500	上・下水道 3.160	青少年施策 3.030	文化・学習・スポーツ 3.121	ごみ 3.013	緑化・水辺空間 2.931	健康づくり 2.994	緑化・水辺空間 3.009
5位	緑化・水辺空間 3.471	文化・学習・スポーツ 3.095	健康づくり 2.924	ごみ 3.046	青少年施策 3.009	青少年施策 2.899	緑化・水辺空間 2.939	健康づくり 2.910
6位	小・中学校教育 3.444	まちづくり・都市整備 3.053	小・中学校教育 2.900	緑化・水辺空間 3.033	文化・学習・スポーツ 2.995	健康づくり 2.851	青少年施策 2.884	交通・道路 2.898
7位	安全対策 3.429	交通・道路 3.038	ごみ 2.885	健康づくり 2.973	健康づくり 2.894	子育て支援 2.808	小・中学校教育 2.836	生活環境 2.872
8位	上・下水道 3.357	高齢者福祉 3.000	平和・都市交流・国際交流 2.878	子育て支援 2.887	子育て支援 2.833	小・中学校教育 2.785	平和・都市交流・国際交流 2.822	平和・都市交流・国際交流 2.870
9位	子育て支援 3.333	災害対策 2.946	産業・消費生活 2.873	安全対策 2.832	市民参加・市民活動 2.832	産業・消費生活 2.723	交通・道路 2.803	青少年施策 2.833
10位	健康づくり 3.333	健康づくり 2.946	まちづくり・都市整備 2.838	市民参加・市民活動 2.829	平和・都市交流・国際交流 2.797	平和・都市交流・国際交流 2.720	生活環境 2.785	安全対策 2.817

年代別で見ると、1位は18歳～19歳、20歳～29歳では〔青少年施策〕、30歳～39歳は〔緑化・水辺空間〕、40歳～49歳は〔小・中学校教育〕、50歳以上では〔上・下水道〕となっている。（図表3-8）

図表 3-9 満足度（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1位	上・下水道 3.138	上・下水道 3.142	文化・学習・ スポーツ 3.128	青少年施策 3.222	上・下水道 3.134	小・中学校教 育 3.455	上・下水道 3.209	ごみ 3.185
2位	ごみ 3.071	緑化・水辺空 間 3.067	上・下水道 3.073	小・中学校教 育 3.116	ごみ 3.113	青少年施策 3.435	ごみ 3.105	上・下水道 3.167
3位	青少年施策 3.000	文化・学習・ スポーツ 3.023	緑化・水辺空 間 3.053	ごみ 3.113	青少年施策 3.112	上・下水道 3.333	文化・学習・ スポーツ 3.085	青少年施策 3.000
4位	小・中学校教 育 3.000	小・中学校教 育 3.019	青少年施策 3.000	文化・学習・ スポーツ 3.101	文化・学習・ スポーツ 3.091	緑化・水辺空 間 3.237	緑化・水辺空 間 2.995	小・中学校教 育 3.000
5位	文化・学習・ スポーツ 3.000	青少年施策 2.941	小・中学校教 育 2.920	上・下水道 3.067	健康づくり 3.047	安全対策 3.179	健康づくり 2.934	健康づくり 2.952
6位	緑化・水辺空 間 2.982	ごみ 2.885	障がい者福 祉 2.909	緑化・水辺空 間 3.063	子育て支援 3.033	ごみ 3.152	交通・道路 2.840	高齢者福祉 2.875
7位	健康づくり 2.920	健康づくり 2.828	ごみ 2.881	子育て支援 2.976	小・中学校教 育 3.019	地域活動・地 域支援 3.143	平和・都市交 流・国際交流 2.833	障がい者福 祉 2.867
8位	交通・道路 2.784	産業・消費生 活 2.806	健康づくり 2.881	健康づくり 2.906	緑化・水辺空 間 3.009	健康づくり 3.111	青少年施策 2.810	文化・学習・ スポーツ 2.833
9位	安全対策 2.724	情報の収集・ 発信 2.777	平和・都市交 流・国際交流 2.800	安全対策 2.858	平和・都市交 流・国際交流 2.843	高齢者福祉 3.091	市民参加・市 民活動 2.777	安全対策 2.833
10位	子育て支援 2.714	交通・道路 2.758	産業・消費生 活 2.774	市民参加・市 民活動 2.854	市民参加・市 民活動 2.830	子育て支援 3.083	生活環境 2.768	生活環境 2.833

職業別で見ると、1位は自営業・自由業、正社員、正職員、家事専業、無職では〔上・下水道〕、契約社員、派遣社員では〔文化・学習・スポーツ〕、アルバイト、パートでは〔青少年施策〕、学生では〔小・中学校教育〕となっている。（図表 3-9）

図表3-10 満足度（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	上・下水道 3.181	青少年施策 3.242	小・中学校教育 3.274	小・中学校教育 3.200	小・中学校教育 3.138	上・下水道 3.104	青少年施策 3.429
2位	文化・学習・ スポーツ 3.145	文化・学習・ スポーツ 3.236	上・下水道 3.222	青少年施策 3.185	上・下水道 3.131	ごみ 3.005	小・中学校教育 3.429
3位	緑化・水辺空 間 3.076	上・下水道 3.222	文化・学習・ スポーツ 3.175	上・下水道 3.117	文化・学習・ スポーツ 3.114	緑化・水辺空 間 2.950	上・下水道 3.227
4位	青少年施策 3.022	小・中学校教育 3.198	ごみ 3.129	文化・学習・ スポーツ 3.081	青少年施策 3.085	青少年施策 2.925	緑化・水辺空 間 3.118
5位	健康づくり 3.010	ごみ 3.066	青少年施策 3.113	ごみ 3.032	ごみ 3.056	小・中学校教育 2.905	健康づくり 3.068
6位	小・中学校教育 2.969	緑化・水辺空 間 3.025	緑化・水辺空 間 3.081	健康づくり 2.979	健康づくり 2.986	文化・学習・ スポーツ 2.892	交通・道路 3.000
7位	産業・消費生 活 2.927	健康づくり 2.980	災害対策 2.953	市民参加・市 民活動 2.941	緑化・水辺空 間 2.951	健康づくり 2.889	文化・学習・ スポーツ 2.970
8位	ごみ 2.915	情報の収集・ 発信 2.915	市民参加・市 民活動 2.949	緑化・水辺空 間 2.930	子育て支援 2.943	子育て支援 2.779	子育て支援 2.950
9位	平和・都市交 流・国際交流 2.914	子育て支援 2.908	まちづくり・都 市整備 2.914	子育て支援 2.864	地域活動・地 域支援 2.833	交通・道路 2.722	生活環境 2.946
10位	市民参加・市 民活動 2.891	安全対策 2.902	健康づくり 2.898	産業・消費生 活 2.853	市民参加・市 民活動 2.811	市民参加・市 民活動 2.717	市民参加・市 民活動 2.925

子どもの就学状況別で見ると、小学校入学前、社会人を持つ方では〔上・下水道〕が1位、小学生を持つ方では〔青少年施策〕が1位、中学生、高校生、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方では〔小・中学校教育〕が1位となっている。（図表3-10）

図表 3-11 満足度（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万 円未満	300～500万 円未満	500～700万 円未満	700～1,000 万円未満	1,000～1,500 万円未満	1,500万円 以上
1位	緑化・水辺空間 3.250	上・下水道 3.440	上・下水道 3.122	上・下水道 3.186	上・下水道 3.172	上・下水道 3.094	上・下水道 3.144	上・下水道 3.140
2位	上・下水道 3.125	ごみ 3.300	緑化・水辺空間 3.059	文化・学習・スポーツ 3.110	小・中学校教育 3.028	小・中学校教育 3.057	青少年施策 3.139	小・中学校教育 3.085
3位	ごみ 3.115	文化・学習・スポーツ 3.286	文化・学習・スポーツ 3.048	ごみ 3.083	青少年施策 3.026	文化・学習・スポーツ 3.046	文化・学習・スポーツ 3.115	文化・学習・スポーツ 3.071
4位	地域活動・地域支援 2.917	緑化・水辺空間 3.240	ごみ 3.043	緑化・水辺空間 2.995	文化・学習・スポーツ 3.006	緑化・水辺空間 3.028	小・中学校教育 3.062	青少年施策 3.060
5位	平和・都市交流・国際交流 2.857	エネルギー・資源 3.154	健康づくり 2.940	青少年施策 2.986	緑化・水辺空間 2.983	青少年施策 3.009	ごみ 3.048	緑化・水辺空間 3.036
6位	子育て支援 2.833	平和・都市交流・国際交流 3.143	小・中学校教育 2.896	健康づくり 2.968	ごみ 2.979	ごみ 2.995	健康づくり 3.029	ごみ 2.975
7位	生活環境 2.818	交通・道路 3.125	交通・道路 2.885	小・中学校教育 2.851	健康づくり 2.865	健康づくり 2.906	緑化・水辺空間 3.000	平和・都市交流・国際交流 2.944
8位	交通・道路 2.783	小・中学校教育 3.111	青少年施策 2.870	交通・道路 2.792	市民参加・市民活動 2.833	子育て支援 2.853	子育て支援 2.979	市民参加・市民活動 2.867
9位	青少年施策 2.750	青少年施策 3.083	子育て支援 2.827	市民参加・市民活動 2.791	子育て支援 2.820	市民参加・市民活動 2.777	交通・道路 2.844	健康づくり 2.851
10位	小・中学校教育 2.750	健康づくり 3.000	生活環境 2.805	平和・都市交流・国際交流 2.776	産業・消費生活 2.778	安全対策 2.776	情報の収集・発信 2.844	情報の収集・発信 2.787

世帯収入別で見ると、収入なしでは〔緑化・水辺空間〕が1位、それ以外では〔上・下水道〕が1位となっている。（図表 3-11）

3-2 重要度

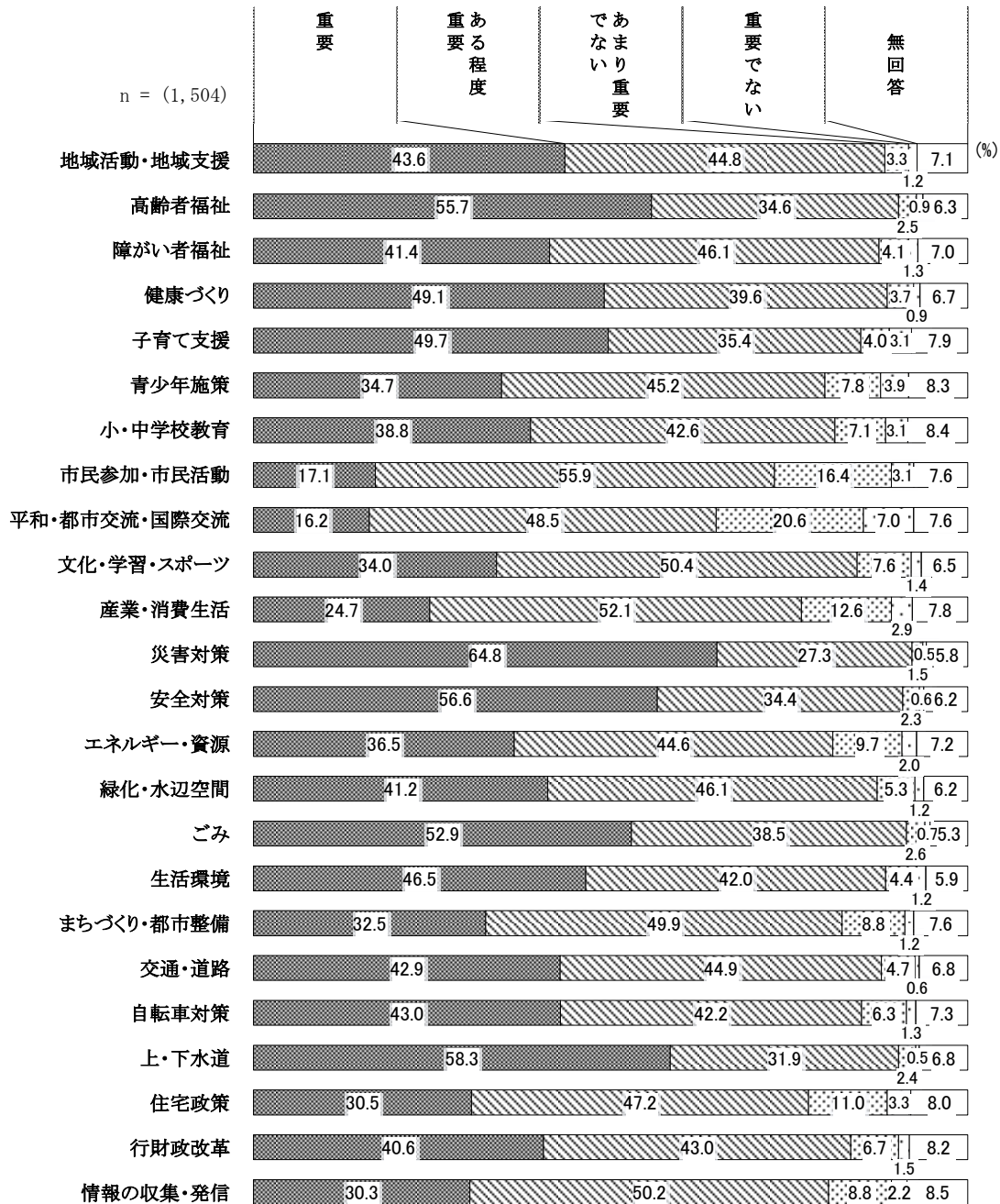
◎ [災害対策]で「重要」が6割台半ば、[平和・都市交流・国際交流]で「あまり重要でない」が2割強である。

問15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、【2】今後の重要度については可能な限りご回答ください。

【2】これからの市政を進める上で、どの程度重要だと思いますか。

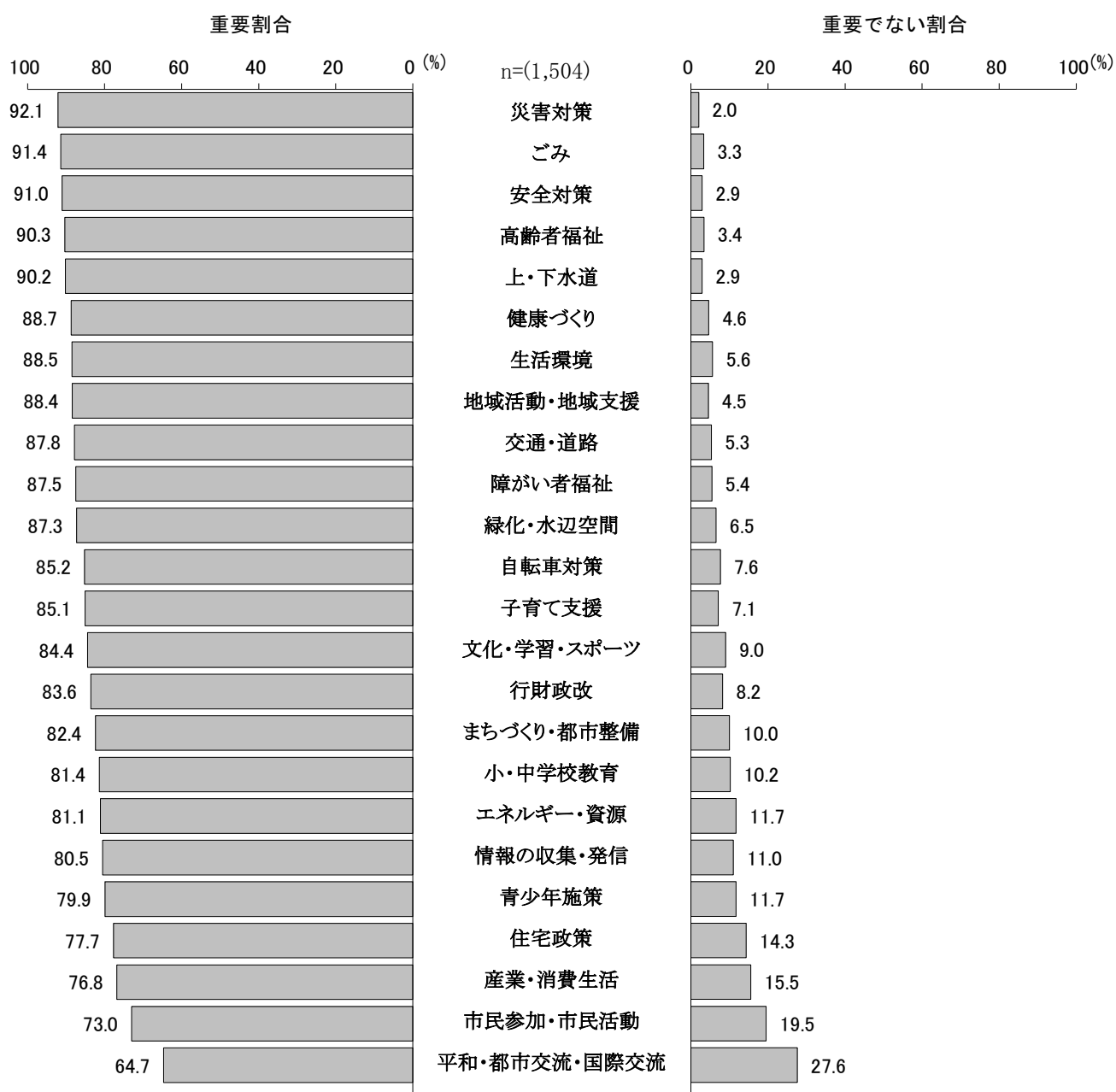
(○は項目ごとにそれぞれ1つ)

図表3-12 重要度



市の施策に対する重要度について、「重要」の割合が最も多いのは[災害対策] (64.8%)で6割台半ば、次いで[上・下水道] (58.3%)が5割台後半、[安全対策] (56.6%)が5割台半ば。一方、「あまり重要でない」は[平和・都市交流・国際交流] (20.6%)で2割強となっている。(図表3-12)

図表 3-13 重要割合・重要でない割合（重要順）



『重要』

（「重要」＋「ある程度重要」）を合わせた『重要』の割合の高い順にみると、〔災害対策〕（92.1%）、〔ごみ〕（91.4%）、〔安全対策〕（91.0%）、〔高齢者福祉〕（90.3%）、〔上・下水道〕（90.2%）と続き、24項目のうち、5項目が9割台、14項目が8割台と高い割合になっている。

『重要でない』

一方、（「重要でない」＋「あまり重要でない」）を合わせた『重要でない』の割合は、〔平和・都市交流・国際交流〕（27.6%）が最も高く、〔市民参加・市民活動〕（19.5%）、〔産業・消費生活〕（15.5%）と続いている。（図表3-13）

図表3-14 重要割合（重要度順、前回比較）

(重要度順)		(%)		
順位	項目	重要度	前回	前回順位
1	災害対策	92.1	88.0	1
2	ごみ ※	91.4	85.1	8
3	安全対策	91.0	87.5	4
4	高齢者福祉	90.3	85.8	5
5	上・下水道	90.2	87.8	2
6	健康づくり	88.7	85.5	6
7	生活環境 ※	88.5	84.6	11
8	地域活動・地域支援	88.4	83.2	13
9	交通・道路	87.8	87.6	3
10	障がい者福祉	87.5	82.7	14
11	緑化・水辺空間	87.3	85.0	9
12	自転車対策 ※	85.2	85.3	7
13	子育て支援	85.1	84.2	12
14	文化・学習・スポーツ	84.4	81.4	17
15	行財政改革	83.6	82.6	15
16	まちづくり・都市整備	82.4	81.0	18
17	小・中学校教育	81.4	81.5	16
18	エネルギー・資源 ※	81.1	84.7	10
19	情報の収集・発信	80.5	73.7	22
20	青少年施策	79.9	79.2	20
21	住宅政策	77.7	79.7	19
22	産業・消費生活	76.8	78.1	21
23	市民参加・市民活動	73.0	69.7	23
24	平和・都市交流・国際交流	64.7	66.8	24

※「ごみ」は、前回は「ごみ対策」であった。

※「生活環境」は、前回は「生活環境対策」であった。

※「自転車対策」は、前回は「放置自転車対策」であった。

※「エネルギー・資源」は、前回は「環境対策」であった。

図表 3-15 重要度（項目別件数表および重要度）（件数）

番号	項目	4	3	2	1	合計	無回答	重要度
		重要	重要 ある 程度	重要 あまり でない	重要 でない			
1	地域活動・地域支援	656	674	49	18	1397	107	3.409
2	高齢者福祉	838	520	38	13	1409	95	3.549
3	障がい者福祉	623	694	62	19	1398	106	3.374
4	健康づくり	739	595	55	14	1403	101	3.468
5	子育て支援	747	532	60	46	1385	119	3.430
6	青少年施策	522	680	118	59	1379	125	3.207
7	小・中学校教育	583	640	107	47	1377	127	3.277
8	市民参加・市民活動	257	840	246	46	1389	115	2.942
9	平和・都市交流・国際交流	244	729	310	106	1389	115	2.800
10	文化・学習・スポーツ	512	758	115	21	1406	98	3.252
11	産業・消費生活	371	783	189	43	1386	118	3.069
12	災害対策	975	411	23	8	1417	87	3.661
13	安全対策	851	517	34	9	1411	93	3.566
14	エネルギー・資源	549	671	146	30	1396	108	3.246
15	緑化・水辺空間	620	694	79	18	1411	93	3.358
16	ごみ	795	579	39	11	1424	80	3.515
17	生活環境	699	632	66	18	1415	89	3.422
18	まちづくり・都市整備	489	751	132	18	1390	114	3.231
19	交通・道路	645	676	71	9	1401	103	3.397
20	自転車対策	646	635	94	19	1394	110	3.369
21	上・下水道	877	480	36	8	1401	103	3.589
22	住宅政策	459	710	166	49	1384	120	3.141
23	行財政改革	610	646	101	23	1380	124	3.336
24	情報の収集・発信	455	755	133	33	1376	128	3.186

【重要度】

「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、（無回答を除いた）回答の平均値を【重要度】とした。（図表3-15）

※計算方法は106ページの「満足度」の計算方法参照。

図表 3-16 重要度（点数順）

順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	災害対策	3.661	13	緑化・水辺空間	3.358
2	上・下水道	3.589	14	行財政改革	3.336
3	安全対策	3.566	15	小・中学校教育	3.277
4	高齢者福祉	3.549	16	文化・学習・スポーツ	3.252
5	ごみ	3.515	17	エネルギー・資源	3.246
6	健康づくり	3.468	18	まちづくり・都市整備	3.231
7	子育て支援	3.430	19	青少年施策	3.207
8	生活環境	3.422	20	情報の収集・発信	3.186
9	地域活動・地域支援	3.409	21	住宅政策	3.141
10	交通・道路	3.397	22	産業・消費生活	3.069
11	障がい者福祉	3.374	23	市民参加・市民活動	2.942
12	自転車対策	3.369	24	平和・都市交流・国際交流	2.800

最も【重要度】が高いのは〔災害対策〕（3.661）である。以下、〔上・下水道〕（3.589）、〔安全対策〕（3.566）、〔高齢者福祉〕（3.549）、〔ごみ〕（3.515）の順となっている。

一方、最も【重要度】が低いのは〔平和・都市交流・国際交流〕（2.800）である。次いで、〔市民参加・市民活動〕（2.942）、〔産業・消費生活〕（3.069）の順となっている。（図表 3-16）

図表 3-17 重要度（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	災害対策 3.661	上・下水道 3.567	災害対策 3.731	災害対策 3.758	災害対策 3.694	災害対策 3.698	上・下水道 3.682	災害対策 3.660
2位	上・下水道 3.589	災害対策 3.555	安全対策 3.603	安全対策 3.740	安全対策 3.670	安全対策 3.634	災害対策 3.663	上・下水道 3.568
3位	安全対策 3.566	安全対策 3.505	上・下水道 3.600	上・下水道 3.643	高齢者福祉 3.592	高齢者福祉 3.574	高齢者福祉 3.658	安全対策 3.567
4位	高齢者福祉 3.549	ごみ 3.471	高齢者福祉 3.600	高齢者福祉 3.602	上・下水道 3.575	健康づくり 3.555	ごみ 3.613	高齢者福祉 3.522
5位	ごみ 3.515	高齢者福祉 3.470	ごみ 3.541	交通・道路 3.541	健康づくり 3.545	上・下水道 3.544	障がい者福祉 3.556	ごみ 3.493
6位	健康づくり 3.468	健康づくり 3.388	健康づくり 3.513	健康づくり 3.530	子育て支援 3.500	交通・道路 3.490	健康づくり 3.540	健康づくり 3.445
7位	子育て支援 3.430	生活環境 3.377	子育て支援 3.487	子育て支援 3.519	交通・道路 3.488	子育て支援 3.486	安全対策 3.538	子育て支援 3.434
8位	生活環境 3.422	行財政改革 3.357	地域活動・地域支援 3.458	ごみ対策 3.489	ごみ対策 3.475	ごみ対策 3.436	地域活動・地域支援 3.472	生活環境 3.410
9位	地域活動・地域支援 3.409	交通・道路 3.352	生活環境 3.446	放置自転車対策 3.458	地域活動・地域支援 3.439	地域活動・地域支援 3.432	生活環境 3.443	地域活動・地域支援 3.391
10位	交通・道路 3.397	緑化・水辺空間 3.343	障がい者福祉 3.437	生活環境対策 3.411	障がい者福祉 3.415	障がい者福祉 3.400	交通・道路 3.432	交通・道路 3.381

性別で見ると、男性の1位は〔上・下水道〕、2位は〔災害対策〕、3位は〔安全対策〕となっている。女性の1位は〔災害対策〕、2位は〔安全対策〕、3位は〔上・下水道〕となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も1位は〔災害対策〕、2位は〔安全対策〕となっている。吉祥寺地域の3位は〔上・下水道〕、中央地域と武蔵境地域の3位は〔高齢者福祉〕となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、いる場合の1位は〔上・下水道〕、2位は〔災害対策〕、3位は〔高齢者福祉〕となっている。いない場合の1位は〔災害対策〕、2位は〔上・下水道〕、3位は〔安全対策〕となっている。（図表3-17）

図表 3-18 重要度（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	安全対策 3.813	災害対策 3.653	災害対策 3.725	災害対策 3.683	災害対策 3.709	上・下水道 3.627	上・下水道 3.726	高齢者福祉 3.733
2位	災害対策 3.765	子育て支援 3.495	子育て支援 3.698	安全対策 3.587	高齢者福祉 3.623	災害対策 3.622	ごみ 3.599	上・下水道 3.672
3位	自転車対策 3.765	安全対策 3.460	安全対策 3.595	上・下水道 3.545	上・下水道 3.598	高齢者福祉 3.599	高齢者福祉 3.585	災害対策 3.642
4位	上・下水道 3.706	生活環境 3.396	上・下水道 3.502	高齢者福祉 3.516	安全対策 3.595	ごみ 3.560	安全対策 3.573	ごみ 3.597
5位	交通・道路 3.647	上・下水道 3.356	ごみ 3.490	子育て支援 3.498	ごみ 3.504	安全対策 3.500	災害対策 3.556	健康づくり 3.586
6位	子育て支援 3.588	文化・学習・ スポーツ 3.320	健康づくり 3.481	ごみ 3.477	地域活動・地 域支援 3.482	健康づくり 3.430	行財政改革 3.497	安全対策 3.567
7位	生活環境 3.588	健康づくり 3.316	生活環境 3.474	健康づくり 3.461	健康づくり 3.462	地域活動・地 域支援 3.421	生活環境 3.485	障がい者福 祉 3.513
8位	住宅政策 3.588	小・中学校教 育 3.309	高齢者福祉 3.441	地域活動・地 域支援 3.422	障がい者福 祉 3.437	交通・道路 3.390	健康づくり 3.483	地域活動・地 域支援 3.500
9位	情報の収集・ 発信 3.563	ごみ 3.287	緑化・水辺空 間 3.440	小・中学校教 育 3.402	自転車対策 3.416	自転車対策 3.384	交通・道路 3.449	生活環境 3.463
10位	ごみ 3.529	交通・道路 3.240	小・中学校教 育 3.419	生活環境 3.387	交通・道路 3.412	生活環境 3.383	自転車対策 3.446	交通・道路 3.432

年代別で見ると、18歳～19歳では〔安全対策〕が1位、20歳代から50歳代までの各年代で、〔災害対策〕が1位、60歳～69歳、70歳～79歳では〔上・下水道〕が1位、80歳以上では〔高齢者福祉〕が1位となっている。2位は、18歳～29歳、60歳～69歳で〔災害対策〕、20歳～29歳、30歳～39歳では〔子育て支援〕、40歳～49歳では〔安全対策〕、50歳～59歳は〔高齢者福祉〕、70歳～79歳では〔ごみ〕、80歳以上は〔上・下水道〕となっている。（図表3-18）

図表 3-19 重要度（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1位	災害対策 3.610	災害対策 3.665	災害対策 3.731	災害対策 3.701	災害対策 3.728	災害対策 3.667	上・下水道 3.689	災害対策 3.586
2位	上・下水道 3.607	安全対策 3.537	安全対策 3.627	高齢者福祉 3.602	上・下水道 3.638	安全対策 3.610	高齢者福祉 3.634	ごみ 3.517
3位	高齢者福祉 3.552	上・下水道 3.504	上・下水道 3.615	安全対策 3.595	安全対策 3.631	子育て支援 3.585	ごみ 3.593	高齢者福祉 3.517
4位	安全対策 3.545	高齢者福祉 3.459	高齢者福祉 3.567	上・下水道 3.589	高齢者福祉 3.579	上・下水道 3.524	災害対策 3.565	障がい者福 祉 3.517
5位	健康づくり 3.530	ごみ 3.459	ごみ 3.552	子育て支援 3.552	ごみ 3.568	文化・学習・ スポーツ 3.476	安全対策 3.520	行財政改革 3.517
6位	ごみ 3.471	生活環境 3.416	地域活動・地 域支援 3.493	健康づくり 3.536	生活環境 3.511	健康づくり 3.463	健康づくり 3.492	情報の収集・ 発信 3.500
7位	子育て支援 3.438	子育て支援 3.415	健康づくり 3.418	障がい者福 祉 3.491	健康づくり 3.509	高齢者福祉 3.463	行財政改革 3.475	健康づくり 3.483
8位	地域活動・地 域支援 3.425	健康づくり 3.375	生活環境 3.418	地域活動・地 域支援 3.488	子育て支援 3.504	ごみ 3.452	交通・道路 3.447	上・下水道 3.467
9位	障がい者福 祉 3.391	交通・道路 3.373	子育て支援 3.418	ごみ 3.485	交通・道路 3.500	生活環境 3.429	地域活動・地 域支援 3.418	まちづくり・都 市整備 3.467
10位	生活環境 3.378	緑化・水辺空 間 3.364	エネルギー・ 資源 3.418	生活環境 3.389	自転車対策 3.477	小・中学校教 育 3.415	自転車対策 3.417	安全対策 3.448

職業別で見ると、無職では〔上・下水道〕が1位、それ以外では〔災害対策〕が1位となっている。2位は、正社員、正職員、契約社員、派遣社員、学生で〔安全対策〕、自営業・自由業、家事専業で〔上・下水道〕、アルバイト、パート、無職で〔高齢者福祉〕となっている。（図表 3-19）

図表 3-20 重要度（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	子育て支援 3.808	子育て支援 3.707	災害対策 3.686	災害対策 3.632	災害対策 3.670	災害対策 3.684	災害対策 3.726
2位	災害対策 3.710	小・中学校教育 3.705	安全対策 3.657	安全対策 3.618	高齢者福祉 3.608	高齢者福祉 3.643	子育て支援 3.583
3位	小・中学校教育 3.658	災害対策 3.695	小・中学校教育 3.620	高齢者福祉 3.614	安全対策 3.546	上・下水道 3.619	安全対策 3.548
4位	青少年施策 3.628	安全対策 3.693	高齢者福祉 3.577	子育て支援 3.514	上・下水道 3.542	安全対策 3.600	ごみ 3.521
5位	安全対策 3.594	青少年施策 3.647	子育て支援 3.563	健康づくり 3.500	子育て支援 3.479	ごみ 3.589	高齢者福祉 3.507
6位	上・下水道 3.510	上・下水道 3.580	上・下水道 3.561	地域活動・地域支援 3.486	健康づくり 3.474	健康づくり 3.476	生活環境 3.479
7位	健康づくり 3.487	生活環境 3.550	地域活動・地域支援 3.493	上・下水道 3.448	地域活動・地域支援 3.464	地域活動・地域支援 3.422	健康づくり 3.458
8位	生活環境 3.458	健康づくり 3.536	青少年施策 3.479	障がい者福祉 3.429	障がい者福祉 3.433	生活環境 3.414	障がい者福祉 3.458
9位	ごみ 3.442	ごみ 3.521	健康づくり 3.457	交通・道路 3.424	ごみ 3.406	障がい者福祉 3.406	上・下水道 3.446
10位	緑化・水辺空間 3.429	高齢者福祉 3.521	障がい者福祉 3.437	自転車対策 3.424	交通・道路 3.400	交通・道路 3.397	小・中学校教育 3.333

子どもの就学状況別で見ると、小学校入学前、小学生を持つ方は〔子育て支援〕が1位、それ以外では〔災害対策〕が1位となっており、2位は小学校入学前を持つ方で〔災害対策〕、小学生を持つ方で〔小・中学校教育〕、中学生、高校生を持つ方で〔安全対策〕、専門学校、短期大学、大学生等、社会人を持つ方で〔高齢者福祉〕となっている。（図表 3-20）

図表 3-21 重要度（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万 円未満	300～500万 円未満	500～700万 円未満	700～1,000 万円未満	1,000～1,500 万円未満	1,500万円 以上
1位	上・下水道 3.714	上・下水道 3.556	上・下水道 3.648	災害対策 3.664	災害対策 3.642	災害対策 3.683	災害対策 3.720	災害対策 3.689
2位	災害対策 3.636	高齢者福祉 3.536	災害対策 3.629	高齢者福祉 3.593	ごみ 3.590	上・下水道 3.574	安全対策 3.633	安全対策 3.689
3位	安全対策 3.545	ごみ 3.533	高齢者福祉 3.616	上・下水道 3.585	上・下水道 3.578	安全対策 3.572	上・下水道 3.519	上・下水道 3.672
4位	まちづくり・都 市整備 3.524	災害対策 3.517	ごみ 3.575	安全対策 3.547	高齢者福祉 3.555	高齢者福祉 3.517	子育て支援 3.489	高齢者福祉 3.526
5位	交通・道路 3.524	障がい者福 祉 3.448	安全対策 3.525	ごみ 3.547	安全対策 3.540	子育て支援 3.491	高齢者福祉 3.484	緑化・水辺空 間 3.481
6位	自転車対策 3.524	子育て支援 3.444	地域活動・地 域支援 3.424	健康づくり 3.526	生活環境 3.467	ごみ 3.474	ごみ 3.481	生活環境 3.463
7位	生活環境 3.455	エネルギー・ 資源 3.440	自転車対策 3.410	子育て支援 3.477	健康づくり 3.467	健康づくり 3.459	交通・道路 3.455	地域活動・地 域支援 3.456
8位	地域活動・地 域支援 3.423	地域活動・地 域支援 3.423	健康づくり 3.407	地域活動・地 域支援 3.439	子育て支援 3.426	障がい者福 祉 3.430	健康づくり 3.441	交通・道路 3.451
9位	住宅政策 3.381	安全対策 3.423	生活環境 3.405	障がい者福 祉 3.411	行財政改革 3.375	地域活動・地 域支援 3.428	地域活動・地 域支援 3.399	自転車対策 3.451
10位	健康づくり 3.375	健康づくり 3.414	交通・道路 3.385	生活環境 3.410	地域活動・地 域支援 3.363	生活環境 3.404	生活環境 3.389	健康づくり 3.449

世帯収入別で見ると、収入なし、100万円未満、100～300万円未満では〔上・下水道〕が1位、300万円以上では〔災害対策〕が1位となっている。2位は収入なし、100～300万円未満で〔災害対策〕、100万円未満、300～500万円未満で〔高齢者福祉〕、500～700万円未満で〔ごみ〕、700～1,000万円未満で〔上・下水道〕、1,000万円以上で〔安全対策〕となっている。（図表 3-21）

3-3 ニーズ得点

◎ ニーズ得点の考え方

ここでは、問 15 に挙げられている各種施策について、前出の「満足度」、「重要度」をもとに、市民のニーズを明らかにしている。このニーズを求める際の考え方が「ニーズ得点」である。

ニーズ得点は、「重要度」と「満足度」を図表 3-18 のとおり得点化し、その差を求め、値が大きいほどニーズが高いと考える。つまりニーズが高い項目とは、「重要だと考えるが満足していない項目」となる。

具体的な計算式は以下のとおり。

○ニーズ得点…各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）

例；「災害対策」について見てみると、ニーズ得点は 8.563 となる。

【満足度（加重平均）】

$$(4 \text{ 点} \times 58 \text{ 件} + 3 \text{ 点} \times 467 \text{ 件} + 2 \text{ 点} \times 224 \text{ 件} + 1 \text{ 点} \times 53 \text{ 件}) \div 802 \text{ (合計件数)} = 2.661$$

【重要度（加重平均）】

$$(4 \text{ 点} \times 975 \text{ 件} + 3 \text{ 点} \times 411 \text{ 件} + 2 \text{ 点} \times 23 \text{ 件} + 1 \text{ 点} \times 8 \text{ 件}) \div 1,417 \text{ (合計件数)} = 3.661$$

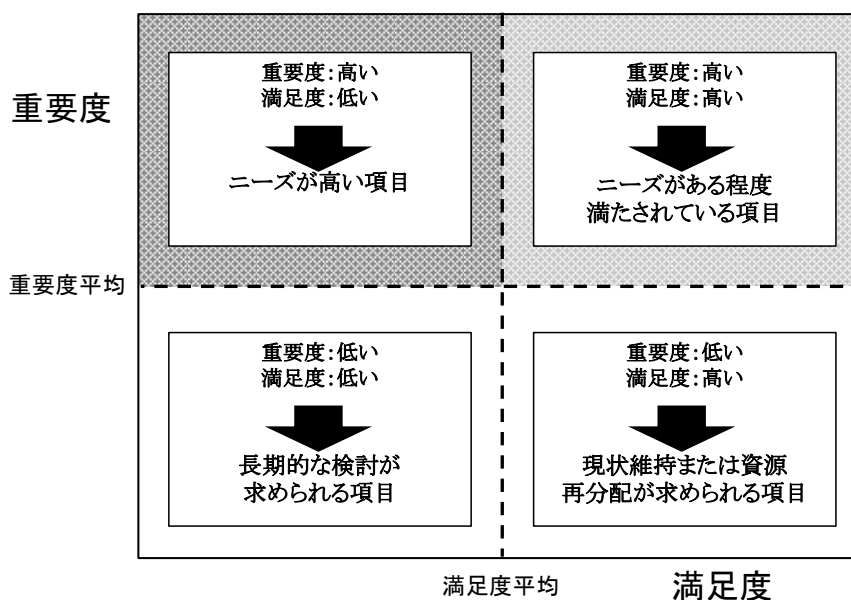
$$\text{ニーズ得点} = 3.661 \times (5 - 2.661) = \underline{8.563}$$

図表 3-22 「満足度」および「重要度」の得点化

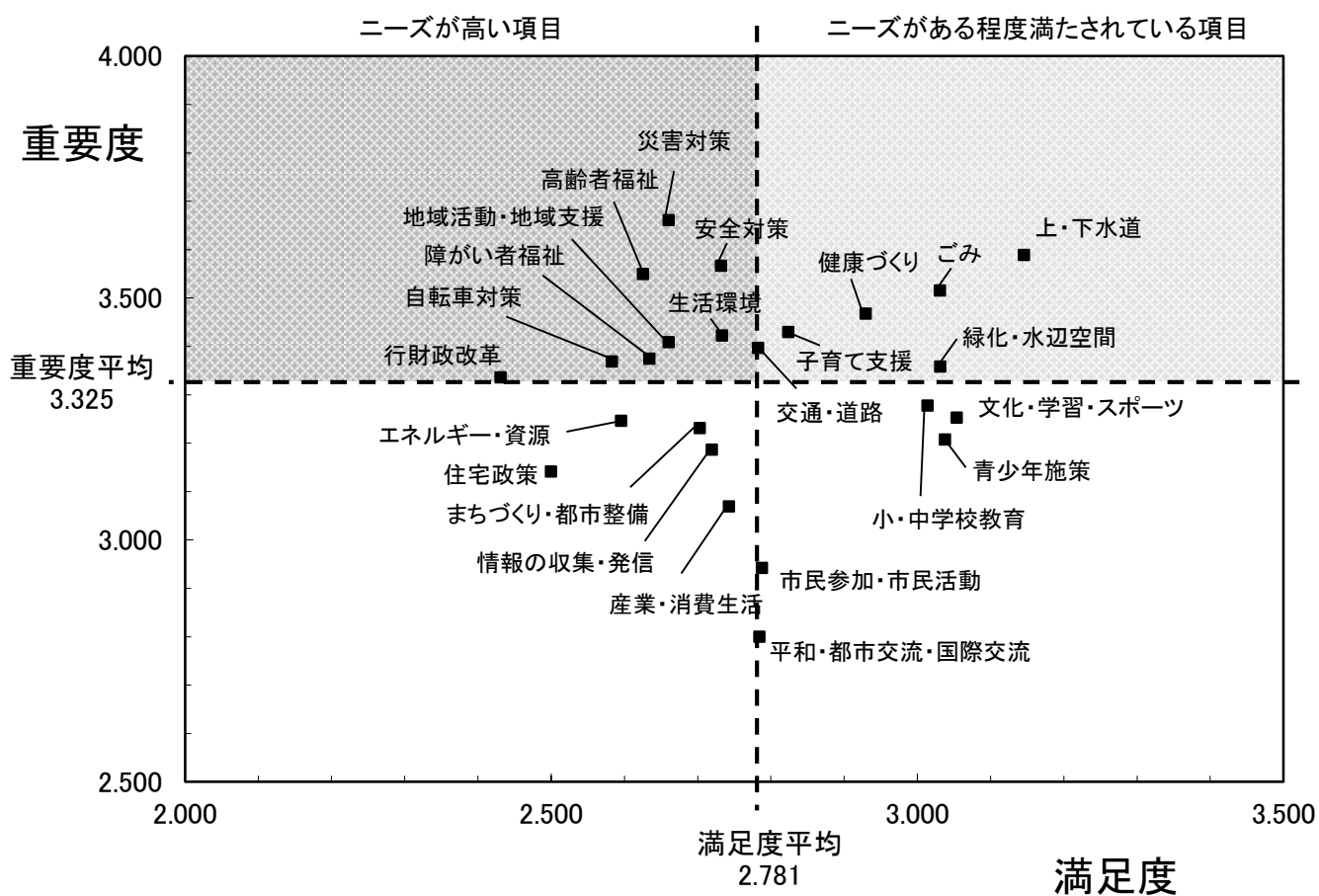
点数	4	3	2	1					4	3	2	1			
	満足	満足 ある 程度	あ まり 満 足 し て い な い	不 満 足	合計	わ か ら な い	無 回 答	満足 度 (加 重 平 均)	重 要	重 要 あ る 程 度	重 要 あ ま り で な い	重 要 で な い	合計	無 回 答	重 要 度 (加 重 平 均)
件数	58	467	224	53	802	639	63	2.661	975	411	23	8	1,417	87	3.661

また、上記のニーズ得点に加え、数値化した「重要度」と「満足度」により散布図を作成することで、ニーズの高い項目を確認できる。

下図のように、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとった散布図を「重要度平均」および「満足度平均」で4つに分割すると、図の左下に位置するほど重要度が低く満足度も低い項目であることを、逆に、図の右上に位置するものほど重要度が高く満足度も高い項目であることを示している。また、左上に位置するものは、重要度が高く満足度の低い項目、すなわちニーズが高い項目となる。以下では、「ニーズがある程度満たされている項目」および「ニーズが高い項目」に焦点を当てて、各種施策を見ていくこととする。



図表 3-23 散布図（満足度・重要度）



上の散布図において、左上（重要度が高く、満足度が低い：ニーズが高い項目）に位置するのは、〔災害対策〕や〔安全対策〕、〔高齢者福祉〕、〔生活環境〕、〔地域活動・地域支援〕、〔障がい者福祉〕、〔自転車対策〕、〔行財政改革〕である。一方、〔上・下水道〕、〔ごみ〕、〔緑化・水辺空間〕、〔健康づくり〕、〔子育て支援〕、〔交通・道路〕は右上（重要度が高く、満足度も高い）に位置し、ニーズがある程度満たされている項目であることがわかる。（図表 3-23）

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」と無回答を除いた回答の平均値を【満足度（加重平均）】、「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、無回答を除いた回答の平均値を【重要度（加重平均）】として、各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）の計算結果を【ニーズ得点】として求めた。

【ニーズ得点】は、「行財政改革」（8.569）が最も高く、「災害対策」（8.563）が次いで高くなっている。以下、「高齢者福祉」（8.428）、「自転車対策」（8.142）、「安全対策」（8.087）と続いている。（図表3-24）

図表3-24 項目別ニーズ得点

（点数順）

順位	項目	ニーズ得点	前回	前回順位
1	行財政改革	8.569	8.228	5
2	災害対策	8.563	8.479	2
3	高齢者福祉	8.428	8.402	3
4	自転車対策 ※	8.142	8.029	7
5	安全対策	8.087	8.601	1
6	障がい者福祉	7.982	7.717	10
7	地域活動・地域支援	7.973	7.896	8
8	住宅政策	7.852	7.508	11
9	エネルギー・資源 ※	7.803	7.269	13
10	生活環境 ※	7.756	7.884	9
11	交通・道路	7.531	8.036	6
12	子育て支援	7.462	8.293	4
13	まちづくり・都市整備	7.420	7.464	12
14	情報の収集・発信	7.265	6.881	19
15	健康づくり	7.179	7.090	16
16	産業・消費生活	6.927	7.227	14
17	ごみ ※	6.922	7.094	15
18	上・下水道	6.653	6.982	18
19	緑化・水辺空間	6.610	6.647	22
20	小・中学校教育	6.508	7.035	17
21	市民参加・市民活動	6.507	6.672	21
22	文化・学習・スポーツ	6.329	6.421	24
23	青少年施策	6.292	6.684	20
24	平和・都市交流・国際交流	6.202	6.454	23

図表 3-25 ニーズ得点（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	行財政改革 8.569	行財政改革 8.522	災害対策 8.664	行財政改革 9.148	自転車対策 8.516	高齢者福祉 8.836	災害対策 8.996	災害対策 8.492
2位	災害対策 8.563	高齢者福祉 8.387	行財政改革 8.573	住宅政策 8.985	高齢者福祉 8.423	障がい者福祉 8.530	行財政改革 8.964	行財政改革 8.480
3位	高齢者福祉 8.428	災害対策 8.366	高齢者福祉 8.443	地域活動・地域支援 8.941	エネルギー・資源 8.254	地域活動・地域支援 8.179	高齢者福祉 8.780	高齢者福祉 8.313
4位	自転車対策 8.142	安全対策 8.195	自転車対策 8.197	生活環境 8.563	障がい者福祉 8.153	自転車対策 8.027	障がい者福祉 8.643	自転車対策 8.137
5位	安全対策 8.087	障がい者福祉 8.071	住宅政策 8.091	エネルギー・資源 8.279	住宅政策 8.068	交通・道路 7.731	地域活動・地域支援 8.618	安全対策 8.087
6位	障がい者福祉 7.982	自転車対策 7.992	地域活動・地域支援 7.999	交通・道路 8.248	地域活動・地域支援 8.026	生活環境 7.692	エネルギー・資源 8.269	障がい者福祉 7.825
7位	地域活動・地域支援 7.973	生活環境 7.924	安全対策 7.992	自転車対策 8.204	災害対策 7.496	災害対策 7.604	安全対策 8.203	地域活動・地域支援 7.811
8位	住宅政策 7.852	地域活動・地域支援 7.909	障がい者福祉 7.865	災害対策 8.167	産業・消費生活 7.348	エネルギー・資源 7.528	住宅政策 8.099	生活環境 7.769
9位	エネルギー・資源 7.803	エネルギー・資源 7.751	エネルギー・資源 7.783	高齢者福祉 8.125	市民参加・市民活動 7.338	市民参加・市民活動 7.507	情報の収集・発信 8.088	住宅政策 7.736
10位	生活環境 7.756	子育て支援 7.621	生活環境 7.618	障がい者福祉 8.098	子育て支援 7.218	安全対策 7.442	自転車対策 7.891	エネルギー・資源 7.706

性別で見ると、男性では1位が〔行財政改革〕、2位が〔高齢者福祉〕、3位が〔災害対策〕となっている。女性では1位が〔災害対策〕、2位が〔行財政改革〕、3位が〔高齢者福祉〕となっている。

居住地域別で見ると、吉祥寺地域では1位が〔行財政改革〕、2位が〔住宅施策〕、3位が〔地域活動・地域支援〕となっている。中央地域では1位が〔自転車対策〕、2位が〔高齢者福祉〕、3位が〔エネルギー・資源〕となっている。武蔵境地域では1位が〔高齢者福祉〕、2位が〔障がい者福祉〕、3位が〔地域活動・地域支援〕となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、いるいないにかかわらず〔災害対策〕が1位、〔行財政改革〕が2位、〔高齢者福祉〕が3位で同順位となっている。（図表 3-25）

図表 3-26 ニーズ得点（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	自転車対策 9.143	子育て支援 7.833	災害対策 8.358	災害対策 8.380	行財政改革 8.987	行財政改革 9.182	行財政改革 9.452	高齢者福祉 8.919
2位	エネルギー・資源 8.801	安全対策 7.730	生活環境 8.130	高齢者福祉 8.233	災害対策 8.911	高齢者福祉 8.984	高齢者福祉 8.709	災害対策 8.620
3位	住宅政策 7.974	災害対策 7.504	自転車対策 8.098	行財政改革 8.027	自転車対策 8.501	災害対策 8.796	災害対策 8.436	障がい者福祉 8.343
4位	災害対策 7.529	行財政改革 7.378	子育て支援 8.092	障がい者福祉 7.971	安全対策 8.418	地域活動・地域支援 8.568	安全対策 8.413	行財政改革 8.059
5位	まちづくり・都市整備 7.189	生活環境 7.049	安全対策 8.026	自転車対策 7.911	高齢者福祉 8.384	住宅政策 8.503	地域活動・地域支援 8.214	自転車対策 8.018
6位	情報の収集・発信 7.125	自転車対策 6.997	高齢者福祉 7.866	生活環境 7.831	障がい者福祉 8.124	自転車対策 8.358	障がい者福祉 8.211	地域活動・地域支援 7.900
7位	交通・道路 7.066	ごみ 6.939	地域活動・地域支援 7.816	住宅政策 7.817	地域活動・地域支援 8.113	障がい者福祉 8.244	自転車対策 8.189	エネルギー・資源 7.794
8位	生活環境 6.459	健康づくり 6.812	行財政改革 7.731	安全対策 7.775	エネルギー・資源 8.088	安全対策 8.197	住宅政策 8.059	安全対策 7.785
9位	高齢者福祉 6.363	地域活動・地域支援 6.684	障がい者福祉 7.678	地域活動・地域支援 7.674	住宅政策 7.909	エネルギー・資源 8.084	エネルギー・資源 7.897	情報の収集・発信 7.700
10位	上・下水道 6.088	障がい者福祉 6.622	住宅政策 7.639	交通・道路 7.536	生活環境 7.841	まちづくり・都市整備 8.049	生活環境 7.719	住宅政策 7.603

年代別で見ると、18歳～19歳では〔自転車対策〕が1位、20歳～29歳では〔子育て支援〕が1位、30歳～39歳、40歳～49歳では〔災害対策〕が1位、50歳～59歳、60歳～69歳、70歳～79歳では〔行財政改革〕が1位、80歳以上では〔高齢者福祉〕が1位となっている。2位は18歳～19歳では〔エネルギー・資源〕、20歳～29歳では〔安全対策〕、30歳～39歳では〔生活環境〕、40歳～49歳、60歳～69歳、70歳～79歳では〔高齢者福祉〕、50歳～59歳、80歳以上で〔災害対策〕となっている。（図表 3-26）

図表 3-27 ニーズ得点（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1位	高齢者福祉 8.689	災害対策 8.676	高齢者福祉 8.989	住宅政策 8.540	災害対策 8.783	自転車対策 8.658	行財政改革 9.008	行財政改革 9.614
2位	行財政改革 8.546	行財政改革 8.530	住宅政策 8.800	行財政改革 8.343	高齢者福祉 8.651	災害対策 7.627	高齢者福祉 8.614	情報の収集・ 発信 9.406
3位	災害対策 8.424	高齢者福祉 8.272	エネルギー・ 資源 8.710	災害対策 8.292	行財政改革 8.562	文化・学習・ スポーツ 7.532	災害対策 8.578	住宅政策 8.867
4位	障がい者福 祉 8.201	安全対策 8.233	災害対策 8.603	高齢者福祉 8.227	安全対策 8.473	住宅政策 7.386	障がい者福 祉 8.427	まちづくり・都 市整備 8.736
5位	安全対策 8.067	生活環境 8.173	地域活動・地 域支援 8.440	自転車対策 8.126	自転車対策 8.305	エネルギー・ 資源 7.382	住宅政策 8.246	自転車対策 8.721
6位	地域活動・地 域支援 8.060	障がい者福 祉 8.158	自転車対策 8.390	障がい者福 祉 7.955	地域活動・地 域支援 8.053	子育て支援 6.872	地域活動・地 域支援 8.208	エネルギー・ 資源 8.339
7位	住宅政策 8.026	自転車対策 7.946	安全対策 8.269	地域活動・地 域支援 7.777	交通・道路 7.903	情報の収集・ 発信 6.829	自転車対策 8.124	産業・消費生 活 8.228
8位	自転車対策 7.879	地域活動・地 域支援 7.887	行財政改革 8.175	安全対策 7.699	エネルギー・ 資源 7.871	生活環境 6.753	安全対策 8.052	災害対策 8.069
9位	生活環境 7.871	子育て支援 7.858	子育て支援 8.019	エネルギー・ 資源 7.688	障がい者福 祉 7.758	交通・道路 6.714	エネルギー・ 資源 7.754	地域活動・地 域支援 8.058
10位	子育て支援 3.333	エネルギー・ 資源 2.946	生活環境 2.838	交通・道路 2.829	生活環境 2.797	まちづくり・都 市整備 2.720	情報の収集・ 発信 2.785	障がい者福 祉 2.817

職業別で見ると、自営業・自由業、契約社員、派遣社員では〔高齢者福祉〕が1位、正社員、正職員、家事専業では〔災害対策〕が1位、アルバイト、パートでは〔住宅施策〕が1位、学生では〔自転車対策〕が1位、無職では〔行財政改革〕が1位となっている。2位は自営業・自由業、正社員、正職員、アルバイト、パートでは〔行財政改革〕、契約社員、派遣社員では〔住宅施策〕、家事専業、無職では〔高齢者福祉〕、学生では〔災害対策〕となっている。（図表 3-27）

図表 3-28 ニーズ得点（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	自転車対策 8.071	障がい者福 祉 8.564	安全対策 8.369	行財政改革 8.495	行財政改革 9.467	災害対策 8.934	災害対策 8.424
2位	災害対策 8.047	行財政改革 8.327	高齢者福祉 8.109	住宅政策 8.199	災害対策 8.763	高齢者福祉 8.840	高齢者福祉 7.962
3位	高齢者福祉 8.042	災害対策 8.166	子育て支援 7.781	高齢者福祉 8.045	高齢者福祉 8.419	行財政改革 8.689	自転車対策 7.913
4位	子育て支援 8.035	住宅政策 7.903	障がい者福 祉 7.666	自転車対策 8.044	自転車対策 8.128	安全対策 8.346	エネルギー・ 資源 7.773
5位	障がい者福 祉 7.894	自転車対策 7.877	自転車対策 7.619	安全対策 7.974	安全対策 8.106	地域活動・地 域支援 8.181	地域活動・地 域支援 7.603
6位	生活環境 7.889	交通・道路 7.785	地域活動・地 域支援 7.568	災害対策 7.957	障がい者福 祉 7.883	障がい者福 祉 8.120	行財政改革 7.588
7位	行財政改革 7.874	高齢者福祉 7.765	災害対策 7.543	地域活動・地 域支援 7.843	エネルギー・ 資源 7.728	自転車対策 8.082	障がい者福 祉 7.565
8位	安全対策 7.694	子育て支援 7.757	行財政改革 7.480	交通・道路 7.797	交通・道路 7.709	まちづくり・都 市整備 7.887	安全対策 7.483
9位	住宅政策 7.602	安全対策 7.747	生活環境 7.457	障がい者福 祉 7.714	生活環境 7.547	生活環境 7.836	子育て支援 7.346
10位	小・中学校教 育 7.430	生活環境 7.656	健康づくり 7.267	子育て支援 7.508	まちづくり・都 市整備 7.530	住宅政策 7.792	ごみ 7.312

子どもの就学状況別で見ると、小学校入学前を持つ方では〔自転車対策〕、小学生を持つ方では〔障がい者福祉〕、中学生を持つ方では〔安全対策〕、高校生、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方では〔行財政改革〕、社会人を持つ方では〔災害対策〕が1位となっている。2位は、小学校入学前、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方では〔災害対策〕、小学生を持つ方では〔行財政改革〕、中学生、社会人を持つ方では〔高齢者福祉〕、高校生を持つ方では〔住宅施策〕となっている。（図表 3-28）

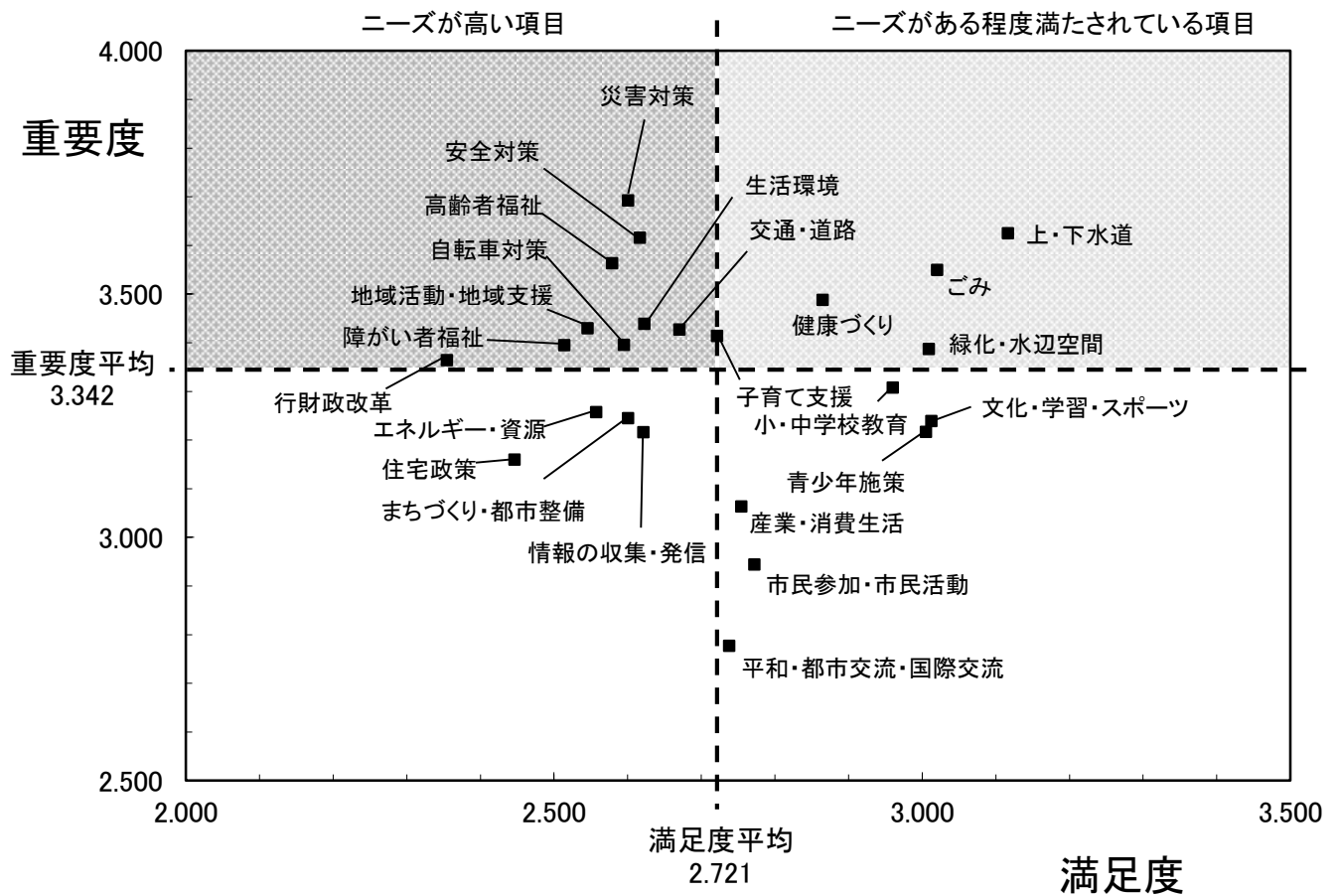
図表 3-29 ニーズ得点（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上
1位	自転車対策 8.726	行財政改革 8.229	高齢者福祉 8.921	災害対策 8.740	高齢者福祉 8.867	災害対策 8.437	災害対策 8.782	災害対策 8.965
2位	住宅政策 8.664	災害対策 7.914	行財政改革 8.829	行財政改革 8.692	災害対策 8.745	行財政改革 8.429	行財政改革 8.688	安全対策 8.964
3位	健康づくり 8.537	高齢者福祉 7.857	地域活動・地域支援 8.438	高齢者福祉 8.516	行財政改革 8.735	自転車対策 8.321	障がい者福祉 8.310	行財政改革 8.948
4位	災害対策 8.364	子育て支援 7.750	住宅政策 8.396	地域活動・地域支援 8.253	エネルギー・資源 8.411	障がい者福祉 8.203	高齢者福祉 8.113	自転車対策 8.528
5位	安全対策 8.342	障がい者福祉 7.543	障がい者福祉 8.222	住宅政策 8.189	住宅政策 8.194	高齢者福祉 7.991	安全対策 8.053	交通・道路 8.398
6位	高齢者福祉 8.213	住宅政策 7.537	災害対策 8.094	安全対策 8.101	安全対策 8.170	安全対策 7.946	地域活動・地域支援 7.869	高齢者福祉 8.183
7位	まちづくり・都市整備 8.054	地域活動・地域支援 7.488	自転車対策 8.081	自転車対策 8.098	自転車対策 8.072	生活環境 7.880	自転車対策 7.822	エネルギー・資源 8.163
8位	障がい者福祉 8.044	生活環境 7.172	安全対策 7.946	障がい者福祉 7.999	生活環境 8.034	住宅政策 7.811	生活環境 7.597	まちづくり・都市整備 8.152
9位	交通・道路 7.814	安全対策 7.157	エネルギー・資源 7.932	エネルギー・資源 7.970	地域活動・地域支援 7.957	交通・道路 7.784	まちづくり・都市整備 7.565	地域活動・地域支援 7.984
10位	文化・学習・スポーツ 7.568	自転車対策 6.944	生活環境 7.473	子育て支援 7.927	情報の収集・発信 7.628	地域活動・地域支援 7.768	住宅政策 7.460	子育て支援 7.929

世帯収入別で見ると、収入なしでは〔自転車対策〕、100万円未満では〔行財政改革〕、100～300万円未満、500～700万円未満では〔高齢者福祉〕、300～500万円未満、700万円以上では〔災害対策〕が1位となっている。2位は、100万円未満、500～700万円未満では〔災害対策〕、100～500万円未満、700～1,500万円未満では〔行財政改革〕、収入なしでは〔住宅施策〕、1,500万円以上では〔安全対策〕となっている。（図表 3-29）

3-4 満足度と重要度の分析（居住地域別）

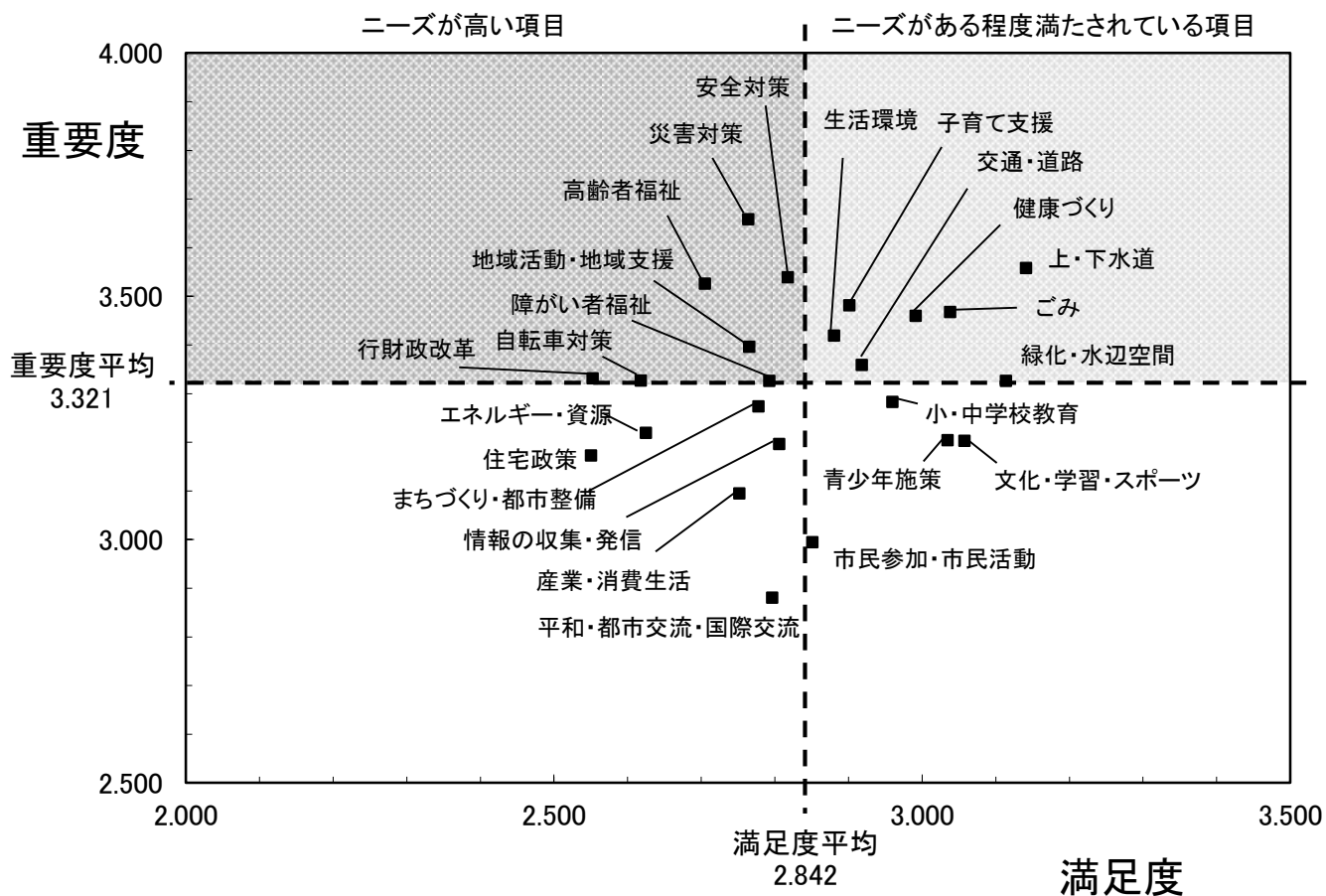
図表 3-30 散布図（満足度・重要度） 吉祥寺地域



吉祥寺地域では、〔災害対策〕、〔安全対策〕、〔高齢者福祉〕、〔生活環境〕、〔交通・道路〕、〔自転車対策〕、〔地域活動・地域支援〕、〔障がい者福祉〕、〔行財政改革〕が、ニーズの高い項目となっている。

一方、〔上・下水道〕、〔ごみ〕、〔緑化・水辺空間〕、〔健康づくり〕は、ニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表 3-30）

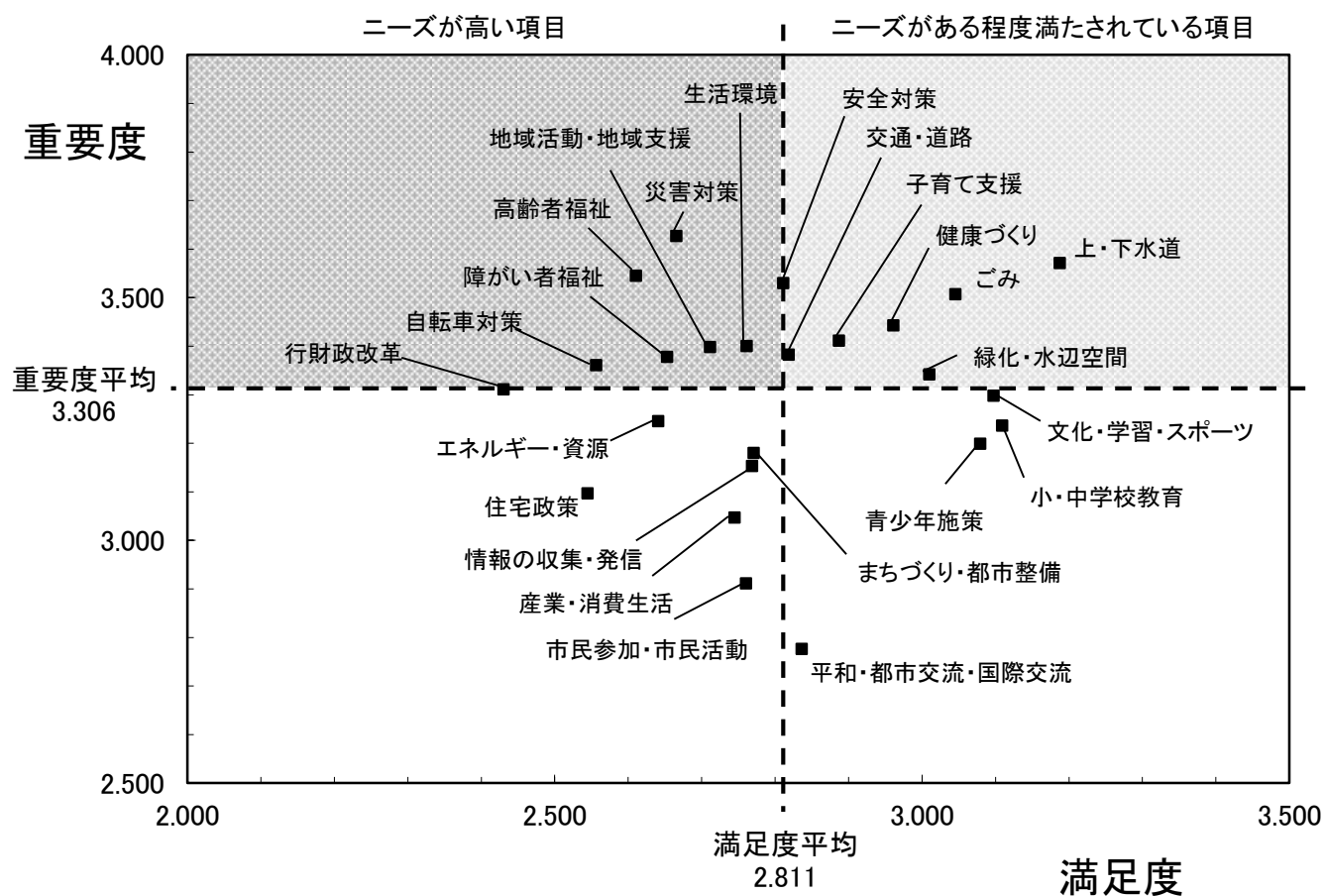
図表 3-31 散布図（満足度・重要度） 中央地域



中央地域では、〔災害対策〕、〔安全対策〕、〔高齢者福祉〕、〔地域活動・地域支援〕、〔障がい者福祉〕、〔自転車対策〕、〔行財政改革〕が、ニーズの高い項目となっている。

一方、〔上・下水道〕、〔健康づくり〕、〔ごみ〕、〔交通・道路〕、〔子育て支援〕、〔生活環境〕、〔緑化・水辺空間〕は、ニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表 3-31）

図表 3-32 散布図（満足度・重要度） 武蔵境地域



武蔵境地域では、〔生活環境〕、〔災害対策〕、〔地域活動・地域支援〕、〔高齢者福祉〕、〔障がい者福祉〕、〔自転車対策〕、〔行財政改革〕が、ニーズの高い項目となっている。

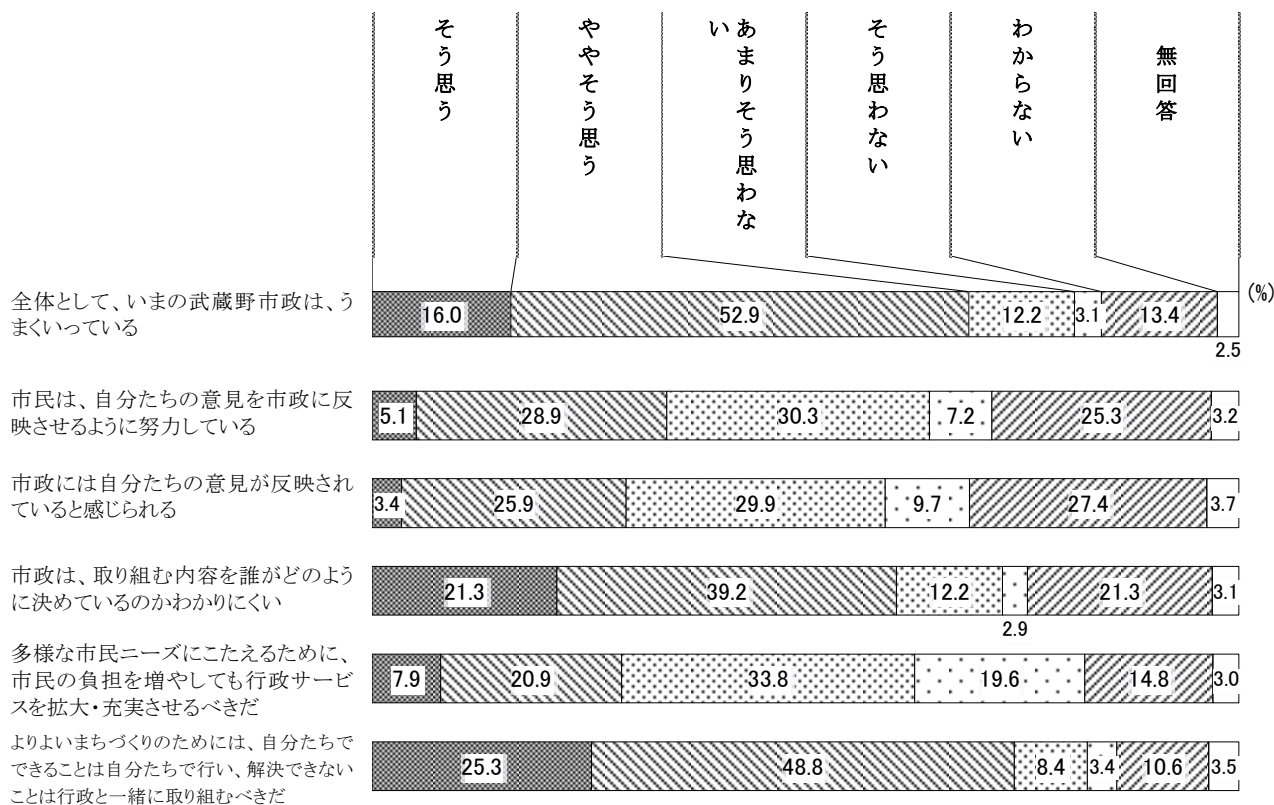
一方、〔上・下水道〕、〔健康づくり〕、〔ごみ〕、〔子育て支援〕、〔交通・道路〕、〔安全対策〕、〔緑化・水辺空間〕は、ニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表 3-32）

3-5 市政の現状や問題点

- ◎ 「全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている」では、『そう思う』は6割台後半、「よりよいまちづくりのためには、自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒に取り組むべきだ」では7割台半ばである。

問 16 市政の現状や問題点についてあなたはどのように思いますか。（○はそれぞれ1つ）

図表 3-33 市政の現状や問題点



市政に対する現状や問題点は、「全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている」は「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』（68.9%）が6割台後半となっている。

「市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している」は、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』（37.5%）が『そう思う』（34.0%）を3.5ポイント上回っている。また、「市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる」は、『そう思わない』（39.6%）が約4割で『そう思う』（29.3%）より10.3ポイント上回っている。

「市政は、取り組む内容を誰がどのように決めているのかわかりにくい」は、『そう思う』（60.5%）が6割強となっている。

「多様な市民ニーズにこたえるために、市民の負担を増やしても行政サービスを拡大・充実させるべきだ」は、『そう思わない』（53.4%）が5割台前半で『そう思う』（28.8%）より24.6ポイント上回っている。

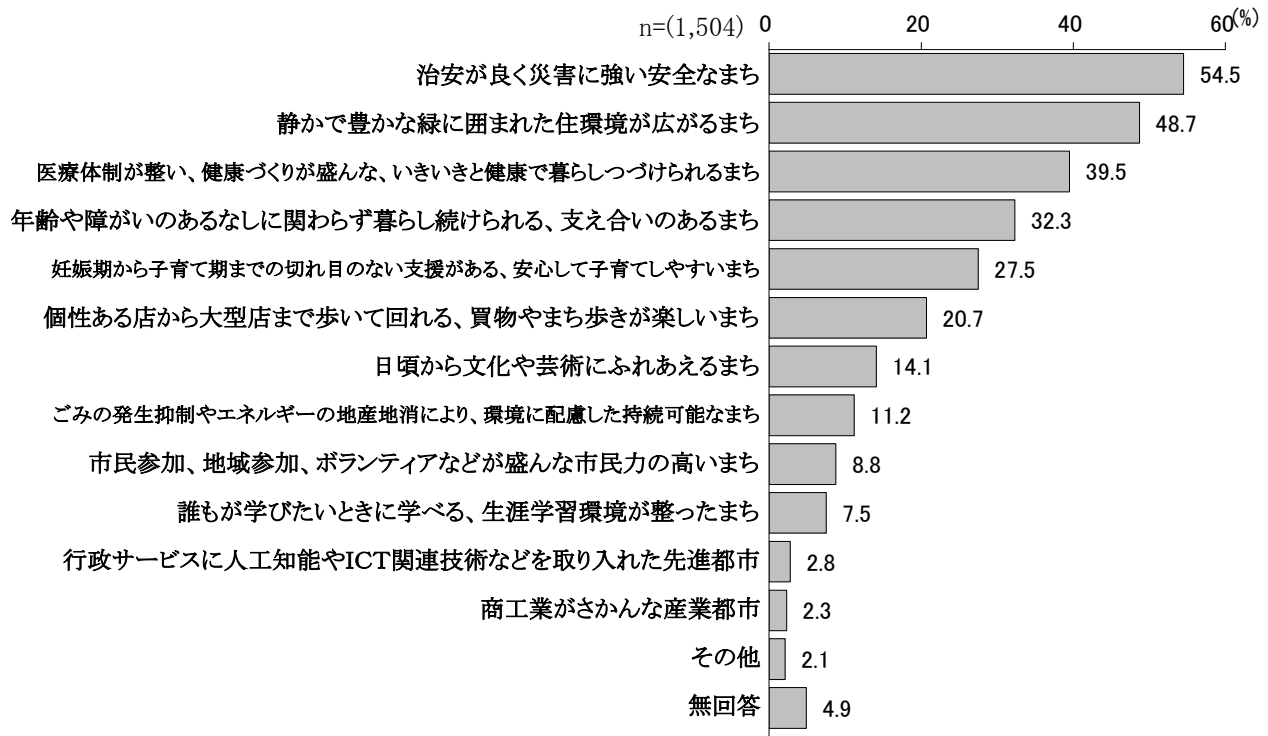
「よりよいまちづくりのためには、自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒に取り組むべきだ」は、『そう思う』（74.1%）が7割台半ばとなっている。（図表3-33）

3-6 武蔵野市の将来像

◎ 「治安が良く災害に強い安全なまち」が5割台半ば、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」が4割台後半、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らしつつげられるまち」が約4割である。

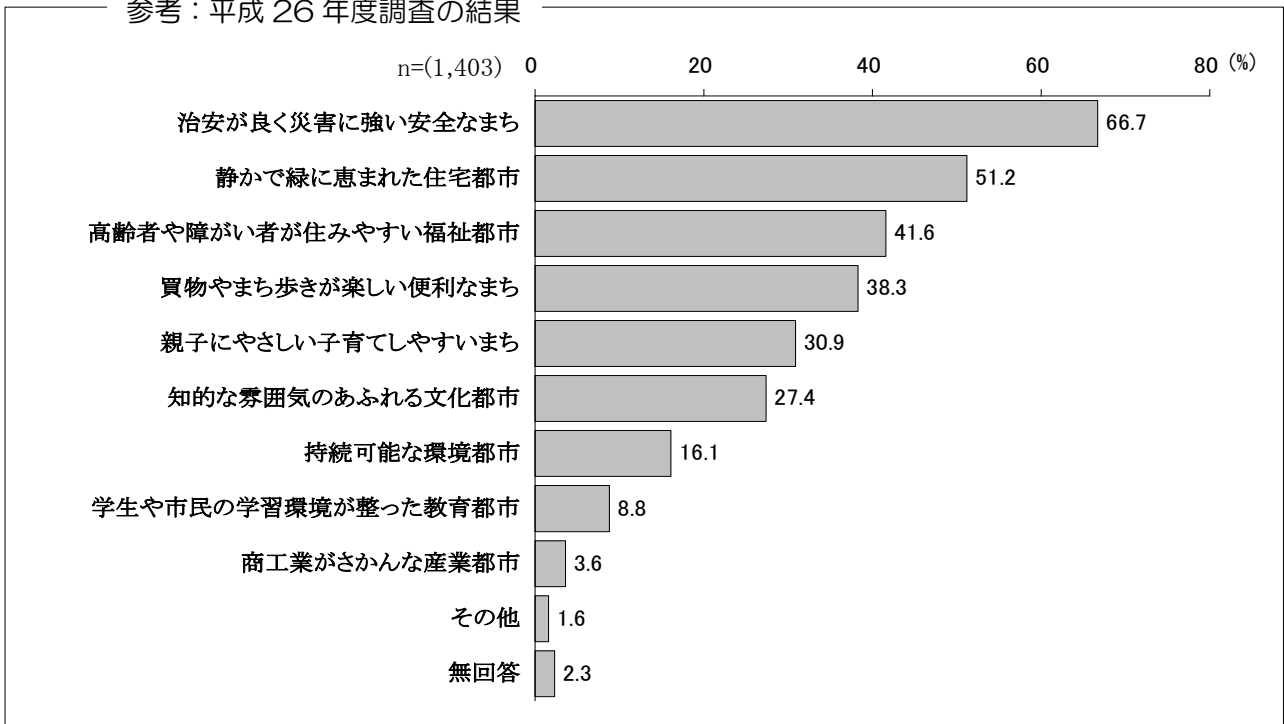
問17 武蔵野市は、これからどのようになれば、より魅力的で活力あふれる都市（まち）になると思いますか。（○は3つまで）

図表3-34 武蔵野市の将来像



武蔵野市の将来像は、「治安が良く災害に強い安全なまち」（54.5%）が5割台半ばで最も高い。次いで、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」（48.7%）が4割台後半、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らしつつげられるまち」（39.5%）が約4割、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」（32.3%）が3割台前半となっている。（図表3-34）

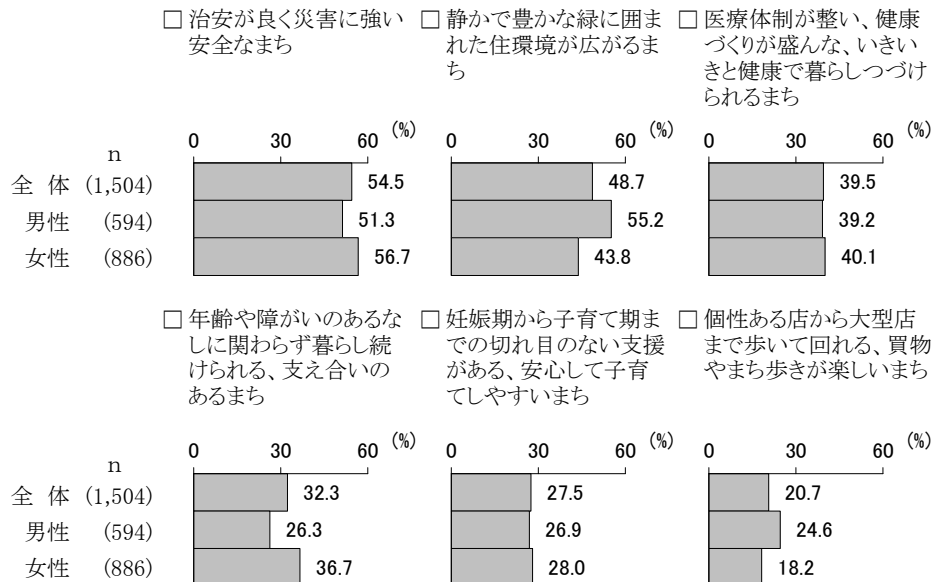
参考：平成 26 年度調査の結果



前回調査では「治安が良く災害に強い安全なまち」が 66.7% で最も高く、「静かで緑に恵まれた住宅都市」が 51.2%、次いで「高齢者や障がい者が住みやすい福祉都市」が 41.6% となっている。

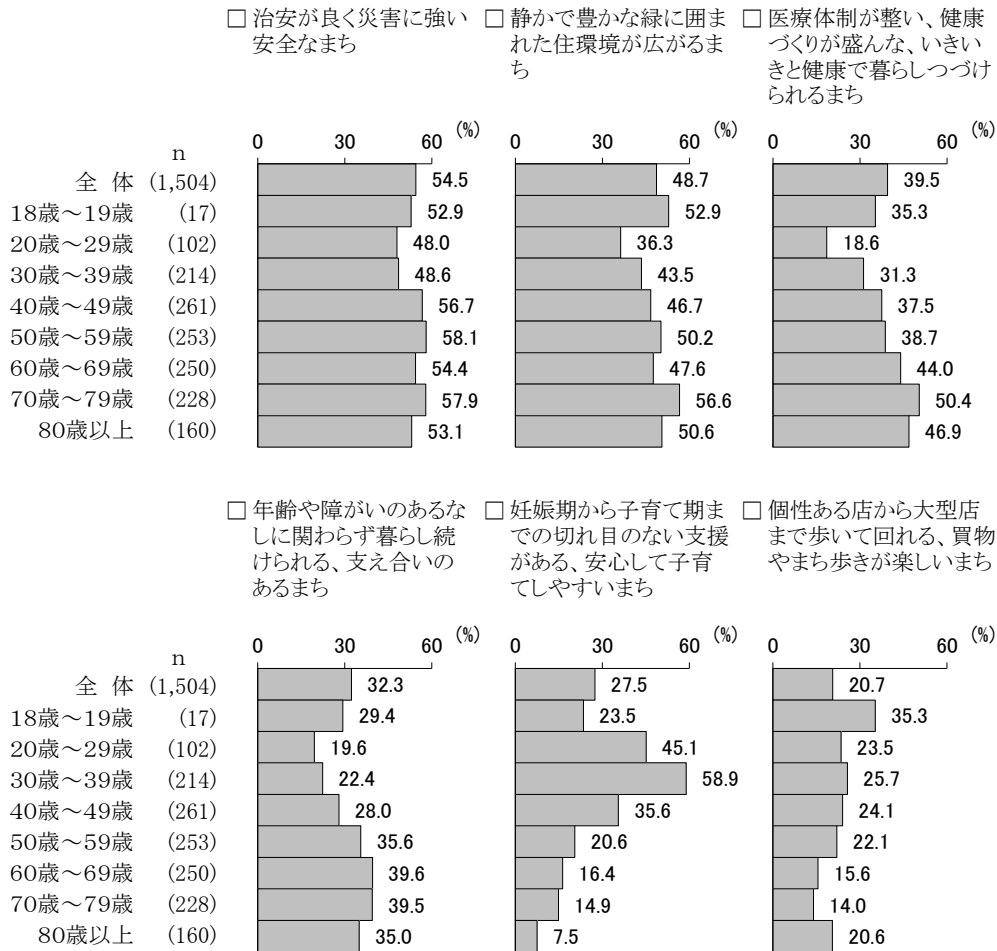
※前回調査と今回調査では項目の変更があるため、それぞれの調査結果説明に止める。

図表 3-35 武蔵野市の将来像 (性別) 上位 6 項目



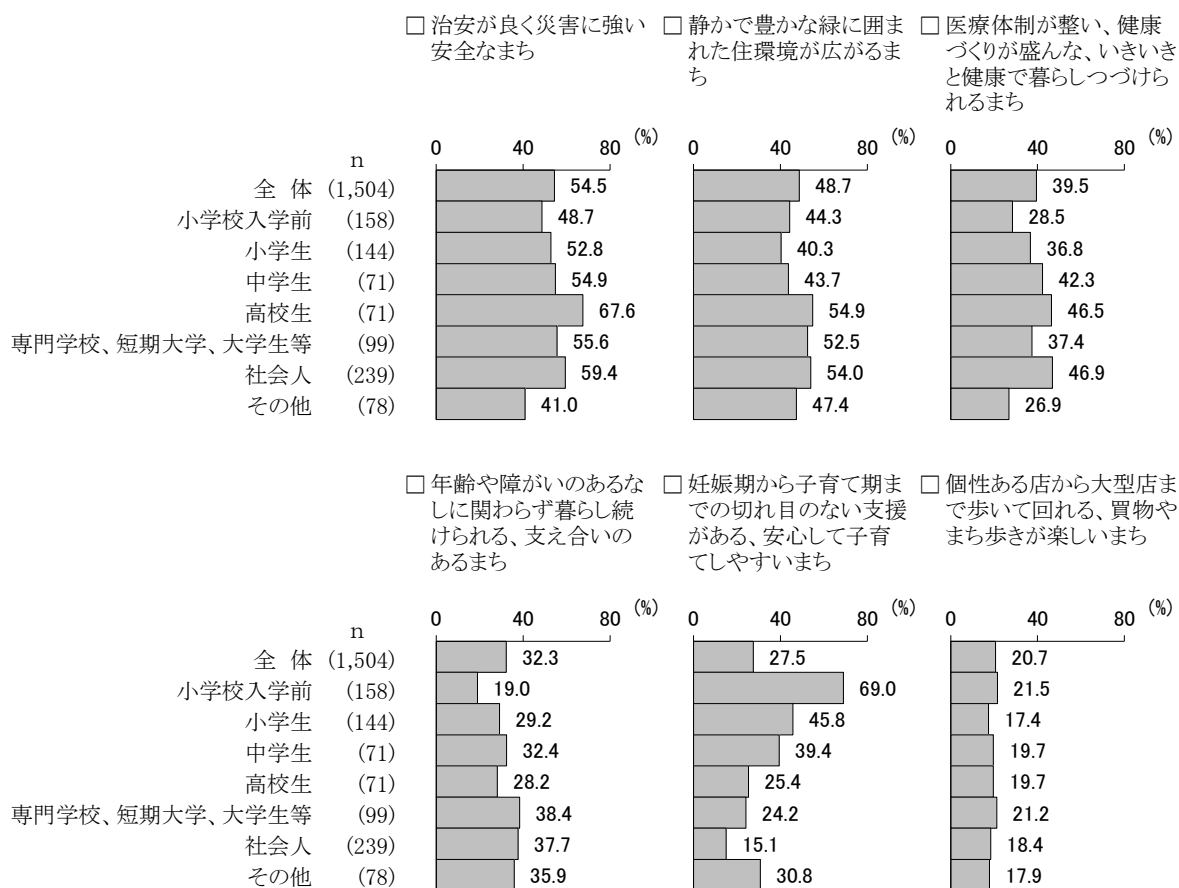
上位 6 項目について、性別で見ると、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」では、男性の方が女性よりも 11.4 ポイント高くなっている。逆に、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」では、女性の方が男性よりも 10.4 ポイント高い。(図表 3-35)

図表 3-36 武蔵野市の将来像 (年代別) 上位 6 項目



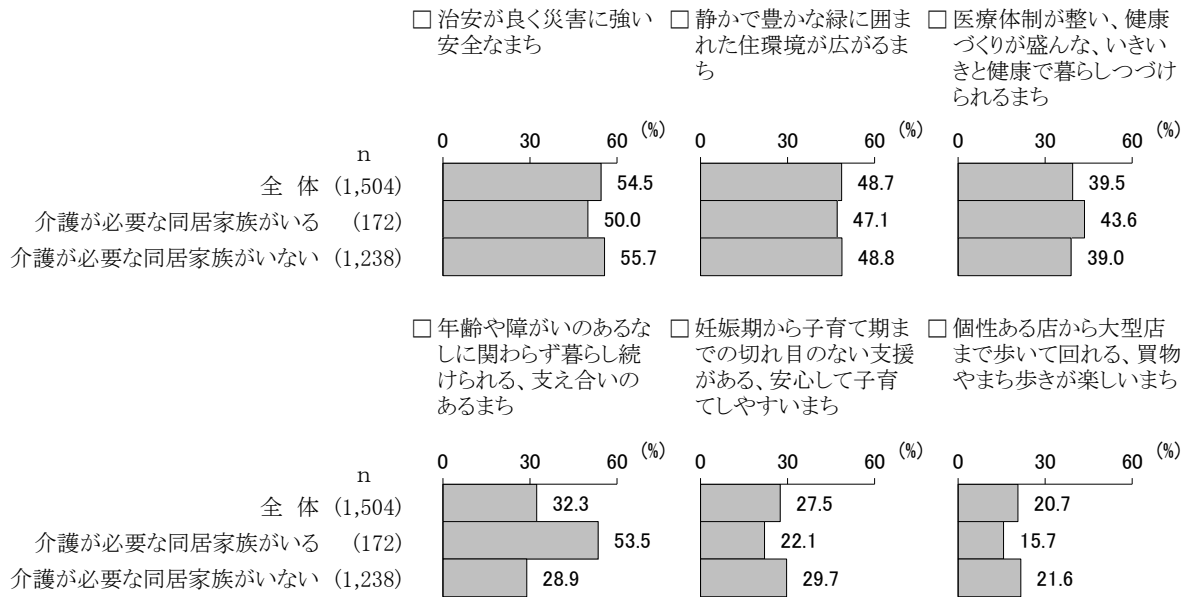
年代別で見ると、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らしつづけられるまち」は、70～79歳で5割強と最も高くなっている。「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は、30歳～39歳で5割台後半、20歳～29歳で4割台半ばと高くなっている。(図表 3-36)

図表 3-37 武蔵野市の将来像 (子どもの就学状況別) 上位 6 項目



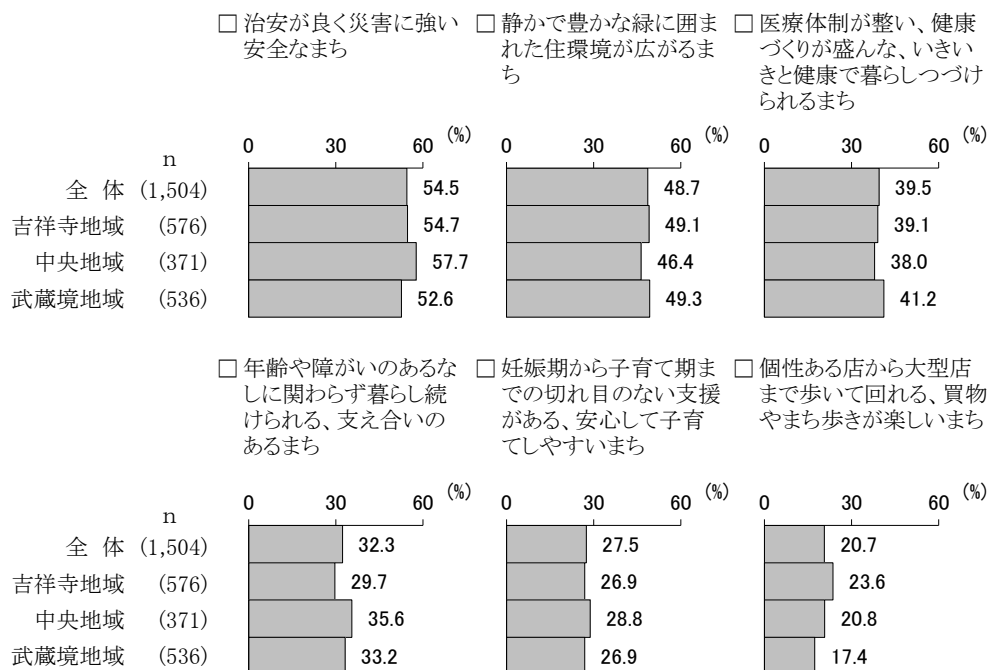
子どもの就学状況別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」は、高校生を持つ方で6割台後半と最も高くなっている。「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は、小学校入学前を持つ方で約7割と最も高くなっている。(図表3-37)

図表 3-38 武蔵野市の将来像 (介護が必要な同居家族の有無別) 上位 6 項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は、介護が必要な同居家族がいる場合の方が、介護が必要な同居家族がいない場合に比べて 24.6 ポイント高くなっている。一方、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は、介護が必要な同居家族がいない場合の方が、介護が必要な同居家族がいる場合に比べて 7.6 ポイント高くなっている。(図表 3-38)

図表 3-39 武蔵野市の将来像 (居住地域別) 上位 6 項目



居住地域別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は、中央地域で他の地域に比べて高くなっている。「個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち」は、吉祥寺で他の地域に比べて高くなっている。(図表 3-39)

4 自由回答

市政についての意見や要望、市政に対するアイデアとして 595 件の回答が寄せられた。一人の回答が複数の内容にわたる場合には、本文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、これを武蔵野市第五期長期計画における施策体系に沿って分類・整理した。なお、下記の項目に該当しない回答が 43 件あった。

寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して掲載する。なお、固有名詞や長文などは一部省略等している。

4-1 健康・福祉（51件）

分類	内容	性別	年齢	地域
支え合いの気持ちをつむぐ	ボランティア活動など参加型のことについて。すき間時間でも気軽に参加できるような募集なら参加者が増えると思います。私は 40 代ですが、いずれ来る高齢期について、まだ想像が出来ないです。今のご高齢の方々が不安に思われていることや困りごと。それに対して市が行っている対策を具体的に知りたいです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	85 才の老人にとって、今、一番、困っているのは、お買物難民なのだと思います。お買物をしてきて下さる方、（少し費用をはらい）が、大勢、いらしたら、ほんとうに助かると思います。又、子育て中の若い母親も、少しの間、子供をみていてくれる人が、いらしたら、ほんとうに助かるのではないのでしょうか。この二点について、話し合っ、行政として、何か、手を打つ必要があると思います。	無回答	無回答	無回答
	女性でも、子供が無く、定年まで仕事をしていると男性と同様に地域に知り合いが出来にくいので孤立しやすいと思う。特に女性の場合は、知り合い同士まとまりやすいので、後から参加しにくいので、何か参加しやすい会が有ると良いと思う。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	武蔵野市に住み始めてから最近までは、緑が多い景観などを好み、普段住む場所としての愛着にとどまっていたが、最近、市内に知人が多くでき、知人の主催する会合などにも参加するようになり、武蔵野へのかかわりを今後はより一層増やしていければと思っています。 また、自身は防災士の認定を受けている（日常的には防災に関する仕事をしているわけではありません）のですが、防災の面で地域に何らかの形でかかわることも一案と思っています。	男性	30 歳～39 歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
誰もが地域で安心して暮らしつづけられる仕組みづくりの推進	衣食住足りて礼節を知ると言われますが、現代は衣医・食職・住とより複雑になってきていると思われます。団塊の世代の方々が後期高齢者になられるところに、いろいろなひずみがでてくるのではないのでしょうか。武蔵野市は市民病院がありませんので、市の医師会・歯科医師会・薬剤師会などが、今以上に連携を取っていただいで、寝たきりにならない、そこそこ元気なお年寄りでいてもらうことが重要かと思われます。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	医療介護連携や増える初期認知症対応などで相談対応する環境が整備されていない。初期認知は高齢化とともに深刻になるが、今の医療や保険が重度中心で病院も医者も関心が薄く、情報もほとんどない。予防改善への取り組みをしないと社会的なマイナスのサイクルに入ってしまう。こうしたことこそ地域でやるべきだが、一部のNPOに振るだけで、先進的で真剣な取り組みを市が行うべき。	男性	60歳～69歳	吉祥寺地域
	障害者とその親なき後も、なれ親しんだ地域で安心して暮らしていける市にしてほしい。	女性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	身体障害者は外観で分り易く、手助けをし易い場合が多いのですが、精神障害者をかかえ、ひっそりと暮らしている方が多く驚きます。そのような方達がゆうゆうと明るく暮らしていける市にしたいですね。	女性	70歳～79歳	中央地域
	介護保険、ヘルパー派遣等、同居の家族がいても、一人暮らしの高齢者と同じようにサービスの受けられるよう平等を願います。一緒に住んでいても、仕事をしていたり、病気をかかえていたり、事情はそれぞれあります。老々介護、同居家族だけが負担をおわらないようにして下さい。	女性	60歳～69歳	吉祥寺地域
誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進	公園に健康づくりの器具を設置して欲しい。市内に使われていない公園が多いと思います。昔住んでいた香港では、公園に健康設備が多く設置されており、朝早くから夕方まで老若男女が多く利用しています。健康作りだけでなく、地域のコミュニケーション向上にも役立っています。	男性	50歳～59歳	中央地域
誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり	この地区では老人会がありません。オープンで明るく親しみのある会合があれば良いのと思います。どんな働きかけをしたら良いのか解かりません。	女性	70歳～79歳	吉祥寺地域
	知的障がい者の一般就労を目にみえる形で進めて欲しい。(武蔵野市内で働けるように企業をあっせんする等)	男性	50歳～59歳	武蔵境地域
住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備	年金受給者でも入居出来る老人ホームを作ってほしいです。	女性	80歳以上	吉祥寺地域
	昨年母を亡くしましたが、となりの杉並区と比べても、圧倒的にグループホームが足りなさすぎます。	女性	60歳～69歳	吉祥寺地域

4-2 子ども・教育（53件）

分類	内容	性別	年齢	地域
子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	子育て世帯にもっと補助を、将来税金を払ってくれる子供に対するの対策が全体的に低い。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	子どもたちにとって安心して話すことができる場所があるといいです。	女性	30歳～39歳	吉祥寺地域
	保育所の増設と、待機児童対策をどうにかして欲しい。特に武蔵野市は兄妹の入園に対して一緒に保育園に入れないという事例が多いと聞き、現在第二子妊娠中で早生まれ出産の予定のため復職を無事に出来るのか不安でしようがない。	女性	30歳～39歳	中央地域
	産まれたときから住んでいる大好きな街なのですが、息子を産んで、保育園がなく、三鷹まで通わなければならなくて本当に困っています 小学校に上がったあとは、学童などどうなるのか不安な日々です。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実	待機児童問題や母親達のコミュニケーションがもてる場所があると嬉しいと思います。武蔵境にある武蔵野プレイスの様な、子供・大人両方楽しめ、親子で楽しめるイベント、きれいな施設があると、そこから派生して様々な人脈、活動の場が広がると思っています。	女性	30歳～39歳	吉祥寺地域
青少年の成長・自立への支援	子供が小学校に入学し、「あそべえ」のシステムは本当にありがたいと実感しています。子供が安心、安全に遊べるので、公園に子供同士で行くより、親も安心して送り出せます。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
	小学校入学前の子ども達が遊べる施設はたくさんあるが、入学後も遊べる場所がもっとあると良いと思う。	女性	40歳～49歳	中央地域
	小学生・中学生の子供にボランティアを体験させる場がとても少なく困っています。市として夏休み・冬休み・春休みなどに様々なジャンルでのボランティアを企画し募集して下さるとありがたいです。もし公募が難しいならば、安心して相談でき、ボランティア可能な場を紹介していただける信頼できる窓口があると嬉しいです。	女性	40歳～49歳	中央地域
子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備	子育てしやすい環境をより整備すれば、若い世代の人たちが集まり、活気のある武蔵野市になると思う。スポーツ施設やコミセンなど、青少年向けの施設は整っていると思うので、もっと下の年代、乳幼児を育てやすい環境を整えられると良いと思う。	男性	20歳～29歳	中央地域
次代を担う力をはぐくむ学校教育	小・中学校の教育について、先生方の負担が増えないようにしながら、学校教育のIT化、グローバル化に対応すべき。低学年のころから多様な経験をして、柔軟な発想力を身につけられるようにすべき。	女性	60歳～69歳	中央地域
	夏の暑さが年々厳しくなってきたので、学校にクーラーが設置されていると安心。教室以外に体育館も。	女性	40歳～49歳	中央地域

4-3 文化・市民生活（122件）

分類	内容	性別	年齢	地域
地域社会と市民活動の活性化	市民同士の関係を密にするような催しをやって欲しい。 (祭、イベント e t c)	男性	60歳~69歳	中央地域
	イベントや催し物等、子どもや高れい者を対象にしているものが多い気がしています。できれば、そういうものに参加して、コミュニティを増やしていきたいと考えているため、誰でも気軽に参加できるものを企画していただきたいです。	女性	30歳~39歳	吉祥寺地域
	コミセンの予約が直接行かなくてはならないのが不便、利用し難い。ネット予約にして欲しい。	女性	40歳~49歳	吉祥寺地域
	「ゆるく人とつながる街づくり。」をテーマに地域コミュニケーションの活性化を行って頂きたいです。出会った人達があいさつを交わし、立ち話を行えるような場が増えていくことが望ましいです。その為に、緑やベンチの設置を増やし、一休みスペース（無料）を街中に作って頂くのはどうでしょうか。（一箇所ではなく、複数箇所を望みます）	女性	30歳~39歳	武蔵境地域
	大体は満足していますが、地域の活動に市民の協力を求めすぎるところがあります。ほとんどボランティアに等しい活動に対しては 報酬を考えるべきではないでしょうか。コミセンなど資金があるところは うるおっていますが、そうでない団体は 同じような活動をしていても、無報酬です。	女性	60歳~69歳	武蔵境地域
他地域の災害から学ぶと地域の中のつながりが大切と感じています。武蔵野市は自治会のない地域が多く、私の住まいも自治会はありません。近所づきあいも少なく、災害があったら情報手段もわかりません。自治会という形でなくても、地域のつながりが持てるようなしくみづくりがあると、参加できると思います。武蔵野市民は知識もあり、力のある人が多いのでそういった人々と一緒に地域づくりなどが出来るように行政が主になるよりも、きっかけを作る、しくみ作りをお願いしたい。	女性	50歳~59歳	武蔵境地域	
互いに尊重し認め合う平和な社会の構築	多様性を認める市を望んでいます。家族は様々な形がある、結婚している男女夫婦だけではないということ、調査をつくる際に意識してほしいです。国立市のような多様な性に関する条例が武蔵野市にもあると嬉しいです。また、市民は様々な国から来ていること、文化的な多様性も認めてほしいです。	女性	30歳~39歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
市民文化の醸成	武蔵野公会堂を建て替えて整備してほしい。市内の他のホールよりも交通の便がよい。	女性	70歳～79歳	中央地域
	武蔵野文化事業団で行っているコンサートは楽しみな物が多く、市民で良かったと思う。	女性	40歳～49歳	中央地域
	40～50歳代の主婦で、東京オリンピックに何らかの形でかかわりたい、ボランティア等をしたと思っている人は多いようです。市として、何を募集する、必要とするか等を、市報などを通じてお知らせいただけるとうれしいです。	女性	50歳～59歳	中央地域
市民の多様な学びやスポーツ活動への支援	友人が住んでいる三鷹市にくらべても、武蔵野市は無料で参加出来る講座（文化・スポーツ）が多く、満足している。	男性	70歳～79歳	吉祥寺地域
	働いている世代30～50代がもっと市の講座、教室等に参加出来る様にして欲しい。30～50代がつどえる場がまったくない。	女性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	市のテニスコートが少ないと感じるので、増やしてもらえるとありがたいです。	男性	30歳～39歳	武蔵境地域
	スポーツに力を入れた活気あふれる街になってほしい。具体的にはスポーツ施設の増設や、改修などに力を入れてほしい。	男性	20歳～29歳	吉祥寺地域
	図書館が新しくなり嬉しいです。無料の自習スペースが増えるとありがたいと思います。	女性	30歳～39歳	吉祥寺地域
地域の特性を活かした産業の振興	買い物などで魅力的な街づくりの為には、どこにでもあるお店より個性豊かな個人のお店がたくさんあった方が特色があって楽しいのではと思います。大型店が多くなると便利になる反面、いろいろな人が集まるので、治安面で不安が出てくるので、対策をお願いしたいです。	女性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	年々個性の無い街に変わって行く吉祥寺、大型の商業施設が増えて、オシャレできれいな街になるのも良い事ではあると思いますが、無個性のつまらない街に変わっている気がするのは私だけではないはずです。住みたい街のランクが下がっているのが良い例だと思います。とにかく平日も人が多すぎて、歩けないくらいで息ぐるしいです。初めて住んだ30数年前がとてものつかしく感じられます。井の頭公園が昔のまま、あまり変わってないのが唯一の救いですね。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	三鷹駅前北口に魅力的な商業施設（お買い物）ができると嬉しいです。	女性	50歳～59歳	武蔵境地域
	貸し農園をもっと増やして数年間同じ場所で使用できるようにして欲しいです。	女性	50歳～59歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
災害への備えの拡充	市を細分化し、大災害の時の具体的な行動指示や、老人、障害者の方の避難計画を市民が共有できるように。	女性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	屋外の武蔵野防災無線が大雨などで室内では聞こえない。個人的には、スマホの武蔵野市のツイッターなどを登録して情報収集したいと考えている。高齢者にも簡単に受信できるアプリなどを在宅訪問の際にもお伝えされるとよいと思う。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	各地域の学校単位の防災組織の運営が地域の高齢者の負担増になっている。その負担を少しでも減らすために、市の防災課でその地域の内情を良く理解した専任担当者の増員と、地域へお任せではなく、組織運営への積極的な手助けが必要かと思えます。皆さまとても良く活動されていますが、現状ではいざ災害時に本当に機能するのか一抹の不安があります。あと、各学校の防災のしくみと、各公園などにある防災設備の管理・把握などがリンクしていないように感じます、市役所内部の横のリンクをお願いします。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	異常気象・地震に備えるハザードマップを配布して欲しい。又、各地域に井戸や簡易避難などに対応できるように公園や施設を作るときにレイアウトを（バリアフリー、簡易ベッドなどおける）十分考えた設計をして欲しい。	女性	60歳～69歳	武蔵境地域
	道路が荒れている場所や区画が整理されていない場所も多く残されているように感じ、災害対策という観点からも道路の拡張や電線の地中化、建物や下水道の耐震化等の社会資本整備を進めてほしいと考えています。	男性	30歳～39歳	武蔵境地域
多様な危機への対応の強化	武蔵野市は緑や公園が多いのが特長ですが、死角が多く夜間の外出に不安を覚えることが多いです。防犯カメラの設置、警察官の巡回を強化し、市民の安全を守っていただきたいです。（特に総合体育館周辺、夜は真っ暗です。）	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
	井の頭公園の文化園の近くでとても良い環境ですが、夜間、ゴミを庭になげ捨てたり、酔っぱらいが数人で騒いだり、不審者がいたり時々ではありますが、不安になります。ムーブスの通路などに防犯カメラの設置をお願いしたいと思います。防犯カメラがあれば何かあった時に。又、犯罪者の見はり番にもなるかと思えます。	女性	60歳～69歳	吉祥寺地域

4-4 緑・環境（64件）

分類	内容	性別	年齢	地域
市民の自発的・主体的な行動を促す支援	今後は確実にエコな街が注目されると思います。リサイクルや節電を市が発信し、鎌倉市のような夜は静かな街にして欲しいです。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
環境負荷低減施策の推進	エネルギーも持続可能なものに武蔵野市が率先して実施して、例えば市の推進で太陽光発電装置を90%の家庭が実施している世界でも珍しい市になるとか…原子力発電はもういらないと思っています。	女性	70歳～79歳	中央地域
「緑」を基軸としたまちづくりの推進	緑や公園が多いのは武蔵野市の魅力の一つです。特に子育て時代は公園が多いのはとてもよかったです。温暖化や防災対策の意味でも、今後も保全をお願いします。	女性	50歳～59歳	武蔵境地域
	よく散歩をしています。武蔵野市には緑に包まれた散歩コースがたくさんあることに驚かされます。何と幸せな環境に暮らしているのだろう…と、いつも実感しております。これからも、緑豊かな武蔵野市であり続けて欲しいと思います。	女性	50歳～59歳	武蔵境地域
	武蔵野市内には、たくさんの公園があり、緑をもって良い環境を得ています。しかしながら、公園によっては、長年にわたって剪定を行っていないため、公園の広さに対して異常な大きさに成長している箇所が多々見られます。また枝が電線や電話線のところまで伸びて、強風時心配です。大きな落葉樹の場合、秋以降になると大量の落ち葉が、公園内や周囲の道路、家屋の屋根に堆積しています。この季節には近隣住民が毎日清掃していますが、公園の広さに合った大きさに剪定することで、美観も、環境も保たれ管理されている状態を感じさせるようになる。	男性	70歳～79歳	吉祥寺地域
	緑が多いのは良いと思うのですが、整備されていない場所が多くて危険な場所になっています。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
循環型社会システムづくりの推進	人気のある街なので、色んなところから人が集まる場所です。今、とても気になっているのは、新しく引っ越してきた人たちが、ゴミ出しのルールを守らないこと。吉祥寺エリアはごみの収集方法が素晴らしいのですが、分別が出来ていないごみをよく見ます。ゴミ出しルールの周知について、もう少しわかりやすく、そして厳しくした内容になることを期待しています。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	ゴミを減らすために生ごみを堆肥にするアイデアやスペースを市が主体となって実行してほしいです。	女性	50歳～59歳	武蔵境地域
	23区内の様にゴミは透明の袋で出せるようにしてもらいたい。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
生活を取り巻く様々な環境の変化に伴う新たな問題への対応	歩きタバコ（電子タバコ含）をしている人がまだいて怖い思いをすることもあるので、啓発活動や取り締まりは続けていただけると嬉しいです。	男性	50歳～59歳	武蔵境地域
	三鷹駅北口エリアは禁煙区域ですが、北口商店街の入り口にタバコ屋さんがあるせいで、朝から夜まで多数の喫煙者がたむろし、タバコの臭いがし景観も損ねています。売るのは構わないのですが、禁煙エリア内は禁煙を徹底してほしいです。	男性	40歳～49歳	中央地域
	タバコを減らしたいのは分かるが、喫煙所をなくしすぎて、マナーが悪くなっている場合もある。せめて駅に1つぐらいは置くべきだと思う。税金もタバコでとられ、法律で禁止されているわけでもないのと思う。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	ペット、特に犬を飼っている飼主の糞尿の処理が至らない事例が少なくないように思う。マナープレートだけでは追いつかないことが多く、飼主に対する啓蒙やペナルティ強化などの施策が必要かと思う。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	朝の吉祥寺駅前の繁華街には毎日通る度にカラスと荒らされたゴミで悪臭と汚れがひどい。各店舗の問題ではあると思うが、ゴミを出す時の対策などの呼びかけ等を強化して頂けるとありがたい。	女性	30歳～39歳	吉祥寺地域

4-5 都市基盤（181件）

分類	内容	性別	年齢	地域
地域の特性に合ったまちづくりの推進	商店が駅周辺に集中していて、毎日の買い物が大変。市の良い施設を武蔵境にばかり作って、全く利用出来ない。不公平。	女性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	吉祥寺駅周辺の景観が良くないので、市が街作りのリーダーシップをとり、美しい街を作り、商業施設を充実させて欲しい。	女性	50歳～59歳	吉祥寺地域
都市基盤の更新	現在早急な対策が必要なのは、倒壊のおそれがある古いブロック塀、万年塀、危険な自転車走行、路上や頭上の違法な看板等の設置物、また、野良猫をはじめ野生動物による被害も増えています。道路の一部のへこみ、ヒビ割れ（これらはひとつひとつ対応しきれないと市民の側で申告をあきらめている）等、安全な市民生活のために警察と連携して日常生活の中の細かいことにも配慮をお願いしたい。	女性	70歳～79歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備	通勤時の中央線の増設（高架複々線計画であったが、いつのまにか中止になっている。早期に小金井～三鷹間の複々線にしてほしい）武蔵境駅が不便です。	男性	70歳～79歳	武蔵境地域
	ムーバス路線の充実。	女性	50歳～59歳	中央地域
	ムーブスの時間を通勤・通学に合わせて早めて欲しい。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
	“ムーバス”について、同じ武蔵野市内の移動は100円にして欲しい。（武蔵境⇄吉祥寺100円）文京区のビーグルみたいに乗り換え可能にしていただけると有難い。利用者数や人件費等で難しいでしょうか	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
	他の地域に比べ、武蔵野市内の自転車のマナーがひどすぎる。警察と協力し、歩行者が安全に歩けるようにしてほしい。	男性	40歳～49歳	中央地域
	自転車のマナーについて早急に対策をしてほしい。イヤホン、スマホしながらの運転。逆走。歩いていても、自分が自転車でも車でも多くのひどいマナーの人を見る。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
	車道に自転車マークが出来、整備されましたが、バス通りでは道幅が狭く、怖くて走れません。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
	特に人気が出てからの吉祥寺駅周辺の交通問題が気になっております。吉祥寺通りと井の頭通りの交差点での渋滞は毎週とても大変です。（日、祭日）車で吉祥寺に行く事は駐車場不足の為、ムーバス等を利用していますが、東急デパート側のタクシー乗り場が無い為、とても不便です。武蔵境駅や三鷹北口等はタクシー利用もしやすいのですが、吉祥寺は乗り場が少なく困ります。	男性	60歳～69歳	吉祥寺地域
	自転車駐輪場が少なく料金も高い	男性	60歳～69歳	中央地域
	自転車道の拡張をお願いします。	女性	20歳～29歳	吉祥寺地域
道路ネットワークの整備	主要道路のインフラ整備（主に路面、自転車専用レーンがない）など後回し感が多い道路が多いと感じます。五日市街道の車道、関東バスが通る相互に通るだけのスペースしかなく、自転車で走っていると怖さしかないなど。	男性	30歳～39歳	吉祥寺地域
	道路整備。交差点ミラーがあるのに家の樹木枝で、見えず事故が心配、同様に小学校近くの道路で細くクランクしている箇所があるが、夜間とても暗く、自転車の通行量も多いのにミラーがない、新小学生もこわがっているし、対面から近付く人がわからない。また「通らない」という思い込みもある中バイクや軽自動車も通るため早く設置して欲しい。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
	外環その2、地上部分は絶対に通してはいけません。よろしくお願い致します。	女性	60歳～69歳	吉祥寺地域
	狭い町中、電信柱の地中化を進めてほしい。	女性	30歳～39歳	中央地域

分類	内容	性別	年齢	地域
下水道の再整備	武蔵境駅周辺に居住しています。商業施設が多いから仕方ないと思うのですが、雨の日など特に下水の臭いが酷く、道を歩いているだけでも、自宅の排水溝から上がってくる臭いにも頭を悩ませています。下水道の対策をしていただけるとありがたいです。	女性	30歳～39歳	武蔵境地域
	近年、豪雨が多発しております。北町コミュニティセンターの側に貯水タンクが設置されたのにもかかわらず、その後も数回道路の冠水が発生しております。土日は武蔵野市役所の職員の対応が不十分と思われまます。災害時に緊急の知らせが遅い点（最近はおもって雨の情報で準備も出来るはずなのに大変遅い）枯葉や土で貯水タンクがあっても十分に機能していない等、水害対策が改善されておられません。どうか早急の対策を宜しくお願いします。	女性	50歳～59歳	吉祥寺地域
住宅施策の総合的な取組み	市内には新築の住居、マンションが次々に建築されるが、反面空き家も目立つように感じられる。空き家対策も今後の課題ではないでしょうか。	女性	70歳～79歳	中央地域
	公営住宅、高齢者向け住宅をもっとふやしてほしい。	女性	60歳～69歳	武蔵境地域
三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺駅周辺の環境浄化を是非お願いします。（最近劣化し、安心、安全でなくなってきたと思います。）吉祥寺駅南口の再開発をお願いします。バスが細い道を走り、キケンです。	男性	40歳～49歳	吉祥寺地域
	吉祥寺の魅力が年々低下しているように感じます。地域毎に10年先のテーマを設定して取り組んでほしい。	男性	70歳～79歳	武蔵境地域
	三鷹駅北口付近の都市計画を計画的に進めてほしいと思います。現状、開発用地が出てくると、ほとんど全てマンションになっています。駅付近は人が集まる場所なので、都市機能の効率化のためにも、公共用地もしくは商業用地として再開発をしてくれれば、より魅力的な街になると思います。	男性	30歳～39歳	中央地域
	三鷹駅の北口は南口にくらべると商店もまばらであまり活気が感じられません。吉祥寺まで行くのは遠く、地元で必要品が買えるようなところがあるといいのですが。憩いの場所も少ないように感じます。	女性	80歳以上	中央地域
	三鷹どおりの駐輪場が使えなくなってから、三鷹駅周辺で特に平日に一時利用で駐輪場が不足している。駐輪場を作ってほしいです。	女性	18歳～19歳	中央地域
	境の商店街がもう少しお店が入り、街全体にも大型店のデパートなど子連れで入りやすいお店ができると大変嬉しいです。	女性	30歳～39歳	武蔵境地域
	武蔵境駅前が綺麗になってきて嬉しいです。後は噴水などが増設されると景色としてより美しく、今年の様な酷暑の対策にもなるのではないかと思います。これからは綺麗で、近代的な建物と緑の融合したまち創りをして頂ければ幸いです。	男性	30歳～39歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
安全でおいしい水の安定供給	武蔵野市の水は美味しいのでこのまま将来にわたっても次の世代にも続いていってほしいです。子供は杉並区に住んでいますが、水がまずくて買って飲んでいています。武蔵野市の水はおいしいので、それも住みつけたい理由のひとつです。	女性	70歳～79歳	吉祥寺地域

4-6 行・財政（81件）

分類	内容	性別	年齢	地域
市政運営への市民参加と多様な主体間の柔軟な連携と協働の推進	市民の意見や希望が市政に反映されるように、行政を行ってほしい。	女性	70歳～79歳	武蔵境地域
	発信力、影響力、親しみやすい人等のヒューマンパワーで市民の参加意欲をかきたて、市民をより市政に参加させる事で、もっともっと満足度の高い市になると思います。（今でも、他の市に比べて、相当程度良いと思いますが）	男性	40歳～49歳	武蔵境地域
市民視点に立ったサービスの提供	日中会社勤めの人に対するサービスをもうすこし充実させて欲しいです。夜間窓口の増加など。	女性	20歳～29歳	吉祥寺地域
	マイナンバーの申請や、その他全ての行政サービスをオンラインでできるようにする。	男性	40歳～49歳	武蔵境地域
	市政センターの業務を増やし、市役所に行かなくてもよいようにしてほしい。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
市民に届く情報提供と市民要望に的確に答える仕組みづくり	1人暮らし向けの情報が欲しいと思います。正直、ご年配向けや子育てがどうかという情報は関係ないので、私には。	女性	20歳～29歳	吉祥寺地域
	学生なので市報ぐらいでしか市政について理解できる場がありません。ネットやツイッター・各SNSを駆使してより様々な形態で情報を取得したいです。	女性	20歳～29歳	武蔵境地域
	市のWebサイトは有益な情報が集められていると思いますが、一人の市民から見たら、自分に関係のない情報が大半であり、故に日常的にはアクセスしない状況になりがちです。市民一人一人の状況に合わせた情報がWebサイトにできるようにすると、もっと市のWebサイトは活用されるようになると思います。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	市民としての意見をどこへ届けたら良いのか判らない。気軽に意見を届けられるシステムが有ったら良いと思うし、有るのかも知れないが、その方法が知れ渡っていないと思う。	女性	60歳～69歳	武蔵境地域
	Twitterのようなものとは別に、市の行政への意見、要望、情報交換のための掲示板があるといいと思う。	女性	50歳～59歳	中央地域
	市議会の開催予定（日程・議事など）を市民に広く知らせ、関心のある議事に対する公聴の機会が増えるようにしてほしいと思います。	男性	50歳～59歳	中央地域

分類	内容	性別	年齢	地域
公共施設の再配置・市有財産の有効活用	市役所や、境の市政センターはキレイで“らしい”とは思いますが、保健センターが建物・設備ともに古すぎると思っています。三鷹や調布にくらべるとその差がくっきりあらわれます。また三鷹や境からの交通アクセスもいまひとつで、(吉祥寺からは中央図書館前のバス停が近いですが…) 子連れ、高齢者は不便だなと考えます。どうにかありませんか？	女性	50歳～59歳	武蔵境地域
	西部図書館をよく利用させて戴きましたが、廃館後、無駄な施設になっていると思われまます。廃校や施設を有効利用して戴きたいと思っています。コミュニティセンターの部屋取りが難しい一方で使用されていない場所を無駄にせず、有効利用出来る様に市民の希望を考え、活用して欲しいと思っています。	女性	70歳～79歳	武蔵境地域
社会の変化に対応していく行財政運営	武蔵野市民は豊かな財政に恵まれていて、比較的高い市民サービスを受けられている恵まれた環境にあると思っています。ただ高い市民サービスを持続可能にするためにも、無駄など廃する問題意識を持って市政を行っていただきたいと思っています。単純な事務作業など今はかなり省力化され、市民サービスも紙や人を無駄に使わないで、「ひと」でなければならぬところを選んで厚く人を配して欲しいです。	女性	70歳～79歳	中央地域
	T o o m u c hな部分が多い。財政の健全化を優先し、将来への不安をなくしてほしい。広報に力を入れているようだが、ムダな広報誌が多すぎる、ムダなことは排除、ハコものも不要。	男性	50歳～59歳	中央地域
	I Tの活用による業務改革をさらに進め、行政コストの低減と質の向上の両立に取り組んでいただきたい。	男性	70歳～79歳	武蔵境地域
	ふるさと納税で財源を確保し、減税すべき。多くの自治体が真面目に取り組む、財源を得ている中で、武蔵野市は何もしておらず、財源の流出に手をこまねくばかりで、怠慢だと思う。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	高齢者世代への配慮は必要だが、勤労世代への還元も考慮してほしい。	女性	50歳～59歳	中央地域
チャレンジする組織風土の醸成と柔軟な組織運営	市役所職員の仕事への緊迫感が薄い。その為、仕事が拙速すぎる。何処を向いて仕事を進めようとしているのか理解し難い。	男性	70歳～79歳	武蔵境地域
	市職員の時間外労働の規制を実施すべきではないですか。労務管理上。経費(残業手当)の大幅削減のため。	男性	80歳以上	吉祥寺地域
	市職員が多すぎだと思えます。特に事務方、こんなに必要だとは思いません。(コンピューター化している)	女性	60歳～69歳	武蔵境地域

IV 調査票

武蔵野市民意識調査

市民の皆様には日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、将来の基本目標や重要施策を定める「長期計画」を市民参加によって策定し、市政運営を進めています。

このたび、平成32年度（2020年度）からの10年間を対象とする第六期長期計画を平成30・31年度の2か年をかけて策定します。そこで、計画の策定に先立ち、武蔵野市にお住まいの皆様が市政に対してどのようなご意見をお持ちかがうため、アンケート調査を実施いたします。

調査の実施にあたっては、平成30年6月15日現在、満18歳以上の市民の方3,500人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。ご記入いただいた内容は、無記名の上、すべて統計的に処理いたしますので、個々の方のご回答内容や個人情報が特定されることは一切ございません。ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年7月

武蔵野市長

松下 玲子

【回答のしかた】 次の2つの方法からいずれか1つを選び回答してください。

1. 調査票（この冊子）に直接記入し郵送
2. パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答
→別紙「オンライン回答のご案内」をご覧ください。

＜記入上のご注意＞

- ◆ 封筒の宛名のご本人がお答えください。
- ◆ ご記入は、濃いえんぴつまたはボールペン・万年筆でお願いいたします。
- ◆ お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
- ◆ お答えは、設問ごとに（○は1つ）（○はいくつでも）などと指定されていますので、ご注意ください。
- ◆ 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。

ご記入が済みました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、

8月13日（月）までに ご投函ください。

はじめに、お住まいの地域のことについてうかがいます

問1 あなたが現在住んでいるところに住みはじめた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 公園などが整備され、緑が比較的多い	11. 治安がよい
2. 道路その他の都市インフラが整っている	12. 防災、防火対策がすすんでいる
3. 文化・スポーツなどの施設が整っている	13. 騒音などの公害が少ない
4. 交通の便がよい	14. 商業や事業に有利
5. 買い物が便利	15. 家賃や生活費が手ごろ
6. 子育てや子どもの教育の環境が整っている	16. 親族が住んでいる
7. 高齢者や障がい者などの施設が充実している	17. 生まれ育った地域である
8. 健康・医療施設が整っている	18. 通勤・通学先に近い
9. 芸術や文化に触れる機会が多い	19. 社宅・寮がある
10. 市政に参加する機会が多い	20. その他()

問2 あなたは、お住まいの周りの環境についてどう思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

	よい	まあよい	あまり よくない	わるい
例 ●〇について→	1	②	3	4
① 地域の治安・安全性	1	2	3	4
② 騒音や振動	1	2	3	4
③ 公園や緑の多さ	1	2	3	4
④ 防災や災害時の避難	1	2	3	4
⑤ 道路整備の状況	1	2	3	4
⑥ 日常の利便性 (買物・通勤など)	1	2	3	4
⑦ 近所づきあい・地域活動	1	2	3	4
⑧ 文化施設・スポーツ施設	1	2	3	4
⑨ まち並みや景観・美観	1	2	3	4
⑩ 全体的な雰囲気	1	2	3	4

問3 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 住み続けたい | 3. 武蔵野市以外のところへ移りたい |
| 2. 市内の他のところへ移りたい | 4. わからない |

問3で「1」もしくは「2」に○をつけられた方にお尋ねします。

問3-1 武蔵野市内に住み続けたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 公園などが整備され、緑が比較的多い | 11. 市政に参加する機会が多い |
| 2. 道路その他の都市インフラが整っている | 12. 治安がよい |
| 3. 文化・スポーツなどの施設が整っている | 13. 防災、防火対策が進んでいる |
| 4. 交通の便がよい | 14. 騒音などの公害が少ない |
| 5. 買い物が便利 | 15. 商業や事業に有利 |
| 6. 近所づきあいなど、人間関係がよい | 16. 家賃や生活費が手ごろ |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っている | 17. 親族が住んでいる |
| 8. 高齢者や障がい者などの施設が充実している | 18. 生まれ育った地域である |
| 9. 健康・医療施設が整っている | 19. 仕事や通学に便利である |
| 10. 芸術や文化にふれる機会が多い | 20. その他() |

問3で「3」に○をつけられた方にお尋ねします。

問3-2 武蔵野市外に移りたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 公園などが整備されず、緑が不十分である | 11. 市政に参加する機会が少ない |
| 2. 道路その他の都市インフラが整っていない | 12. 治安がよくない |
| 3. 文化・スポーツなどの施設が整っていない | 13. 防災、防火対策が遅れている |
| 4. 交通の便がわるい | 14. 騒音などの公害に悩まされている |
| 5. 買い物が不便 | 15. 商業や事業に不利、不向き |
| 6. 近所づきあいなど、人間関係がわるい | 16. 家賃や生活費が高い |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っていない | 17. 親族が住んでいない |
| 8. 高齢者や障がい者などの施設が不十分である | 18. 生まれ育った地域に戻りたい |
| 9. 健康・医療施設が整っていない | 19. 仕事や通学に不便である |
| 10. 芸術や文化にふれる機会が少ない | 20. その他() |

問4 あなたは、武蔵野市全体のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。

また、お住まいの地域のできごとや動きについてはいかがですか。(○はそれぞれ1つ)

	非常に 関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
武蔵野市全体について	1	2	3	4
お住まいの地域について	1	2	3	4

問5 あなたは日頃、近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(○はいくつでも)

1. 会えばあいさつする
2. 会えば立ち話する
3. ときどき食事をしたり、出かけたりすることがある
4. 互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする
5. 互いの家に行って、おしゃべりや飲食をする
6. ほとんどつきあいはない

問5で「1」～「5」に○をつけられた方にお尋ねします。

問5-1 どのようなきっかけで、近所の方とのつながりができましたか。(○はいくつでも)

1. 日常生活の中で
2. 保育園、幼稚園、学校などを通じて
3. 趣味やスポーツ、習い事などを通じて
4. コミュニティセンターで
5. 地域のボランティア活動を通じて
6. 地域の集会や会合、イベントなどで
7. 友人、知人を通じて
8. その他 ()

問5で「6」に○をつけられた方にお尋ねします。

問5-2 近所の方とのつきあいが無い理由は何でしょうか。(○はいくつでも)

1. つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない
2. 仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない
3. 職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している
4. 相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている。
5. 自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない
6. 地域とのつながりを持つ必要がない
7. その他 ()

問6 あなたは、お住まいの地域とのつながりやコミュニケーションのために何かしていることがありますか。していることがない場合、今後したいと思っていますか。

(○はそれぞれ1つ)

	している	今はしていないが今後したい	これからもしたいと思わない
1. 日常的に気軽にあいさつや会話をする	1	2	3
2. 趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる	1	2	3
3. コミュニティセンターを利用する	1	2	3
4. 地域のお祭りやイベントなどに参加する	1	2	3
5. 集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う	1	2	3
6. 地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える	1	2	3
7. 防災・福祉・環境ボランティアなどの地域活動に参加する	1	2	3
8. 地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する	1	2	3
9. 災害などいざというときに助け合う	1	2	3
10. その他 ()	1	2	3

問7 防災・福祉・環境ボランティアなど、地域の活動に、より多くの人に参加するようになるために必要なことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 活動内容を積極的に広報すること 2. 団体の情報がオープンになっていること 3. 市民が求める地域課題に沿って活動すること 4. 活動・行事の内容を魅力的にすること 5. 企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること 6. 活動を一緒に行う仲間や知り合いがいること 7. 活動に参加するときの役割や協力内容が明確化されていること 8. 地域の様々な人や団体との情報交換や交流の場があること 9. その他 ()
--

問8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか。(○は1つ)

	感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	感じていない
武蔵野市全体について	1	2	3	4	5
お住まいの地域について	1	2	3	4	5

問9 日頃、生活や身近な環境で困っていることや不安なことはありますか。(○はいくつでも)

1. 自分や家族の病気や健康、介護のこと	10. 近隣や地域との関係のこと
2. 子どもの保育や教育のこと	11. 交通環境に関すること
3. 居場所や生きがいのこと	12. 住宅に関すること
4. 収入や資産など経済的なこと	13. 災害時のこと
5. 進学、就職のこと	14. 犯罪や防犯に関すること
6. 結婚、妊娠、出産のこと	15. その他
7. 老後に関すること	〔 〕
8. 事業や家業の経営のこと	
9. 家族や親族との関係のこと	16. 心配ごとや困っていることはない

問10 あなたは、困りごとがあるときに、だれに手伝ってもらいますか。(○はいくつでも)

1. 配偶者	6. となり近所の人	10. その他()
2. 子ども	7. 職場の同僚	11. 手伝いは必要ない
3. 親	8. 市役所	12. 手伝って欲しいが、頼む人がいない
4. その他の家族・親族	9. 民間サービス	
5. 友人・知人		

問11 あなたは、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(○はいくつでも)

1. 配偶者	7. 職場の同僚	12. 警察
2. 子ども	8. 市役所	13. 専門的な相談窓口、機関
3. 親	9. 保育園、幼稚園、	14. その他()
4. その他の家族・親族	学校の先生	15. 相談はしない
5. 友人・知人	10. かかりつけ医	16. 相談したいが、する人がいない
6. となり近所の人	11. 民生委員・児童委員	

市政に関する情報提供などについてうかがいます

問12 あなたは現在、武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか。(○は1つ)

1. 十分に得られている
2. 充分ではないが必要な情報は得られている
3. あまり得られていない

問13 あなたは、市政に関するどのような情報を知りたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 保険・年金 | 8. 防犯・防災 |
| 2. 税金 | 9. 催し物・講座の情報 |
| 3. 福祉 | 10. 市の魅力・おすすめスポット |
| 4. 保健・医療 | 11. 市の財政状況 |
| 5. 子育て・教育 | 12. 市内施設の開館日・空き状況等 |
| 6. ごみ・リサイクル | 13. その他() |
| 7. 文化・スポーツ | 14. 特にない |

問14 市では、さまざまな手段(場所)で、武蔵野市の情報を発信しています。

あなたは、次の手段(場所)を知っていますか。また、利用していますか。それぞれの欄に○をご記入ください。(○はそれぞれ1つずつ)

情報を得ているもの	知っていて、 利用している	知っているが、 利用していない	知らない
1. 市報	1	2	3
2. 市のホームページ	1	2	3
3. ジェイコム武蔵野三鷹	1	2	3
4. むさしのFM	1	2	3
5. 季刊むさしの	1	2	3
6. 市のフェイスブック・ツイッター	1	2	3
7. カタログポケット (言語ユニバーサル情報配信ツール)	1	2	3
8. 新聞・タウン誌など	1	2	3
9. 市役所や市政センターなど	1	2	3
10. コミュニティセンター	1	2	3
11. 近所の人などからの口コミ	1	2	3
12. その他()	1	2	3

現在の市の施策に対する満足度・重要度についてうかがいます

問15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、【2】今後の重要度については可能な限りご回答ください。

【1】現在の市の施策・事業の実施状況、または今後実施予定の施策・事業に対し、どの程度満足していますか。

満足度を判断できない場合は「5 わからない」に○をしてください。

【2】これからの市政を進める上で、どの程度重要だと思いますか。

(○は項目ごとに満足度・重要度それぞれ1つ)

例	施策・事業の名称 取り組み事例	【1】現在の満足度					【2】今後の重要度			
		満足	満足 ある 程度	しあ まり ない	不満足	わから ない	重要	重要 ある 程度	であ り重 要	重要 でない
→	1	2	3	4	5	1	2	3	4
健康 ・ 福祉	①地域活動・地域支援 ・地域の見守りネットワーク ・災害時要援護 ・生活困窮者支援 ・シニア支え合いポイント制度 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	②高齢者福祉 ・介護保険 ・認知症対策 ・見守り支援 ・施設整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	③障がい者福祉 ・相談事業 ・雇用や就労支援 ・バリアフリー化 ・経済的支援 ・施設整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	④健康づくり ・各種検診や予防接種 ・身体やこころの健康づくり ・介護予防、食育 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
子ども ・ 教育	⑤子育て支援 ・待機児童対策 ・0123施設 ・生活困窮家庭支援 ・ファミリー・サポートセンターなど	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑥青少年施策 ・学童クラブ、地域子ども館あそべえ ・ジャンボリー、プレーパーク など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑦小・中学校教育 ・セカンドスクール ・教育相談 ・特別支援教育 ・教育環境のICT化 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4

		【1】現在の満足度					【2】今後の重要度			
		満足	満足 ある 程度	あ まり 満 足 し て い な い	不 満 足	わ か ら な い	重 要	重 要 あ る 程 度	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い
文化・市民生活	⑧市民参加・市民活動 ・コミュニティセンター ・委員会委員への公募や会議の公開 ・NPOの支援 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑨平和・都市交流・国際交流 ・平和啓発事業 ・人権擁護 ・男女平等施策 ・友好都市との交流事業 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑩文化・学習・スポーツ ・生涯学習支援 ・図書館、武蔵野プレイス ・文化・スポーツ施設 ・ふるさと歴史館 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑪産業・消費生活 ・商業の活性化、創業支援 ・農業振興、農地保全 ・消費者相談 ・都市観光 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑫災害対策 ・防災訓練、防災体制の強化 ・建築物の耐震化 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑬安全対策 ・防犯対策、パトロール ・環境浄化（風俗産業による生活環境 悪化の防止） など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
緑・環境	⑭エネルギー・資源 ・太陽光発電装置の設置 ・雨水の利活用 ・資源の循環的利用の推進 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑮緑化・水辺空間 ・公園・緑地整備 ・民有地の緑の保全 ・生物多様性の保全 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑯ごみ ・レジ袋削減 ・クリーンセンター ・ごみ減量、リサイクル など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑰生活環境 ・生活公害の低減 ・放射線対策 ・喫煙マナー向上 ・まちの美化 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4

		【1】現在の満足度					【2】今後の重要度			
		満足	満足 ある 程度	あ まり 満 足 し て い な い	不 満 足	わ か ら な い	重 要	重 要 あ る 程 度	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い
都市 基 盤	⑱ まちづくり・都市整備 ・都市景観 ・三駅周辺整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑲ 交通・道路 ・安全な道路空間づくり ・ムーバス ・外環への対応 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑳ 自転車対策 ・駐輪場整備、2時間無料制度の導入 ・自転車安全利用講習会 ・放置自転車対策 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	㉑ 上・下水道 ・下水道施設の再整備 ・安全でおいしい水の安定供給 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	㉒ 住宅政策 ・公営住宅、高齢者向け住宅 ・分譲マンション管理支援 ・空き家対策 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
行 ・ 財 政	㉓ 行財政改革 ・健全財政、職員育成、事務効率化 ・自治基本条例の検討 ・市有地の有効活用 ・民間との連携 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	㉔ 情報の収集・発信 ・広報の充実 ・情報セキュリティの徹底 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
㉕ 施策全般の総合的な満足度		1	2	3	4	5				

問16 市政の現状や問題点についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	そう 思う	ややそ う思う	あまり そう思 わない	そう思 わない	わから ない
① 全体として、いまの武蔵野市政は、うまくい っている	1	2	3	4	5
② 市民は、自分たちの意見を市政に反映させる ように努力している	1	2	3	4	5
③ 市政には自分たちの意見が反映されていると 感じられる	1	2	3	4	5
④ 市政は、取り組む内容を誰がどのように決め ているのかわかりにくい	1	2	3	4	5
⑤ 多様な市民ニーズにこたえるために、市民の 負担を増やしても行政サービスを拡大・充実 させるべきだ	1	2	3	4	5
⑥ よりよいまちづくりのためには、自分たちで できることは自分たちで行い、解決できない ことは行政と一緒に取り組むべきだ	1	2	3	4	5

問17 武蔵野市は、これからどのようになれば、より魅力的で活力あふれる都市（まち）になると思
いますか。(○は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 日頃から文化や芸術にふれあえるまち 2. 静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち 3. 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち 4. 年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち 5. 医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らしつつづけられるまち 6. 誰もが学びたいときに学べる、生涯学習環境が整ったまち 7. 市民参加、地域参加、ボランティアなどが盛んな市民力の高いまち 8. 個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち 9. 商工業がさかんな産業都市 10. ごみの発生抑制やエネルギーの地産地消により、環境に配慮した持続可能なまち 11. 治安が良く災害に強い安全なまち 12. 行政サービスに人工知能やICT関連技術などを取り入れた先進都市 13. その他 ()

統計処理のため、以下の項目にもお答えください

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18歳～19歳 | 4. 40歳～49歳 | 7. 70歳～79歳 |
| 2. 20歳～29歳 | 5. 50歳～59歳 | 8. 80歳以上 |
| 3. 30歳～39歳 | 6. 60歳～69歳 | |

F 3 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 自営業・自由業 | 5. 家事専業 |
| 2. 正社員、正職員 | 6. 学生 |
| 3. 契約社員、派遣社員 | 7. 無職 |
| 4. アルバイト、パート | 8. その他 () |

F 4 あなたは現在、結婚をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 現在、結婚している | 3. 過去に結婚し、死別した |
| 2. 過去に結婚し、離別した | 4. 一度も結婚したことはない |

F 5 あなたの(同居している)家族構成をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 親と子と孫(3世代世帯) |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他 () |
| 3. 親と子(2世代世帯) | |

(F 5で「3」、「4」とお答えの方に)

F 5-1 お子さんの状況をお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 小学校入学前 | 5. 専門学校、短期大学、大学生等 |
| 2. 小学生 | 6. 社会人 |
| 3. 中学生 | 7. その他 () |
| 4. 高校生 | |

F 6 同居のご家族に高齢や障がい等で介護の必要な方はいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 7 職場・学校等、あなたが平日の日中に最も多くの時間を過ごす場所はどこですか。

(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 武蔵野市内 | 3. 東京都23区内 |
| 2. 武蔵野市以外の東京都の市町村 | 4. 東京都外 |

F 8 武蔵野市内での合計の居住年数をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10年～15年未満 |
| 2. 1年～5年未満 | 5. 15年～20年未満 |
| 3. 5年～10年未満 | 6. 20年以上 |

F 9 現在お住まいの町名をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|--------|---------|
| 1. 吉祥寺東町 | 6. 中町 | 11. 境 |
| 2. 吉祥寺南町 | 7. 西久保 | 12. 境南町 |
| 3. 御殿山 | 8. 緑町 | 13. 桜堤 |
| 4. 吉祥寺本町 | 9. 八幡町 | |
| 5. 吉祥寺北町 | 10. 関前 | |

F 10 現在お住まいの住宅の種類をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|-------------------------|----------------|
| 1. 持ち家(戸建て) | 3. 借家(戸建て) | 5. 社宅・寮 |
| 2. 持ち家(マンション等の集合住宅) | 4. 借家(マンション・アパート等の集合住宅) | 6. その他(福祉施設など) |

F 11 あなたの世帯全体の平成29年中の収入額はどのくらいでしたか。(○は1つ)

※収入には年金や財産収入等を含め、世帯で同居されている方全体の収入(税金や保険が引かれる前の金額)でお答えください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 収入なし | 6. 700～1,000万円未満 |
| 2. 100万円未満 | 7. 1,000～1,500万円未満 |
| 3. 100～300万円未満 | 8. 1,500万円以上 |
| 4. 300～500万円未満 | 9. わからない |
| 5. 500～700万円未満 | |

最後に、市政についてのご意見・ご要望、市政に対するアイデアなどがありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、

8月13日（月）までにご投函ください。

※ 無記名による調査ですので、調査票や返信用封筒には住所や氏名を書かないでください。

<調査についてのお問い合わせ先>

武蔵野市役所 市民活動推進課 市民相談係
電話：0422-60-1829（直通） 担当／長坂・美谷島

※ 武蔵野市では、毎年9月ごろに、市民の皆様の市政に対する評価や要望などをお伺いするために、市内全世帯を対象に、市政アンケート調査を実施しています。

今回、この調査票をお送りしました方にも、市政アンケート調査の用紙がお手元に届くこともございますが、市政への参加の一つとして、ぜひご協力ください。

平成 30（2018）年度
武蔵野市民意識調査

平成 31 年（2019） 3 月

発 行 武蔵野市 市民部 市民活動推進課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2 丁目 2 番 28 号
電 話 0422-60-1829(直通)

実 施 株式会社サーベイリサーチセンター
〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号
電 話 03-3802-6711(代)